国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９２回　平山年度　第１回　会報　２０１３-７-３　司会　鳥居輝一君

お客様

○　片柳博ガバナー補佐



○　益子浩事務局長



2013－14年度第1グループガバナー補佐の事務局長を仰せつかりました益子と申します。ガバナー補佐のメッセージを皆様のクラブに幹事さんを通して伝えていきたいと思います。又、各クラブから第１グループ及び地区へのご意見、ご要望がありましたら、お気軽にご連絡お願い致します。

2014－15年度は、第１グループより３人目の長嶋ガバナーが誕生いたします。長嶋ガバナー年度成功のためにも、第１グループ内の会員が一致団結して協力していかなければなりません。その準備の意味も含めまして今年度第１グループガバナー補佐事務局を開設することになりました。第１グループ内の会員相互理解を深め、地区ガバナー及びガバナー補佐の方針の共有のため、微力ではありますが頑張りますので、宜しくお願い致します。

会長挨拶　平山博会長



2013～2014年度の新しいロータリー年度を迎えるに当たり、会長就任のご挨拶を申し上げます。

この度、歴史と伝統のある黒磯ロータリークラブ第54代会長に就任し、大変光栄に感じると同時に、その責務の重大さを痛感しております。諸先輩方々の築いて来られた伝統と歴史を守り、クラブの更なる発展に向け精進してまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

経験も能力も正に、不十分であることが、ここにきて知らされ、はたして会長職が全う出来るか不安で一杯ですが、幸いにして素晴らしい幹事さん、副会長さん、理事役員の皆様と会員の皆様に支えられ、会長を遂行していけると考えるようになりました。まだまだ、甘いと思われるでしょが一生懸命頑張ってまいります

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席免除会員数０名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日7月3日	39(0)	34(0)人	5(0)人	87.1%	*	
前　回6月26日	40(1)	33(1)人	7(0)人	82.5%	2人	87.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

ので、より一層のご支援のほど宜しくお願い致します。

今から40年前、私の父、故平山正男は第14代会長を務めさせていただきました。親子2代、会長務めさせていただく事に対して、大変ありがたく光栄に思います。父は、何を考えどんな会の運営をしたのか何も語らず、いや聞く事もなく、ロータリーに関して気にも止めずにいるうちに23年前亡くなりました。時々父のことを断片的にお話をしてくれる方がいまして、父の姿を思い浮かべ大変ありがたく思って居ります。父の名に、いや黒磯ロータリークラブの名誉にかけて、誠心誠意頑張ろうと思うのは当然であります。プレッシャーのかかった1年です。皆様がたよりですので再度ご指導、ご協力をお願い申し上げます。この後、卓話の時間で方針、目標等お話させて頂きます。

幹事報告　石山桂子幹事

[第1回幹事報告]

○ 7月プログラムの件、6月2水曜日・平山年度理事会で承認されました。申し遅れましたが、ご報告させて頂きます

○ ガバナー事務所より、「ロータリーの友」ご協力のお願いが届いております。鈴木久雄・雑誌委員長にお渡し致しました。

○ ガバナー事務所より、「ソーシャルメディア委員会からのお知らせ」が届いております。福島泰雄・広報IT委員長にお渡し致しました。

○ 矢板ロータリークラブの例会場が、アローエースゴルフクラブに変更になりました。

○ 織姫会総会の案内が平山会長に届いております。

○ 7月のロータリーレートは、1ドル99円です。

○ 本日、例会終了後理事役員会を開催いたしますので理事役員の方は、引き続きお願い申し上げます。

委員会報告　和気勝利副会長

○ 広報 / IT 委員会委員長　福島泰雄

以前お話いたしましたが、2550地区では7月1日よりIT委員会をSM委員会に名称を変更する等、Facebookを主力に地区内外に対する広報活動を活発に行なっております。

当クラブ会員の皆様もその意向に沿うよう努めて下さっていると存じますが、皆様が現在どの様に取り組んでおられるかを知りたくてアンケート調査をさせて頂くことになりました。どうか宜しくお願い致します。広報/IT委員会としては、会員の皆様がFacebookと親しくなり、クラブ内外の方々との交流を深められることを願っています。

一方黒磯ロータリークラブのホームページは、広報・IT委員会が更新等を担当することになっており、現在平山年度としてのHP更新作業に取り組み始めております。Facebookもホームページもパソコンを利用することに変わりはなく、クラブの全員が最小限のパソコン操作で両者を楽しんで頂きたいと願っております。

○ 前会報委員会委員長　植竹一裕

秋間年度で会報委員長をさせていただいた植竹です。一年間色々なミスを繰り返しながら無事まっとうする事が出来ました。大変お世話になり、ご迷惑をお掛け致しました。迷惑ついでに秋間年度最終会報の発行が遅れております。今週中にはなんとか配信したいと思っておりますので、どうかご容赦お願い致します。

卓話　新年度計画

○ 平山博会長

本年度の国際ロータリー、ロン D. バートン会長は、『ロータリーを実践し、皆が豊かな人生を』というテーマを掲げ、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々生かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらす事が出来るかが、見えてくるでしょう。そして初めて、人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワーが沸いて来るのです。そして『何よりもあなた自身の人生が一番豊かになるはずです』と述べられております。

又、2013年～2014年度、飯村慎一ガバナーの掲げたテーマは「ロータリーの実践」(行動するロータリアンを目指して) はまさにこれを実践していこうとする強い意志の表れだと私は感じました。国際ロータリー2550地区　ガバナーの地区方針と目標としては特に：

1　魅力あるクラブづくり

(目標)

- 退会防止、退会者復帰、会員維持・増強（プラス・ワン）
- 例会の充実(出席率の向上・欠席者のフォロー)
- Facebook等ソーシャルメディアの活用

2 「未来の夢計画」の実践

(目標)

- 新地区補助金活用または独自の地域社会プロジェクトの実践
- ポリオ撲滅への理解と支援
- ロータリー財団寄付目標：会員一人当たり150ドル以上

3　明日を担う人づくり

(目標)

- 新地区補助金活用または独自の地域社会プロ

ジェクトの実践
- 一年青少年交換の充実
- インターアクト・ライフの新世代への奉仕機会の提供
- 米山記念奨学会寄付目標：会員一人当たり18,000円以上

4　職業奉仕理念の実践
（目標）
- 新地区補助金活用または独自の地域社会プロジェクトの実践
- 職業上の倫理基準と高潔性(ロータリー網羅)の理解と堅持
- 「4つのテスト」の企業内への適用を提唱されています。

以上が飯村ガバナーの地区方針と目標です。

黒磯ロータリークラブもRIの地区目標に沿って実践を計ると共に会員相互の親睦と明るく楽しいロータリーライフを目指し、本年度の方針と計画を、以下のように定めましたので、重ねて皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

黒磯ロータリークラブ本年度の方針と計画をお話しいたします。

1)　魅力あるクラブづくりで会員増強と退会防止
- 例会、夜間例会、親睦や卓話の充実でクラブへの魅力を出し、退会する会員がないよう努めます。
- 楽しいクラブづくりに邁進し、会員数維持に努め，純増１名で会員数40名を目指します。
- 会員一人ひとりが勧誘を呼びかけて頂きます。女性入会の推進。

2)　新地区補助金の活用「未来の夢計画」実践
- 財団の補助金を利用し地域社会のニーズに応え、大小問わず地域、及び国際プロジェクトに取り組んで参ります。
- 世界よりも日本、それよりも栃木県、地元、会員と身近に奉仕する。
- ポリオ撲滅への理解、支援を行う。

3)　一年交換学生の受け入れとインターアクトの育成
- 本年は８月に台湾より、リー・イージュンさんを受け入れますので、皆様のご協力をお願い致します。
- 第３回例会で国際と新世代が担当となりクラブフォーラムを行います。
- 時代を担う青少年の健全な育成のため、黒磯高校インターアクトクラブを応援致します。

4)　各委員会活動の推進
- クラブ奉仕，和気委員長の指導のもと，各委員会の活性化をめざし、スムーズな委員会運営が出来ますようお願いいたします。特に親睦は重要ですので宜しくお願い致します。

5)　財団寄付目標（150ドル）及び米山記念奨学会(18.000円)
- 地区目標の達成をお願いいたします。

6)　会員家族の皆様から喜んで頂ける親睦行事の企画実践
- 観月会・クリスマス家族会・新年会・ゴルフ愛好会・旅行愛好会・織姫会・他の親睦行事を推進し支援協力致します。

皆様は、「道歌」をご存じでしょうか。

では、「道歌」とは、いったいどんな歌なのか。「為せば成る　為さねば成らぬ　何ごとも　成らぬは人の為さぬ成りけり」。この言葉は多くの人が一度は耳にしたことがあるのではないでしょうか。

「道歌」という言葉は、あまりおなじみではないが「教訓歌」あるいは「道徳歌」といえば、お分かりになるかもしれない。簡単に言えば、「道歌」とは、和歌、短歌と同じ形式の「五・七・五・七・七」の言葉で構成された三十一文字に表された歌であります。

和歌・短歌が文学性・芸術性を追求するものに対して、道歌は、道徳や教訓と言った「人生の道」を詠ったものであり、今の教科でいえば、和歌・短歌が国語に入り、道歌は社会科･道徳に分類されると思われます。

この「道歌」を取り入れ、本日は、「為せば成る　為さねば成らぬ　何ごとも　成らぬは人の　為さぬ成りけり」何ごともやろうとすればできる、やらなければ出来ない、出来ないのはやろうとしないからだ。やろうと決意し、目標に向かって始めてみよう。今の私自身に、言い聞かせているような「道歌」です。

○　石山桂子幹事



平山年度、幹事を仰せつかりました石山でございます。

今から１年半前､檜山年度･クリスマス家族会の打ち合わせの帰りですが、平山さんより小さな声で「幹事を考えている」とお話がありました。私は、ロータリー歴は長いのですが、ロータリーの事は全く分かりませんし、お店と家庭とロータリー・・果たして両立できるのかと悩み、何度かお断りをしました。暫くしてから、和気さんがお見えに

なり「桂子さん、やらないで後悔するより、やって後悔する方がいいのでは？」この一言で、即・引受ける決心をしてしまいました。

決心をするや否や、「それではパソコンを買って速くパソコンに慣れて下さい」と実は、本音を言いますとビックリしたのですが、後戻りは出来ない。和気さんは、お忙しい時でも何時も教えに来てくれましたし、和気さんの熱意に、「私も答えなければ」と私なりに今でも努力をしております。今では、パソコンをして本当に良かったと思っておりますし、感謝しております。

ロータリーの事は、まだまだ分からない事が多く、自分自身至らない所も沢山ありますが、平山さんに指名して頂いたのですから、会長の足を引っ張らずに、片腕になれる様皆様の御指導を頂きながら努めて参りたいと思っておりますので、1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

○　和気勝利副会長



この度副会長の大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

クラブ奉仕の意味を十分理解し会長方針に沿って平山会長・石山幹事を盛り上げていきながら今年度を更に充実させていきたいと考えております。諸先輩・会員皆様のご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

さて今年は黒磯ロータリークラブに入会させていただき15年目にあたります。私が入会した15年前から5年間は私が最年少者でした。その後は、今はなき石川祐一さんが最年少者を2年間勤めて、それ以後は、吉光寺さんが引き継いでおります。

私の入会後ご入会されて今会員でいらっしゃる方が14名いらっしゃり、その中で私より若い方が7人いらっしゃいます。諸先輩からたくさんの事を学ばせていただきましたが、またその多くの後輩・若手より同じように学ばせていただきました。

私の好きな言葉に、孔子は「下問を恥じず」という言葉があります。自分よりも後輩・年下から謙虚に学ぶことはとても大切であるという意味ですが、すべての会員の皆様にご教示いただきながら1年間務めさせていただきたいと考えております。

○　澤田吉夫会長ノミニー



平山会長の言われております、会員相互の親睦と、楽しいロータリーライフを楽しむと言われておりますが、私も親睦は大好きですので、夜の例会が多いのは楽しみです。秋間前会長、吉光寺幹事には大変お世話になり、ありがとうございました。今年も昨年同様によろしくお願いいたします。

話は別になりますが、昨日阿久津市長と会議が一緒になりまして、その中で、那須塩原市の人口のお話が、ありまして、いま市内で人口が増えているところは、那須拓陽高校のところとのことです。その他の地区は概ね、現状維持です。近隣の市町村で今後長期的に人口が減少は大田原市、那須町は過速度的に減少するらしいとのことです。参考までに。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

片柳　　洋様　ガバナー補佐です。
益子　　浩様　ガバナー補佐の事務局です。
荒井　昌一君　平山年度の門出を祝して。初例会です。
髙木　慶一君　平山年度。健康には充分気を付けてください。
秋間　　忍　平山年度。1年間頑張って下さい。
鳥居　輝一君　平山年度の門出を祝して。
瀬尾　紀夫君　平山年度の門出を祝して。
福島　泰雄君　平山年度の門出を祝して。
檜山　達郎君　平山年度の門出を祝して。
礒　　勝彦君　平山年度の門出を祝して。
佐藤　　博君　平山年度の門出を祝して。
平山　　博君　1年間どうぞよろしくお願いいたします。
石山　桂子君　1年間どうぞよろしくお願いいたします。
大森　貞男君　1年間どうぞよろしくお願いいたします。
吉光寺政雄君　平山年度船出を祝して。

誕生祝



植竹一裕君・荒井昌一君

○　誕生日コメント　　植竹一裕君

3月11日震災の時は肥料屋の私にとって忙しい時で、苗箱用の培土を生産者の皆さんにお届けする仕事をしておりました。その時間は培土を運び終わりもう一度店に戻って荷物を積んで配送する為に共懇社の陸橋の上にいた時でした。その当時陸橋の先にある信号は道路工事の関係で、手旗信号になっており停車していた時の事でした。人間は恐怖にかられると走馬灯のように過去の事が思い出されるといいます。私の場合は、無声映画のワンシーンを見ている様で、手旗信号のおじさんは道にしゃがみ込み、音が聞こえず大谷石の塀がスローモーションのように崩れ、電線が縄跳びをしているように波打つシーンを茫然と見ているのが、精一杯でした。

その時には感じていなかったのですが、2～3日すると左ひじの周辺に大きな青あざが出てきました。多分トラックにかなりの勢いで体がぶつけられていたのでしょう。二度と味わいたくはありません。

お陰さまで、社員やその家族には大きな被害もなく、平穏無事に暮らしております。

新入会員　小野安正君



● 7月3日欠席(敬称略)
黒澤洋一・須藤舜生・橋本佳明・深町彰・室井次男

○ 前回6月26日分メークアップ(敬称略)
鈴木隆子・月江寛智

次回例会　　平成25年7月10日　　新年度計画説明(SAA・クラブ奉仕)

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９３回　平山年度　第２回　会報　２０１３-０７-１０　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長



気象庁は６日（土）梅雨明けを発表。平年より 15 日早いとの事です。水分を十二分にとり、熱中症にならないよう注意してください。

須藤舜生会員が気がかりでしたので、７月３日例会終了後にご訪問させて頂きました。腰を痛められ、歩行が困難になっておられましたが、徐々に回復しておりロータリークラブに関しては、「意欲がまだまだあります」との事で安心しました。車でしか移動が出来ず、しばらくは石山さんの玄関前に車を止めたいとの事でした。

そこで、元気なロータリークラブ会員さんには遠くの駐車場を利用して頂き、玄関前はしばらく空けて頂きたくお願いいたします。

本日より、新年度の計画説明があります。

SAA, クラブ奉仕各委員会、五大奉仕の順で説明いただく事になっております。各委員長さん、初め会員皆様の黒磯ロータリークラブの円滑な運営と、会員家族一緒に楽しめる事業を目指していただき、大変ありがたくお礼申し上げます。

秋間前会長の采配は誠に立派なことでありますので、ほぼ同じく見習うことが最適と考えております。

主に、飲食費に係る費用が重要であると思いますのでお話させて頂きます。夜の例会は、SAAが担当し、飲食費は会で負担いたします。観月会、新年会も奥様を含め、会で負担致します。そしてクリスマス家族会の費用は原則参加者負担といたします。炉辺会議は1,000円をクラブより負担いたします。各、愛好会、織姫会は30,000円、その他の愛好会についてご要望があればご負担いたします。

会計につきましては、今までどうり「複式簿記」、「発生主義」を採用します。

これから、地区の行事、織姫会総会などなど、会長として参加致しますので、その都度ご報告いたします。

ところで、第23回参議院選が７月４日公示され、７月21日投票日です。選挙区、比例区代表、計 433 人が立候補を届けだされ、ねじれ国会の解消と経済政策「アベノミクス」や、憲法改正の是非などが最大の争点になる模様です。

そんな中で、今選挙は「ネット選挙解禁」と言う事でも注目が集まっております。インターネットの選挙解禁を踏まえた若年層の投票率向上など、有権者に一層の投票参加の呼びかけをするとの事です。

一方、「ネット上での誹謗中傷なども懸念されており、適正なる活用をして欲しい」と候補者や政党に良識ある行動を求めております。

いずれにしましても、国を動かす大事な一票でありますので、棄権のないよう投票をお願いいたします。

RCは大人の集まりのせいか、政治に関してのお話を今まで聞いたことがありません。タブーな事でしたらごめんなさい。

今日の「道歌」は

何事も、目に見たことを　本とせよ
聞きぬることは　変わる世の中(百聞は一見にしかず)

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日7月10日	39(1)	35(1)人	4(1)人	89.7%	*	
前　回7月3日	39(0)	34(-)人	5(-)人	87.1%	5人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

情報網が発達した、今の世の中さえも、あてにならない情報、疑わしい情報は多くある。また変化が激しい社会の中で、少し前の情報はもはや古くなって使えないこともある。人の話もまたしかりである。

気温も、参議院選も、グングン過熱、どうぞお体をご自愛なされます様お願いいたしまして、会長挨拶といたします。

幹事報告　石山桂子幹事

【第 3 回理事役員会報告】

7月3日　第3回理事役員会審議事項について御報告致します。

○　8月プログラムの件　承認

○　室井次男会員を出席規定の適用の免除会員とする件　承認

【第 2 回幹事報告】

○　ガバナー事務所より「米山記念奨学会委員会クラブ委員長会議開催のお知らせ」が届いております。黒澤洋一・米山記念奨学会委員長にお渡し致しました。

○　第33回ふれあい広場の資料が届いております。荒井昌一・社会奉仕委員長にお渡し致しました。

○　那須の巻狩り祭り・実行推進委員の協力依頼が届いております。荒井昌一・社会奉仕委員長にお渡し致しました。

○　黒羽ロータリークラブから週報が届いております。回覧中です。

○　第 8 回那須塩原ハーフマラソンのパンフレット及びポスターと、那須塩原市国際交流協会会報が届いております。併せて回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　田中徹会計委員長

本年度年会費前期分を7月22日(月)に栃木銀行より引落を致しますので、宜しくお願い致します。

○　齋藤武久会報委員長

本年度も遅滞なく会報の編集、配信を行う為に掲載原稿をすみやかに委員会にお送り下さい。

○　田中徹会報委員

本年度会報の配信係を命じられました。私のアドレス帳に不備があり配信されていない方がおられましたらご一報願います。

卓話　年度方針説明

○　鳥居輝一 SAA 委員長



平山年度の会場監督（SAA）を仰せつかりました鳥居です。メンバーとして副 SAA 瀬尾紀夫君、副 SAA 髙木茂君、副 SAA 植竹一裕君それと委員長鳥居輝一で本年度進めてまいります。

本年度の計画は「例会が秩序ある運営と会員相互の信頼と友情をより深め、暖かく、明るく、楽しく、運営ができるよう努める。」

1.　会長・副会長・幹事と各委員会の長と連絡は密に取り、例会が円滑に進行できるようにする。
2.　外来卓話の例会時には持ち時間を十分にとり、卓話者に失礼がない様に時間配分を考える。
3.　無駄な経費を無くすために、欠席の連絡は 9 時 30 分までに本年度は石山幹事に連絡をお願いします。
4.　例会場での BGM は季節に合う音楽を流すことに心がける。

以上 4 項目を掲げ委員会運営を執り行います。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長



続いて、クラブ奉仕委員会内各委員会より、本年度の方針・計画を発表していただきます。順序は現況報告書に記載されている順序でお願いします。まず、瀬尾親睦委員長から宜しくお願いします。

○　瀬尾紀夫親睦委員長

平山会長の本年度の方針であります会員、家族の皆様からも喜んでいただける親睦行事の企画、実践をしてまいります。

1）親睦行事

1.　観月会　9 月 25 日（水）
2.　クリスマス家族会　12 月 18 日（水）
3.　新年会　1 月 8 日（水）

2）記念品の贈呈行事



会員の誕生祝に記念品を贈呈します。

3）その他

会員の誕生月に 3 分間程度スピーチしていただきます。テーマは、『3・11 その時私は何をしていたか』です。

○　秋葉秀樹出席委員長



平山年度委員長を仰せつかった秋葉秀樹です。副委員長に津久井誠二さん、委員に福田逸男さん、高根沢邦夫さんの計４名で運営します。

本年度の計画は、SAAとの連絡を密にして、例会欠席の事前連絡を徹底し、無断欠席ゼロを目指します。

また、様々なロータリー行事への参加情報を提供します。以上です。

○　鈴木隆子プログラム委員長



今年度プログラム委員会は相馬征志さん、遠藤清和さんと、私、鈴木の三人で運営してまいります。

平山会長の方針に沿った構成でプログラムを作成いたしました。平山会長が目標とされている、魅力あるクラブづくりを目指して、会員同士の活発な交流の機会を出来るだけ増やすため、夜間例会をほぼ月に一回入れました。また、今年度は一年交換留学生も受け入れていますので、例会や行事等を通じて留学生との交流や、受け入れてくださっている会員に少しでも協力できるようにと考えています。

強化月間や地区行事に合わせて、関係の委員会に卓話をお願いして、意識の向上を図れるように設定いたしました。卓話担当の委員会には一ケ月前に確認をしまして、スムーズな会の運営に協力いたします。以上でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

○　福島泰雄広報 / IT 推進委員長



平山年度の広報IT委員会計画についてご説明申し上げます。副委員長の植竹一裕さん、委員の藤村聡さん、秋葉秀樹さんの強力なお三方が委員長である私をサポートして下さいます。広報IT委員会の役目は、黒磯クラブが如何なる奉仕活動を実践しているかを、市民の方々や他クラブの方々に知って頂くことであります。その手段として以下のようなものがあります。

1. 充実した黒磯ロータリークラブホームページの維持更新
2. 地区や個人のFacebookページへのクラブ情報の伝達と受信
3. Ｅ-mailによるクラブ内連絡の充実化とスムース化
4. 下野新聞等の報道機関への取材情報の積極的提供
5. ロータリーの友、ガバナー月信などへ投稿推進
6. 今年度のデジタルフォトコンテストのお題は「感動」に決定

1.の黒磯ホームページの維持更新については現在秋間前会長も参画して頂き種々検討中でありますが、秋間年度から平山年度への移行については、内容検討が済んだものから順次更新し掲載しておりますのでご覧ください。

2.のFacebookにつきましては、地区Facebookを主導しているソーシャルメディア委員会（前年度まではIT委員会であったのを今月からSM委員会に名称変更）が、今月30日に地区内クラブのＩＴ担当者を集め、Facebookページの運用方法や操作方法の説明会を行います。現在私がこの地区Facebookページの管理者になっていますが、説明会には植竹副委員長にも参加して頂き、平山年度は二人で地区Facebookページを盛り立てていきたいと考えています。また、クラブ会員および奥様方のFacebookの有効利用については、先週アンケートを回覧しご記入をお願いしましたが、その結果どのように対処していけば良いか検討させて頂きます。

3.のE-mailについてですが。E-mailの活用は今後益々必要になると思っています。皆様がE-mailを受取られたら受取った旨の返信を是非お願いいたします。

6.のデジタルフォトコンテストのお題ですが、委員会内で検討した結果「感動」と決めさせて頂きました。過去２年以内にご自分でお撮りになった写真の中で、きっと感動を伴いながら撮影されたものがあると思います。その感動を会員の皆様にお伝え下されば何よりと考えております。

○　大森貞男スマイルボックス委員長



スマイルボックス委員会は、副委員長に福島泰雄さん、委員に深町彰さん、小野安正さん、それと委員長の私大森で構成されています。

今年度の事業計画は：

1. １人当たり30,000円を目標とします。
2. 中間で寄付状況を皆様にお知らせ致します。
3. 会員39名で１人３万円ですから1,170,000を目標とします。

○　和気副会長

時間となりましたので、クラブ奉仕委員会の発表は今日はこれまでとします。次回発表は31日齋藤会報委員長からお願いすることになります。お忘れ無いよう宜しくお願いします。

新井会員沖縄より戻って一言



沖縄研修は1～2年の予定でしたが、妻から強制送還の命令をうけ研修途中で帰って来ました。

病院勤務は開業医ではあまり診ない疾患も経験し、まだまだ勉強が必要だと痛感しました。

これからまた黒磯でがんばっていくのでよろしくお願い致します。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

秋間　　忍君　県北クラブ対抗戦、ベテランの部優勝
バンザーイ黒磯テニスクラブ。
澤田　吉夫君　暑さに負けないよう頑張ります。
新井　聖一君　沖縄より無事帰ってきました。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

荒井　昌一君（1943年7月31日 生）



地震の時は二階事務所で事務をとっていましたが、揺れが大きいので一階店舗に降りて行くと2人の女性客がおいでになり、1人の方は給油を終えて帰る所でした。もう1人の方は洗車中で洗車の状況を見ておりましたが、揺れがあまりにも大きいので、見ず知らずの2人が抱き合って揺れが治まるのを待つ光景を思い出します。

当日の16時頃からは給油の客が続々押しかけるようになり、20時の閉店時刻には閉められず、21時頃までになんとか閉店を行いました。翌3月12日（土）には仙台のあるリネン業者が重油が切れそうなので、知り合いを通じて頼み込まれ10,000ﾘｯﾄﾙの重油を自家用のタンクローリーで、通行料無料の東北自動車道で運んだことも記憶に新しいところです。震災後約1ケ月間は給油待ちの渋滞が続きましたが、従来からのお客様はもちろん、新規のお客様にも出来るだけ万遍なく給油をさせて頂き、多くのお客様に喜んで頂いた記憶も新しいところです。

● 7月10日欠席(敬称略)
遠藤清和・須藤瞬生・相馬征志・深町　彰

○ 前回7月3日分メークアップ(敬称略)
黒澤洋一・須藤瞬生・橋本佳明・深町　彰
室井次男

次回例会　　平成25年7月17日　　担当　国際奉仕・新世代委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９４回　平山年度　第３回　会報　２０１３-７-１７　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長



第3回目の例会は、新世代委員会、国際奉仕委員会より新年度の計画説明があります。

まず、1年交換学生の件につきましては、情報が遅れて会員の皆様にお伝えすることが出来なかったこと、申し訳なく思っております。今日は、高木新世代委員長よりお話があります。

Yi-Jhen LEE さん(英語名はニコール）は花蓮在住、現在15歳高校2年生で学力優秀で全科目Aの評価であります。彼女は愛情があり、思いやがあり、人と共感でき、人を助けることが出来る素晴らしい性格のお嬢様です。嫌いなものは、ニンジンと、辛い食べ物、苦い食べ物と聞いております。

これ以上は個人保護法もありますので、後の話は高木委員長にお任せしたいと思います。8月には来日致します。何か楽しみであります、どうか一年交換学生Yi-Jhen LEE さんに絶大なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

今夏、県北地区では、市町を上げての大きなスポーツ大会が行われております。7月7日は、「絶景の那須高原を走ろう」をテーマに、那須ロングライドが那須文化センター特設会場をスタート＆ゴールで行われ、地元、県内はもちろん関東、東北、各地区より2,400名が参加。100km、60km、50km、30kmと、健脚を競いあった1日でした。

又、7月14日は、第11回清流那珂川カヌースラローム大会が、那須疎水公園で行なわれました。

このコースは、常設された物ではなく、水量等で苦戦する場面が見られましたが、風光明媚な自然のままの那珂川を、存分に味わってもらえたと思っております。

両大会とも、那須地区の美しい自然を満喫しながらの競技が行われ、那須塩原市、那須町の知名度を高めることに役にたった大会でした。

この夏は、各地区で猛暑が続き、とにかく暑い今年の日本。今月7月1日以降、すでに数千人近くが熱中症で病院に搬送されております。暑さのピークに向けてますます注意が必要ですが、気象庁の予測では、早めに秋が来て、朝夕はかなり涼しくなるとの事です。台風に注意が必要です。

[よきことを　いつもあるかと　思うなよ
夏暑ければ　冬の寒さよ]

よいことがあっても、いつもあると考えてはいけない。夏が暑ければ冬が寒いというように、厳しいときが必ずある。油断せず良いときに備えておくことだ。

幹事報告　石山桂子幹事

【第3回幹事報告】

○　ガバナー事務所より、1年交換学生受入れｸﾗﾌﾞ研修会の案内が届いております。関係者の皆様にお渡し致しました。

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日7月17日	39(1)	29(1)人	10(0)人	74.4%	*	
前　回7月10日	39(1)	35(1)人	4(0)人	89.7%	4人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

○　第１グループガバナー補佐事務所より、台湾からの夏季交換学生受入れのお知らせが届いております。詳細に関しましては、回覧いたしますのでご覧ください。
○　那須地区青少年育成推進連絡協議会より、第36回「少年の主張発表那須地区大会」の案内が届いております。平山会長にお渡し致しました。
○　第33回ふれあい広場第2回実行委員会の案内が届いております。荒井昌一社会奉仕委員長にお渡ししました。
○　栃木いのちの電話より事業案内が届いております。回覧中です。
○　ハイライト米山が届いております。回覧中です。
○　西那須野ロータリークラブから週報が届いております。回覧中です。
○　髙木慶一会員のお母さまがご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
尚、お通夜・葬儀に関しましては、後日ご連絡さしあげます。

委員会報告　和気勝利副会長

○　齋藤武久秋間年度会報副委員長

秋間年度の会報集をDVDに焼きレターケースに入れておきました。主な行事の写真集も収載されていますのでご覧になってください。

○　半田久一地区諮問委員

過日、クラブ定款細則委員会（9名参加）を開催し、今般の規定審議会の結果を踏まえ、その対応について検討した結果、直接関係するであろう10項目について、日本語訳がまとまる12月以降改めて検討することとし、従って、現況報告書への記載は、次年度になる予定である。

○　田中徹会計

昨年度(秋間年度)の決算が確定致しましたので、各テーブルに損益計算書・貸借対照表を一部お配り致しましたのでご確認願います。ご自宅でじっくり・・という方はお持ち帰りになって下さい。

○　黒澤洋一米山記念奨学回委員長

ロータリー米山記念奨学会からニュースレターが届きました。会報に掲載しますのでお読みください(記事は5ページに)。

卓話　年度方針説明

○　時庭稔国際奉仕委員長

平山年度の方針に則り本年度の計画を作成しました。

1．国際大会への参加を呼びかけ



2014年6月1日～4日まで4日間、オーストラリアのシドニーにて国際大会が実施されます。6月2日には、オペラハウスでシドニー音響楽団によるロータリーの為の特別演奏会が開催されますので、参加されたい方は是非お申込みください。

参考（今後の国際大会の予定）
2015年6月5日～8日ブラジルのサンパウロ
2016年5月29日～6月1日韓国ソウル

2．地区補助金計画：「未来の夢計」への協力
グローバル補助金プロジェクトの計画実施についてロータリー財団委員会へ協力したいと思います。

3．一年次交換留学生への協力
氏　　名：リー（英語名：ニコール）
国　　籍：台湾（花蓮縣花蓮市）
性　　別：女性
生年月日：1997年9月17日（15歳）

来日は8月25日成田着の予定です。迎えには会長、幹事、高木新世代委員長が行きます。私もホストファミリーとして協力したいと思います。皆様ののご協力お願いいたします。詳細については、新世代副委員長鈴木　隆子　会員にお願いいたします。

○　鈴木隆子新世代副委員長



本日は髙木委員長がお休みのため、副委員長を務めさせて頂いております鈴木が代行させていただきます。

今年度は、新世代委員会としては、例年通りのインターアクトに関する行事に加えて、台湾から一年交換留学生を受け入れることになり、そのための行事も、その場に応じて増えてくると思われます。

まず、8月4日に研修会が行われますが、その内容等につき案内状が来ておりますので読ませていただきます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

国際ロータリー第２５５０地区青少年交換委員会

2013年7月10日

2013－14年度一年交換学生受入クラブ会長各位

ガバナー　飯村慎一
新世代奉仕部門カウンセラー　鈴木　宏
新世代奉仕委員長　白相淑久
青少年交換委員長　村上正子

一年交換学生受入れクラブ研修会のご案内

この度は、当年度一年交換学生のホストクラブをお引き受けいただき、誠に有難うございます。お引き受けいただく学生の来日が近づいて参りましたが、下記の通り研修会（事前打ち合わせ、並びに危機管理研修会…虐待とハラスメント予防に関する研修）を開催致します。ご多用のところ恐縮ですが、大変重要な研修会ですので、皆様のご出席をお願い申し上げます。

尚、念の為申し添えますが、RIは当地区が青少年交換プログラムを実施するに際し、関係者に対し「虐待とハラスメント予防に関する研修」等を実施する事を前提に当地区の青少年交換を認証したものでありますので、危機管理研修にもご協力下さいますようよろしくお願い申し上げます。

1. 日　時　2012年8月4日（日）午前10時00分～午後2時頃迄
2. 場　所　宇都宮グランドホテル内　RID2550地区ガバナー事務所
宇都宮市西原町142 Tel028－635－2111
3. 登録料　お一人　2，000円　※当日ご持参下さい。
4. 出席対象者
・会長、幹事、新世代委員長のいずれか（最低2名）
・カウンセラー（必ずお願い致します）
・第一ホストファミリー（出来ればご夫婦で）

別紙参加申込書にご記入の上、7月25日迄に青少年交換委員会　金子宛にFAX（0289－65－5337）またはメール（akihiko＠altop.cojp）にてご連絡下さい。

お問い合わせはガバナー事務所、又は青少年交換委員長までご連絡下さい。

村上正子（栃木南RC）Tel：0282－20－5055（会社）
Fax：0282－20－5056
E－mail：bunanomori@cc9．ne.jp

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

次に留学生のニコールさんのご紹介をさせて頂きます。

保護者へのアンケート結果

学生氏名：Yi-Jhen LEE
出身国：台湾

1．お子さんの性格、家族や友人関係について

ニコール（学生の英語名）は現在15歳で、家族や友人ともとても良い関係を築いています。彼女は、愛情があり、思いやりがあり、人に共感でき、人を助けることができ、常に自然体でいられる人間です。彼女は必ずしも大人数のグループに所属していたいという思いは抱いていないようで、友人は慎重に選んでいます。彼女は家族といる時と同様、友人といる時間も大切にしています。ゲームをしたり、映画を見たり、本を読んだり、絵を描いたり、会話を楽しんだりと様々なことを楽しんでいるようです。

2．お子さんは困難にどう立ち向かいますか。

ニコールの性格、能力、そして私たち両親の教育によって、争いや抑制、挫折に対して建設的に対処できる力を備わせることができたと思っています。彼女は困難に直面した時、それまでの過去を清算し、新鮮な気持ちで対処しようとします。私たちが彼女と異なる考えを持っているような時は、話し合いを設けるようにしています。彼女が私たちに何かをさせてほしいと頼みごとをするような時には、話し合いの過程において、私たちが納得のいくような理由を示します。彼女はとても良い子どもであるため、めったにしかられるようなことはありません。彼女は落ち込んだ時も楽観的に対処します。

3．お子さんは困難な状況に置かれた場合、どう対処していますか。

彼女はいつも何か問題に取り組む時、楽観的ではありますが、一方で勇気ある方法で解決しています。彼女は先生やクラスメートと良い関係を築いており、友人もたくさんいるので、自分一人で解決しきれないような問題に直面した時は誰に頼ればよいのか、彼女自身が一番良く分かっているのだと思います。

4．お子さんの自立度

彼女は教養があり礼儀正しい子どもで、また自分のことは自分で決めてもらいたいという思いから、私たちは彼女に個室を与えています。彼女は読書と絵を描くことが好きです。彼女の自立度はかなり高いと思っています。

5．お子さんのどんなところを誇りに思っていますか。

私は自分の子どもを誇りに思うことが多々あります。彼女は思いやりがあり、まじめな子どもです。思いやりをもち、他人のことを考えることに自分の時間を費やすことも少なくありません。地域の活動に参加する際も、彼女はいつも先頭を切って積極的にボランティアに取り組みます。

6．お子さんを留学させようと思った理由

私たち両親は、留学生になるというのは、大変貴重な機会であると考えています。観光としてではなく実際に住んでみることによって、異なる文化や生活習慣、現

実を正しく理解することができるようになるのだと思います。そしてそれは本を読んだり、見たり、聞いたりするだけでは得ることのできないものです。家族や慣れた環境から遠く離れた場所で生活することによって初めて、成長し視野も広がるものだと思います。私たちは、娘が新しい世界を体験し、異なる文化を学び、世界中から新しい友達ができることを期待しています。また、彼女は皆様に台湾の文化や美しい景色を紹介することができると思います。留学生になるという機会が得られるなら、それは彼女の人生において忘れることのできない、最高の思い出になることと思います。

7．ホストファミリーに伝えたいこと

私たちの娘を受け入れてくださり、本当にありがとうございます。彼女は特別な存在で、周りからも愛され、彼女にしばらく会えなくなるということで悲しむ人も多いです。娘があなた方ご家族と、これから何年もつながっていられるような仲を築いてくれるよう心から願っています。

生徒へのアンケート結果

1．余暇の過ごし方

余暇は絵を描くことが多いです。また音楽を聴くことも好きです。時々、インターネットで未解決のホットニュースを調べたりしています。平日で疲れを感じる時には音楽を聴きます。週末は絵を描くことの参考にするためオンラインで日本のアニメを見たり、インターネットで、地球上で起こっている様々なニュースを調べたりしています。

2．学校生活

私は学校内でも特に良い成績を納める生徒の一人だと自負しています。その成績を維持するため出来る限りの努力をします。私の学校では、自分が勉強したい科目を選ぶことはできません。中国語・数学・英語・理科・地理・公民・歴史は必修科目です。授業は1コマ45分で、授業の合間に10分間の休憩を挟みます。学校開始時刻は午前8時10分、終了時刻は午後4時50分で、昼休みは30分間あります。毎日時間割は変わります。

3．学校での活動や興味関心

私たちの学校では、年に1度体育祭が開かれたり、下級生はキャンプ、上級生は旅行に出かけたりします。私は校内のバドミントンクラブに所属しています。活動時間は週に1コマ分しかありませんが、友人と楽しくプレーしています。私は何度かクラス委員長と副委員長になったことがあり、クラスのために一生懸命働きました。

4．自宅について

私は両親と兄と共に、ごく一般的な家に住んでいます。私と兄はそれぞれ個室を与えられているのですが、私は兄の部屋で勉強することが好きです。私と兄はまるで親友のように仲が良いのです。私は学校まで約20分かけて歩きます。雨の日は父が車で送ってくれることが多いです。

5．両親の職業

父は書店を営んでいます。また、彼はテコンドーのコーチでもあります。彼の教え子で国内の大会で勝った選手が数多くいます。小学生の頃、私も父からテコンドーを習ったことがあり、黒帯の選手でした。母はHualienロータリークラブで20年以上、幹事を務めています。また、母はコンピューターのエンジニアとしても素晴らしい人物です。私がパソコンに関してどんな問題を抱えていようとも全て解決してくれるのです。

6．住んでいる地域について

私の住んでいる町は小さいですが、文化的で教育上とても良い環境にあります。私の町は大きな都市でもなければ、そのような都市に近い訳でもありませんが、海に近く景色がとても美しいです。私はそんな景色が大好きです。

7．興味・関心

私は絵にとても強い関心があります。幼い頃、可愛らしい絵が載っている絵本をたくさん読みました。私はそのような絵本を描く絵本作家をとても尊敬しましたし、将来は彼らのように素晴らしい絵を描けるようになりたいと思うようになりました。このような理由から、時間がある時はほぼ毎日絵を描くことに時間を費やしており、私はそれを心から楽しんでいます。

8．海外経験

小学生の頃、家族と一緒に中国と香港に旅行に行きました。1週間という短い時間でしたが、ディズニーランドに行ったりと、私にとって忘れられない思い出となりました。

9．嫌いなもの

ニンジンと、辛い食べ物、苦い食べ物が苦手ですが、いつか苦手を克服できるよう努力しています。また、飛んでいるゴキブリと蚊が大嫌いです。

10．長所・短所

私の短所は、未だに自立できていないという点です。今までは他人に助けを求めることが多かったのですが、これからはなるべく自分で解決できるよう努力したいと思います。長所は、何をするにも慎重に、我慢強く取り組める点です。そのおかげで、今までも多くのことを上手く対処することができました。

11．将来の夢

高校卒業後は公立大学に入り、将来は翻訳家かイラストレーターになりたいと思っています。これからもたくさんの可愛らしい絵を描いていきたいと思います。

12．留学中・留学後に達成したい事

私は留学中、他国の異なる文化や習慣を学ぶこと、異なる生活を体験すること、そして語学力を上げることを期待しています。また、その国における有名な景色を見に行きたいと思っています。中でも最も期待していることは、留学中の１年間を通して、自分の性格をより良くしていくことです。そしてもっと活発になりたいと思っています。

☺　ニコニコボックス　福島泰雄君

澤田吉夫君　ニコニコボックスの盛況を祈って。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

○　平山博会長　1948 年 8 月 16 日生まれ

久しぶりに、46 インチ液晶テレビが売れ、納品をしておりました。セッティングが終わり説明中に大きな揺れが来ました。周りの物が倒れ初め、売ったばかりの TV を必死で抑えていました。まずは 46 型 TV に布団をかけ、窓を開け、ドアを開けいつでも外に出られるようにし、腰の抜けかかった、おばちゃんの手を取り外に出ました。外は、埃でかすんでいました。揺れが収まって自分の家が心配で、車で晩翠橋近くまで来ましたが、心配で進むことが出来ず止まっていたら、裏から押され仕方なく、恐る恐るゆっくり橋を渡った記憶があります。

家の安全を確かめ、ホッとする暇もなく、従業員に各家庭のプロパンガスの安全を確かめるよう指示。4 班に別れて動き出しました。揺れでガスメーターが安全のために止まり、安全確認とメータ復帰でてんてこまいでしたが、翌日の昼までにはどの家庭もガスが使えるようになりました。さすが、災害に強い LP ガスでした。電気は何度も停電をし１週間も使えなっかた家庭も多かったようです。

今、ガス器具はいろいろなところに安全装置が付いておりますので安全です。電気は炎も見えず、においもしない、使い方を間違えると怖いものです。やはり、LP ガスが一番です。

私はガス屋のまわし者ですが、選ぶのはお客様なのでくれぐれも誤解のないように。

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

★ハイライトよねやま 160 号★　2013 年 7 月 12 日発行

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

：：今月のトピックス：：

1．　2012-13 年度寄付金結果―ご協力に感謝します―
2．　7 月 1 日より岩邉新事務局長が就任
3．　第 2 回地区米山奨学委員長セミナーを開催
4．　中国学友会総会　出席報告

≪今月のピックアップ記事≫

1．　2012-13 年度寄付金結果―ご協力に感謝します―

2012-13 年度の寄付金は約 13 億 2,500 万円となりました。前年度と比べて 2.4%増(普通寄付金 1.2%増特別寄付金 2.9%増)、約 3,000 万円の増加です。

個人平均寄付額も 15,046 円と 4 年ぶりに 15,000 を超え、34 地区中 21 地区が前年度の個人平均寄付額を上回りました。また、特別寄付をしてくださる会員の割合も年々増加しており、2006 年度の調査開始以降、初めて 40%を超えました。当事業へのみなさまのご理解に、事務局一同、心より感謝申し上げます。新年度も引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 7 月 17 日欠席(敬称略)
儀勝彦・遠藤清和・大森貞男・小野安正・吉光寺政雄・鈴木久雄・須藤舜生・髙木慶一・深町彰
藤村聡

○ 前回 7 月 10 日分メークアップ(敬称略)
遠藤清和・須藤舜生・相馬征志・深町彰

次回例会　平成 25 年 7 月 24 日　　職業奉仕・社会奉仕・米山記念奨学会・財団

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９５回　平山年度　第４回　会報　２０１３-７-２４　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長



2014～15年、大田原ロータリークラブより長島ガバナーが誕生します。2年がかりの準備に取り組んでおります。

黒磯ロータリークラブの次年度、澤田エレクトもそろそろ動き出しました。

第一グループ、第一回会長、幹事会の会議が7月30日行われます。片柳博ガバナー補佐も張り切っております。

平山年度もようやく4回目、先が見えません。私も、幹事もここが踏ん張りどころ、頑張りたいと思います。

さて、去る、7月18日(木)第12回織姫会の総会があり、黒磯ロータリークラブ会長として招待を受け出席させて頂きました。神話の国、夜空に輝く天の川のほとり、天帝の娘たち、織姫様の前でご挨拶が出来ますこと、大変光栄で緊張いたしました。今年度は、秋間前会長の奥様､秋間しげ子様が会長に就任されました。

織姫様は黒磯ロータリークラブ会員さんの奥様方と言う事で、ロータリーの行事にも参加していただき、またお手伝いもしていただいている事にお礼を述べさせていただきながら、平山年度の方針と現況をご説明させて頂きました。

特に、台湾より一年交換学生が8月に来日する事、インターアクト等、次代を担う青少年の健全な育成のためのご協力をお願いいたしました。

今年度は大判ぶる舞は出来ませんが、織姫会にご支援することをお約束致しました。楽しい時間を過ごすことが出来ました。ところが、うちの怖～い織姫に『声が小さく、挨拶が下手』と言われてしまい、確かに上がってしまいましたので、言いたいことをうまく伝えられず、口惜しさが残りました。

では、どんな場面でも「上がらず話す」には、どうすれば良いのか。本を読みましたら、こんな事が書いてありました。「あがり」とは、わかりやすく言えば、「感情が高ぶって平常の落ち着きを失ってしまった状態」のことです。なぜそうなってしまうのかと言えば、多かれ少なかれ、人前で話すことに対する「恐怖心」があるからです。

・「未知の物、不慣れなもの」に対する恐怖
・「失敗」に対する恐怖
・「恥をかきたくない」という「自尊心を傷つけられる」ことに対する恐怖
・「人より劣っているのではないか」という劣等意識に対する恐怖
・大勢の人から向けられる「視線に対する恐怖」

おおむねそうしたところだと思います。つまり、人間の本能が恐怖心を引き起こすのです。普段は穏やかな気持ちで話せるのに、人前に立つと急に上がってしまうのは、こうした恐怖心から逃れるための、いわば

出席報告　出席委員会　　福田逸男君　（出席規定の適用免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 7月24日	39(1)	30(0)人	9(1)人	76.9%	*	
前　回7月17日	39(1)	29(1)人	10(0)人	74.4%	10人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

肉体的、精神的な防衛反応と言えます。

初めて一人で営業に出かけ、顧客に商品の説明をする。新商品の説明会で初めて、プレゼンを任される。後輩の結婚式で初めて司会を務める等などいくら普段仕事で成果を出している人でも、初めて経験することに対しては多かれ少なかれ恐怖を感じるものです。そして、その不安や恐怖心が大きければ大きいほど、それらのマイナスの感情から逃れたいという防衛本能が働き、上がってしまうのです。

大勢の前で話をしている人の姿を見ると、実に堂々と立派に見えるものですが、実は、落ち着いて上手に話しているように見えるだけで、内心は皆同じで、変わらない、あがりの連続なのです。ただ違うのは、常に話の材料を集めている。集めた材料で話を組み立てている。本番をイメージして練習をしている。準備して、しっかり練習してどんな場面でも自信を持って話す。これが基本だと教えて頂きました。

道歌にも、「器用さと　稽古と好きの　その内で　好きこそものの　上手なりけれ」とあります。

物事が上達するには、「器用であること」「稽古すること」「好きである」この三つが必要です。なかでも「好きであること」はもっとも重要なのです。好きであれば、努力は苦痛ではない、楽しみながらやっているうちに、いつの間にか腕は上がっているものです。私も、早くロータリーで話をすることを好きにならなくてはなりませんね～。

幹事報告　石山桂子幹事

○ 第１グループガバナー補佐事務所より、会長・幹事会開催の案内が届いております。平山会長と私と出席致します。

○ 第８回那須塩原ハーフマラソン実行委員会より、第２回実行委員会の資料が届いております。荒井昌一社会奉仕委員長にお渡し致しました。

○ 那須塩原市社会福祉協議会より、ボランティアセンター情報誌が届いております。皆様のレターボックスに入れましたのでご覧ください。

○ 大田原ロータリークラブより週報が届いております。回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　齋藤武久会報委員長

会報委員会からお詫びです。2953号ですが、会長挨拶の後半部分が手違いにより、すっ飛んでしまいました。皆様にご迷惑をおかけしました。改訂版を発行しましたので差し替えを御願いします。

○　髙木慶一君

母の7月20日の通夜そして21日の告別式に黒磯ロータリークラブより生花や花輪、ご香料を頂戴いたしありがとうございました。また会員の皆様にお手伝いを戴き滞り無く終了する事ができました。これも一重に皆様のお陰と思いお礼申し上げます。ありがとうございました。

卓話　新年度計画

○　職業奉仕委員会　髙木茂委員長



本年度の職業奉仕委員会のメンバーは委員長高木茂、副委員長深町彰、委員檜山達郎の３名で運営してまいります。

職業奉仕の定義は自分の職業を通じて他人を助けることです。自分の職業を大切にして、職業奉仕の在り方を見つめロータリー会員皆様の意識の向上を目指します。

1. 新入会員に「四つのテスト」を配布します。
2. 会員手帳の作成と配布をする。
3. 職場訪問の実施をする。予定としてカゴメ那須工場。
4. その他、職業奉仕として必要と思われることに対応する。

以上が今年度の計画です。

○　社会奉仕委員会　礒勝彦副委員長



荒井委員長が欠席のため、私からご説明させて頂きます。委員会の構成は、委員長：荒井昌一、副委員長：礒勝彦、委員：相馬征志となっております。

【本年度の計画】
地域社会への奉仕活動を重点に、平山会長の本年度の運営方針に従って以下の活動を進めていきます。
1.「ふれあい広場」への参加
2.“ 那須野巻狩まつり ” への参加
3. 各種ボランティア団体への支援金の贈呈
那須山岳救助隊、ボーイスカウト、ガールスカウト、保護司会、あったかハート号の会
4. 足尾植樹への参加
5. 那珂川水質調査
6. その他

○ ロータリー米山記念奨学会委員会　黒澤洋一委員長



委員会構成：委員長　黒澤洋一、副委員長　高根沢邦夫、委員　鳥居輝一　3名。
【本年度の計画】
平山会長方針　米山記念奨学会　地区目標　18,000円の達成に基づき、
1. 寄付目標　1人18,000円達成に努めます。内訳は、普通寄付は会費より5,000円。特別寄付は、13,000円を各会員にお願い致します。尚、普通寄付は、39名分7月17日に送金済です。
2. 米山功労者・準米山功労者の増員を目指します。
3. 10月米山月間に米山記念奨学事業豆辞典を配布します。
4. 10月米山月間に事業理解の為に、週報へ奨学会情報を掲載します。

会報2594号に“ ロータリー米山記念奨学会ニュース ” を掲載しました。ご覧になって下さい。奨学事業を御理解いただければ幸いです。

○ ロータリー財団委員会　村山茂委員長

2013-14平山年度ロータリー財団委員会の事業計画を説明いたします。副委員長に半田久一さん、委員に月江寛智さんの3名で活動してまいります。具体的には、以下の4点ですが、本日は、ロータリー財団の仕組みについて少しご案内いたします。
1. 年次寄付　1人当たり150ドル寄付。



今年度も「毎年あなたも100ドルを」のクラブ100%達成を目指します。
2. 恒久基金（ベネファクター）1名の増員
3. クラブが行う奉仕活動に対し、補助事業の活用等を通して支援協力してまいります。
4. 社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、新世代委員会他関係委員会と連携して、2014-15年度に向けての新地区補助事業の企画立案並びにグローバル補助事業の検討を行います。

【組織】
国際ロータリー（RI）とロータリー財団（TRF）は、別組織です。これを先ず確認してください。その上で、TRFの構成は、RI（唯一の法人）＋クラブ会員で組織されています。そして、我々が毎年寄付する「毎年あなたも100ドルを」及びクラブ寄付金等で基金を構成・運用し、補助金というかたちで奉仕活動を経済的に支援する組織です。
【何故寄付が必要か】
寄付は、私たちの奉仕プロジェクトの大切な原資であり、ロータリーを支える経済的な土台です。従って、寄付をすることは世界中の奉仕活動に参加していることと同義です。
【寄付の種類】
・年次基金：個人寄付とクラブ寄付があります。3年後の活動資金に充てられます。ポールハリスフェローの認証にカウントされます。
・恒久基金：明日のプログラムを確保します。ベネファクター認証
・使途指定基金：目的を指定した寄付です。例えば、ポリオ・プラスなど
・大口寄付：財団への寄付累計が10,000ドルに達する寄付者
【補助金】
年次基金を元に、補助金が拠出されます。
・地区補助金：地域社会または、海外、単独、短期、人道的、教育的、文化的、環境
・グローバル補助金：実施国と援助国のロータリークラブ、6重点分野、持続可能、測定可能

※6重点分野：平和と紛争予防 / 紛争解決、疾病予防と解決、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展をいいます。以上、ロータリー財団について簡単にご案内いたしましたが、このほかにも国際ロータリーに対する人頭分担金（53ドル/年）、米山記念奨学会への寄付（合計18,000円/人）、地区資金（8,000円/人）など（詳細は現況報告書「送金カレンダー」参照）があります。

細かいお話しで恐縮ですが、こうした様々な形で奉仕活動あるいは組織運営に対する資金の拠出がなされていることをあらためてご確認いただき、本年度のロータリー財団委員会の活動に対するご理解とご協力をお願い申し上げ事業計画の説明といたします。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

小野　安正君　4泊5日かけて東北一周ツーリングをしてきました。

大森　貞男君　夏の石垣島に行って参りました。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

○　小野安正君



3月11日震災時は、事務所に居ました。最初はすぐおさまっていくのかと思っていましたが、段々強くなり、水槽の水がばちゃん、ばちゃんと波打ってわきからあふれました。中に居ては危ないと思って外に出ました。すると事務所の壁が波うっているのが分かりました。壁が剥れ落ちると思った程です。

停電がおこり、懐中電灯を買いに出ると、どこもかしこも売切れで買えませんでした。次の日は、従業員がガソリンスタンドが長い列になっていて、いつ戻れるか分からないという電話が殺到しました。

その翌日あたりから、「ガソリンが無いので仕事休みます」との連絡の電話がたくさん入りました。

取引先会社についてはさほど影響は出ませんでしたが、取引先の親会社は、天井が落ちたり、器械がずれたり、その補修に約50日ほどかかりましたので、現場によっては休業になった所もあります。

原子炉が水素爆発したときは、家内と娘達と孫が長野に3日ほど非難しました。

工場の仕事は計画停電により、仕事が進まず、休みの日も続きました。正常に戻るには、震災発生から約6カ月ほどかかりました。

●　7月24日欠席(敬称略)

秋葉秀樹・荒井昌一・植竹一裕・澤田吉夫・月江寛智・深町彰・室井次男・須藤舜生・藤村聡

○　前回7月17日分メークアップ(敬称略)

礒勝彦・遠藤清和・大森貞男・小野安正
吉光寺政雄・鈴木久雄・須藤舜生・高木慶一
深町彰・藤村聡

次回例会　　平成２５年７月３１日　　新年度計画説明

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９６回　平山年度　第５回　会報　２０１３-０７-３１　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長



早いもので、明日から８月夏祭り、花火大会、お盆、家族旅行といろいろな計画を立て、うきうきしている事と思っております。

平山年度は、８月21日の飯村慎一ガバナー公式訪問を控えており、その準備に入り、重要な時期となっております。8月7日は、公式訪問２週間前と言う事で片柳洋ガバナー補佐が来訪し打ち合わせを行います。

夜間例会クラブ協議会で、公式訪問を想定し、練習を兼ねて新年度の計画説明を行っていただきます。協議会時間は１時間と決めてあり、五大奉仕委員会と米山記念奨学会の順で発表し、クラブ奉仕委員会は、和気委員長に全体をまとめてお話をしていただきます。もし時間がある時は、特に重要な委員会、会員増強、財団、その他ご指名致しますので宜しくお願い致します。詳しい事は、本日の理事会で決めて後日発表致します。

8月はその他、インターアクト年次大会、ふれあい広場、一年交換学生が来日と重要な行事が控えております。一つ一つ慎重に対処して行きたいと思っております。

今日31日は黒磯神社の「茅の輪くぐり」と「天王祭」が行われます。茅輪神事（ちのわしんじ）とも言われ、この輪をくぐり超えて、罪やけがれを取り除き心身から清らかになるようお祈りするものです。今夜は、どうぞ黒磯神社にお参りください。

ところで、「釜の蓋まんじゅう」ってご存知でしょうが、我が家では８月１日は必ず「炭酸饅頭」を食べます。釜の蓋朔日（かまのふたついたち）と呼び、地獄の釜の蓋が開く日です。旧歴８月１日から、お盆が始まり、地獄に行った精霊も帰ってきます。釜の蓋が開いたことを喜び、炭酸饅頭を作ってお供えします。

又、我が家の菩提寺、高福寺では、8月1日施餓鬼法要が行われます。

「飢餓を施す(ほどこす)」とも読み、死後に特に飢餓道に陥った衆正のために、食べ物をお布施しその霊を供養するものです。釜の蓋、炭酸饅頭などと同じ考えです。飢餓道に陥らぬよう十善戒絵解き図があります。十善戒とは古くから仏教の中で説かれてきた教えです。

私たちが悪いことに染まらず、善いことを心がけるよう仏様が示された実践です。仏教の「戒」とは「良い習慣を身に着ける」と言う意味であり、十善戒を次のように解釈して日々心がけていきましょう。

【十善戒】
不殺生（ふせっしょう）・・・・むやみに生き物を傷つけない
不偸盗（ふちゅうとう）・・・・ものを盗まない
不邪淫（ふじゃいん）・・・・男女の道を乱さない
不妄語（ふもうご）・・・・うそをつかない
不綺語（ふきご）・・・・無意味なおしゃべりをしない
不悪口（ふあっく）・・・・乱暴な言葉を使わない
不両舌（ふりょうぜつ）・・・・筋の通らないことを言わない
不慳貪（ふけんどん）・・・・欲深いことをしない
不瞋恚（ふしんに）・・・・耐え忍んでおこらない
不邪見（ふじゃけん）・・・・まちがった考え方をしない

これらは、私たちの心を清め仏様の世界へ導く教え

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 7月31日	39(1)	36(1)人	3(0)人	92.3%	*	
前　回7月24日	39(1)	30(0)人	9(1)人	76.9%	9人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

でもあります。
高福寺は那須町高久本郷にあります。歌碑に「名もたかく　那須連峰を仰ぎ観る　杉の木立に　こうふくの寺」とあります。このお寺の檀徒総代代表（おおせわにん）は高木慶一さんです。
私は、神仏混合どちらも大切にしております。しかし神も仏もなかなか私の願い事を聞いてはくれないものです。

幹事報告　石山桂子幹事

○　ロータリーの友事務所より、8月ロータリーの友が届いております。鈴木久雄雑誌委員長にお渡し致しました。
○　ガバナー事務所より、3点ご案内が届いております。
1. 第12回・日韓親善会議ご参加のお願い
日時：2013年10月19日(土)・10月20日(日)
会場：グランドハイアットソウル
2. ロータリー財団・恒久基金　大口寄付用説明書
3. ロータリーカード入会申込書
以上、併せて3点回覧致しますので、ご覧ください。
○　第1回会長・幹事会が開催されました。IMの開催日が2014年2月2日(日)に決まりましたのでご報告申し上げます。
○　本日、例会終了後・理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さいます様お願い申し上げます。
本日は、以上です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　髙木慶一新世代委員長

8月3日（土）第17回インターアクト年次大会が宇都宮の文星芸大大講堂で開催されます。
インターアクター8名、眞渕千果顧問、平山博会長、石山桂子幹事、鳥居輝一地区委員、新世代委員長高木慶一計13名で行ってきます。石山駐車場8時出発です。
8月4日（日）一年交換学生受け入れクラブ研修会が宇都宮グランドホテルで開催されます。平山博会長、石山桂子幹事、相馬征志カウンセラー、澤田吉夫ホストファミリー、担当委員会新世代委員長高木慶一と計5名で参加してきます。8時石山駐車場出発です。連日ご苦労お掛けしますが、宜しくお願いします。
黒磯ロータリークラブから毎年支援しています、ボーイスカウト那須塩原第1団のリーダー、隊員計7名が、山口県きらら浜で開催されます第16回日本ジャンボリーに昨日7月30日午後2時半に出発しました。
車中泊を入れて7月30日から8月9日までの10泊11日と言う長い派遣です。元気で無事帰って来る事をお祈りしています。

○　荒井昌一社会奉仕委員長

今年も第33回ふれあい広場が8月25日(日)に開催されます。黒磯ロータリークラブでも例年の通り売店を出店致しますので、皆様の参加をお願い致します。
24日(土)は会場の設営、25日(日)は当日本番、26日(月)は後片付けとなっております。本年、社会奉仕委員会はメンバーが3名ですので、皆様方のご協力を宜しくお願い致します。詳細は後ほどメールを送りますので宜しくお願いします。
尚当日抽選会が行われますが、皆様の所で不要になった景品となるような物がありましたら、ご提供下さるようお願い致します。

卓話　新年度事業計画報告

○　クラブ奉仕委員会和気勝利副会長

それでは、クラブ奉仕委員会の報告を行います。10日の例会でスマイルボックス委員会まで終わりました。今週は会報委員会からになります。齋藤委員長宜しくお願いします。

○　齋藤武久会報委員長



会報委員会は委員長に齋藤が、副委員長に田中さん、委員に村山さん、髙木慶一さん、新井さんの5名で構成されています。齋藤年度に始まった会報のデジタル配信も11年目を迎えました。今年度もデジタル配信を継続致します。事業計画は：
1. 会報のデジタル配信を継続する。
2. 編集部の時間的負担を出来るだけ少なくするために、会員にお願いすることは・・
・例会で発表した会員は、木曜午前中までにCCメールで上記5名の委員宛に原稿を送付する。
・それが困難な会員は、例会当日に手書きの原稿を提出する。
・外来卓話の場合は、担当委員会の責任で原稿を入手する。出来れば、デジタルの原稿をお願いする。
3. 会報の印刷は、会員各自で行っていただく。会報保存用のファイルを作成し配布する。
4. 年度が終わった段階で、配信した会報のpdfファイルをDVDに焼いて配布する。これには、写真集も付録として付けることとする。
5. ページメーカーに変わる経済的な編集ソフトの研究を行う。

以上の様になっておりますが、特に発表のあった会

員にお願いです。スムーズな編集のために原稿は出来るだけデジタル原稿として委員全員にCCメールで送って下さい。今までは、木曜夜を締切としましたが、土曜に配信するためには、木曜正午を締切としたいと思います。よろしくお願いします。

○　秋間忍クラブ史料委員長



平山年度のクラブ史料委員長を務めさせていただく秋間　忍です。副委員長は吉光寺政雄君で2人だけの委員会です。それでは今年度の事業計画を説明させていただきます。先ず、前年度のクラブ史料委員会から引き継がれた資料に秋間年度の資料を加えて、現在どのような資料がクラブ史料として保管されているを確認します。1年分の会報をCD-ROMに焼いたものがクラブ史料としても大変有効なので、このようなドキュメントの電子化を推進します。さらに、電子化されたものについてはクラウド上にも保存し、万一、電子媒体を消失してしまった場合にも重要なクラブ史料が確実に残るようにします。詳しくは、平山年度の現況報告書をご覧ください。

○　鈴木久雄雑誌委員長



平山年度、雑誌委員会委員長の鈴木です、副委員長に半田久一パストガバナーの２名です。

1．今年も昨年と同じように市内の公共施設にロータリークラブの活動を理解して頂くために、「ロータリーの友」の雑誌を配布したいと思います。配布先は、黒磯高校、黒磯南高校、黒磯図書館、ふれあいセンターなど。

2．身近なロータリ活動そのものを「ロータリーの友」へ投稿して頂きたいと思います。
秋間年度　なす温泉ドリームバスツアー招待事業などいかがでしょう。

3　新入会員に少しでもロータリーを理解して頂くために「ロータリーの友」「ガバナー月信」の提供をしたいと思います。宜しくお願いします。

○　福田逸男ロータリー情報委員長

ロータリー情報委員会は、委員長に私福田と、月江寛智さん、荒井昌一さんで構成されています。

本年度の計画は：



1．　会員にロータリー会員の特典、責任について知らせ、理解してもらう。また、ロータリーの歴史、綱領、規模、活動状況を知らせ、ロータリーの方向について資料を提供する。

2．　特に新入会員には、戸惑いの無いよう、入会後速やかに家庭集会を開く。

3．　各委員会と協力し、ロータリー情報を伝える。クラブ定款細則の変更がある場合は速やかに伝える。

○　檜山達郎会員増強委員長



平山年度の会員増強委員会を担当致すことになりました。委員に佐藤博会員と私、檜山達郎です。毎年この委員会は計画通りに成果が上がりにくいのではと感じるところであります。

そのような経緯をお察ししての事か平山年度は、黒磯ロータリークラブの本年度の方針と計画の第一に会員増強と退会防止を挙げられました。会長の気持ちと致しましては楽しいクラブづくりに専念し、特に、女性の入会を歓迎したいと言っております。その目的達成には、お一人お一人が一人でも多くの方にロータリーについて理解を求めること。そして、更なるステップと致しまして、会員獲得に繋げることに努める事であります。

クラブの活性化には、老、壮、青のバランスを考える事も重要な課題になると思います。更には、毎年5～10%の退会者があるといわれています。その現実を理解する事もだいじなことであります。そして、私たちが目的としている楽しいクラブ。そして、奉仕の遂行には、是非とも一人でも多くの会員の増強に努めようではありませんか。どうぞ、平山年度よろしくご協力のほどお願いいたします。

○　遠藤清和会員選考 / 職業分類委員長



会員選考。職業分類委員会の委員長を仰せつかった遠藤です。副委員長に礒さん、委員に室井さんの3名で構成されています。本年度の計画は：

1．　会員選考については、新会員候補者、元会員の方に関しては全般的資格条件を調査し、理事会に報告致します。

2. 職業分類については、毎年地域社会に根ざした職業分類を行い、分類表を作成致します。

○ 和気勝利副会長

以上で、クラブ奉仕関係の事業計画発表を終わります。お疲れ様でした。

☺ ニコニコボックス 大森貞男君

植竹 一裕君 先週土曜日、福島広報/IT委員長と和気副会長に誕生日を祝って戴きました。

檜山 達郎君 会員増強よろしくご協力ください。御願いいたします。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

時庭稔君（1951年8月28日 生）



私はあの時、当校の応接室で銀行の方と話をしていました。

急に校舎が揺れ始め、最初はすぐに止まるであろうと思っていましたが、だんだん揺れが強く、そして大きくなってきたので、すぐに応接室から出て職員に避難誘導の指示を出しました。

校舎の外へ出ると電柱や電線は今まで見たことがない動きをし、校舎の窓ガラスが波のように揺れていました。私自身も立っていることがやっとでしたので「窓ガラスは全て割れるだろう。もしかすると校舎まで・・・」と頭を過りました。幸いにもガラスは1枚も割れず、時計などが落下し破損した程度の被害でした。

しかし、その後の計画停電により、停電中の路上教習・各検定・講習などが全て中止になり、お客様に多大な迷惑を掛けてしまいました。高速教習などは通行止めの間、シミュレーターという特殊機器で行えば修得できるという法律がありますので、当校は通行止めが解除されるまでその機器で行いました。もちろん近隣の教習所で機器を持っていない校所にも貸し出しを行い、ライバルの垣根を超えて共に協力したことを覚えています。

皆さんも大変不安になったガソリンですが、当校では前日の3月10日に自社タンクに補充したばかりであったので、不安ではありましたが流通するまでは何とかなりました。

当時、お客様のほとんどは3月中に卒業するはずでしたが、計画停電により卒業日が4月に、また大学生に関しましては夏休みにもう一度来ていただいたことも、申し訳なかった思い出です。

ガバナー補佐 来訪夜間例会のご案内

ご案内の通り、8月第1例会は片柳洋ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会、懇親会となります。

会員の皆さまにご出席頂きますようお願い申し上げます。

記

日 時：8月7日 水曜日
時 間：午後6時 点鐘
議 題：委員会事業方針について
懇親会：午後7時より

● 7月31日欠席(敬称略)
須藤舜生・深町彰・藤村聡

○ 前回7月24日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・荒井昌一・植竹一裕・澤田吉夫
月江寛智・深町彰・室井次男・須藤舜生
藤村聡

次回例会 平成25年8月7日 ガバナー補佐訪問 担当会長 クラブ協議会

近隣クラブ例会日

◎火曜日 西那須野／割烹いとう 0287-36-0028
◎水曜日 大田原中央／ニュー勝田屋 0287-23-4165
◎水曜日 塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日 大田原／ホテル龍城苑 0287-24-2525
◎木曜日 那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日 黒羽／ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９７回　平山年度　第６回　会報　２０１３-８-７　司会　瀬尾紀夫君

お客様

○　RI2550 地区第１グループガバナー補佐片柳　洋様
○　ガバナー補佐事務局長　益子　浩様

会長挨拶　平山博会長

本日は国際ロータリー第2550地区、第一グループ片柳洋ガバナー補佐をお迎えしての例会、そしてクラブ協議会でございます。黒磯ロータリークラブ会員一同心より歓迎申し上げます。

第一グループ内での公式訪問は、8月21日黒磯ロータリークラブが始まりで11月15日黒羽ロータリークラブで終了となります。片柳ガバナー補佐には今日からが大切な時期の始まりです。健康に留意してご活躍お祈り申し上げます。

さて、7月の例会は新年度の計画説明がSAAから始まり、クラブ奉仕委員会等の五大奉仕委員会、その他の委員会の事業計画の発表となりました。黒磯ロータリークラブのスムーズな運営と、平山年度の目標をご理解いただき楽しい事業を目指し、積極的に計画を立てて頂きました。大変ありがたく、お礼申し上げます。計画いただきました事業を推進、楽しいロータリークラブを推し進めてまいりたいと考えております。

そして本日 2013～2014 年度、平山年度の現況報告書を配布することが出来ました。皆様のご協力を頂きながら、幹事の石山桂子さんには、苦労に苦労を重ねて頂き、近年になく女性らしく、きめ細やかな素晴らしい報告書が完成いたしました。大変ありがたく感謝申し上げます。

それから、8月3日（土）第2550地区の、第17回インターアクト年次大会が文星芸術大学で開催されました。大会テーマ『D.C.（ダ・カーポ）』ダ・カーポの意味は、イタリア語で『初めから』の意味で、音楽の楽譜の曲の始めに戻るという演奏記号です。これは、原点に立ち返り、ボランティア活動の意義、意味を見つめなおすと言うすばらしい年次大会でした。各高校の発表は、我々のロータリークラブにも劣らぬ立派な社会奉仕活動が行われており見習う事の多い一日でした。

黒磯高校インターアクトクラブ8名、副顧問の米沢あずさ先生、当クラブより鳥居輝一インターアクト地区委員、高木慶一新世代委員長に出席いただきました。有難うございました。

それから、今日はロータリーに関してもう一つ報告があります。8月4日（日）2550地区、青少年交換学生受け入れクラブの研修会がありました。一年交換学生を受け入れるために、いろいろな確認事項や制約があり、これから先、カウンセラーはじめホストファミリーの皆様には大変なご苦労をお掛けします事、大変申し訳なく思っております。

交換学生、愛称「ニコル」は8月25日来日、26年6月10日帰国と決定しております。黒磯ロータリークラブと致しましても、家族の一員として接して頂き、すばらしい留学生活が出来、ひいては国際交流が出来ます様、ご支援ご協力をお願いいたします。

8月6日にも黒磯ロータリークラブのホストファミリーを対象に、一年交換学生受け入れについてのオリエンテーションが行われました。詳しくは高木慶一新世代奉仕委員長より報告いたします。

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日8月7日	39(2)	30(1)人	8(1)人	81.6%	*	
前　回7月31日	39(1)	36(0)人	3(1)人	92.3%	3人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

幹事報告　石山桂子幹事

【第 6 回理事役員会報告】

去る、7 月 31 日(水)に開催されました理事役員会にて審議された事項について報告致します。

○ 9 月のプログラムの件　承認されました。
○ 周年積立金、昨年より引き続き 1 人 1 万円で承認されました。
○ 財団寄付金 1 人 150＄ですが、会員負担金 100＄と、クラブからの支出1人当たり50＄で承認されました。
○ 米山記念特別寄付金 1 人18,000円ですが、会員負担金13,000円、クラブからの支出1人当たり5,000円で承認されました。
○ 寄付金として・栃木いのちの電話に 1 万円
あったかハート号の会に 8 万円承認されました。
○ 第 1 グループ夏季交換学生受け入れの決算書を頂きました。

人頭分担金として 1 人 1,500 円ですが、会より支出する事を承認頂きました。明細書を回覧致しますのでご覧下さい。

【幹事報告】

○ ガバナー事務所より 2013-14 年度地区大会のご案内を頂いております。レターボックスに投函いたしました。
○ 平山年度の現況報告書が出来ました。レターボックスに投函しましたのでご確認ください。尚、1冊のみとなっております。

誤字・脱字等ございましたら幹事までお申し付けください。修正してから、2冊目をお渡しする予定でおります。本日は、以上でございます。

委員会報告　和気勝利副会長

本日は特にありません。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

益子　　浩様　本日は宜しくお願いします。
平山　　博君　片柳ガバナー補佐を歓迎して。
石山　桂子君　片柳ガバナー補佐を歓迎して。
小野　安正君　バイク 7 台で富山県射水(いみず)市に一泊、能登半島 から長野を経由して帰ってきました。
深町　　彰君　平山年度を祝して。長い間の欠席お詫びします。
時庭　　稔君　誕生月です。ありがとうございました。



誕生祝い

平山博君
瀬尾紀夫君
時庭稔君
小野安正君

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

大森貞男君（1938 年 9 月 5 日 生）

当日は選挙の準備等がありましたので、事務的な仕事をしておりました。

午後 2 時 17 分頃突然大きな揺れが来ました。最初はいつもの地震かなと思っておりましたが、揺れがやみません。事務所の大きなガラス張りの窓が、飴のように曲がっています。今か今かと恐ろしい状況です。余りにも揺れるので、みんな外に出ました所、電柱が今にも倒れてきそうな、道路が巨大なモグラの這うような凄いうねりで、何処に逃げたらよいのか分かりません。右も左も危険な所ばっかりで、途方もなく居りました。建物から出てきたおばさん達が 3 人とも私の体にしがみつき震えておりました。これが本当の男なのかなーと思いました。東南方面の空は本当に真っ黒でした。



気仙沼の海面火災がなぜ起きたのか。一般的には重油は水と混じっては燃えにくいのですが、そこに瓦礫が流れていますので、その瓦礫に火が付いて火災が起きたので大火災になったのだと、その様な実験結果が出ていました。

飯村慎一ガバナー公式訪問の時間割

日　時：平成 25 年 8 月 21 日(水) 11:30 ～ 14:30
時　間：11:30 ～　会長･幹事懇談会
　　12:20 ～　着席
　　12:30 ～　例会開会　点鐘　食事の時間
　　(皆様とご一緒に召し上がります)
　　12:45 ～　例会再開
　　13:25 ～　写真撮影
　　13:30 ～　炉辺会議
　　14:30　閉会点鐘
議　題：五奉仕委員会事業方針について
(服　装：ネクタイまたはループタイを着用して下さい)

RI 第2550 地区第1 グループ片柳洋GA をお迎えしてのクラブ協議会

クラブ協議会

○　開会挨拶　平山博会長

只今より国際ロータリー第2550地区、第一グループガバナー補佐片柳洋様をお迎えして、国際ロータリークラブ2013 年～2014 年度黒磯ロータリークラブ、第一回クラブ協議会を開催いたします。皆様、宜しくお願いたします。

それでは最初に、片柳ガバナー補佐ご挨拶をお願いいたします。

○　片柳洋第一グループガバナー補佐挨拶



皆さん今晩は。本日は事務局の益子とお邪魔しております。どうぞよろしくお願いいたします。

私の年度のテーマは、ただひとつなんです。「談論風発」です。それぞれが思っていることを口に出して相手に伝えましょう。それをしっかり聞いて、それに対して誠意をもって意見を言いましょうということです。本日はそういう意味でも楽しみしておりますので、どうか皆さん、大きな声ではっきりとご自分の意見を言っていただければ、素晴らしい協議会になると思いますので、宜しくお願い致します。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長



会長の方針でもある魅力あるクラブ運営作りを目標に、会員に奉仕するクラブ奉仕とするため11 委員会と協力して、運営してまいります。

ご指導、ご指摘よろしくお願いいたします。

○　片柳洋第一グループガバナー補佐

私は、以前にもちょっと書かせていただきましたが、美学と言いますか、クラブとしての品格と言いますか、黒磯クラブさんは、本当に素晴らしいです。第1グループの7 クラブを、準備期間も含めて3 回お邪魔しておりますが、西那須野クラブとしても今努力していることは、例会におけるメリハリです。楽しいということは、二つありまして、サロン的な楽しみ方もそれはそれでいいと思いますが、一方で、やるべきことはきちんとやる。そういう美しさなんですね。黒磯さんにはそれがあります。

私は、他のクラブに行って、各クラブはこうでしたという報告をするんですが、「黒磯さんてどんなクラブですか？」と聞かれますが、「美しいクラブです。」と答えています。

クラブ奉仕委員会の委員長さん、私どもに何でも言って下さい。私どもは、クラブに奉仕することが仕事です。とにかく何でもやりますので、宜しくお願い致します。

○　髙木茂職業奉仕委員長



本年度の職業奉仕委員会のメンバーは委員長高木茂、副委員長深町彰、委員檜山達郎の3名で運営してまいります。

職業奉仕の定義は自分の職業を通じて他人を助けることです。自分の職業を大切にして、職業奉仕の在り方を見つめ、ロータリー会員皆様の意識の向上を目指します。

1. 新入会員に「四つのテスト」を配布します。
2. 会員手帳の作成と配布をする。
3. 職場訪問の実施をする。予定としてカゴメ那須工場。
4. その他、職業奉仕として必要と思われることに対応する。

以上が今年度の計画です。ご指導宜しくお願いします。

○　片柳洋第一グループガバナー補佐

私のガバナー補佐としてのご挨拶ということで、現況報告書を皆さんひととおりお目通し頂いているということを前提に、一言感想を述べさせていただきます。

RI の戦略、計画の中で一番強調しているのは「ブランディング」、ブランド化なんですね。簡単な話、県北地区、第1グループ内でロータリーを知らない人はいない。しかもそれが非常に高いレベルで、尊敬と憧れをもって皆が知っているという状況を結果的に作りましょうということなんですね。そのために一番のポイントとなるのは何だといったら、「職業」なんですね。それぞれが職業人として最高の評価をいただけるような職業人であるということが必要です。そういう意味で今おっしゃった点は、ポイントを突かれていて非常に素晴らしいと思います。

○　荒井昌一社会奉仕委員長



社会奉仕委員長の荒井と申します。今年度は、地域社会への奉仕活動を重点に、平山会長の本年度の運営方針に従って以下の活動を進めていきます。

1.「ふれあい広場」への参加
2.“那須野巻狩まつり”への参加
3.　各種ボランティア団体への支援金の贈呈　　那須山岳救助隊、ボーイスカウト、ガールスカウト、保護司会、あったかハート号の会
4.　足尾植樹への参加
5.　那珂川水質調査
6.　その他

以上が事業計画ですが、ご指導のほどよろしくお願いします。

○　片柳洋第一グループガバナー補佐

奉仕活動の重点を地域に置くということで、黒磯さんの場合、継続性のある活動をなされておられることは大変素晴らしことだと思います。

8ページのRIの戦略計画の2.と3.に絡みますが、極端な言い方で誤解を招く表現になっていますが、「例会出席よりも奉仕活動の重視」ということがあります。それと「ブランディング」です。これは先程、職業奉仕の中でもふれましたが、同じです。地域社会への奉仕も非常に重要だと言われておりますので、宜しくお願い致します。

○　時庭稔国際奉仕委員長



平山年度の方針に則り、本年度の事業計画を作成しましたので説明させていただきます。

1．　国際大会への参加呼びかけについて

今回は2014年6月1日～4日までの4日間、オーストラリアのシドニーにて国際大会が開催されます。6月2日には、オペラハウスでシドニー音響楽団によるロータリーの為の特別演奏会が開催されますので、参加を希望する方はお申し込みください。

2．　一年交換留学生への協力について

今回の奨学生は、台湾の花蓮県の方です。名前はニコルさん女性の方です。年齢は15歳です。来日は8月25日に成田着予定です。

私も11月12日から2ヵ間、ホストファミリーとして協力させていただきたいと考えています。

3．　地区補助金計画について

「未来の夢計画」への協力、グローバル補助金プロジェクトの計画実施について、ロータリー財団委員会と協力をしたいと思います。

以上が国際奉仕委員会の本年度の事業計画です。宜しくお願い致します。

○　片柳洋第一グループガバナー補佐

有難うございます。その中で特に3のですね、「未来の夢計画」、これは大変重要です。7ページを見ていただきたいんですが、「地区方針」と「地区目標」があります。地区方針の2は、「未来の夢計画の実践」、「財団補助金の積極的活用」とあります。それから地区目標の4には、「地区補助金、グローバル補助金によるプロジェクトの実践」とあります。で、ガバナー補佐の仕事で、ひとつだけ言ってみろといわれたら、これに尽きます。各クラブの補助金申請に関して全面的に、補助金が実施されるよう努力します。後程事務局の方からも、これに絡んで補足をいたしますので、どうかこれをお願いしたいと思っております。黒磯クラブさんは、いいプログラムをたくさん持っておられますので、どうか思い切って請求していただきたいと思います。私もガバナー補佐の責務ですので、全面的に協力させていただきます。

○　髙木慶一新世代奉仕委員長



新世代奉仕委員会委員長の高木慶一です、副委員長に鈴木隆子会員、委員に須藤舜生会員、津久井誠二会員で運営しています。

鈴木隆子会員は昨年の新世代奉仕委員長でしたので、たよりになる副委員長です。これからの時代を担う青少年の健全な育成と国際的視野に立って、国際親善、国際理解のできる青少年を育てる事を目標として活動しています。

1．1年交換学生の受け入れとカウンセリングに努めます。
2．インターアクトクラブの活動の支援に努めます。第17回インターアクトクラブ年次大会に協力します。

これは会長からも報告がありましたが、8月3日文星芸術大で「ダカーポ」のテーマの基開催されました。黒磯高校のインターアクトクラブの諸君は他校の多種に渡る活動報告を聴いて大変参考になったと思います。

毎年4月に開催されます、足尾銅山の緑を取り戻す

植樹活動に、社会奉仕委員会と合同でロータリー会員と共に参加してインターアクターとの交流を図ります。

3．台湾から来る１年交換学生とインターアクトクラブ会員との交流を図る。

黒磯高校インターアクトクラブの磯京子さんが、昨年８月から今年の６月まで台湾に１年交換学生として行っていました。その交換学生として李宜蓁さんが８月25日にやってきます。彼女を通して交流できると思います。

4．その他、目的達成のために随時協力していきます。

社会奉仕委員会で支援しているボーイスカウト那須塩原第1団が、7月30日から8月8日まで山口県の「きらら浜」で開催されています、第16回日本ジャンボリーにリーダー３名スカウト４名計７名が参加しています。これらを支援しています。

さて、1.の交換学生の受け入れですが、台湾花蓮からニコルさんが8月25日17：10にキャセイ航空で成田に着くことが決まりました。

受け入れは担当委員会とホストファミリーで受ければいいと言うことでなく、黒磯クラブ全員で受けることが大切だと思います。そのような考えから、７月17日の例会で新世代奉仕と国際奉仕合同で例会を担当して協力を呼びかけました。そして８月４日地区主催受け入れクラブ研修会が開催され、平山博会長、高木慶一委員長、相馬征志カウンセラー、澤田吉夫第１ホストファミリーで受講しました。この研修を受けて８月6日にクラブ内で新世代奉仕、国際奉仕、カウンセラー、ホストファミリー合同炉会議を持ち、受け入れ準備に入りました。

・第１ホストファミリーに澤田吉夫・セツ子ご夫妻。
・第２ホストファミリーに時庭稔・順子ご夫妻。
・第３ホストファミリーに秋間忍・しげ子ご夫妻。
・第４ホストファミリーに和気勝利・文子ご夫妻。
・第５ホストファミリーに高木慶一・松代の順でホームステーをすることになりました。お受け戴きました方々に心からお礼申し上げます。報告は以上です。

○　片柳洋第一グループガバナー補佐

磯京子さんのお名前を出していただきました。先日、台湾から来た学生さんたちを「3.11」の現場であります、三陸方面の視察に案内いたしました。その時、彼女は通訳として同行され、その時素晴らしいリーダーシップを発揮していただきました。彼女が来てくれたので、学生たちが心から思っていることを話してくれて、それを我々に日本語で通訳してくれました。いや、驚きました！黒磯さんが実施されている青少年支援プログラムの成果が、このように花開いているんだな。

で、7ページを見て頂きたいんですが、地区の方針の中に、「明日を担う人づくり」ということで、新世代のリーダーシップ育成支援とあります。ご案内のように、寄付だけをするとかいうのは、他の団体でも行っている訳です。たくさんあるんです。じゃ、ロータリーは何が他と違うかというと、明確に次世代を担うそのリーダーを発掘して、支援してくれということだと思います。そういう意味でも、各クラブさんにも黒磯クラブさんの青少年支援がいかに素晴らしいかということを伝えていきたいと思いますので、１年間のご活躍をお祈りしております。

○　平山博会長

はい、有難うございます。本来であれば、引続き各委員会の計画の発表をお願いしたいところでありますが、時間の都合上以上で本日は終了させていただきたいと思います。公式訪問の際に、改めまして発表させていただきたいと存じます。

ここからは、講評あるいは質問等の時間とさせていただきますので、宜しくお願いいたします。

○　片柳洋第一グループガバナー補佐

私といたしましては、今までの中で申し上げたいことはほとんど述べさせていただきました。とにかく、私はですね、品格。特に、例会を大切にするということがいかに大切か。黒磯さんの美しいクラブ運営というものは、素晴らしいと思います。それと、この後若干、益子がお話ししますが、情報の共有化。つまり、今日入った会員も、創設会員も、ガバナー経験者も、ロータリーの会員であるということでは、同じ情報を同じタイミングで同じレベルで認識しているということが一番大切だと思っております。私はこれを、この１年で作っていきたい。そうすればですね、結果的に問題なんて起きるわけがないし、仮に起きても解決するんですよ。今の課題と言うのは、特定の重要情報が、結果的に特定の会員で留まっているという時代が長すぎました。これが一番の課題です。そういう意味でも宜しくお願い致します。

○　益子浩ガバナー補佐事務局長

皆さん今晩は。事務局長の益子でございます。今年度片柳ガバナー補佐の方針の中にも載っておりますが、ガバナー補佐の任務とは、RI発信のロータリー情報を共有し、各種の情報を的確に、そして、タイムリーに会員に届けるということをおっしゃっておりますので、私は、各クラブからの疑問点、聞いてみたいこと、それから、クラブ内で話し合って、第１グループ内あるいは2550地区などで教えていただきたいことなどがあ



りましたら、幹事さんを通しまして事務局まで問題提起をしていただければ、ガバナー補佐の方から地区に色々お聞きして、それを出来るだけ早く回答できるように補佐させていただきたいと思っております。地区の役員は判っているが、全会員には届いてないということがたくさんございます。そうしたことについて、ガバナー補佐が地区から得た情報は、出来るだけ早く幹事様を通して皆様にお届けしたいと考えております。

○　平山博会長

はい、有難うございます。片柳ガバナー補佐におかれましては、長時間に渡りご指導いただき誠に有難うございました。進行につきましては不備な点が多々ありましたが修正し、8月21日の飯村慎一ガバナー公式訪問も、このような形で取り進めさせて行きたいと思っております。

片柳ガバナー補佐様、益子事務局様にはガバナー公式訪問が終わりましたら、今度は、ゆっくり黒磯ロータリークラブに来訪して頂けることを願っております。本日は誠にありがとうございました。まだ、少し時間がありますので、何か質問等があればお受けいたします。

○　髙木慶一君

今年度は第1グループのゴルフ大会の企画はありますか。

○　益子浩事務局長

実施する予定になっております。具体的に決まりましたら後日改めてご案内いたします。











クラブ協議会を無事終了し、別室に席を変え片柳ガバナー補佐、益子事務局長を囲み懇親会が開かれた。平山会長の開会の挨拶に引き続き、片柳ガバナー補佐の御挨拶があった。乾杯の発声は和気副会長。

和気藹々の中、情報交換が行われ、有意義な時間を持てた。片柳ガバナー補佐、益子事務局長にはお忙しい中遅くまでお付き合い頂き感謝申し上げます。

〆は恒例の半田PGによる一本締めで会を終了した。

● 8月7日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・新井聖一・遠藤清和・田中徹・橋本佳明
藤村聡・福田逸男・須藤舜生

○ 前回7月31日分メークアップ(敬称略)
須藤舜生・深町彰・藤村聡

次回例会　　平成25年　8月21日　　ガバナー公式訪問

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９８回　平山年度　第７回　会報　２０１３-８-２１　司会　瀬尾紀夫君

お客様

○　国際ロータリー第２５５０地区ガバナー
飯村慎一様

○　国際ロータリー第２５５０地区会計長
設楽厚夫様

○　宇都宮９０ロータリークラブ
岸　　広様

会長挨拶　平山博会長

本日は、国際ロータリー第2550地区、ガバナー飯村慎一様、初め宇都宮90ロータリークラブの皆様方、ご訪問を戴き誠に有難うございます。黒磯ロータリークラブ会員一同心より歓迎申し上げます。

先ほど、飯村ガバナーをお迎えして、11時30分より会長、幹事、半田パストガバナー、澤田会長エレクトの４人が出席致しまして懇談会を開催致しました。その席で飯村ガバナーとクラブ運営状況について話し合い、意見の交換をさせて頂きました。

昨年度は、地区大会が７月14日に、ガバナー公式訪問は第一グループ全体で10月４日に行われました。元気なクラブを提唱される鈴木パストガバナーは、それはそれなりにすばらしいと思いますが、落ち着いて直接対話ができなかつた事は心残りでもありました。しかし今回は、親しく懇談が出来、貴重なご意見、ご指導を賜ることが出来ました。有難うございました。本日のガバナー公式訪問は、我クラブでは最も重要な年間行事の一つであり、又ガバナーと懇談できる良い機会でもありました。

本年度の国際ロータリー・ロンD・バートンRI会長は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」テーマの下、黒磯ロータリークラブといたしましても、飯村ガバナーの地区方針と目標を十二分に理解し、本年度も引き続きクラブの活性化と会員相互の親睦は勿論の事、ポリオや「未来の夢計画」をはじめ、会員増強、青少年の育成などにも力を注いで行きたいと考えております。

これから飯村ガバナーの卓話を拝聴させていただく訳ですが、それに先立ち飯村ガバナーのプロフィールをご紹介させて頂きます。

経歴：
所　　属　宇都宮90ロータリークラブ
生年月日　1947年７月５日
職業分類　電気工事

学歴：
1974年　米国テキサス大学工学部土木工学科　卒業
1977年　同上理工学部コンピューターサイエンス科　卒業
2009年　早稲田大学大学院ビジネススクールMBA卒業

職歴：
1983年　日立ソフトウェアエンジニアリング(株)退社
同　年　光陽電気工事(株)入社
1995年　光陽電気工事(株)代表取締社長就任

公職産業団体歴：
2009年　公益社団法人栃木県経済同友会　幹事
2010年　国立大学法人宇都宮大学学長選考会議　議長

職業関連団体歴：
2007年～2013年一般社団法人　栃木県設備業協会会長

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 8月21日	39(2)	32(0)人	7(2)人	86.4%	*	
前　回8月7日	39(2)	30(1)人	8(1)人	81.6%	8人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

2007年～2013年栃木県建設産業団体連合会　副会長
2007年～20013年　建設業労働災害防止協会栃木県支部副支部長等など、いろいろな要職を務められ現在もご活躍をされております。

ロータリー歴：

1990年-1991年　宇都宮90ロータリークラブ創立幹事
1999年-2000年　宇都宮90ロータリークラブ　会長
2005年-2007年　RI第2550地区世界社会奉仕委員会委員
2007年-2009年　同　上　国際奉仕委員会　　委員長
2009年-2010年　同　上　第3グループA　ガバナー補佐
2010年-2012年　同　上　職業奉仕委員会　　委員長
2013年-2014年　同　上　ガバナー

以上でございます。それでは、飯村愼一ガバナー宜しくお願い致します。

幹事報告　石山桂子幹事

【第７回幹事報告】

○　アジア学院創立40周年記念式典のご案内が届いております。会長にお渡し致しました。
○　公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま161号」が届いております。回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　荒井昌一社会奉仕委員会委員長

25日のふれあい広場の参加者の確認を行います。

○　髙木茂職業奉仕委員長

会員手帳が出来ましたのでレターボックスに入れて置きました。

卓話　2550地区ガバナー飯村愼一様



皆さん今日は。只今ご紹介いただきました、本年度ガバナーを仰せつかっております、飯村愼一でございます。所属は宇都宮90ロータリークラブでございます。2人の会員とともに皆様に歓迎していただきまして、本当にうれしく思います。改めて御礼申し上げます。有難うございました。

黒磯ロータリークラブさんには、以前、国際奉仕委員長のときに卓話をさせていただきました。今日で2回目になりますが、何時お邪魔しても雰囲気のいいクラブだなと思って、懐かしく思いました。本日は、よろしくお願いいたします。

さきほど、平山会長からお話がありましたように、この例会に先立ちまして、会長、幹事そして澤田会長エレクトと懇談させていただきました。54年目の歴史ある黒磯ロータリークラブに対しまして、私は何も言うことはございません。立派におやりになっておりまして、社会奉仕活動はいろんなことを展開されておりますし、国際奉仕は、歴史のある黒磯さんでずっと継続されております。その他、米山あるいはロータリー財団への寄付等すべて目標を達成しております。本当に素晴らしいと思います。また、出席率についても、31名の方が100%を達成しています。これも非常に驚いているところです。平均も地区では約84%ですが、それを上回る88%台をキープされており、ロータリーに対する情熱というものを感じられたところでございます。

さて、私ども地区では、皆様から派遣していただいている4名の方がおられますが、改めましてそのご協力に対し御礼申し上げます。諮問委員会では、半田久一PG様より、いつもアドバイスをいただいております。また、今回は、財団がご案内のとおり新しくスタートするということで、そのお金の管理が非常に重要だということで、監査委員会を新しく設けました。その役目は大変重要でありまして、私は、この地区全体を見渡しまして、半田久一PGに直接お願いしましたところ、快くお引き受けいただき本当に有難うございました。これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。

また、ソーシャルメディア委員会では、田中徹さんにおいでいただいております。インターアクト委員会では鳥居輝一さんに出向していただいております。職業奉仕委員会には時庭稔さんにお出でいただいております。本当に有難うございます。本年度、私も頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたしますし、それを黒磯クラブの皆様には、サポートしていただきたいと思います。

さて、公式訪問というのはどういうものかということについて、この手続要覧に記載してありますが、先ず、RI会長ロンD.バートンさんのテーマを説明して浸透させてくださいとあります。また、ロータリーの重要な問題に焦点をあてて関心を持たせてくださいとあります。そして、ロータリアンの意欲を掻き立て、奉仕活動に参加するようよろしくお願いしますということが書いてあります。本日は、先ず、RIのテーマでロン D. バートンさんのお話をさせていただきます。もう、皆さん既に何回もお読みになっているとは思いますが、お話しさせていただきます。その中で、私が重要だと思うテーマにつきましてお話しさせていただき

ます。そして、地区の方針という流れでお話しさせていただきます。

先ず、RIのテーマということで、先程、バナー交換させていただきました。ロン D. バートンさんからいただいたものを、各50クラブにお渡しするのが、私の役目でございます。もともとは、「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」。皆さん英語はお得意でしょうが、この訳が「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」ということです。これは、日本事務局に正式に翻訳される方がおりまして、その方が訳されたものですが、非常にいい訳だと思っております。ENGAGEとは、何々に従事する、参加する、行う、あるいは、婚約するなどありますが、そういうことを頑張ってロータリーをENGAGEしてくださいというメッセージです。アメリカでウエッブスター辞書というのが一番人気があるんですけど、そこでENGAGEと引きますと、7つあるんですね。今のようなものが書いてありまして、最後の７番目に「INTERLOCK WITH」とありまして、これは「かみあう」というような意味です。歯車がうまく回るというようなことで、理科で使うような表現らしいですが、そこでもENGAGEを使っています。歯車がうまくかみ合うようにロータリーをENGAGEしてください。実際、ロータリーのマークは歯車の形ですよね。それを日本語では「ロータリーを実践してください」と訳されたわけで、なかなかいい訳だなと思います。ですから、二つがうまくかみ合わないとうまく回らない。一つはこちらの現況報告書ですね、いろんな委員会報告とか方針とかが記載されている。それをしっかり作る。だけど、それだけでは駄目で、皆様がそこにはいって実践し、回していく。行動力がなくて実践できなければ、いくら立派な計画でもうまくいかない。そういうことで、両者がかみ合ってやっていく。それが「ENGAGE ROTARY」です。

そうしますとどうなるか、結果はどうなるんだろう。「CHANGE LIVES」人生が変わる。ここにはそうは書いてないですね。我々が世界中でロータリー活動を展開する、奉仕活動を行うことによって、恩恵をこうむる人たちがたくさんいる訳です。そういう人たちの人生が変わる。そうなるとどうなるか。いい方向に変わる。豊かな人生がENGAGE ROTARYすることによって生みだされる。それがこの訳です。ロータリーの真髄を突いたような訳じゃないかなと、私は、個人的にはそう思っています。ロンD. バートンさんのメッセージは、そういう意味でも私は大好きであります。１月にサンディエゴで直接お聞きした時も感動いたしました。よし、これを皆様にお伝えして、一緒に1年間やっていこう。日本はもちろん、全世界で我々の手を待っている人がたくさんいる訳です。我々の小さな力が大きな幸せを生む。大きく人生を変える。これがロータリーの真髄であり現実です。それを私は皆様に訴えさせていただいて、頑張ってやっていきましょう。歯車を回しましょう。ロータリーを実践しましょう。ということで、方針を出させていただきました。黒磯ロータリークラブさんは素晴らしい年度計画を立てられておりますので、この１年間、是非、頑張っていただきたいと思います。

それから「重要な問題に焦点をあてて関心を持たせなさい」ということについて、重要な問題とは何か。重要ということは、個人差があるのかなと思います。誰が何を持って重要なのか。あるいは、それがどうやったら解るのか。「ロータリーの友」に書いてあることなのか、それとも原文の英語で書かれてあるものの中にあるのか。私はサンディエゴでの国際協議会に出席させていただいて、また、過去３年間世界大会にも出席させていただきました。今年度はリスボンにもいってまいりました。そういった所で何時も皆さんが話されていることが重要な問題なのかと私なりに考えまして、ちょっとお話しさせていただきます。

ロータリアン全世界124万人の人が注目し、言葉にするのは「ポリオ」です。ポリオ、ポリオ、ポリオこれが最優先の課題でありますというのが、RI会長でも財団の委員長でもそこからスタートする。日本でも、勿論、ポリオについての関心はありますが、それ程ではありません。これは1985年にスタートして、ご案内のとおり、99%も無くなり、あと1%で撲滅できる。もう少しだということで全世界の人が頑張ってる。ところが、この1%をなくすために、今までの努力とお金と同等のものが必要だということで、ここでやめてしまっては元の木阿弥になってしまう。一人でも残っては駄目だということで、皆、真剣に取り組んでいます。日本の中では、そんなの不可能だという方もおりますが、「そうじゃないですよ」ということを世界の人たちが訴えている訳です。例えば、テロが発生している地域でどうやってワクチン接種をやるんだ。今残っているのは、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3か国です。アフガニスタンなんか行けないだろう。ところが、昨年、対立する両派がポリオ接種のため休戦し、接種要員を受け入れ、子供たちに接種した。不可能な地域でできた訳です。パキスタンでは、WHOが接種に行きましたら、殺害されました。その時にWHOの事務局長が来られて、数か月前に要員が殺害されたが、我々は、それにはめげない。彼らの遺志を継いで、さらに頑張るんだということで、ロータリーの皆さん一緒にやりましょう。我々が先にやったんですが、WHOでも凄い意気込みです。そういう状況です。パキスタンもそうですがナイジェリアもある。我々の少しの努力

が、益々必要になってくるのかなと思っております。そういう意味で、財団寄付もクリアされて本当に有難いんですが、さらに、そういうことも認識されて、ご協力いただければと思います。

また、二つ目は、「未来の夢計画」です。これも皆さんご案内の通りです。今まで試験的に行ってきたものを7月1日から正式にスタートした訳でございます。今までは少額で数をたくさんやってきたものを、素晴らしいことではありますが、なかなか残らない。あるいは、井戸をたくさん掘ったんだけれども、今はゴミ捨て場になっている所がたくさんあるというのも実情です。これを何とかしよう。これからは、焦点を絞って、6分野に絞ってそれにお金と人、時間をかけて持続性を担保しながら大きな効果を出そう。ロータリーがそこから引き揚げても、地元の人たちで持続、継続可能なものをやったらどうだ。「お腹が空いてる人にお魚をやれば、一時の飢えは凌げるが、魚の採り方を教えたら永遠に飢えることは無い」。これは全世界どこのセミナーにいっても出されることです。我々は、一時的な援助をして、自己満足で帰ってくるのではなく、その人たちにとって本当に必要で効果的なことに取り組みましょう、ということでスタートした訳でございます。

3番目が会員増強です。120万人のロータリアンがいる訳でございますけれども、入会するのは年間12万人。しかし、同じ数だけ退会する。だから、この10年間は横ばい状況が続いております。是非とも、こういう素晴らしいことをやっているということを多くの人に伝えて、入会していただく。そして、もっともっと大きく、素晴らしい奉仕団体にしようというのが会員増強でございます。

4番目が公共イメージの向上ということです。たくさんいろんなことをやっておりますが、あまり知られていないのが現状です。これをもっと地域の人、世界の人に知っていただいて、ロータリーの素晴らしさの理解を促し、どんどん大きくし、恵まれる人の数を増やすことによって公共イメージの向上に繋げるということであります。ロータリーには理念がございます。ロータリーの目的、使命（ミッション）、ヴィジョン、中核的価値観。この四つがロータリーの理念だと思っております。この中にヴィジョンというのがありますが、これはどういうことか。企業活動においては、3年間の中期ヴィジョンあるいは10年間の長期ヴィジョンとかありますが、我々の目指すところですよね。ロータリーでもそうなんです。あまり語られておりませんが、それは、社会あるいは全世界に奉仕活動を通して貢献するために、「活気ある行動力も伴ったクラブを作りましょう」、ということなんです。

二つ目が、「人から認められる奉仕団体、奉仕組織にしましょう。それを目指しましょう。」そのように書かれているんです。活気あるということの英文をみますと、ダイナミックロータリークラブと書かれています。我々のクラブはダイナミックなものを目指しているんだ。ということで、こちらの方が解りやすいかもしれません。行動力については、アクション　オリエンテドと書かれてますね。行動力に方向づけられたクラブ。ただ来て食事をするだけでなく、ロータリーの歯車を実際に動かしていく、そういうことが書かれている訳です。私も、テーマに「ロータリーの実践」、サブテーマに「行動するロータリアンを目指して」と掲げました。行動しなければ何も解ってこないし、失敗をするかもしれませんが、次なる段階も解ってくる。行動力のあるクラブと人々から認められる組織だと、正に、公共イメージというものを、我々として努力してやっていかなければならない。日本人は陰徳の美徳があるんですよという、我々だけいいことをやっているんですよというような振舞いは敬遠する向きもありますが、我々は偽善でやっている訳ではありませんので、我々のちょっとした行動が、倍になって、多くの人や子供たちに悦びをもたらすことによって、我々自身が素晴らしい人生を過ごせることになる。皆さん読んでいただいたと思いますが、ロータリーを実践して、最終的に一番恵まれるのは我々ロータリアンですよということが書いてあります。結局、人のために生きていくことはすばらしいことだな。田中作次さんは、人のためにすることが私の生きる、人生の目的ですとはっきり書いております。そういうことで、公共イメージの向上についても、我々、やっていきたいなと思います。

それを受けまして四つの方針と、その中にサブテーマとして目標を色々と掲げました。それは：

1. 魅力あるクラブづくり
2. 「未来の夢計画」の実践
3. 明日を担う人づくり
4. 職業奉仕理念の実践

2、4が実践で、1、3がつくり。人づくり、クラブづくり。これも実践でございます。つまり、四つの実践というテーマを掲げて、その目標を具体的に書かせていただきました。この中で一つだけ「魅力あるクラブづくり」について、魅力というのは個々に違ってくるのかなと思います。それぞれの特徴がお有りですので、それを活かしてつくっていただきたいと思います。ただひとつ言えることは、魅力がなくなった時点で会員はやめていく。それは、何処のクラブでもあります。ですから、それぞれのクラブの中でどういう魅力があるのかということを考えて、やっていただければと思います。

退会者防止ということもここで申し上げております。我々の中で、今年度7月の地区のスタート人数は1,627人でした。昨年度は、1,663人ですので、昨年よりマイナス36人です。36人減っています。入会者以上に退会者が増えているということです。過去1996年が、2,600人いました。1,000人減っている。16年間で年平均しますと、60人も辞めている。ですから、退会防止の努力は是非必要です。

退会には二種類あります。自然退会、寿命、健康問題、会社の事情ともうひとつは、自由意思による退会。クラブに魅力が無く、マンネリしてる。人間関係、派閥、世代間のギャップ等いろんな理由はあるでしょう。それで去っていく方もいらっしゃいます。アメリカにジム　レイシーという方がいらっしゃいまして、若い時に入りましたけれど、自分の居場所がなかった。で、辞められました。だけどそのクラブは退会者に呼びかけて、再入会活動をやって、その方が戻られた。それからは、委員会に所属して委員長をやり、居場所が見つかった訳です。その後ロータリー活動を活発に行い、最終的にはRIの会長にまでいきました。1998-99年度の会長さんです。この栃木県では黒須年度の会長でございます。

そういうことですので、魅力というのはそれぞれ違うかもしれませんが、皆さんでお考えになって、そして、いろんな方の入会を促し、最初の入会者は、3年の間に辞めていく可能性が高いですので、楽しいばかりではなく、本当にロータリーとはどういうものかということを、本当に素晴らしいものなんだということを伝えていただきたいと思います。

田中作次さんは、3年いまして辞めようと思ったそうです。だけどある時職業奉仕の卓話を聞いて、「ああ、これがロータリーなのか」と感銘を受け、それ以来頑張って、あの方もRIの会長にまで登りつめられました。ですから、ロータリーの理念というものをしっかり教えて、それに共鳴することによってはじめて、その人が頑張れる訳です。

ロータリーは108年も続いてまだ潰れていない。新興宗教のように誰かを崇拝してやっているということではありません。こんな多様性のある組織がここまでやってる。これほど素晴らしいものはないな。何故だろう。やはり、この理念に基づいて全世界120万人の会員が頑張ってやってきている。ひとりの人が変なことをやった場合には、弾かれる仕組みになっている。そして、その理念を1年間やってやろうという人がRI会長に選ばれる訳ですね。それで、私は会う人ごとに「ロータリーはどうですか、どうですか」と一声運動をどなたでも掛けております。私が本当にいいと思うことを、いろんな人に知っていただきたい。友達にも経験していただきたい。それが会員増強の基本かなと私は思っております。

残り時間1分となりました。最後に一言、ロータリーの友7月号に、RI会長メッセージがございます。その中に、2013年度は皆さんの潜在能力を引き出す年度にいたしましょうと書いてあります。私どもにはいろんな潜在能力がございます。それを引き出して、この1年間奉仕活動をいたしましょう。引き出すとはどういうことでしょう。教育、エヂュケイション。ラテン語でEDUCOですね、これは引き出すという意味があります。そういう意味で、欧米の教育というのは、引き出すことを基本に行っています。日本は、詰め込む。教える。子供たちにはあらゆる可能性があり、それを引き出しましょうというのが向こうの考え方です。われわれロータリアンも年齢は関係なく、それはある訳です。ましてや、ロータリーのいろんな経験をしている訳で、ちょっと引き出せばどんどん伸びる余地がたくさんある訳です。

まだまだお話しは尽きませんが、後ほど、クラブ協議会の中でもお話しさせていただく機会もあろうかと思いますので、お時間ですので、以上とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



飯村ガバナーを囲み記念写真

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

飯村　慎一2550地区ガバナー　本日は公式訪問では皆様に大変お世話になりますので、よろしく御願いします。
秋間　　忍君　飯村がバナーを歓迎
月江　寛智君　飯村ガバナー訪問を記念して。
和気　勝利君　飯村ガバナー訪問を記念して。
平山　　博君　飯村慎一ガバナーを歓迎いたします。
半田　久一君　飯村慎一ガバナーを歓迎いたします。
石山　桂子君　飯村慎一ガバナーを歓迎いたします。

クラブ協議会

例会終了後、別室で記念撮影を行い、ガバナーをお迎えしてのクラブ協議会が持たれた。

時間が限られていたので、クラブ奉仕委員会から、瀬尾親睦委員長、檜山会員増強委員長、福島広報/IT委員長の3名が、その他の部門からは髙木茂職業奉仕委員長、荒井社会奉仕委員長、髙木慶一新世代奉仕委員長、時庭国際奉仕委員長、村山ロータリー財団委員長が今年度の事業計画の説明を行った。

これに対し飯村ガバナーから懇切丁寧な御講評があった。紙面の都合でそのいくつかをピックアップして掲載する。

1. 黒磯ロータリーのホームページは非常に完成された形なので、今後国際ロータリー第2550地区でもフェイスブックを立ち上げている事からフェイスブックを有効利用する事にも力を入れて欲しい。例えばホームページからそれぞれのフェイスブックに入る事の出来る設定にしては如何でしょうか？

   9月にフェイスブック講習会も有るので、有効に活用して欲しい。

2. 新世代奉仕委員会の重要な所は、次世代を担う若い人達がいかに国祭感覚を養うかだと思います。そして国際理解国際親善に頑張ってもらえるかだと思います。またそこで自分を活かしきって欲しいと思います。

   1年交換学生に付きましては、黒磯ロータリークラブでお引き受け頂き感謝しています。委員長さんが言われたように、担当委員会とホストファミリーだけで対応すれば良いと言う事で無く、まずクラブで受けると言うことが大切だと思います。そのことによって、交換学生とクラブ会員とのコミニュケーションが良くなり交換学生にとっても安心してアットホームな例会を持つことができると思います。

3. 国際奉仕委員会昨年度の国際大会の参加人数は、2550地区は大変少なく、下から数えた方が早かったというショッキングな話しがあった。

   今年度は、2014年6月1日～4日にシドニーで開催される国際大会には是非多数の参加を希望致します。

4. 財団は昨年開催された「放射能後援会・ドリームバスツアー」の様に、様々な事業を対象にしているので、事業内容によって協力できる項目は異なりますし、全額負担は無理ですが、対応する事は可能です。先駆けて新しい提案を出して頂きたいと思いますとのお話の後、昨年度の「東日本大震災遺児孤児支援事業」は地区補助金を使った事業ですかとの問いかけがあった。

   これに対し**秋間直前会長**から次のような説明がありました。地区補助金による事業ではありませんでした。同事業は総額220万円余の規模でしたが、そのうち133万円余が地区からの資金で賄われました。地区内の詳しい事情は分かりませんが、鈴木直前ガバナーのお話から推察して2550地区に集められていた東日本大震災災害見舞金の繰越金を同年度で消化させていただいたものだと承っております。

   このことに関し、**半田PG**が地区に問い合わせ、クラブの資料を検討し、次のような結果を得ました。

「放射能に関する講演会･シンポジウム～子ども達の未来のために」として、地区補助金を活用し、2013年3月9日(土) 黒磯文化会館において、講師に茨城大学名誉教授久保田護先生をお迎えし、講演会とシンポジウムを開きました。総予算は、460,914円で、地区補助金は13万円、330,914円は社会奉仕、SAAの活動費から支出しております。

震災遺児孤児支援事業については、地区の「東日本震災復興支援事業」の一つとして2010～2011年瀬下年度から2012～2013年鈴木年度までの3ヶ年にわたる事業でした。里親招待支援(震災遺児孤児を震災遺児孤児支援事業として「なす温泉ドリームバスツアー」を2013年5月11～12日に実施しました。予算総額2,203,595円、地区より1,337,288円をいただき、866.307円は社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕等の活動費から支出しております。

● 8月21日欠席(敬称略)
新井聖一・鈴木久雄・橋本佳明・深町彰・吉光寺政雄・須藤舜生・室井次男

○ 前回8月7日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・新井聖一・遠藤清和・田中徹・橋本佳明・藤村聡・福田逸男・須藤舜生

次回例会　　平成25年8月28日　会員増強委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９９回　平山年度　第８回　会報　２０１３-８-２８　司会　瀬尾紀夫君

お客様

○　一年交換留学生　李　宜蓁　様



皆さん初めまして、台湾の花蓮から来ました、LEE YI JHEN です。ニックネームはニコルです。黒磯高校に９月２日から通います。とても楽しみです。一年間皆さんにお世話になります。よろしく御願いします。

会長挨拶　平山博会長



先週、飯村慎一ガバナーを迎えての公式訪問、皆様にご協力を頂き無事に終了することが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。懇談会も和やかのうちに終了し、クラブ協議会も予定どおり進行することが出来、幹事の石山桂子さん初め SAA の皆様、半田パストガバナー、各委員長の皆様方ありがとうございました。緊張の連続でしたが、お見送りの時、飯村ガバナーに、他にない素晴らしいクラブでした。と、お誉めの言葉をいただきました。ホットして、ようやく緊張から解放されました。

今年も恒例となりました第33回ふれあい広場が開催されました。大勢の方に参加いただきありがとうございました。24日の準備、25日当日、26日あと片ずけと、3日間大変お疲れ様でした。特に、荒井社会奉仕委員長には商品の手配から準備、片付けと、いろいろご苦労様でした。お天気に恵まれ早めの完売となり、売り上げの一部を社協の方へ送ることが出来ると思います。参加協力を頂いた皆様にお礼申し上げます。

ふれあい広場の途中で成田へ、一年交換学生ニコルを迎えに、高木慶一新世代委員長、澤田第一ホストファミリー、３人で迎えに行きました。18時40分ニコルと感動の初対面、ニコニコした笑顔がとてもかわいらしく印象的でした。台湾のご両親もさぞ心配している事でしょう。この一年元気で、楽しく有意義な留学生活ができるよう大切にお預かり致したいと思います。どうかニコルを宜しくお願い致します。９月17日ニコルの誕生祝いと、歓迎会を行います。高木慶一新世代委員長より近日中にご案内があります。

さて、今日は会員増強、及び拡大月間です。国際ロータリー第2550地区、７月１日の会員数は1,627名で、昨

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 8月28日	39(2)	32(1)人	7(1)人	86.8%	*	
前　回8月21日	39(2)	32(0)人	7(2)人	86.4%	5人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

年度より36名減であります。黒磯ロータリークラブもマイナス4名で38名でしたが7月に小野安正さんが入会され平山年度は39名でスタート致しました。一人でも多くの仲間が増えますよう又、常に40名以上の会員が維持できるよう、檜山増強委員長、会員の皆様方宜しくお願い致します。この後、檜山増強委員長の卓話の時間ですので、詳しくは委員長からお話しいただきたいと思います。

ところで、毎年、夏祭りは東北からと言われております。8月初旬から、ねぶた、竿燈、花笠、仙台七夕で始まり各地で花火大会や、盆踊りと楽しい祭りが沢山あります。我が町でも恒例となりました黒磯盆踊り大会が、駅前にて8月10～11日に行われました。

この盆踊り、発祥は、西暦1916年（大正5年）今から97年前に旧黒磯町の初代の町長山口兵吉氏が「豊年踊り」として取り入れたのが始まりと、黒磯市史の資料編の中に記載されています。お盆は、もともとご先祖様のご供養を行う仏教行事であるはずなのに、なぜ太鼓をたたき、声を合わせて歌い踊る盆踊りが行われるようになったのか､疑問をお持ちの方もあるでしょう。

盆踊りの始まりは、室町時代の初め頃で、現在のようににぎやかな催しではありませんでした。夏に、ご先祖様の霊をお迎えするのに善男善女がお寺の境内に集まって、夜になると輪を作り、ご先祖様に奉納する踊りをするようになりました。初期には静かに、しめやかに踊っておりましたが、何しろ昔はこれと言った娯楽が無かったという事情もあり、年々踊って歌って練り歩く華やかなお祭りのように変わっていったのです。こんにち行われている阿波踊りや木曽踊り風の盆なども、元はと言えば盆踊りが一般市民のお祭りとして発展したという事です。そして、夏の祭りの終わりが富山越中風の盆，叙情豊かな三味線と胡弓と共に、夏から秋へと季節が変わるわけです。

今日の道歌は　縁の下の力もち

「笛吹かず､太鼓たたかず､獅子舞の､後足になる､
　人もあるなり」

表舞台に立ったり、リーダーになったりする人は、下で支えてくれる人があるからこそで自分の不足を補い、目立たないところで支えてくれている、脚光を浴びることなく、ただ黙々と黒子に徹する。こんな人の存在を大変ありがたい事であると思います。ロータリー活動も、盆踊りお祭りも黒子役に徹する人たちに感謝いたします。

幹事報告　石山桂子幹事

○　ロータリーの友事務所より、9月号のロータリーの友が届いております。鈴木久雄・雑誌委員長にお渡し致しました。

○　ガバナー事務所より、第37回ライラセミナー出席のお願い並びにライラセミナー受講者推薦のお願いが届いております。髙木慶一・新世代奉仕委員長にお渡し致しました。

○　ガバナー事務所より、第37回ライラセミナー受講生募集のポスターとインターアクト研修旅行報告書が届いております。回覧中です。

○　ガバナー事務所より、職業奉仕研究セミナーのご案内が届いております。髙木茂・職業奉仕委員長にお渡し致しました。

○　ガバナー事務所より､「地区会員増強セミナー」開催が届いております。檜山達郎・会員増強委員長にお渡し致しました。

○　大田原ロータリークラブより会報が届いております。回覧中です。

○　10月4日宇都宮カンツリｰｸﾗﾌﾞで開催されます地区大会記念ゴルフ大会のご案内が届いております。大森貞男ゴルフ委員にお渡し致しました。

○　10月6日（日曜日）地区大会が宇都宮グランドホテルにて開催されます。原則としまして全員出席ですが､出欠確認を回覧しますのでご記入下さい。

○　現況報告書修正しております。誤字脱字・訂正箇所ありましたら幹事までお申し付けください。

委員会報告　和気勝利副会長

○　荒井昌一社会奉仕委員長

先日、8月25日（日）の「第33回ふれあい広場」のお祭りに際し皆様には24日の会場の準備並びに25日のお祭り、そして26日の後片付けと大変ご苦労様でした。売店の方は昨年までの場所とは違った所へ移動させられてしまったので、売上が少なくなるのではないかと心配しておりましたが、ふたを開けてみると天気にも恵まれたせいもあるかもしれませんが、昨年より多く132,000円の売上がありました。後ほど決算を致しまして理事会の承認を頂きまして収益金を社会福祉協議会へ寄付をしたいと思っております。

○　福島泰雄広報 / IT 委員長

先日のガバナー公式訪問の際に、皆様にお配りいたしました「黒磯ロータリークラブホームページをご覧ください」の紙面に記述していますように、現時点では13項目にわたる内容が記載されております。その内変更が多いのは奉仕活動、会員のページ、例会・炉辺会議風景、黒磯クラブ会報の４項目であります。

昨日、その内の「例会・炉辺会議風景」に新しく「年に１度の公式訪問」を掲載いたしましたのでご覧くだ

さい。25日に開催された「ふれあい広場」については目下作成中で近日中に掲載予定であります。

お配りした「黒磯ロータリークラブホームページをご覧ください」をまだ受取っていないお方は、私の手許にありますので取りにおいで下さい。

なお､黒磯ホームページを開く方法が判らない方は、その旨を広報/IT委員会メンバーにお伝えくだされば善処いたします。

○　時庭稔親睦委員長

【観月会のご案内】

・日時：9月25日（水）午後6時点鐘
・場所：割烹石山
・会費：無料

奥様方のご参加よろしくお願いいたします。また、アトラクションとして津軽三味線の演奏も予定しております。出欠表を回覧いたしますので、ご記入の程よろしくお願いいたします。

○　ゴルフ愛好会　大森貞男会長

黒磯ロータリークラブゴルフ愛好会より報告いたします。

1. 第1回平山　博年度ゴルフ大会のお知らせ
・期日：平成25年9月29日（日）
・場所：那須伊王野カントリークラブ
・集合：9時現地集合

以上の通り開催いたしますので、本日閲覧をしておりますので、ご確認下さい。

2. 地区大会ゴルフコンペ開催のお知らせ
期日：平成25年10月4日（金）
場所：宇都宮カンツリークラブ
宇都宮市上戸祭3100

締切が迫っておりますので、至急にご返事をいただきたい。本日閲覧をしておりますので、宜しくお願いをいたします。

卓話　会員増強委員会　檜山達郎委員長

皆様今日は、本日の卓話は会員増強の担当でありまして、先般も申し上げました様に委員長檜山達郎、副委員長佐藤博の二人での委員会です。

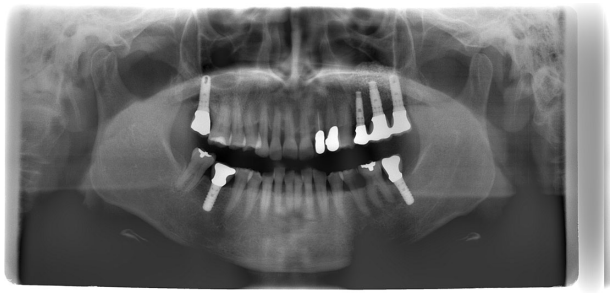


本年の平山博会長の目標は魅力あるクラブの構築、中でも退会防止と会員増強を挙げられております。特に会員増強に関しましては、なかなか苦労の要する所でも有りますが、何とか御期待にそうよう努力いたしたく思っているところであります。どうぞ、皆様の御協力を改めまして御願い致します。

ところで、本日の卓話の内容ですが私の職業に関する事になります､少しくお聞きいただければ幸いです。現在の歯科医療は半世紀前には考えられない程に進歩発展いたしました。それは、医療機器の開発と種々なる組織再生技術の開発によるものと思われます。

そのような経緯もあり口腔機能の重要な役割であります咀嚼そして会話が、ひいては見た目の問題、即ち審美性等の改善に大いに期待の出来ますインプラントについてスライドで供覧いたします。

インプラントは今や形成外科領域にも広く応用され



右側上顎7部のOpe.
Dr.Summersにより開発された歯槽骨頂から垂直的にアプローチするOsteotome Techniqueいわゆる Socket Lift Technique[ソケット・リフト法]にてインプラント埋入。
左側上顎567部のOpe.
上顎骨側壁を開窓し上顎洞へアプローチいわゆるLateral Approach Sinus Lift Technique[サイナスリフト法]により骨増成を行いインプラント埋入。



両側下顎臼歯部のOpe.
生活歯を温存させるため、それぞれ単独植立にてインプラント埋入。
両側下顎部のOpe.
両側下顎骨には6本のインプラントを埋入、固定式のブリッジを製作。さらに上顎にはメタルプレートによる全部床義歯を製作し咀嚼機能の改善をはかる。

る時代になりました。我々の分野のインプラントは歯科用インプラントでありましてその応用範囲は広く、多くの人類に喜びと幸せをもたらせています。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

檜山　達郎君　ニコルの来日を歓迎!!
村山　　茂君　ニコルさん、ようこそいらっしゃいました。

誕生月３分間スピーチ
「3・11 その時私は何をしていたか」
○　佐藤博君（1947 年 9 月 7 日　生）



その時は、車のエンジンを掛けると同時に「発生」しました。治まるまで相当長く感じられましたが、次に幼稚園の孫のことが頭をかすめ、“即”幼稚園へと飛び、着いたところ、「何事もなく帰宅しました」とのことで安堵したことを今でも覚えております。

その日、会社では社員を現場から事務所へ戻し、緊急時に備え自宅待機と致しました。また夕方には奇しくも瀧田仁先生のお通夜でありました。強い余震が続き、参列者がお互いの顔を見ながらじっと我慢の時でした。そんな中、住職が堪え忍びながら"平然"と“お経”を読んでいたのが印象的でした。

ふれあい広場

8 月 25 日(日)に恒例の「ふれあい広場」が開催された。黒磯ロータリークラブも社会奉仕委員会を中心に参加した。

鮎の塩焼き、焼きおにぎり、生ビールが当クラブの参加メニュー。毎年の事で、楽しみに来ている人も多いと見え、昼近くには長い行列が出来ていた。暑い夏の割には気温が低く参加するには丁度良い天気だった。皆さんお疲れ様でした。



準備が整いテント前にて記念撮影



今年も提供した食品は好評。焼き上がるの待つ人の列

● 8 月 28 日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・月江寛智・吉光寺政雄・植竹一裕
髙木慶一・藤村聡・須藤舜生

○ 前回 8 月 21 日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・鈴木久雄・橋本佳明・深町彰
吉光寺政雄

次回例会　　平成２５ 年９ 月４ 日　　担当　プログラム委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６００回　平山年度　第　９回　会報　２０１３-９-４　司会　高木　茂君

会長挨拶　平山博会長



9月に入りました。残暑厳しい折、皆さま方にはお体を十二分に留意なされます様、お願い申し上げます。

８月は暑い日が続き、お祭りや、ガバナー公式訪問と、仕事も忙しく疲れがピークに達しました。そこで今日は、甘～い　お話をさせていただきます。

本州一の出荷量を誇る那須塩原市産の牛乳で作った[みるマンジェ]の話です。昨年10月に那須塩原スイーツコンテストが行われました。那須拓陽高校の女子校生が９種類のスイーツを創作して出品し、そこで菓子職人や市民を含めた総勢80人の審査委員によって最優秀賞に選ばれました。これに生徒が、名称やパッケージデザインを作り上げて商品が実現しました。

[みるマンジェ]はクッキーなどで作ったベースにあんこをしき、その上に地元産牛乳で作ったブラマンジェ（フランス語で白い食べ物の意味）を乗せ、一番上に地元でとれた果樹やそれを使ったジャムなどで食材がトッピングされおり、市内の有名菓子店で販売しております。どうぞ辛党の方もご賞味ください。

商工会や市では、「那須塩原らしさ」を持った特産品を守り、地域産業を活性化させることを目的とする、那須塩原ブランドの認定申請を受け付けております。黒磯ロータリークラブ澤田吉夫会員は、自然耕米で「那須塩原ブランド」商品に認定されております。この特選米は10月に誕生祝いとして、皆様にプレゼントいたします。

ところで、９月１日は「防災の日」でした。防災の日は、災害を想定した避難訓練などを行う日として知られております。県内においても、足利市で総合防災訓練が行われております。最近の防災訓練は、災害に対して備える「備蓄品」について、又災害が起こった時に被害を最小限にする「減災」について、皆で助け合って避難して物資を出し合って、足りないところを補う「共助」と言った訓練にかわりつつあるようです。

東日本大震災をきっかけとし、その後も各地で相次ぐゲリラ豪雨や竜巻などの自然災害を受けて、「備蓄」「減災」「共助」について学んだりして、実践する動きが広まって、一昔前とは違った防災の日の災害訓練の日でした。

防災の日にちなんで、もう一つの話題は特別警報の運用に関して、気象台ではこれまでにない重大な災害が起きる危険性が非常に高くなったときに、強い警戒を呼び掛ける「特別警報」の運用を８月30日から始めることになりました。「特別警報」はおととしの東日本大震災や、台風12号の豪雨、災害などを受けて、重大なる災害が起こる危険性が非常に高まった時に、今の

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日　9月 4日	39(2)	33(1)人	6(1)人	84.2%	*	
前　回 8月28日	39(2)	32(1)人	7(1)人	86.8%	6人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

警報よりもより強く警戒を呼び掛けるため、今年の5月に改正された気象業務法で新たに設けられました。

特別警報の種類は気象に関しては「大雨」「暴風」「高潮」「波浪」「暴風雪」「大雪」の6種類を新設させ、また現在の「大津波警報」「噴火警報」「緊急地震速報」は特別警報に位置づけられます。　特別警報が発表される場合は、すでに危険が迫っている可能性が高く、少しでも安全な場所に逃げるなど、直ちに身を守る行動をとってほしいとの事です。　最後は自分で考えて安全性を確保するしかありませんが、情報をどう生かすかあらためて、皆なで考えてみたいと思います。

今日の短歌は　当たり前に感謝

東日本大震災から、2年半の歳月が流れようとしております。被災者のYさんは、今は「スイッチを押すと部屋の明かりがパッとつく」、「トイレの水洗が勢いよく流れる」といった当たり前の出来事に「有難うございます」という言葉が口に出るそうです。

当たり前に慣れてしまうと、感謝や感動を忘れ、失ってからその存在の大きさに気が付くのです。健康な体、豊かな自然、毎日の仕事、職場の良き仲間、ロータリーの仲間など、私たちの周りには失えば困惑してしまうものが多くあります。「働けて幸せですねと、病む人の　しみじみ言いし　言葉の重く」友人を病床に見舞った人の短歌です。

改めて周囲を見渡してみると、生活の中に埋もれて気づかない多くの「感謝」の存在があることがわかり、自然と感謝の心は深まるばかりです。

幹事報告　石山桂子幹事

【第9回幹事報告】

○　ガバナー公式訪問の集合写真をレターボックスに投函致しましたのでご確認ください。
○「栃木いのちの電話」より支援金に際しましてお礼状が届いております。
○　ガバナー事務所より、10月6日に行われます地区大会に於いて表彰のご案内が届いております。内容は、「ガバナー賞」及び「毎年あなたも100ドルクラブ」の表彰です。
○　那須の巻狩り祭り実行委員会より、実行委員及び実行推進員の配置のお願いが届いております。荒井昌一・社会奉仕委員長にお渡し致しました。
○　9月のロータリーレートは、1ドル100円です。
○　本日例会終了後、理事役員会を行いますので理事役員の皆様引き続きお願い致します。

委員会報告　和気勝利副会長

○　高木慶一新世代奉仕委員長

8月28日の例会で台湾からの1年交換学生ニコルさんの自己紹介があったと思います。私は体調が悪く欠席してしまいましたがどうぞ宜しくお願いします。ニックネームがニコルですが本名はYi-jhen・LEEイー・チェン・リーです。本人はニコルと呼んでもらいたいと言ってます。ニコルと呼んで日本のことを教えてあげて下さい。9月17日（火）午後6時から会費4,000円、石山でニコルさんの歓迎会と誕生祝いを開催します。回覧を回してますので出欠ご記入宜しくお願いします。

○　田中　徹会計

9月20日栃木銀行より引落を致しますので宜しくお願い致します。

・旅行愛好会会員のみ　　7～9月分　　\12,000
・ゴルフ愛好会会員のみ　　年会費　　\10,000

○　齋藤武久会報委員長

まず会報委員会からお詫びです。ガバナー公式訪問号の2598号が編集作業の遅れから1週遅れになって仕舞ったことをお詫びします。慎重に編集した結果、ガバナーから「内容が忠実に反映され素晴らしい会報ですね」というコメントを頂きました。

次に、恒例の芋煮会の予定のお知らせです。今週は出欠表を回していません。皆さんの手帳の中に枠を確保して置いて下さい。日にちは10月3日(木曜日）場所は和気邸のBBQハウス。次週に詳細を書いた出欠表を回します。

卓話　プログラム委員会　相馬征志君



今日の卓話はプログラム委員会に割り当てられております。鈴木委員長の指示により、私がここに立つことになりました。今日の話には私感が入り混じっており、内容に乏しく退屈な時間をお過ごし頂くことになりますが、どうぞご容赦下さい。

以前にもお話したことがありますが、私、二十数年前成人病検診で糖尿病と診断されました。主治医指導はカロリー制限と適度な運動の励行でしたが、スポーツ音痴の私には何をすれば良いのか思い付きません。結局、特別な技術も知識もなしで始められる山歩きを始めたものです。県内はもちろん、東北の方面の山々も幾度となく出かけ、尾瀬には20回以上足を運びました。

誰にでも関心があり又こだわりのある国や地域の一つや二つは有るでしょうが、私にとってのそれはスイスです。1995年夏出かけたパックツアーのコースにスイスが含まれており、「こんな素晴らしい景色の中を歩くことで糖尿病を改善ができないものか」と思ったものです。

私にはスイスと言う国名には特別な響きがあります。小学四・五年生のころ社会科の先生から、「スイスは『えいせいちゅうりつこく』で絶対戦争をしない、よその国とは争うことをしない平和を愛する国なんだ」と聞かされました。戦後間もない時期で、子供の私達にも戦争の悲惨さは十分理解でき、このような国の存在に驚き、かすかな憧れさえ抱いたものです。

スイスの中央部、チューリッヒから電車で一時間ほどのところにルツェルンという街があります。18世紀ごろはここが首都だったこともあり歴史を感じさせるいい街です。中心から少し離れたところの砂岩壁に彫られた「瀕死のライオン」と名付けられた像があります。これはフランス革命の折、ルイ16世とマリー・アントワネットを守るため傭兵として派遣された700人余の死を悼んで作られたもので、弓で射られ死の淵にあるライオンの姿は当時のスイスがおかれた状況を表しています。一説によると、フランス国王ルイ16世側の傭兵となった者とは別に、革命軍側の傭兵になったスイス兵もあり、スイス兵同志が殺しあうという悲劇もあったとか。自国の兵隊を傭兵として国外へ出し対価を得なければ国家が立ち行かなかった当時のスイスの貧しさは想像できます。

世界に永世中立を宣言している国はスイスの隣のオーストリアを含め数か国ありますが、200年余りそれを通している点からみてもスイスはそのナンバー・ワンと言えます。これも、過去の悲劇を繰り返したくないとの思いから国家の在りようを決めているのでしょう。

さて、私、今年の7月に出かけたのを含め計7回スイスに出かけました。7回も出かけたのは、この国が永世中立国だからではありません。この国の魅力は何と言っても風景の素晴らしさです。すばらしい景色なら他にもたくさんあるでしょうが、自然に触れ合うことが目的とした観光地で、これほど居心地が良く移動に便利な国は他に無いようにおもいます。

交通インフラの整っていることには関心させられます。鉄道網(ロープウエーやケーブルカーも含め)やバス路線の完備されていることは世界一と言えます。鉄路の長さでは米国が226,000㎞で1番、日本は26,400㎞で12番目ですが、国土面積が我が国の10分の1強(およそ九州と同じ面積)スイスで5,060㎞であることからすれば鉄道網の発達ぶりは容易に覗えます。

インフラだけではありません、この国の人々は訪問者に対しとても親切です。道を聞いてもこちらが理解していないなと察すると、目的地の近くまで案内してくれたりもしますし、常に街の中も農村地帯もきれいに清掃され、まるで一軒の家が大事な客をお迎えするときの、それによく似ています。

スイスは観光立国を自認するこの国ですが、他に産業が無いわけではありません。時計産業は日本でもよく知られていますが、ネスレのような食品関連の他、世界の薬箱と言われているバーゼルには、ノバルテイス・チバなど私達になじみのある製薬会社もたくさん有りますし、金融関連のビジネスに至っては知らない人は無いと思います。

スイスはGNH※世界二位とする統計があります。一位がデンマーク・三位がオーストリアで、日本は125位と非常に低く、お隣中国でさえ90位と聞けば「その統計本当ですか」と言いたくなります。スイスには生活に困窮していると思われる人は見かけません。観光客が集まるところにつきものの物乞い・物売りの類は見たことが有りません。観光を売りにしている国だから当局が取り締まっているのかと思いますが、そんな様子もありません。結局GNH世界二位にうなづいてしまいます。

スイスには原発も軍隊も無いのかと思いがちですが、原発は5基あり全て稼働しているものの、2034年には全部廃止が決まっているとか、さすがと思いました。また、この国は国民皆兵制をとり、20歳になると17週間軍隊での入門訓練が義務付けられています。50歳までは、自宅に制服・ヘルメット・自動小銃を保管し、いざと言うとき48時間以内に62万人の軍隊を動員することが出来ると言われ、日本の20分の1の人口国が自衛隊の3倍近い兵隊が常にいることになるわけで、驚きです。

ちなみに、スイスは今でも傭兵を外国へ出しています。派遣先はローマのバチカン市国で、カトリック教徒の多いスイスの人々はこれを誇りにしているようです。

※GNH：Gross National Happiness（国民総幸福量）

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

秋葉　秀樹君　誕生祝いありがとうございました。
大森　貞男君　誕生祝いありがとうございました。75歳になりました。今後も健康でいたいですね。
佐藤　　博君　誕生祝いありがとうございました。
吉光寺政雄君　先週先々週と欠席を致しましてすみませんでした。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

秋葉秀樹君(1974年9月11日 生)



3月11日の時を思い出しますと、地震発生時にすぐに子供の安全を確認したくも、携帯電話やインターネットが断線したりして、なかなか使えなかったことがありました。しかし子供たちと会えた時は嬉しかったです。

今まで、自分はアナログ人間かなと思っておりましたが、実はデジタル人間でした。携帯電話等が使えなくなると何もできない人間なのだと痛感しました。

私自身は、ほとんど被害の無い震災ではありましたが、今年の震災遺児孤児支援事業では、様々な体験をした子供達に接する機会を頂けた事は、ロータリーのメンバーに在籍していたことを誇りに思います。

誕生祝い



秋葉秀樹君　大森貞男君　佐藤博君

結婚祝い　　吉光寺 政雄 君

● 9月4日欠席(敬称略)
新井聖一 ・遠藤清和 ・小野安正 ・檜山達郎
深町　彰

○ 前回8月28日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・月江寛智・吉光寺政雄・植竹一裕
髙木慶一・藤村聡

次回例会　　平成２５年９月１１日　　担当：新世代委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６０１回　平山年度　第１０回　会報　２０１３-９-１１　司会　髙木茂君

お客様

○　黒磯ＩＡＣ 顧問教諭　真渕千果様

○　黒磯ＩＡＣ　和知乃莉子様

○　黒磯ＩＡＣ　高久愛永様

○　一年交換学生　ニコル様

会長挨拶　平山博会長

2020年夏季オリンッピク、パラリンピックの東京開催が決まりました。厳しい誘致合戦を勝ち抜き1964年の第18回大会以来56年ぶりの五輪は必ず東京と日本に元気と自信を与えてくれるだろうと思っております。7年後は皆で元気にオリンピックを見に行きましょう。

さて、9月は「新世代のための月間」です。クラブ例会でインターアクターやローターアクターの活動を紹介したり、これらの若者たちを例会に招待して活動について発表してもらったり、地域の青少年のための新しいプロジェクトを始めたり、考える月間です。勿論皆様はご存じの事と思いますが、確認の意味でお話させて頂きます。又、高木慶一新世代奉仕委員長とお話しが重複するかも知れませんがお許しください。

「新世代」とは、ロータリー家族の最も若い世代の人々を指し、その多くは、青少年や若者を対象としたロータリーのプログラム（インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、青少年指導者養成プログラム[RYLA]、青少年の保護，新世代の学友）の参加者たちです。



2010年、「新世代奉仕」はロータリーの第五大の奉仕部門となりました。標準ロータリー・クラブ定款第５条に、以下のように定義されています。

奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものであります。

黒磯ロータリークラブが、特に力を入れている三つのプログラムについてお話致します

1)インターアクトは、12～18歳の青少年による奉仕クラブです。インターアクト・クラブは地域社会または学校を基盤として結成されます。ロータリークラブがインターアクト・クラブの設立を支援し、指導やサポートを提供しますが、それぞれのインターアクト・クラブは自助自立して運営されます。インターアクトの目標は、指導力や高潔な心を身に着け、他者への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任や一生懸命仕事をすることの価値を理解し、国際理解と親善を推進することです。

2)ロータリー青少年交換は、青少年・青年のための

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 9月11日	39(2)	31(0)人	8(2)人	83.7%	*	
前　回9月4日	39(2)	33(1)人	6(1)人	84.2%	4人	97.3%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

交換プログラムです。参加する学生は、最高1年間、海外へ留学して新しい文化を学びます。15～19歳の学生は、最高１年間の長期交換、もしくは数週間から数か月間の短期交換に参加できます。

海外のクラブと連携して、学生の受け入れや派遣を行う。参加学生やホストファミリーとなる可能性のある人々に、青少年交換の文化的・教育的価値を伝える。

3) ロータリー青少年指導養成プログラム RYLA は、リーダー及び善き市民としての資質を伸ばし、人間としての成長を促すことを主眼としています。このプログラムは、リーダーとして嘱望される若者に効果的な研修を提供し、青少年による青少年への指導を奨励し、若者に対するロータリーの尊重を示すものであす。

黒磯ロータリークラブでは、学校の管理責任者やインターアクト、クラブの顧問教諭に依頼し、活動を行っております。

ＲＩの地区目標に従い、時代を担う青少年の健全な育成のため一年交換学生の受け入れの充実、黒磯高校インターアクト・クラブの支援・育成にも力を入れてまいりたいと考えております。

今回月刊に当たり黒磯高校インターアクト眞渕先生始め、お二人の生徒さんにお越しいただきました。そして一年交換学生、黒磯高校二年生「ニコル」にも出席いただいております。後ほど皆様に卓話をお願いしております、どうぞ宜しくお願い致します。

今日の道歌は　人の大切さ

世の中は　持ちつ持たれつ　立つ身なり　人という字を　見るにつけても

世の中は、人と人とがもちつもたれつ、互いに助け合って生きている。「人」という

字を見ても、互いに助け合い寄り添って立っているではないか。

テレビの人気ドラマ『3年B組金八先生』で金八先生がよく言っていた言葉であります。たしかに、人は自分ひとりでは生きられない。多くの人に直接にしろ、間接にしろ、支えられ、いまの自分があります。このことにもう一度感謝して、自分もできるだけ周囲の人を助けていきたいものです。

幹事報告　石山桂子幹事

< 第 10 回幹事報告 >

去る、9月4日に開催されました理事役員会の審議事項からご報告致します。

○　10月プログラムの件、承認されました。尚、10月9日・職業奉仕委員会の職場訪問はカゴメ工場見学となります。

○　地区大会及び関連行事の件

・10 月 4 日(金)記念ゴルフ大会（宇都宮カンツリークラブ）。参加者 6 名

・10 月 5 日(土)宇都宮グランドホテルにて

(1) 会長・幹事・地区指導者セミナー。参加者 3 名

(2) RI 会長代理ご夫妻晩餐会。参加者 3 名

・10 月 6 日(日)地区大会・宇都宮グランドホテルにて

○　社会奉仕委員会より提出されました「ふれあい広場」収支報告の件、社会福祉協議会に寄付金として 15,217 承認されました。

○　9 月 23 日に開催されます「親子で楽しむ能楽の世界」実行委員会に協賛金として５万円承認されました

○　11 月 6 日に開催されます、公益社団法人　大田原法人会公開講演会「イチローに学ぶ」のポスターとチラシが届いております。回覧中です。

○　西那須野ロータリークラブから週報及び現況報告書が届いております。

回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　髙木慶君新世代奉仕委員長

今日例会に来ています、1 年交換学生ニコルの誕生日が 9 月 17 日です。誕生祝いと歓迎会を 9 月 17 日 18 時石山で開催します。出欠を回覧で回しています。参加頂ける会員は、お忘れ無きよう午後 6 時にお集まり下さい。

○　齋藤武久君

芋煮会の御案内です。先週御案内した芋煮会の件ですが、今から出欠表を回しますのでご記入お願いします。10 月 3 日(木曜) 5 時から宮町和気さん宅です。出席の方は○を、その中準備のお手伝いの出来る方は◎を、欠席の方は×を入れて空欄の無いようにお願いします。準備は 3 時から始めます。

○　福島泰雄広報 / IT 委員長

今朝現在のホームページの状況をお知らせいたします。

奉仕活動の項目の社会奉仕活動のページに「ふれあい広場に参加」を追加いたしましたのでご覧ください。

会員のページの項目に、新しく「今後の行事予定」を設けて約１ヵ月先までの予定を掲載いたしますので必要に応じご覧ください。ただ、この「会員のページ」は黒磯RCの会員の方々専用ページで外部の方々はご覧になれない様に保護領域となっております。従って、会員の方々がご覧になる場合には、「パスワードを入力」という画面が出ますので、別途お知らせ致しますパスワードを入力して画面を開きご覧ください。このパス

ワードは会報にも載せることはありません。

卓話　新世代奉仕委員会

○　髙木慶一委員長



今日の卓話に来て頂きました、インターアクトクラブ顧問眞渕千果先生、クラブ会長和知乃莉子さん副会長高久愛永さん本当にありがとうございます。時業時間の関係で食事もとることができず卓話をお願いして申し訳ありませんでした。

平山会長とダブル所があると思いますが、今月が新世代奉仕月間なので、少しお話します。ＲＩロンＤ。バートン会長は新世代を今年の最優先事項の１つにしたと言っておられます。それほど重要に思っています。それは、ロータリー青少年交換、ＲＹＬＡ、ローターアクト、インターアクト、ロータリー財団学友などが新世代奉仕委員会にまとめられたからです。それぞれにプログラムを持っています、そして次の世代を担うリーダーを養成することがいかに大切であるかを知っているからです。今日の卓話は８月３日に文星大学で17回年次大会で発表した内容を皆さんに知ってもらいたいと思いお願いしました、それでは宜しくお願いします。

○　黒磯高等学校インターアクトクラブ活動報告

ただ今から黒磯高校の活動を報告します。黒磯高校は県北部、那須塩原市の市街地にあり、「自主、友愛、不屈」の教訓のもと、文武両道を目指す全校生徒677人の男女共学校です。創立は大正１４年で、卒業生は17,000名を超えました。世界の各地で、また地域社会でさまざまな立場で活躍しています。

私たちインターアクトクラブは９名で文化部として活動しています。

＜エコキャップ回収＞

黒磯高校では、ペットボトルのキャップの回収を毎週金曜日に行っています。キャップを3440個集め、それらは再資源化され、ごみ箱・ボールペン等になり、活用されています。さらに、キャップの売上金はすべて寄付金となり、1kg（約480個）が10円になります。寄付金でワクチンを購入し、医療の発達していない国の子供たちにおくられます。

８月20日の学校祭では、パンとジュースの販売をしました。売上金は、「世界の子供たちにワクチンを日本委員会」に寄付しました。

＜交通安全パレード＞



９月の交通安全パレードでは、警察署、ボーイスカウト、ガールスカウト、、共英小学校の鼓笛隊の皆さんと交通安全を呼びかけました。

＜あしなが募金＞

10月あしなが募金では、宇都宮駅で、あしなが募金を続けてきた大学生に教えてもらい、募金活動をしました。私たちが大きな声で呼びかけると、たくさんの方が耳を傾けてくれて、やりがいを感じることができました。高校、大学、専門学校などに通う、親を亡くされて経済的に苦しい遺児たちに、奨学金を貸し出して支援する活動です。

＜台湾研修＞



2013年3月23日から27日までの4日間、現3年生が、3泊4日の台湾研修に行きました。研修先の現地の学生さんはとても明るく、笑顔で出迎えてくれました。交流した中で、こちらに合わせて、頑張って日本語で話そうとしてくれたその尊重心に感動しました。インターアクトクラブの目標である地域社会、国家及びせかいの問題についての理解と親善を深めることが達成できたと思います。

＜足尾銅山植樹デー＞

昔は緑豊かであった足尾銅山も、鉱毒事件によって荒れ果て、岩肌がむき出しになってしまいました。しかし、今では多くの人が植樹活動に参加して、緑が増えつつあります。私たちが植えた木々も、数十年後には大きく育ち、緑豊かな山になると思うと、とてもうれしいです。これを機会にロータリークラブの方々と交流を深めることもできました。

＜「マ・メゾン光星」との交流＞

6月にしては暑い中、ベタニアバザーで、飲み物販売

の補助をさせていただきました。1年生は初めてではありましたが、お客様が笑顔だったのでうれしかったです。社会勉強の一環にもなりました。光舞隊よさこい演舞会は、那須町文化センター大ホールで開催され、障害者を中心に子供たちからお年寄りまで、だれもが楽しむことができるイベントでした。私たちは、ここでもバザーのお手伝いをしました。

＜年次大会＞

年次大会では、貴重な学びの場である分科会や。NHKアナウンサーの金子哲也さんの講話がありました。特に印象に残っているのは、金子さんの講話です。

東日本大震災の時、金子さんは、仙台のテレビ局でアナウンサーをしていたため、すぐには家族のもとに行くことが出来なかったそうです。そんな時、金子さんの家族を助けてくれた人がいました。その人は、昔地震があったときボランティアをしていたそうで、その経験から食糧のことや、非常時の過ごし方などのアドバイスをしれくれたそうです。この話を聞いて、私は、ボランティアの経験は災害時にも役に立つことを知り、これからも、多くの経験をつみたいと思いました。

今回、他校のインターアクトクラブによる活動報告を聞く機会があり、とてもいい刺激を受けました。どの発表も素晴らしいものでしたが、中でも宇都宮女子高校のみなさんによる発表が最も印象に残っています。発表態度は、前を向き丁寧に話していて、聞き取りやすかったです。また、エピソードも豊富で説明とのメリハリもあり、ユーモアたっぷりで聞いている人を引き付ける構成でした。

ロータリークラブの方々には、バスの手配をしていただくなど、様々な場面でお世話になっています。今回の年次大会では、普段はわからない他校の活動を知ることが出来、とても貴重な体験となりました。これからもロータリークラブのご指導を仰ぎながら、地元社会に奉仕し、また、遠い世界の国々の風習や文化を学んでいきたいと思います。

以上で、黒磯高等学校インターアクトクラブの活動報告といたします。ありがとうございました。

○　一年交換学生ニコル



みなさんこんにちは、準備をしてないので、ちょっと緊張してます。

黒磯高校の皆さんは、とても親切です。学校では美術部に入りました。

8月中は休みだったので、日光へ行きました。ホストファミリーの仕事関係で、美浦のJRAトレセン内を見学してきました。競馬馬が今は約2,000頭いますので、馬と一緒に写真を撮ってきました。

その後、東京見学に行き、築地で食事をして、その後歌舞伎座、浅草、東京タワー、スカイツリーなどを見てきました。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

深町　　彰君　2020年東京オリンピック開催を祝して。

大森　貞男君　ニコルさんとインターアクトの皆様をお迎えして。

● 9月11日欠席(敬称略)

遠藤清和・小野安正・鈴木久雄・月江寛智
檜山達郎・藤村聡

○ 前回9月4日分メークアップ(敬称略)

新井聖一・遠藤清和・小野安正・檜山達郎

次回例会　　平成25年9月18日　　担当SAA

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６０２回　平山年度　第１１回　会報　２０１３-９-１８　司会　瀬尾紀夫君

会長挨拶　平山博会長



各地に大きな被害をもたらした台風18号、この地域では16日昼過ぎ宇都宮付近を通過致しました。雨、風共に強かった時間帯がありましたが、この地域ではこれと言った被害もなく安心致しました。

昨夜(17日)　一年交換学生ニコルの歓迎会とお誕生日のお祝いを行いました。カウンセラーの相馬会員、ホストファミリーの皆様初め、会員の皆様にも参加頂き有難うございました。来日以来、早や今日で24日、元気に黒磯高等学校に通学しておりますが、そろそろホームシックになっているのではないかと、心配しておりました。そんなニコルのために、元気が出るよう、励ます会を開催したわけであります。準備いただきました、高木新世代奉仕委員長に感謝申し上げます。黒磯ロータリークラブ全会員、そして会員家族で、暖かく見守って行きたいと思っております。

9月16日は「敬老の日」

「年寄りは家の宝」と言われるように、日本には老人を大切にする風習が有ります。日本人の平均寿命が延び日本女性の平均寿命が、2年ぶりに再び世界一になりました。なんと86.4歳。快挙です。

男性は、1位がアイスランドで2位が香港、3位スイス、4位イスラエルそして5位が日本で79.9歳。5位と言っても1位との差は0.8歳しかありません。日本の男性の平均寿命は過去最高となりました。次は、女性と並んで、世界の長寿ナンバーワンになることです。

世界のトップクラスの長寿を支えているのが「和食」という、ヘルシーな食文化。現在、世界文化遺産としてユネスコに登録申請中で、登録されれば、富士山に続いて、世界に「和食」ブームがおこるのは、間違いありません。何しろ、「富士山、長生き、和食」なのです。富士山を眺めながら、世界一長寿の国の「和食」を堪能していただき、「温泉」でのんびり、日本は世界のヒーリングスポットになるでしょう。話が少しずれてしまいました。

「敬老の日」は、日本の過去と現在を担ってきた多くのお年寄りの存在に、国民の皆が思いを馳せる日です。昭和22年当時の兵庫県多可郡野間谷村の門脇政夫村長らが、村内に提唱した「としよりの日」が始まりと言われています。お年寄りの知恵を借りて村づくりをしようと、農閑期の九月中旬をその日に決めたのでした。それが全国へと広まっていき、昭和三十九年には「老人の日」として設置され、翌四十年に「敬老の日」となった訳です。

家庭の中での敬老の精神を持って生活することは、夫婦・親子の関係を豊かにしてきました。経験に勝るお年寄りを敬う気持ちは、そのまま若いメンバーへの

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 9月18日	39(2)	28(1)人	11(1)人	71.0%	*	
前　回9月11日	39(2)	31(0)人	8(2)人	83.7%	5人	97.2%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

躾となって、温かな家族関係を築いていく源となるでしょう。「年は寄れども心は寄らず」という諺があります。「まだまだ自分は若い」と思っている年寄りは多くいます。今月は「お年寄りから知恵と元気をいただく日」とし、その気力に満ちた言動に触れたいものです。

今日の道歌は　年齢の感慨

「朝起きて　夕べに顔は　変わらねど　いつの間にやら 年は寄りけり」一晩たったからと言って、人は顔が変わるほど変化するものではない。いつの間にこんな年齢になったのだろうか。ある程度の年齢になるとそう思う人が、多くいるのではないでしょうか。

黒磯ロータリークラブの平均年齢が64歳、65歳以上の会員数が22名。年寄りを大切にしましょう、じゃなくて、大切にしてくださいの仲間入りに私もなってしまいました。

幹事報告　石山桂子幹事



○　一般社団法人・黒磯那須青年会議所より創立40周年記念式典のご案内を頂いております。平山会長にお渡し致しました。

○　那須塩原市国際交流協会設立20周年記念のご案内を頂いております。平山会長にお渡し致しました。

○　ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま162号が届いております。回覧中です。

○　大田原ロータリークラブより、会報が届いております。回覧中です。

○　次回例会は観月会となります。会場は割烹石山に於いて夜6：00点鐘ですのでお間違えの無いようにお願い致します。

委員会報告　和気勝利副会長

○　高木慶一新世代奉仕委員長



昨日9月17日、1年交換学生ニコルさんの誕生祝いと歓迎会を開催しました。ホストファミリーの奥様の参加も含めて23名の方が参加して頂きました。平山博会長の歓迎のことば、石山桂子幹事からプレゼントされたケーキの蝋燭を吹き消しました。楽しい国際交流ができました。

卓話　SAA　鳥居輝一委員長



本日はSAA担当の卓話の時間です。少しの時間お付き合いのほどお願いいたします。

平山年度のSAAは副SAA瀬尾紀夫君、副SAA髙木茂君、副SAA植竹一裕君、それと私、SAA鳥居の4名のメンバーで一年間勤めてまいります。

会場の司会は1ヶ月交代でのローテーションを組み、その時に司会ができない場合は次の月の担当者が務めるルールを決めて、お互いに助け合って取り組んで居ります。

SAAの本年度の計画は現況報告書に記載いたしました通り、「例会が秩序ある運営と会員相互の信頼と友情をより深め、温かく、明るく、楽しいものにするように努める」ことを主題にしています。

計画の内容を４項目に掲げました。

1. 会長、副会長、幹事と各委員会の長と連絡を密に取り、例会が円滑に進行できるようにする。

石山桂子幹事から次の例会式次第が毎週メールにて配信されますので、例会進行が滞りなく進み感謝しております。幹事に敬意を表します。

2. 外来卓話の例会時には、持ち時間を十分にとり卓話者に失礼がない様に時間配分に配慮する。

外来卓話の例会は今のところ予定通り時間の配分を保持しています。

3. 無駄な経費をなくすために、欠席の連絡は9時30分までに本年度は石山幹事に連絡をお願いします。

最近食事の余りが多く見受けられますので、経費の節約のためにも石山幹事に欠席届を必ず願い致します。

4. 例会場でのBGMは季節に合う音楽を流すことに心がける。

先月８月はハワイアンミュージックを流し、今月は2020年の夏のオリンピックとパラリンピックが東京開催に決定しましたので、先週と今週の2週にわたりBGMをオリンピック放送のテーマソングを流しました。皆様お気づきになりましたでしょうか？これからも時候・時節にあったBGMを流したいと思っております。

12月に入りますとクリスマスソングを予定しております。以上SAAの本年度の計画と進捗状況をお話しいたしました。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

澤田　吉夫君　18号台風も無事通過し、今年も稲刈りが始りました。後日、おいしいお米をお届けします。

１年交換学生　李　宜蓁さん支援金の贈呈



台湾からの１年交換学生　李　宜蓁さんの第１ホストファミリー澤田吉夫君へ支援金が贈呈されました。

● ９月18日欠席(敬称略)

荒井昌一・小野安正・齋藤武久・佐藤博・鈴木久雄
髙木茂・時庭稔・檜山達郎・深町彰・藤村聡
須藤舜生

○ 前回 ９月11日分メークアップ(敬称略)

遠藤清和・小野安正・鈴木久雄・月江寛智
檜山達郎

次回例会　　平成２５年９月２５日　　担当　親睦委員会：観月会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６０３回　平山年度　第１２回　会報　２０１３-９-２５　司会　高木　茂君

会長挨拶　平山博会長



9月23日秋分の日

黒磯ロータリークラブでもご支援させて頂きました「親子で楽しむ能楽の世界」を見させていただきました。那須地方にもゆかりがある「日本の伝統文化」能楽について理解を深める事が出来ました。黒磯ロータリークラブメンバーによる、友情支援に対しまして敬意を表したいと思っております。朝からご苦労様でした。

会長挨拶に道歌、短歌をご披露させていただいております。「道歌」とは、生きていく上でのいろいろな教訓を、短歌の形にしたものです。江戸時代にはたくさんの道歌が作られました。

悪しきことは　人は知らぬと　思うとも　天に口あり　壁に耳あり　良きことは　真似になりともするがよし　いつしか馴れて　誠になるぞ

江戸時代の庶民は、文字を読めない人が多くいました。しかし、五七五七七の短歌にすれば覚えやすいため、大切な教訓は道歌として作られました。それらは、口から耳へと、沢山の人々に広く伝えられて行きました。

世の中に　花も紅葉も　金銀も　与えてあるぞ精だしてとれ　世を渡る　道はと問わば　とにかくに　夫婦睦みて　親子親しめ

このように勤勉や夫婦愛と言った生活の規範も、道歌に歌われて庶民の心に根付いていったのです。

道歌は生きる知恵がいっぱいの、先人からの贈り物なのです。

東日本大震災の際には、日本人の道徳的に優れた行動が、世界中から称賛されました。道歌が日本人の道徳的な底力を、育んできた一面もあったのです。

最近になり、小学校でも道徳の時間を再度取り込んだ学校もあると聞いております。

本日は、観月会がこの後控えておりますので、このへんに致します。

幹事報告　石山桂子幹事

【第12回幹事報告】

○　ロータリーの友事務所より、10月号のロータリーの友が届いております。鈴木久雄・雑誌委員長にお渡し致しました。

○　「2013年那須野巻狩まつり」第2回役員会・実行委員会合同会議開催の案内が届いております。荒井昌一・社会奉仕委員長にお渡し致しました。

○　修正しました2013～2014平山年度現況報告書が出来ました。レターボックスに投函しましたのでご確認ください。

委員会報告　和気勝利副会長

○　澤田吉夫君

委員会報告ではありませんが、23日文化会館で、「親子で楽しむ能楽の世界」が無事に終了いたしました。

ロータリークラブを始め、皆様からご協力を頂まして、ありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

齋藤　武久君　1週間のリフレッシュ休暇を取り、ナイヤガラの水しぶきを浴びてきました。爽快。

観　月　会　　司　会　親　睦　委　員　長　瀬　尾　紀　夫　君



会場には素晴らし秋の花々が

○　瀬尾紀夫親睦委員長



皆様今晩は。

観月会にお越し頂きましてありがとうございます。本日の司会進行を勤めさせていただきます、平山年度親睦委員長の瀬尾紀夫です。どうぞよろしくお願いします。

親睦委員会のメンバーをご紹介させて頂きます。副委員長に藤村さん、委員に大森さん、黒澤さん、時庭さんと、5名で活動しております。

お酒がないとかジュースがないとかは、我々5名の親睦委員会のメンバーへお声を掛けて下さい。直ちに対応致します。我々5名が準備に準備を重ねて参りましたが、不行き届きの点がありましたら、ロータリーの友情をもってお許し下さい。

それではまず会長挨拶の時間です。平山会長お願いします。

○　平山　博　会長挨拶

今宵は、平山年度観月会に会員の皆様初め、多くの奥様方にご参加いただき誠に有難うございます。

そして、一年交換学生ニコルにも出席をいただいております。

中秋の名月は、9月19日でしたが、今年も澄み切った秋の夜空に万全と輝いておりました。

　月月に　月見る月の　多けれど



　月見る月は　この月の月

いつも見ている月だが、最も美しいのは、9月の中秋の名月だと詠んだ短歌です。

平安時代の頃から、貴族の間では観月の宴や、舟遊びで水面に揺れる月を楽しんで、歌を詠み、宴を催しておりました。平安貴族は月を直接見ないで、大杯や池に映した月を楽しんだと言われております。　現在は、月を見ながらススキを飾って、月見団子、里芋、枝豆、栗などと共にお酒をお供えして、お月見料理を味わう習慣となりました。

さ～、私達の宴の準備も整っております。早速、平安貴族になったつもりで優雅に観月会を始めましょう。

準備にご苦労されました、親睦委員会の皆様に感謝申し上げ会長挨拶と致します。

○　瀬尾紀夫親睦委員長

乾杯のご発声を直前会長の秋間忍さんお願いします。



秋間直前会長の音頭による乾杯

○　瀬尾紀夫親睦委員長

本日のアトラクションの演奏者をご紹介させて頂きます。

リーダーの広原武美さん。昭和52年茨城県東海村生まれ。14歳で津軽三味線C級の部優勝、翌年にはB級の部で優勝。現在は金沢明子、竜てつや、香西かおり、寺内タケシ等、様々なミュージシャンと共演し、ご活躍されております。

もう一方は、ピエール小野さん。昭和53年生まれ。東京都葛飾区のご出身。筑波大学入学後津軽三味線を始め、ホスト系イケメンとして活躍し、平成18年全国津軽三味線コンクール大阪大会では、3位に入賞されております。それでは演奏の方よろしくお願いします。



迫力ある演奏でした



演奏に聴き惚れました



料理のお味はいかがですか



澤田エレクト中締めの挨拶



ニコルも楽しそうです



最後はみんなで大合唱



美女の勢ぞろいです

ロータリー米山記念奨学会　　黒澤洋一君

『ロータリー米山記念奨学会情報』

公益財団法人ロータリー米山奨学金とは

日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給して支援する民間の奨学団体です。

1．日本のロータリー地区が共同で作り運営する奨学団体です

・「米山記念」と米山梅吉氏の名前を冠していますが、米山家の資産のもとに作られた団体ではありません。

・静岡県駿東郡長泉町の（公財）米山梅吉記念館とは別法人であり、それぞれ独自の理事会によって運営されています。

・米山奨学金の財源は、全国のロータリアンからの寄付金であり、理事会は全34地区から選出された理事で構成されています。

2．奨学金の支給対象は、日本の大学・大学院で学ぶ外国人留学生です

・毎年約800人の私費外国人留学生を採用し、日本のロータリアンとの交流によって、将来、日本と世界を結ぶ架け橋となる人材を育てています。
（日本人留学生の派遣は行っていません）

3．60年の歴史をもつ日本のロータリー独自の国際奨学事業です。

・1952年、日本で最初に設立されたクラブ、東京ロータリークラブが日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始めた国際奨学事業が、国内の全ロータリー地区の合同事業に発展したものです。

4．財団設立から45年が経ちました。

・1967年7月1日、文部省(現在の文部科学省)の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。そこに至るまでも決して平坦な道のりではなく、将来の財団化を前提とした全国組織「ロータリー米山奨学委員会」が1957年に結成されてから、実に10年の歳月を要しました。

次回例会　平成25年10月2日　担当ロータリー米山記念奨学会委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を

会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2604回　平山年度　第13回　会報　2013-10-2　司会　瀬尾紀夫君

お客様

○　ロータリー米山記念奨学会　委員長
恩田光憲様（宇都宮西ロータリークラブ）

○　一年交換学生　李　宜蓁様



会長挨拶　平山博会長

先週の観月会、多くの会員の皆様方、奥様方にご参加いただき有難うございました。

津軽三味線を聞きながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

会場よし、会員の笑顔よし、奥様よし、津軽三味線よし、お料理よし、酒よし、すべてよし。改めて親睦委員会の皆様に感謝申しあげます。

所で，我人津軽三味線リーダー廣原武美氏は、14歳の時より全日本津軽三味線競技会やコンクール全国大会で、何度も優勝し、津軽三味線に関しては全国的にも、吉田兄弟同様に大変有名な方です。近県出身者と言う事で、特別に青木在住の和田裕子様のご紹介で素晴らしい津軽三味線を聞くことが出来ました。大変ありがたくお礼申し上げます。



10月に入りました。職業奉仕月間、米山月間であります。

米山月間につきましては、本日、地区の米山記念奨学会、恩田委員長にお任せ致します。10月は食欲の秋、10月1日はお酒の日、10月15日は体育の日

経済面では消費税8%、ロータリーでは地区大会。我がクラブでは、職場訪問、クラブ第一回ゴルフ大会、楽しい芋煮会などなど、10月は話題が沢山あります。

今日は、会長職務上、職業奉仕についてお話しさせていただきます。

とは言うものの、職業奉仕に関して説明する事は誠に難しく、見当違いの話でしたらお許しください。

企業の人事担当者から見た若年世代の特徴は、と言う事で、愛知県経営者協会が1966年から実施してきた調査を公表しました。

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 10月2日	39(2)人	34(0)人	5(2)人	91.8%	*	
前　回9月25日	39(2)人	36(1)人	3(1)人	92.1%	2人	100%
前々回9月18日	39(2)人	28(1)人	11(1)人	71.0%	8人	94.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

66年を初回として、85年、97年、2012年と調査し、若年世代の特徴として：

1966年では・・自己中心的・弱音を吐きやすい・口で言うほど行動が伴わない。

1985年では・・会社帰属意識が弱い・躾が出来ていない・与えられた仕事はしっかりするが進んで取り組まない。

1997年では・・「創造性・企画力」が不足「積極性・行動力」が不足。

2012年では・・「仕事中心」的な価値観を持った者が減少、周囲との踏み込んだコミュニケーションが苦手、指示されたことは正確にできるが応力がない、積極性・チャレンジ精神に欠ける。

協会は若年世代に対する見方について「知識や経験が豊富な中堅社員から見れば、自分たちよりまだまだ消極的に映る」と分析しております。

又、最近の若者に関して「ゆとり世代の特徴と言うより若年世代であるがゆえの見られ方をされている」と総括しております。

それぞれの年代で思い当たる事があるのでは……。

では、2012年以下の子供たちにやる気を起こさせる一つとして「九つ誉めて一つ叱れ------これでもまだほめ方が足りない」と言われていますが、年齢にかかわらず、人に誉められて自信を持てば、だれでもおのずと活力がわいて来ます。

現在の社会においても良いところをお互いに称えあう「ほめる文化」の醸成が、組織の成長につながる重要なテーマであると言われております。

確かに、どの組織においても、自分は全体の役に立っているだろうか、皆に必要とされ、認められているだろうかと言った不安があると、意気は揚がりません。「ほめられる」つまり人から認められる、肯定されてこそ、人は前向きになって、より持ち味が発揮できるのです。

日本には、どちらかと言うと、謙譲を美徳する精神的風土があり、ほめたり、ほめられたりする事に慣れていない人が多いかも知れませんが、人をほめ称える事は「神や仏」にも勝る、職業奉仕の倫理と言えるでしょう。

今日の道歌は　　率先垂範

やってみせて　言って聞かせて　やらせてみて

ほめてやらねば　人は動かじ

人にものを教えるには、自分でやって見せて言って聞かせ、 相手にそれをやらせてみて、やった事をほめてやらねば、誰も動かない。

人にものを教える、人を使う、このときはまさにこれしかないと思います。

第二次世界大戦の海軍連合艦隊司令長官、山本五十六の有名な言葉でもあります。

この歌には、続きがあります。

「話し合い　耳を傾く　承認し　任せてやらねば

人は育たず」

幹事報告　石山桂子幹事

【第13回幹事報告】

○ 「10月は米山月間」です。月間用に米山記念奨学会より関係資料が届いております。黒澤洋一・米山奨学委員長にお渡し致しました。尚、その中で「2012年度決算報告及び事業報告書」は本日、回覧中です。又、「豆辞典」はレターボックスに投函致しましたのでご確認ください。

○ 那須塩原市社会福祉協議会より、ボランティアセンター情報誌が届いております。レターボックスに投函致しました。

○ 第８回那須塩原ハーフマラソン実行委員会のご案内が届いております。荒井昌一・社会奉仕委員長にお渡し致しました。

○ ガバナー事務所より、「地区ロータリー情報セミナー」開催のご案内が届いております。福田逸男・情報委員長にお渡し致しました。

○ 10月のロータリーレートは1ドル＝100円との連絡が届いております。

○ 10月6日の地区大会の御案内をさせて手頂きます。朝7:00石山駐車場を出発いたしますので、お間違えの無いようお願い致します。

○ 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので引き続きお願い申し上げます。

委員会報告　和気勝利副会長

○　澤田吉夫君

委員会報告ではありませんが、美味しいお米が出来ました。親睦委員より、本日お配り致しました。お米の中に餅米の小袋が入っています。おこわや餅としてご賞味下さい。

○　髙木茂君

10月9日の例会は、職業奉仕委員会担当の職場訪問（カゴメ那須工場）になります。タイムスケジュールは：

- 12:00～12:20　食事
- 12:20～12:50　例会
- 1:00　出発
- 1:30～ 3:30　工場見学となります。

卓話　ロータリー米山記念奨学会委員会

○　黒澤洋一君



皆様こんにちは。本日の例会担当は、私共米山記念奨学会委員会です。10月は米山月間です。大変ご多忙の折、米山記念奨学会地区委員長・宇都宮西RC所属の恩田光憲委員長さんに卓話をお願いすることにしました。しばらくの間、ご静聴お願いいたします。委員会の活動としては、米山記念奨学事業の豆辞典を配布します。事業理解のために、会報委員会の皆様にお世話になり、今月の週報に情報を掲載予定です。それでは、恩田委員長、宜しくお願いします。

○　恩田光憲様



宇都宮西ロータリークラブ所属で、地区米山委員長を務めさせていただいている、恩田と申します。今日は、米山月間ということで、お招きいただき有難うございました。黒磯クラブの皆様には、日頃、寄付や、奨学生カウンセラーをお引き受け下さり、ありがとうございます。新しく入会された会員もおられることと思いますので、今日は基本的な事項を中心にお話しします。今年度の豆辞典が、最近できましたのでそれに沿って話します。

豆辞典は、米山の事が、簡便に、要領よく記載されています。有効にご利用くださるようお願いします。9月末に送られてまいりますので、既に届いていると思います。ロータリー米山記念奨学事業は、日本の全ロータリアンが参加し、推進している事業で、日本で学ぶ外国人留学生へ奨学金を支給し、支援している事業です。世界に類のない日本のロータリー独自の事業として世界に誇るべきものです。多地区合同活動ともいわれます。

よくなぜアジアの学生ばかり、という意見がありますが、米山はアジアの学生だけを対象としているのではありません。全世界の学生が対象です。アジアの留学生が多いのでどうしても採用はアジアが多くなってしまいます。1年間に全国で約700人、これまでに121ヵ国から17,545人を支援しています。日本には、外国人留学生を対象とする民間奨学団体が129団体ありますが、米山はその中で最大の事業規模です。今後、海外からより多くの留学生を呼び寄せようとしている日本の留学生政策にも大きく貢献しています。

米山の一番の特徴は、“世話クラブ・カウンセラー制度”によって、毎月、例会に参加し、ロータリアンと交流することにあります。米山奨学生は、たくさんの国の中からあえて日本を留学先に選んで、専門知識を学びに来た、優秀な人たちです。将来の世界を支える彼らに、日本人の“心”、ロータリーが求める平和への願いを理解してもらう、大きなチャンスとなっています。今、領土問題などによって、民間交流が途切れたり、互いが不信に陥っている状況があります。皆様からも、そのような国々の人々の支援をするのはおかしいという意見をよく伺います。しかし互いの友情なくして真の平和は無いと思います。ロータリーは政治や宗教を持ち出さない、と言います。政治や国というフィルターのない、人と人との交流の積み重ねこそが、絆を少しずつ強くするのではないでしょうか。

ポール・ハリスの言葉に「私は、ためらうことなく断言できます。世界平和は達成できる、と。さらに友情、寛容、人の役に立つというロータリーの堅固な土台の上に平和を築くなら、恒久的なものにすることが出来ます。」というものがあります。米山梅吉の講演にも「国際平和を政治外交にのみ依頼すべからず」というのがありました。

次に、財政状況、寄付状況についてご説明します。みなさんが米山に寄付したお金は、全額、奨学事業に使われます。このグラフは上が「収入」、下が「支出」です。理事会や、管理部門などの管理費支出は、“資産の利子収入”で賄い、収入を下回っており、戴いた寄付は全て、奨学事業だけに使われています。また、支出に占める管理費はわずか4.6%という非常に低い水準であることは、公益性の　高さを表しています。昨年度の寄付金収入は13億2540万円だったのに対し、奨学事業にかかわる費用の支出は13億5880万円でした。全体の不足分は1,341万円で、これは流動資産を取り

崩し補われています。取り崩しをやめるため、2013年4月より奨学生数を800人から700人に減らして、事業費を抑えています。

地区別の個人平均寄付額（普通寄付＋特別寄付）は、昨年度の全国平均は15,046円でした。当地区は、一人平均18,950円、全国で7位でした。この数年の当地区の実績は、やはり19,000円前後で、全国で7位前後です。黒磯クラブ様は、昨年度は18,900円で、県内21位、ガバナー目標額は達成されています。昨年度、全ロータリアンのうち特別寄付をした人の割合は全国平均で40%でした。当地区では70.3%の方にご協力いただいています。全国的に比較して特別寄付をしてくださる方の割合はかなり多いと言えます。

米山は公益財団法人ですので、寄付は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。「税額控除」と「所得控除」、どちらか有利な方を選択することができます。「税額控除」とは、寄付額の約40%を、所得税額から直接控除することができるもので、所得控除よりも控除額が大きくなることがあります。例えば、「税額控除」では課税所得額が750万円の方が10万円寄付した場合、3万9200円の所得税が還付されます。（100,000－2,000）×0.4特別寄付金のほか、普通寄付金も控除の対象となっています。これはクラブから米山への報告が必要になります。普通寄付も控除を受けられますが、個人の実績にはプラスされません。ガバナーが掲げる当地区の今年度の目標額は、1人当たり18,000円です。地区で奨学生を何人採用できるかは、寄付額の全国比に左右されます。

○　有資格者数（全国での割合）10%
○　個人平均寄付額での割当数50%
○　地区寄付総額での割当数40%

現在の当地区での採用数は22名枠でアジア学院2名を含め23人です。来年の当地区の奨学生数は20名枠でアジア学院2名で21人です。

元奨学生（米山学友）は、世界で、さまざまな活躍をしています。中国の姫軍（キグン）さんは、多くの日本企業を顧客に持つ弁護士です。昨年、日中関係が悪化した際は、中国にいる日本企業や駐在員の安全のため、24時間ホットラインを設けて無料相談を行ったそうです。また、2007年から毎年50万円の中国からの送金限度額の寄付金を米山奨学会へ送り続けており、2009年創立の中国学友会を正式に発足させた初代会長でもあります。2010年9月18日、名古屋のあるロータリークラブが中国学友会を訪ねて、彼と一緒に養護施設の子供たちを訪問しました。この日は満州事変が起きた日で、中国全体で、日本への反感が最も高まる日です。今年は大きな事件は無かったようですが、去年は日本大使館に投石があったり大きな問題になったことをご記憶の事と思います。しかし、中国学友会も、養護施設の子供も、職員も、ロータリーの一行を快く迎えてくれたそうです。スリランカ出身のスチッタさんは、私財を投じて「別府日本語学校」を開講しました。日本語だけでなく、留学後すぐに生活できるよう、箸の使い方や風呂の入り方など、日本の文化を教えています。

奨学期間が終わったあとも、ロータリーとの接点を持つために有効な組織が学友会です。学友会は、元奨学生と現役奨学生によって組織されるもので、日本国内に31、海外には台湾、韓国、中国、タイにそれぞれあり、さまざまな活動をしています。第2620地区（静岡、山梨）の学友会は、東日本大震災の被災地で、桜の植樹を行いました。第2770地区学友会では、自分たちで考えた企画で、毎年老人ホームを慰問しています。第2780地区学友会は、国内で最も活発な学友会です。地区大会で母国のお茶をサービスしたり、湘南海岸の清掃活動、ロータリアンを手料理でもてなす交流会、フットサルサークルなど、多くの活動をしています。2012年に設立されたばかりのタイ学友会も、養護施設の子供たちとの夕食会、粉ミルクや紙おむつの寄贈、海岸清掃、ウミガメの放流など、すでに数多くの活動を行っています。2550地区では、地区大会で毎年募金活動を行い、震災支援や米山に寄付をしています。2013年10月19日に、ネパールで海外5番目の米山学友会が誕生します。

昨年度、事業創設60周年を記念し、米山親善大使を募集しました。80人を超える募集者の中から選ばれた、初代米山親善大使がお二人選ばれました。親善大使は、ロータリーや一般社会に向けて、米山奨学事業のPRをしています。

日本のロータリーは、なぜ独自の奨学財団を作り、外国人留学生を支援しているのでしょうか。米山奨学事業は、日本のロータリーの黎明期を支えた大先輩たちの手で作られ、留学生支援一筋に60年間、脈々と受け継がれてきた日本独自の事業です。日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏が1946年に亡くなった後、“米山梅吉”の名を永遠に偲ぶことができるような、有益な事業をやろうではないかということで、1952年、東京ロータリークラブの古沢会長が「米山基金」を立ち上げたところが始まりです。なぜ、外国人留学生への奨学金という事業が選ばれたのか、いくつか理由はあったようですが、戦後の復興へと向かい始めた当時、「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を肌で感じてもらいたい」という、当時の日本のロータリアンたちの強い思いがあったから

のようです。東京ロータリークラブが始めた「米山基金」は、わずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業に発展しました。「米山記念奨学金設定の趣旨」の最後の一文です。「これ実に翁の生前意図されたロータリー事業の一つであり、われらまたもって翁の遺徳をたたうる無形の金字塔となさんとするものであります」古沢氏は、「大連宣言」で知られるすぐれた思想家だそうですが、彼がロータリー人生の最後に情熱を傾け、奉仕の実践に取り組んだのが、米山奨学事業ということが読み取れます。古沢氏は最初に迎えた奨学生を見届けることなく、1955年に亡くなりました。第1号奨学生はタイのソムチャードさんという方です。

まとめになりますが、米山奨学事業は、日本のロータリアンが受け継いできた、世界に誇る国際貢献事業です。教育への投資は、国際親善と友好に、計り知れない長期的波及効果があります。そしてこの事業の根幹は、日本に来てくれた留学生に、ロータリーの心、日本人の心を伝え、お互いに信頼関係を築くことで、平和への願いを奨学生を通じて世界に広めることです。海外での学友会活動や、台湾で、学友会を中心としたロータリークラブが作られているという事実を見ると、米山の事業が実を結びつき始めています。米山の事業は、今のわれわれロータリアンの誇りでもあります。先輩たちがつないできた米山の灯を消すことなく、次の世代に伝えていくために、ご協力お願いします。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

小野	安正君	バイク2台で9月10日～19日にかけて九州一周をしてきました。
礒	勝彦君	すっきりしません優勝をしてしまいました。
福田	逸男君	結婚祝有難うございました。
髙木	慶一君	誕生祝い有難うございました。
相馬	征志君	誕生祝い有難うございました。
瀬尾	紀夫君	娘(三女）の誕生日です。感謝。
檜山	達郎君	しばらくです。
澤田	吉夫君	今年も美味しいお米がとれました。
和気	勝利君	9月28日「あったかハート号」で都賀方面に行って参りました。天気に恵まれ、怪我無く無事に帰ってきました。ロータリークラブのご協力に感謝申し上げます。

誕生月３分間スピーチ
「3 ・11 その時私は何をしていたか」

○　高木慶一君（1946年10月20日　生）



3月11日14時46分私は自宅でテレビを見ていました。テレビが緊急地震速報あのいやな音と共にプルンプルン、プルンプルンと鳴ってきました。身を構えました。何秒だったか確かではありませんが、かなり時間がかかった感じがしました。「来た、来た、来た」と思いました。ガタガタ・ガタガタ・ガタガタガタガタその内食堂の食器戸棚の扉が開きガチャン、ガチャンとすごい音、私と松代は身動きがまったくできませんでした。

他に考えが行かない状況になりました。子供達は、会社は、お店はなどまったく考えませんでした。ただただ茫然と地震が止むのを待っていました。揺れが収まってから外に飛び出して駅前広場に出て、皆が無事なのが分かりました。

しかし強い余震が何回もありしばらく外に居ました。15時30分頃まで外に居たと思います。それから家に入りました、テレビが掛けっぱなしになっていました。駅前通りは停電しなかったのです。テレビをみて唖然としました。NHKテレビでしたが、ヘリコプターから撮っている生の映像が映っていました。津波が畑やビニールハウスを呑みこんでどんどん内陸に押し寄せている映像です。道路は車両が逃げ回っていました、ヘリコプターからの映像ですから逃げる車両と津波が見えます、「そっちに逃げたらだめだ、こっちに来いないと」無我夢中で役に立たないのに怒鳴っていました。それから夜中までテレビに噛り付いていました、気仙沼の火事が延々と流れていたのが思い出されます。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りします。被災された方々にお見舞いもうしあげます。

誕生祝



高木慶一君・相馬征志君・橋本佳明君・藤村聡君・(須藤舜生君)

結婚祝



福田逸男君・村山茂君・相馬征志君・秋間忍君・(深町彰君)

平山年度第１回ゴルフコンペ表彰



優勝、礒勝彦君
グロス　101、HDPC23、ネット 78



那須伊王野カントリークラブ。スタート前のメンバー。平山会長も応援に駆けつけた。

● 10 月 2 日欠席(敬称略)
月井寛智・深町彰・吉光寺政雄・室井次男
須藤舜生

● 9 月 25 日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・橋本佳明・須藤舜生

○ 前回 9 月 25 日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・橋本佳明

○ 前々回 9 月 18 日分メークアップ(敬称略)
荒井昌一・小野安正・齋藤武久・佐藤博・鈴木久雄
髙木茂・時庭稔・檜山達郎

次回例会　平成 25 年 10 月 9 日　担当　職業奉仕委員会(職場訪問)

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６０５回　平山年度　第１４回　会報　２０１３-１０-９　司会　髙木茂君

会長挨拶　平山博会長

2013年～14年度、第2550地区、地区大会が10月4日5日6日行われました。

4日の記念ゴルフ大会には、黒磯ロータリークラブより5名の方がエントリーし、高根沢邦夫会員がグランドシニアで準優勝、和気会員が一般部で4位、団体戦で総合7位と好成績をおさめられました。ご苦労様でした。

5日は、会長、幹事の地区指導者育成セミナーでは、弘前アップルロータリークラブ設立者、関場慶博氏の元気なアップルロータリークラブを紹介いただき、ロータリーのパワーをいただきました。

6日の本会議では、日曜日にかかわらず多くの会員の方々に参加いただき大変ありがたくお礼申し上げます。

各種表彰があり、我がクラブにおいては「放射能汚染問題講演会」及び「被災者支援（なす温泉ドリームツアー）」秋間忍直前会長がガバナー賞を、「100%財団友クラブ」や「毎日あなたも100ドルクラブ」で達成賞、個人としてはベネファクター2012～2013秋間忍会員、米山功労者に檜山達朗会員、25年100%皆出席会員とし鈴木久雄会員が、長寿会員としては、福島泰雄、須藤瞬生、半田久一各会員がそれぞれ賞をいただきました。おめでとうございました。

記念講演ではワタミグループ創設者、渡邉美樹氏の「奉仕は我が人生」の講演があり『みんなの夢』に関してたくさんの方が様々な形で「社会を少しでも良くする夢」の主人公になることで、皆の思いが集まり、大きな夢の力となって、たくさんの「夢」があふれ、「ありがとう」が飛び交う社会を創っていくことが出来ると言われた事に、共感いたしました。

株式会社ワタミについては一時悪いイメージがありましたが、これを払拭することが出来ました。話が、前後致します

先週の3日、齋藤武久御夫妻のご協力のもと、恒例になりました芋煮会が和気勝利宅をお借りしまして行われました。

美味しい芋煮を酒のつまみに、何回もお代わりし、酔っ払った順に帰宅していく訳ではなく、皆さんござっぱたき、大変気楽な楽しい芋煮会でした。

第一回の芋煮会は、鳥の目キャンプ場にて、大島年度から始められ、観光やなでも行い、年々盛大になり今日に至っております。ご協力をいただいた皆様に感謝し、また来年も楽しみにしたいと思っております。

10月1日はお酒の日でした。

古くから「柿を食べると、酔い醒ましになる」と言われてきましたが、これには科学的根拠があります。二日酔いとはアルコール、またはそれぞれが分解されてできたアセトアルデヒドが、翌日まで体内に残ってしまい、頭痛や吐き気などを引き起こす状態を言います。柿に含まれるタンニンにはアセトアルデヒドと結合して体外に排除する働きがあります。

柿はまさに二日酔いの救世主。飲酒の前に食べれば悪酔いを防ぐ効果もあります。これからは柿の美味しい季節。是非飲酒の際には活用したいものです。

今日の道歌は　　酒とうまく付き合う
酒のみが　酒に飲まるる　世の習い
飲まれぬように　飲むか酒飲み

酒飲みは、酒に飲まれてしまうような飲み方をするのが世の常だ。酒飲みよ、飲まれてしまわないように飲むことができるか？

酒は少し飲むなら「百薬の長」、身体循環やストレス発散に良い。だが、酒飲みと言われるほどの人は不健康な飲み方をする。しかも説教魔、口説き魔、泣きじょうご、笑いじょうご魔、裸踊り魔などに変身する者も。

「酒は飲むとも飲まれるな」。

幹事報告　石山桂子幹事

【理事会報告】

去る10月2日(水)に開催されました理事会の審議事項から報告致します。

○　11月プログラムの件、承認されました。尚11月27日(水)は那須クラブとの夜間合同例会となり、外来卓話を大田原信用金庫理事長・村田稔様に頂くことになっております。

○　黒磯那須青年会議所40周年式典の御案内を頂いております。御祝金として1万円承認されました。

○　織姫会に助成金として3万円承認されました。

○　社会法人・慈生会に協賛金として1万円承認されました。

【第14回幹事報告】

○　那須塩原ハーフマラソン実行委員会より、第8回大会役員の委嘱を頂いております。平山会長にお渡し致しました。

○　大田原ロータリークラブより、会報及び現況報告書が届いております。回覧中です。

○　塩原ロータリークラブより、現況報告書が届いております。回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　齋藤武久君

10月3日に18回目の芋煮会が催されました。参加者30名で盛会でした。決算しましたところわずかに残金が出ました、にこにこに入れておきました。会場提供の和気さんガス一式の協力の瀬尾さん、お手伝いの奥様方有り難う御座いました。

○　田中徹君

・ゴルフ愛好会　　11月27日(水)　黒磯・那須合同ゴルフコンペ(那須チサン)

・旅行愛好会　　2014年2月8～9日(1泊2日)　札幌雪まつり

参加確認表を廻しておりますので多数のご参加を。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

室井　次男君　秋の珍事です。ドラコン、ニアピン。第18回芋煮会　芋煮会で残金が出ましたので納めます。

○　**出席報告は次週回しとします。**

職業奉仕委員会　職場訪問

○　髙木茂委員長

例会終了後、カゴメ那須工場を訪問いたしました。カゴメ株式会社最大の製造工場が当市内にあります。野菜を加工してお客様にお届けする世界的な企業でした。

自然の恵みに感謝し、地球になるべく負担をかけないモノづくり、こだわりの商品づくりのために努力する最先端の製造工程を見学してまいりました。



○　訪問レポート　会報委員会

カゴメは明治32年名古屋市に誕生した会社でした。本社は今も名古屋市にあり、資本金19,985百万円、連結売上高約2千億円の企業です。個人株主、中でも女性株主が多いのが特徴だそうです。

那須工場の設立は昭和36年です。トマト産地の中央に位置している。交通の便がよい。良質な伏流水が得られる等の条件があり現在地に設立されました。141,000㎡(東京ドームの3倍)と言う広大な敷地にゆったりと建てられています。

工場の特徴は、カゴメ7工場の中で最大の規模を有し、飲料製品の製造と生原料加工(トマトとニンジン)をしています。加工用トマトの処理数量は日本最大。缶の野菜ジュースの処理スピードは1秒間に25本と日本一。「野菜生活」200ml紙パックの野菜飲料販売量は世界一を誇っています。

ここでトマトについて豆知識です。トマトはラテン名でSolanum Licopersiconと呼ばれます。licos=狼、persicos=桃、つまり狼の桃と呼ばれるのですね。暖かい地方では多年生ですが、日本のように冬があるところでは一年生となります。加工用のトマトと生食用のトマトがあり、加工用は赤系を、生食にはピンク系が用いられます。赤系のトマトの特徴はリコピン・カロテノイド・ヴィタミンC等がピンク系に比べより多く含まれています。

トマトは収穫すると実にヘタが付いています。加工の時に邪魔になるので品種改良でヘタがとれた状態で収穫できる凛々子(リリコ)という品種を作成し、ジュース用に

カゴメの名の由来：大正7年カゴメ印のマークが商標登録された。トマトの収穫に用いられた竹籠の籠の目に似ているところからカゴメ印と呼んだ。昭和38年社名をカゴメ株式会社と改称し現在に至っている。

用いているそうです。カゴメはトマトの品種だけでも7,500種も持っていると言うから驚きです。

国別のトマト摂取量というスライドが示されました。一番摂取量が多いのがエジプトで年間96.8kgも1人で食べるのですね。世界平均は18kg。日本人は9.0kgだそうで世界平均の半分という所です。これにはビックリです。栄養的にも良い食品なので、これからも消費量が上がって行くでしょうね。エジプトの次はギリシャ、以下リビア、トルコ、イタリアの順です。イタリアが53.9kgです。

研修センターでのスライドの講義が終わり、いよいよ工場見学です。前ページの写真に見える大きな建物は、商品のパッケージをするところで、広い内部でジュースが充填されてラベルが貼られ段ボールに詰められ出て行く一連の流れ作業が見られました。



大人の見学者の多くは地元以外から来るそうで、地元の我々は大歓迎だそうです。これから地元の小学生達の見学が多くなるそうです。

身近にあるのに遠い会社という印象の企業であったカゴメが、この訪問によって親しみのある身近な会社となりました。柳田さん今日は有難うございました。

2013～2014年度地区大会



来賓の紹介をする飯村慎一ガバナー

当地区の2013～2014年度地区大会が10月4日から6日にかけて開催された。6日の本会議は宇都宮グランドホテルで開催され、当クラブからも平山会長始め21名の会員が出席した。



会場内の黒磯ロータリークラブ会員

午前の会議で各種の表彰と記念品の贈呈があった。当クラブの表彰並びに記念品の贈呈があったのは以下の方々であった。

○ カバナー賞：放射能汚染問題講演会及び被災者支援（なす温泉ドリームツアー）秋間忍直前会長
○ 100%財団友のクラブ・毎年あなたも100ドルクラブ。和気勝利秋間年度ロータリー財団委員長。
○ 25年100%会出席会員　鈴木久雄君
○ 長寿会員(80歳以上)福島泰雄君・須藤舜生君　半田久一君。

以上の記念品は9日の例会で平山会長から手渡された。

○ その他に、ベネファクターに秋間忍君、米山功労クラブ(23回)、米山功労者マルチプルに檜山達郎君(2回)、佐治鐵造君(3回)等の表彰があった。



ガバナー賞を受け取る秋間忍直前会長



昼休み、ホテルの庭園にて



ロータリー財団からのバナーを受け取る和気秋間年度財団委員長



クラブ紹介をする黒磯高校インターアクトクラブの和知乃莉子会長



25年100%皆出席の記念品を受け取る鈴木久雄君



台湾からの1年交換学生ニコルは日本語で自己紹介



長寿会員の記念品を受け取る福島泰雄君



台湾から帰った磯杏子さんが帰国の報告。中国語も流暢に

次回例会　　平成２５年１０月１６日　　担当時庭地区委員

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2606回　平山年度　第15回　会報　2013-10-16　司会　瀬尾紀夫君

会長挨拶　平山博会長



10年ぶりに関東地区に接近した大型台風26号、昨晩は大雨、朝から暴雨風と大変心配しておりました。皆様の地域ではいかがでしたか。大きな被害が無いよう祈るばかりです。

職業奉仕月間にちなんで、職業奉仕に関して、文章が難しい、理解しにくい事があるので、少し解りやすい文章がありましたのでご紹介します。

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理念に本来込められているものは次のものである。

1) あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。
その中には雇主、従業員、同僚への誠実さ、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な取り扱いも含まれる。

2) 自己の職業またはロータリーアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること

3) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。職業上は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践奨励する事である。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブ・プロジェクトに応えることである。

先週、職業奉仕委員会による職場訪問でカゴメ那須工場を見学させて頂きました。近隣市町村には素晴らしい会社がある事は承知していますが、仕事内容等について詳しい事は、知っているようでなかなか解らないものです。そんな中、毎年、各有名な会社、一流企業を視察する機会を作っていただいた、職業奉仕委員会の皆様に感謝申し上げます。

今回訪問先のカゴメは、創業者である、蟹江一太郎氏が経営者として最後に到達した境地である「感謝」、カゴメの商品作り、カゴメの提供価値の源泉である「自然」、人に対して、社会に対して「開かれた企業」を目指すという、カゴメ商品と共に、カゴメの新しい「経営のこころ」なども同時に学ぶことが出来ました。社内で目にとまった大きな文字、「みちのく未来基金」「震災遺児孤児」に進学の夢を。

教育資金を支援し、高校大学への奨学金とする、カゴメの社内商品を原価で提供し売上金の全額を基金とする、と言う説明を受けました。そんな話を聞いたら、

出席報告　出席委員会　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 10月16日	39(2)	33(1)人	6(1)人	86.84%	*	
前　回10月9日	39(2)	29(1)人	10(1)人	76.3%	7人	97.3%
前々回10月2日	39(2)	34(0)人	5(2)人	81.08%	1人	83.78%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

黙っていられない我がロータリークラブのメンバー、帰りにはカゴメからのお土産と、買い求めた商品を両手いっぱいにぶらさげて、ささやかではありましたが基金に協力をして帰ってまいりました。

ここで、トマトに入っているリコピンの効果と効能、高い抗酸化力・血糖値を下げるリコピンについてご紹介させていただきます。リコピンとはカロテノイドの一種で、トマトやスイカ、ピンク・グレープフルーツなどに含まれる脂溶性の赤色の色素です。リコピンの効果、効能は強力な抗酸化力が得られ、血糖値を下げる、動脈硬化の予防、ガンを予防、喘息の改善、美白効果、ダイエット効果などがあると言われております。リコピンのガン予防効果は肺がん、前立腺ガンで有効性が示唆されております。また基礎研究レベルですがリコピンにはLDLコレステロールの酸化防止や乳ガン、肺ガン、前立腺ガンの増殖を抑える効果が報告されています。まさに、トマトは医者いらずの特効薬なのです。

今日の道歌は　世の仕組み
世の中はかごに乗る人　担ぐ人
そのまたわらじを　作る人

世の中は、かごに乗る人がいて、それを担ぐ人がいる。さらに、そのわらじをつくる人もいる。さまざまな職業の人がいるのが世の中の仕組です。この世には、数えきれないほどの職種があって、本当に世間は広いと思わされます。職業に貴賤上下はないはずでも、お金を稼ぐ商売、お金にならない商売があり、人に崇められる職業もあれば、嫌われる職業もあります。

いずれにしても、すべての職業でこの世の中が成り立ち、お互いに持ちつ持たれつしている。

幹事報告　礒　勝彦副幹事

○　地区インターアクト委員会より、第１回地区インターアクト合同会議開催についての御案内が届いております。高木慶一・新世代奉仕委員長にお渡ししました。

○　ガバナー事務所より、国際ロータリー第2550地区大会参加への御礼状が届いております。回覧致しますのでご覧ください。

○　那須塩原ハーフマラソン実行委員会より、第８回那須塩原ハーフマラソン大会プログラムが届いております。回覧中です。

○　ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま163号が届いております。回覧中です。



委員会報告　和気勝利副会長

○　会計　田中　徹

10月21日(月)に栃木銀行より引落を致しますのでご確認願います。

・地区大会記念ゴルフ参加費(参加者のみ)　\6,000
・ガバナー公式訪問記念写真代(出席者のみ) \1,050
・米山記念奨学会特別寄付　\13,000
・ロータリー財団個人寄付($100)　\10,000

卓話　時庭稔君(地区職業奉仕委員会)



毎年10月は職業奉仕に重点を絞ったプログラムを行う「職業奉仕月間」と定めています。

10月９日の例会では、職業奉仕委員会が担当で職場訪問を行いました。委員長である高木茂さんを中心にカゴメ那須工場を見学いたしました。担当者の方より説明とビデオの上映があり、それから見学し約１時間30分位の職場訪問でした。特に印象深かった内容は、

・トマトジュースに最適な品種は、トマト「凛々子」。
・トマトは赤いほど栄養素が高く、ジュースにも最適。
・野菜ジュースの生産スピードが日本一。(1秒間に25本)
・繁忙期には１日10ｔトラック100台分を出荷する。(７月～９月)
・日本にトマトが最初に入ったのは江戸時代(寛文年間)。
・世界で一番トマトジュースを消費している国はエジプト。２位がギリシャ。ということです。

帰りに、たくさんのお土産を頂きました。また、皆で商品を買いましたがその売り上げは寄付するということです。職業奉仕活動として会員の事業所見学や施設、工場見学などもこれから行っていきたいと思います。

2013～2014年度地区方針と目標

・職業奉仕理念と実践

私たち職業人は、ロータリーの網領にあるように、職業上の倫理基準を保ち高潔性を求めながら適正な利潤を確保していく企業経営が求められます。職業奉仕の理念の下でのビジネスが、益々信頼が得られ企業が繁栄していくように、利己と利他の調和を図りながら職業奉仕の理念を事業所で実践してまいります。

目標の中に「4つのテスト」の企業内への適用とあります。

1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

です。是非、社内で活用してください。

地区の職業奉仕委員会では、本年度ガのバナー方針の一つが「職業奉仕理念の実践」です。

職業奉仕とは、自分の仕事も含め、奉仕の理想（理念）を求めていくことであり、ロータリーの基盤となる大変重要な奉仕活動です。

会員各事業所において、実際にどのような企業理念（社訓）に基づいて経営されているか、各クラブの職業奉仕委員長にアンケートをお願いしました。結果は別添資料にある通りです。

平成25年9月1日宇都宮グランドホテルにて地区職業奉仕研究セミナーが行われました。黒磯RCからは、髙木茂委員長と私が出席しました。テーマが「職業奉仕の原理と実践」についてです。講師は第2680地区パストガバナー深川純一様でした。講師の略歴は、1930年2月生まれ83歳。職業は弁護士です。

セミナーの中で話していたことを紹介したいと思います。

最近は一般的に職業奉仕の概念自体が正確に理解されていないと思われるのであります。一つ例を挙げますと、一生懸命に自分の仕事をすることが職業奉仕であるという考え方です。確かに職業奉仕を実践するには、自分の仕事を一生懸命しなければなりません。しかし、その逆もまた真なのか。一生懸命に自分の仕事をすることは、ロータリアン以外の人達もしています。しかし、これを職業奉仕と言うことはできません。やはり、職業奉仕とは何かということを大悟徹底的に理解しておかなければならない。それは、知識として身に付く場合もあり、また、体験の積み重ねで身に付く場合もあります。と話されていました。また、同業関係については、鮎の友釣りは、鮎たちに共存共栄の意識が無ければ友釣りをすることができません。私たちの職業はどうでしょうか。自由競争が基本原則であります。これは、同業者との関係では食うか食われるかの関係にあります。したがって競争相手がいるゆえにある種の危機感をもちます。自分が潰れる前に相手が潰れてほしいという気持ちを持つかもしれません。

しかし、この気持ちは世の為、人の為の奉仕を標榜するロータリーの心とは相容れないものでありエゴイズムの心であります。とも言っておられました。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

新井　聖一君　さくら市マラソン大会10㎞無事完走

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

相馬征志君（1937年10月30日 生）



2011年3月11日　この日は日本人誰もが生涯忘れることの出来ない日となってしまいました。

地震発生の直前、私はお客様と一緒に新型車の試運転に出かけました。店を出てすぐ、この試乗車上下左右に激しく揺れ始めコントロールが出来ないような状況になりました。同乗していた客は当初「電気自動車(ニッサン・リーフ)はこういう走りをするのかな」と驚いたとか。すぐ事業所に戻り、従業員を一時帰宅させ家族の安否確認をさせるなどしました。

3.11それは未曾有の自然災害が日本を襲った日として後世に伝えられるでしょう。私たちの祖先は、地震・風水害・火山爆発等々あらゆる天変地異を乗り越えて賢く生きてきました。しかし、先の震災は揺れや巨大津波による悲惨だけではなく、人間が作り出した原発と言うモンスターの暴走がもたらしたムゴタラシイ現状をさらしています。これも含めて「すべて天災だ」などとして片付けることなどは許されるものではありません。

私にとっての3.11は、に新しい価値の創造を求める神の託宣のように思えてなりません

ロータリー米山記念奨学会　　黒澤洋一君

『ロータリー米山記念奨学会情報』

公益財団法人ロータリー米山奨学金とは

2　米山奨学金の寄付について

1．米山への寄付には、普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。

・　普通寄付金は、半期に一度、各クラブで決まった1人分の金額を会員数分ご送金いただくご寄付です。

・　特別寄付金は、任意でいただく寄付で、個人寄付・法人寄付・クラブ寄付の３種類があります。累計額に応じた表彰制度があります。ご寄付はいくらからでもご送金いただけます。

2．特別寄付には表彰制度があります。

・　累計 10 万円で第 1 回米山功労者となります。（以降、10 万円ごと表彰）

・　累計 20 万円から 90 万円まで、第 2～9 回米山功労者マルチプルとなります。

・　累計100万円で、第10回米山功労者メジャードナーとなります。（以降、10万円ごとに表彰。感謝状以外の表彰品は 100 万円ごと）

・　007年7月より表彰制度が一部改定され、感謝状以外の表彰品が100万円ごと(従来は30万円ごと)になりました。また、累計 3 万円での『準米山功労者』という呼び名が復活しました。

●　10 月 9 日欠席(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・大森貞男・吉光寺政雄
瀬尾紀夫・橋本佳明・半田久一・檜山達郎・藤村聡
須藤舜生

●　10 月 16 日欠席(敬称略)
遠藤清和・髙木慶一・津久井誠二・檜山達郎
深町彰・須藤舜生

○　前々回 10 月 2 日分メークアップ(敬称略)
月江寛智

○　前回 10 月 9 日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・大森貞男･瀬尾紀夫･橋本佳明
半田久一・檜山達郎

次回例会　　平成25年10月23日　　会長クラブフォーラム　夜間例会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2607回　平山年度　第16回　会報　2013-10-23　司会　植竹一裕君

会長挨拶　平山博会長



最近の経済動向は、安倍政権の経済政策の影響や、オリンピックの誘致の成功で、不動産投資や、住宅購入が活発化し、三大都市圏の商業地の地価が、前年比0.6%と5年ぶりに上昇に転じ、住宅地もほぼ横ばいに落ち着き、大都市圏を中心に回復傾向が鮮明になったと言う、少し明るい話題もありますが、地方においては、まだまだその状況がつかめず、一進一退のまだまだ厳しい現状にあると思っております。

しかし、政府は景気回復基調にあると言う事で、10月1日、閣議で消費税率を来年4月1日から、予定通り5%→8%に引き上げる事に決まった事は、皆様ご存じだと思います。消費税増税は、1997年4月に3%から引き上げて以来17年ぶりに8%に引き上げる事が決まりました。国と地方の借金が、一千兆円もあり、少子高齢で、社会保障費が年々アップする事を考えれば、やもえない・・・・・・・・。

しかし、政府は国会議員の定数削減、給与削減となんら身を切る改革もせず、復興特別法人税を、一年間前倒しで廃止する考えを示している。企業優先、それも大企業優先の消費増税であってはならないはずで、国民の期待に応じる政治をしてほしい。

ところで、消費増税前に買いたいものがあるから、ふだんの出費は抑えよう。こんな心理が浮かび上がった。増税に向けて家電などの「駆け込み」購入が増える一方、生活必需品では節約が強まりそうだ。食品などの買い物では格安店を利用して家計をやりくりする消費スタイルがすでに現れ始めている。

来年4月にも予定されている増税前に買っておこうと思うものを複数回答で聞いたところ、最近は「家電製品」(59%)が1位で、2位が「車・バイクなど」(28%)だった。いずれも増税の影響を感じやすい値の張る商品だ。3位は旅行(24%)、4位は衣料品や服飾雑貨(19%)と続き、幅広い商品が駆け込み購入の対象になりそうだ。スーツや呉服など高額の夏物衣料では「来年買うよりも今年買っておこうと購入する人がいる」(大手百貨店)という。

一方でこうした「駆け込み購入」のための、お金のやりくりについて聞いた答えに、「増税前から他の出費を抑える」(57%)「特に出費を抑えるつもりはない」(41%)出費を減らす対象は「外食」や「食品・飲料・酒類」が多く「衣料・ファッション雑貨」と続いた結果でした。

そんなことで、増税前に旅行に出かけようと言う事で、仲良し4人組は青森県下北半島、大間と恐山へ。大間のマグロの一本釣りは全国的にも有名で、別名「ホンマグロ」とも呼ばれマグロの中で最も大型の種類、大間では最大で440.3kgを超える大きさのものが水揚げされており、脂がのった旨さは、幻の逸品とされている。もちろんマグロ丼を食べさせていただきました。

そして次の目的地、恐山へ。比叡山、高野山とともに、日本三大霊場の一つに数えられている恐山。「この世」にいながら「あの世」に近づける場所とされていて、本堂脇のテントでは、イタコの口寄せ（霊魂を呼び寄せその意思を伝え告げる）が行われていて、長い行列が出来ておりました。

恐山の歌碑にて

人はみな　それぞれに　悲しき　過去を持ちて
賽の河原に　小石積みけり

小児が死んでから、苦しみを受けるとされる、冥途の三途の河原石を拾って、父母が供養のため石を積んで塔を作ろうとすると、鬼が来て壊す。これを地蔵菩薩が救うという。と伝えられています。

幹事報告　石山桂子幹事

○　第8回那須塩原ハーフマラソン実行委員会より3回目の資料が届いております。荒井昌一・社会奉仕委員長にお渡し致しました。

○　西那須野ロータリークラブより、週報が届いております。回覧中です。

卓話　クラブフォーラム　平山博会長

本日23日はクラブフォーラム（公開討論）であります。夜間例会で、この後楽しい懇親会があります。早く終了致しますので、少しご協力をお願い致します。

地区より次年度地区役員の選考をお願いされております。現在、半田久一会員　諮問委員、時庭　稔会員　職業奉仕委員会委員（1年目）、田中　徹会員　ソーシャルメディア委員会委員（2年目）、鳥居輝一会員インターアクト委員会委員（3年目）にそれぞれ委嘱されております。

鳥居会員が3年目で卒業となり、次年度地区委員1名が欠員となります。どなたか希望者がいればお受けいたします。

和気会員より地区役員について、質問があり、わかる範囲内で説明した結果、会長経験者の髙木慶一会員にお願いいたした所、心良く引き受けていただきました。これで、クラブフォーラムを終了致します。

****

クラブ懇親会スナップ



秋間忍直前会長の乾杯により、楽しくスタートしました。



半田久一PG、鳥居輝一地区委員、瀬尾紀夫親睦委員長、上機嫌ですね！



右から、平山博会長、石山桂子幹事、和気勝利副会長の3役そろい踏みで、何やら作戦会議？



髙木慶一新世代委員長、植竹一裕広報IT副委員長、ゴルフの調子はいかがですか？

次回例会　　平成25年11月6日　　担当ロータリー財団委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区
黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６０８回　平山年度　第１７回　会報　２０１３-１１-６　司会　鳥居輝一君

お客様　一年交換学生 ニコル



会長挨拶　平山 博会長

早いもので、もう11月に入りました。一年交換学生ニコルが、3日澤田ホストファミリーから、時庭家に引っ越しを致しました。澤田家の皆様大変お世話になりました。澤田家に孫が一人増えたと楽しそうでしたから、今はホッとしたり、寂しかったり、複雑な気持ちではないかとご推察致しております。

11月2日、多くのホストファミリーにお集まりいただき、引き継ぎを行いました。ホストファミリーの皆様、カウンセラー相馬様、ご苦労様でした。12月1日からは黒磯高校修学旅行で沖縄方面に行きます。ニコルも楽しみにしているのではないかと思います。時庭家の皆様宜しくお願いたします。

さて、今月はロータリー財団月間です。私なりにわかりやすい、ロータリー財団の話をさせていただきます。もし財団の卓話と重複していましたらごめんなさい。

「EREY」とは、「Every Rotarian,Every Year」のことで、日本では「毎年あなたも100ドルを」として親しまれています。言葉の通り、「毎年すべてのロータリアンが年次基金へ寄付をすることでロータリー財団の活動に参加しましょう！」という寄付による参加を呼び掛けるメッセージです。年次基金は、ロータリー財団の活動を支える最も重要な資金源です。ロータリー財団の年次基金の特徴は、寄付金を3年後の活動に利用する事です。これにより、ロータリアンは、寄付額が確定した後で、予算とプロジェクトの計画に時間をかけることが出来ます。一方、財団はその間、寄付金を投資し、収益により管理運営費と寄付増進費を捻出しています。

年次基金には、シェアや6つの重点分野などの選択肢があり、いずれも目標に達する達成額に含まれます。シェアを選択した場合は、50%がDDF(地区財団活動資金)、残りの50%がWF(国際財団活動資金)となります。DDFは寄付者の地区で使用を決めることが出来ます。クラブが実施する奉仕プロジェクトに利用できます。

今年度、世界における年次基金の世界の目標は1億2000万ドルです。世界的には、「EREY」は年次基金に毎年100ドルを寄付する事を目標としていますが、日本では田中作次RI会長年度の昨年度、年次基金一人当たりの目標を、年次達成の約130ドルより少し上向きに「150ドル」と掲げました。あなたも世界で良い事をするために、参加しましょう。

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席免除会員数2名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日11月 6日	39(2)	31(1)人	8(1)人	81.60％	*	**%
前　回10月23日	39(2)	31(1)人	8(1)人	81.60％	5人	97.4％
前々回10月16日	39(2)	33(1)人	6(1)人	86.84％	4人	100％

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

さて　国際ロータリー　第2550地区のロータリー情報セミナーが11月2日（土）宇都宮グランドホテルにて行われました。演題は「ロータリーの奉仕活動」について直前国際ロータリー会長、田中作次様（八潮ロータリークラブ）にご講演いただきました。

そのなかで、自分のクラブは楽しく活気に満ちた、人々に注目されている自慢のクラブでしょうか。あるいは独自の活動を行う、個性あふれるクラブでしょうか。会員の積極的な参加や新しい考え方を奨励していますか。私たちの取り巻く環境は、時代と共に変化しております。ロータリーもその時々に応じて変化することが大事です。会費や例会の見直し､(朝、昼、夜の例会), 女性会員を増強する、奉仕活動の見直し、若い方々の入会を推し進め、活性化をはかる必要もあります。会員の減少は目にあまるものがあります。多くのクラブで苦労しています。ロータリーが明確な目的がなく機能していない、ロータリーの実情を認識し、ロータリーを理解して、目的を持って会の運営を行う事が必要です。自分がロータリーを大好きでないと、他の人に勧められない。もちろん、ロータリーは楽しくなければロータリーじゃないと思っておりますが、同時にためになるクラブ例会が、おこなわれなくてはならないと思います。



卓話や会長挨拶が重要で「一例会で一つ得て帰る」会員同士の会話で素晴らしい考え方を知る事の出来る場、ヒントを得られる場でなくてはならないとの事

私も会長として、このような例会にしなくてはと思うと､責任の重大さをしみじみと感じさせられました。そして、奉仕についても、沢山心に残るお話がありました。田中作次氏のロータリーに対しての思いや、熱意を十二分に感じ取ることが出来た講演会でした。

所で、紅葉が山から里へと下りてまいりました。11月初めの連休に､甲子高原に紅葉を見に出かけました。天候にも恵まれすばらしい紅葉を見る事が出来ました。

今日の道歌　やがて錦の秋に

雨露に　打たるればこそ　紅葉の
錦を飾る　秋はありけれ

山々が色とりどりの錦のように見事な紅葉になるのは、気象条件が大きく左右するという。夏の厳しい暑さと雨露、秋の昼夜の大きな寒暖差、こうしたきびしさがなければ、鮮烈な色の紅葉にならないのである。いま厳しいからといって、嘆く事はない。この逆境があればこそ、人も成長するのである。

幹事報告　石山桂子幹事

○ ガバナー事務所より 2011 - 12 年度 GSE のペンシルベニア報告書が届いております。回覧中です。
○ 9 月 23 日に開催されました「親子で楽しむ能楽の世界」実行委員会よりお礼状が届いております。
○ 黒磯那須青年会議所40周年式典の御礼状が届いております。
○ 11 月のロータリーレートは 1 ドル＝ 100 円です。
○ 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので引き続きお願い申し上げます

委員会報告　和気勝利副会長

○ **津久井誠二君**

本会に類しないことで恐縮ですが、私の所属する大田原信用金庫が共催する講演会についてご案内申し上げます。先ほどパンフレットをお配りしました通り、来る 11 月 12 日(火)、那須野が原ハーモニーホールにおいて、講演会を開催する予定です。お席に若干の余裕がありますので、ご興味のある方は是非ともご参加賜りたくご案内申し上げます。

なお、お申し込みに際しましては津久井までお申し付け下さい。

卓話　村山茂ロータリー財団委員長



平山年度ロータリー財団委員会を担当しております村山でございます。副委員長に半田久一PG、委員に月江寛智元第 1 グループガバナー補佐の 3 名で活動しております。今月はロータリー財団月間でございます。財団の重要な活動について皆様にお伝えし、財団に対する自覚と誇りを育み、さまざまな方法で財団への参加を奨励しましょうということでございます。本日は先ず、現在までの実績報告等をご案内し、続いて、財

団活動の中で「認証」ということについて少し説明させていただき、さらに、次年度に係る地区補助事業について、皆様のご意見を頂戴させていただきたいと考えております。最初に本年度の実績等についてですが、

○　年次寄付（1人当り）　100ドル（全会員）＋50ドル（クラブ）＝150ドル

○ 恒久基金（ベネファクター）　1名　石山桂子幹事　1,000ドル

年次寄付については、当初計画に基づき、去る10月21日に個人負担分を皆様の口座から引き落としさせていただき、クラブ負担分と併せて送金させていただきます。また、恒久基金については、石山桂子幹事が快く引き受けてくださり、計画通り達成することができました。改めまして、皆様のご協力に感謝申し上げます。なお、地区補助事業、グローバル補助事業については、現在までのところ具体的な計画が立案されておりません。このことについては、後ほど皆様のご意見を頂戴したいと考えております。

次にロータリー財団活動の中で色々な用語が出てまいりますが、その中で、「認証」についてご案内し、財団活動に対する皆様のご理解の一助になればと考えております。ご案内の通り、ロータリー財団の活動資金は、皆様から寄せられる寄付金を元に基金を設け、3年後にその50%を国際財団活動資金に、50%を地区財団活動資金に、また、それを投資した運用収益を財団の管理運営資金等に充てるといった流れになっております。世界中から寄せられる、先ほどの年次寄付が主な財源になっている訳です。これが毎年行われる中で、財団として「皆様への感謝の意」を表するため、認証を行う訳です。認証には寄付の累積額に応じて次の通り表現され、年次寄付100ドル以上の個人寄付者は「財団の友会員」とされます。

○　ポール・ハリス・フェロー：累積1,000ドル以上の個人（認定状と襟ピン）

○　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー：上記1,000ドル＋1,000、＋2,000、・・＋9,000
（宝石つき襟ピン：サファイア、+7,000からルビー）

○　ポール・ハリス・ソサエティ：毎年1,000ドル以上寄付を決定した個人に対する認証で地区が所管する。

○　大口寄付者：累計が10,000ドルに達した個人または夫婦を表彰（彫込入クリスタルもしくは襟ピン）

- 10,000ドル～　レベル1
- 25,000ドル～　レベル2
- 50,000ドル～　レベル3
- 100,000ドル～249,999ドル　レベル4

○　アーチC. クランフ・ソサエティ：250,000ドル以上（国際ロータリー本部に肖像写と略歴紹介）
- 250,000ドルから999,999ドル：管理委員会サークルメンバー
- 1,000,000ドル以上：財団サークルメンバー

○　ベネファクター：恒久基金に1,000ドル以上の現金寄付等（認証状及び襟ピン）

○　遺贈友の会：10,000ドル誓約の個人または夫婦（彫込入クリスタルもしくは襟ピン）
- 10,000ドル～1,000,000ドル以上：レベル1～7に区分

○　クラブ認証
- 毎年あなたも100ドルをクラブ：クラブ＋全正会員＝平均100ドル以上（バナー）
- 100パーセント・ポール・ハリス・フェロークラブ：全正会員がポール・ハリス・フェロー（バナー及びRIホームページに掲載）
- 100パーセント「財団の友」会員のクラブ：平均100ドル以上で全正会員が100ドル以上（バナー）
- 年次基金への1人当たりの寄付額上位3クラブ：各地区内での寄付額が上位3位で、平均50ドル以上（バナー）

以上が認証の主な内容です。聞き慣れないもの・・・、聞きたくないものもあったかとは思いますが、参考にしていただき、その折にはご検討をお願いしたいと思います。

最後になりますが、先程来お話ししておりますように、毎年、ロータリー財団に寄付を行っている訳でありまして、一方、毎年、新たな計画を立て奉仕活動をしている訳であります。今年は、残念ながら地区あるいはグローバル補助に該当する事業は、現在までのところございませんし、平山年度中の実施は、さまざまな要件を満たす必要上、難しいと思います。従いまして本日は、次年度に実施することを前提に、皆様から具体的な提案等をお伺いしたいと考えておりますので、是非ご発言をお願いたします。なお、補助金に関する諸条件については、別紙の通りですので、これを念頭にお願いしたいと思います。

秋間忍直前会長より、那須塩原市の硬式テニス普及のための事業を検討してはとの意見をいただきました。今後、社会奉仕委員会等関連委員会との中で、検討事項として承ることを述べ、皆様の了解を得ました。

そろそろ時間も参りましたので、以上をもって卓話を終了させていただきます。皆様のご協力有難うございました。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

植竹　一裕君　本日那須町を含めた放射能検査が終わり、無事安全宣言が出来ました。
秋間　　忍君　何もないけど・・・
檜山　達郎君　結婚祝い有り難うございました。金婚式一年前です。何とか無事到達したい物です。
齋藤　武久君　誕生祝いありがとうございました。

結婚祝



植竹一裕君・橋本佳明君・室井次男君
檜山達郎君・高根沢邦夫君

誕生祝



齋藤武久君（鈴木久雄君・鈴木隆子君
黒澤洋一君･髙木茂君･吉光寺政雄君･深町彰君）

米山記念奨学会　　黒澤洋一君

『米山記念奨学会情報』

3．よくあるご質問（奨学金制度編）

Q．震災孤児を支援する予定はありますか？

『ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会』がロータリアンからの義援金で『ロータリー希望の風奨学金』を立ち上げています。同奨学金では、震災で肉親を亡くした大学・短大・専門学校生を支援するもので、2012年6月末現在、80人が受給しています。

Q．米山奨学金は中国人が多すぎるのでは？

奨学生825人(2012学年度)のうち51%が中国人と、国籍別では最も多くなっていますが、実は日本に来ている留学生のうち63.4%が中国籍です。実際に奨学生を選考する地区選考委員会では、人物面・学業面での優秀性を重んじつつ、１か国に偏らないよう努力しており、中国人奨学生は、他の国籍に比べ、狭き門をくぐり抜けて採用されています。

Q　．　最近、中国人などで裕福な人が多い気がします。　支援の必要があるのですか？

米山奨学金は経済的に困っているから支援するものではありません。勉学意欲があり、人物面・学業面が優秀で、将来、日本との懸け橋になりうる人材であれば、支援する意味があると考えています。2011年5月に実施したカウンセラーアンケートでも､「優秀性を重視すべき」との声が62%と､「経済面を重視すべき」(18%)を大きく上回っています。

※2550地区　2013－2014　奨学生は23名

国　籍：中国(9)、韓国(3)、ベトナム(3)、ネパール(2)
台湾(1)、マレーシア(1)、スリランカ(1)
モンゴル(1)、インド(1)、ケニヤ(1)。

● 11月6日　欠席(敬称略)
遠藤清和・黒澤洋一・鈴木久雄・鈴木隆子・髙木茂
深町彰・藤村聡

● 10月23日　欠席(敬称略)
秋葉秀樹・遠藤清和・齋藤武久・髙木茂・橋本佳明
福田逸男・藤村聡

○ 前々回10月16日分メークアップ(敬称略)
遠藤清和・髙木慶一・津久井誠二・檜山達郎

○ 前回10月23日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・遠藤清和・齋藤武久・髙木茂
福田逸男

次回例会　　平成25年11月13日　　担当　半田久一地区R財団監査委員

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2609回　平山年度　第18回　会報　2013-11-13　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長



11月７日、立冬を過ぎまして、寒さが一段と厳しくなりました。そして、今年もインフルエンザが流行する季節になりました。早めの予防接種を呼びかけるパンフレットが目にとまりました。予防接種の有効性は、発病予防効果が34%～55%、死亡を防止する効果は8割程度です。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染する事によっておこります。インフルエンザにかかった人が咳や、くしゃみなどをすることにより、ウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。流行時期は、通常、初冬から春先に見られます。典型的な症状は、突然の高熱頭痛、関節痛、筋肉痛などでのどの痛み、せき、鼻水なども見られます。普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。気管支炎や、肺炎などを合併し、重症化することが多いのもインフルエンザの特徴です。

また、流行が始まると、短期間に小児から高齢者までの膨大な数の人を巻き込むという点でも普通の風邪とは異なります。特に65歳以上の高齢者や慢性疾患患者は死亡率が普通より高くなる傾向にあります。

インフルエンザの予防の基本は、流行前に予防接種を受ける事です。これは世界的にも認められている最も有効な予防法です。インフルエンザは空気中に拡散されたウイルスによって感染するため、人混みは避けましょう。又常日頃から十分な栄養や休息を取ることも大切です。

インフルエンザ感染の広がりは空気の乾燥が関係しています。室内では加湿器などを使って加湿しましょう。また、外出時のマスク着用や帰宅時のうがい、手洗いを心掛けましょう。

所で、今、全国的に広がっている食材偽装問題。どこまで、このみっともない騒ぎは広がるのだろうか、食材偽装はホテルのレストランから，百貨店に飛び火して、しかも高島屋、大丸松坂屋、三越伊勢丹と言った一流デパートまでもが、なさけない事です。

ホテルも百貨店もほとんどが「認識が甘かった」などとして偽装とは認めず「誤表示」と言い張っています。不思議な言い訳があるものです。メニューの「車海老」はブラックタイガー、「九条ネギ」は普通の青ネギ、白ネギ、「牛ステーキ」は牛脂を注入した加工肉を使用するなど、すべて値段やイメージの安く低いものが、高いものに書き換えられています。そんな都合のいい「誤表示」があるものでしょうか。どう言い訳しようが、これは偽装であります。おそらく、意図的な偽装を認めれば不正競争防止法や景品表示法に抵触す

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日11月13日	38(2)	29(1)人	9(1)人	78.4%	*	
前　回11月6日	39(2)	31(1)人	8(1)人	81.6%	5人	97.4%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

る可能性があるとして、「偽装」と認めないだろうと思います。

両法律の厳格化、拡大運用を求める声もあります。法に触れようが触れまいが、やってはいけない事があり、食事を供する店が、食材を為ったメニューで客をだます行為は詐欺罪が適用されるべきである。

時間の大切さを教える道歌　その１

明日ありと　思う心に　だまされて
今日をむなしく過ごす世の人

「明日があるから、明日やればいい」と甘い気持ちにだまされて、今日と言う日を無駄に過ごしてしまっている人が多い。なんと愚かなことだろうか。

確かに長い人生、適度な休息や遊びは結構である。しかし、やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ。いずれにしても「今日」と言う日は、無駄に過ごしたくないものである。

いずれにしても、風邪などひく暇なし、私には、するべき事が, いっぱいある。大森貞男会員の行動力と、時間を大切に使う日常生活には、見習う点が多くあります。

幹事報告　石山桂子幹事

【理事会報告】

去る11月6日に開催されました第7回理事会の審議事項から報告致します。

○　12月プログラムの件、承認されました。
　尚、12月18日はクリスマス家族会となります。

○　11月27日　那須ロータリークラブと合同例会の件
　親睦ゴルフ大会について
　1. 開催ゴルフ場　那須カントリークラブ
　2. 集 合 時 刻　9時00分スタート
　3. プ レ ー 費　5,800円
　4. 大会参加費　2,000円
　合同例会について
　1. 開 催 場 所　割烹石山
　2. 例 会 開 始　6時00分点鐘

外来卓話を大田原信用金庫理事長・村田稔様にお願いをしてあります。又、ガバナーエレクト長嶋一郎様も出席の予定でございます。例会終了後、7時から親睦会を開催いたします。

○　第9回那須塩原市小学校対抗駅伝競走大会後援の件
　優勝・準優勝・3位と3個のカップレプリカを贈呈する事で承認されました。

○　公益財団法人「ボーイスカウト日本連盟」支援の件
　本年度は見送りとさせて頂きました。

【幹事報告】

○　会員増強委員長の檜山達郎会員より会員推薦がありました。異議申し立ての有る会員は、1週間以内に幹事の方までお申し出下さい。

○　大田原法人会より「公開講演会」の御礼状が届いております。

○　ハイライトよねやま164号が届いております。回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　大森貞男ゴルフ愛好会会長

来る11月17日（日）塩原カントリークラブに於いて黒磯RC平山博年度第2回ゴルフコンペ開催いたします。スタート：9：52分。

来る11月27日（水）那須カントリークラブに於いて、那須RCと黒磯RC合同ゴルフコンペ開催いたします。スタート：9:00　INコース

以上、宜しくお願いをいたします。

卓話　半田久一地区諮問委員



【地区情報】

地区大会のRI会長代理で、栃木に行くからよろしくと、ガバナー同期の横須賀ロータリークラブの小沢一彦前RI理事、現在はロータリー財団管理委員を務める彼より電話がありました。

7月のガバナー会の折、2000-01年度のガバナー達も今日では、ワンテーブル10人が集まる程度になり、互いの近況を確認することが多くなりました。財団管理委員の彼も加わり、篤い握手で応えてくれる。

RI会長代理歓迎晩餐会では、テーブルを共にし、本大会ではロン D. バートン国際ロータリー会長の貴重なメッセージと、国際ロータリーの重要な課題などご教示賜り、盛大に開催することができました。本会議では「未来の夢計画」がスタートし、世界で偉大なことをするロータリー財団を目指していきながら、ロータリーが大きく変革・発展する姿を示された。感動・感謝。

その「未来の夢計画」を地区とクラブが地域社会のニーズを把握し、新地区補助金の50%を各クラブが活用されることを、ロータリー財団部門・財団監査委員

に就任しました私も願っております。

田中作次前国際ロータリー会長を迎えて、地区クラブ奉仕部門主催の講演会が11月2日宇都宮グランドホテルにて開催されました。会長、次期会長、情報委員長を対象のプログラムでしたが、地区全員対象でもと思いました。

12月2日から4日にかけて、ロンD．バートン国際ロータリー会長ご夫妻と、李　東建ロータリー財団管理委員長ご夫妻を迎えて、ロータリー研究会が港区台場、グランパシフィック ル・ダイバで開催されます。2日のメジャードナー感謝午餐会より参加します。

12月22日、第2回諮問委員会と長島一郎ガバナーエレクトの国際協議会出席の壮行会が、宇都宮グランドホテルにて開催されます。

森　玄房ガバナーより指名を受け、ロータリー文庫の運営委員として、2010-13年度の3年間地区代表として役目を終えました。配布しましたロータリー文庫の案内パンフを活用し、ホームページをご利用下さい。

【規定審議会関係】

次に、2013年4月に開催された規定審議会の決定報告書により、クラブ細則等に関する採択制定案について話をさせていただきます。クラブ現況報告書P-111～124を参照ください。

○ **採択制定案13-02：クラブ幹事を理事会のメンバーとするよう規定する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第253ページ）

第10条理事及び役員

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第10条理事及び役員	第10条理事及び役員	第2条理事会	済み

○ **採択制定案13-03：クラブ役員の資格要件を改正する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第253ページ）

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第10条第4節-役員	第10条第4節-役員	第3条	済み

○ **採択制定案13-06：クラブ会長の資格要件を改正する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第253ページ）

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第10条第5節 - 役員の選挙	第10条第5節 - 役員の選挙	第3条 ｴﾚｸﾄ制採用により3年	済み

○ **採択制定案13-08：元クラブ会員の入会金を免除する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第253ページ）

第11条　入会金および会費：前略、他クラブに属していた元会員、あるいは本クラブに再入会する本クラブ元会員は、2度目の入会金の納入を義務づけられないものとする。下線部分が追加。

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第11条入会金 及び会費	第11条入会金 及び会費	第6条	第6条に併記し、内規の検討の要あり

○ **採択制定案13-12：出席規定に奉仕の要件を含めるよう改正する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第251ページ）

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第9条出席	第9条出席		済み

○ **採択制定案 13-12：会員身分の存続（終結－欠席）**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第 254 ﾍﾟｰｼﾞ）

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第 9 条出席第 1 節 第 12 条第 4 節 終結－欠席	第 9 条出席第 1 節 第 12 条第 4 節 終結－欠席		済み

○ **採択制提案 13-22：出席規定の免除の規定を改正する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第 252 ﾍﾟｰｼﾞ）

第 9 条　出席　第 3 節―出席規定の免除中の(a)項：ただし、健康上の理由から 12 ヶ月を越えて欠席となる場合は、理事会が改めて、当初の 12 ヶ月の後に、さらに一定期間の欠席を認めることができる。そのような健康上の理由による欠席は、クラブの出席記録上で欠席として算入されないものとする。　　以上が追加された。

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第 9 条第 3 節 出席規定の免除	第 9 条第 3 節 出席規定の免除		要

○ **採択制定案 13-23：出席規定の免除の規定を改正する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第 252 ﾍﾟｰｼﾞ）

第 9 条　出席　第 3 節　出席規定の免除（ｂ）「年齢が 65 歳以上の会員で、かつ、」の文言が削除された。

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第 9 条第 3 節 出席規定の免除	第 9 条第 3 節 出席規定の免除		要

○ **採択制定案 13－28：出席規定の免除規定を改正する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧、第 252 ページ）

第 9 条　出席　第 5 節　出席の記録

本条第 3 節（a）の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会を欠席した場合、その会員と会員の欠席は、出席記録に含まれないものとする。本条第 3 節(b)または第 4 節の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるものとする。下線部分が追加された。

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第 9 条出席	第 9 条出席	第 11 条	済み

○ **採択制定案 13-69：五大奉仕部門を改正する件**

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第 248 ﾍﾟｰｼﾞ）

「新世代」の語句が「青少年」と変更になった。

標準ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ定款	黒磯クラブ定款	黒磯クラブ細則	クラブ細則の対応
第 5 条 五大奉仕部門	第 5 条 五大奉仕部門	新世代→青少年	要

以上、クラブ細則に関する条文をクラブ定款細則検討委員会で検討し、クラブ理事会に提出し、理事会の承認のもと例会において改正する。ご静聴ありがとうございました。

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

黒澤洋一君（1943 年 11 月 18 日 生）



その日、私は、瀧田先生のお通夜当日で、お通夜のお手伝いに、鍋掛の会社から瀧田先生宅へ向かう車の中でした。湯街道踏切で、列車通過待ちのため停車中に、激しい揺れを感じました。上下にどんどん強くなる揺れ・・・小岩井食品工場の塀が今にも倒れそうで、悲鳴をあげながら、工場から出てくる女性社員達の姿が見えました。

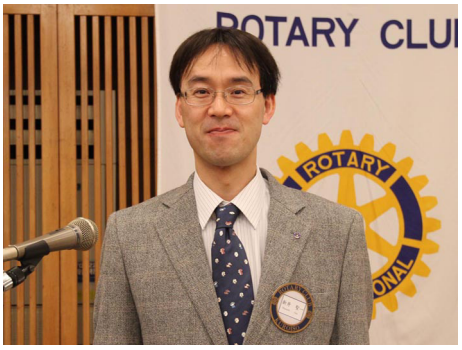
急いで会社へ引き返しましたが、激しい揺れに、会社駐車場でうずくまったのを覚えています。社員全員の無事を確認し、会社内の様子を見ると、銘木コーナーの床柱等が30本ちかく倒れていましたが、けが人はなく安心しました。その後、家族全員の無事を確認できたので、瀧田先生のお通夜に向かいました。そして、夜８時ごろほっとしました・・・。

大地震による恐ろしさを経験し、その後津波により2万人を超える犠牲者がでたことに、大変驚きました。犠牲者の方々のご冥福をお祈り申し上げます。そして、絆や助け合いの心、そして災害への備えの大切さなど多くのことを改めて学びました。これからも、その時の経験や思いを忘れることなく、過ごしていきたいと思います。

当クラブ会員で、会報編集委員である新井聖一君が11月11日急逝されました。44歳という余りにも早い死に、委員一同呆然としております。

2008 年７月、田中年度の開始とともに会報委員会の所属になり、以来５年間も会報の編集に携わりました。今やベテランの域に達し、委員会にはなくてはならない人でした。10日午後には、会報の校正のメールを受け取ったばかりでした。

告別式は 11 月 17 日、八州会館でしめやかに執りおこなわれました。謹んでご冥福をお祈りします。



● 11 月 13 日欠席(敬称略)
遠藤清和・鈴木久雄・秋葉秀樹・小野安正
植竹一裕・澤田吉夫・深町彰・月江寛智・須藤舜生

○ 前回 11 月 6 日分メークアップ(敬称略)
遠藤清和・黒澤洋一・鈴木久雄・髙木茂
鈴木隆子

次回例会　　平成２５ 年１１ 月２０ 日　　担当　広報ＩＴ 委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2610回　平山年度　第19回　会報　2013-11-20　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長



私の住む宮町には、子供さんが4.5人しかいません。きっと、七五三のお祝いでしょう。近頃の少子化時代に、こんな光景を見るのは久し振りであります。おめかしした女の子が、母親と手をつないで、父親の構えるカメラにポーズを決め、笑顔を向けていた。我が子の成長を喜ぶ両親も、満面の笑みを浮かべています。これから神社に行くのだろう。近所の人も，通りがかりの人も、皆、笑顔で見送っていました。

11月15日は七五三。もともとは子供が無事に成長した事を、神に感謝してこれを祝う行事、実は子供が3歳まで生きるのは、とても大変だったそうで5歳、7歳まで生きた事はとてもめでたい事でした。昔の人達は、子供がその年になると喜んでお祝いをしました。これからも無事に育ちます様にと言う儀式が今でも受け継がれている訳です。これからも、昔からの素晴らしい伝統は、いつまでも残して行きたいものです

そして、日本人が大事にしてきた、心の有り様があります。それを端的に表している二人の偉大な先達の言葉を、今日はご紹介したいと思います。

一人目は、明治の思想家、福沢諭吉の「心訓」であります。まず、

- 世の中で一番楽しく立派な事は、一生涯を貫く仕事を持つことです。
- 世の中で一番みじめな事は、教養のない事です。
- 世の中で一番寂しい事は、仕事のない事です。
- 世の中で一番醜い事は、他人の生活を羨むことです。
- 世の中で一番尊い事は、人のために奉仕して決して恩に着せぬことです。
- 世の中で一番美しい事は、すべてのものに愛情をもつことです。
- 世の中で一番悲しい事は、うそをつくことです。

「福沢心訓七則」と呼ばれるこの言葉は、じつは後年に別人が作った諭吉の偽作と言われています。しかし、諭吉の心に良く通じる傑作の為、現在でも、さまざまな場面で語られています。諭吉が説いているのは、「仕事に精を出す」「勉学に励む」「人々に愛と情けをかける」「人に尽くす」「他人をうらやまない」「嘘はつかない」などの精神であります。

そして、もう一人は、山本五十六の語録の中の「男の修行」であります。彼は、第二次世界大戦の大日本帝国の連合艦隊司令長官であります。それは、

苦しいこともあるだろう。
言いたいこともあるだろう。
不満なこともあるだろう。
腹の立つこともあるだろう。

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日11月20日	38(2)	30(1)人	8(1)人	81.1%	*	
前　回11月13日	39(2)	29(1)人	10(1)人	76.3%	6人	92.1%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

泣きたいこともあうだろう。

これらをじっとこらえてゆくのが､男の修行である。

五十六が言っているのは､「我慢」「忍耐」「感情を他人にぶつけない身の処し方」そして「努力邁進」であり､この二人の偉大な先達が述べている言葉の中には､日本人のあるべき人間像がよく表われています。

いま､先人が残した教訓を､たまには読み返す事も､必要ではないでしょうか。

ところで、新井聖一君に関しては、通夜、葬儀告別式が11月16～17日行われました。

11月13日、突然の訃報があり、間違いである事を願っておりました。吉光寺会員から連絡をいただき、決定的となり、閉会点鐘前に、新井聖一会員の訃報を報告いたしました。昨年の今頃、急遽、沖縄へ単身で行くことになり､皆心配しておりましたが､6月には黒磯に元気に帰られ、最近では、一年交換学生ニコルの歓迎会と､誕生祝いに娘さんと参加しておられました。11月6日の例会にも元気に参加しておりました。ニコニコした笑顔が忘れられません。本当に残念です。新井聖一さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

時間の大切さを教える道歌その　2　今日を頑張る

今日限り　今日を限りの　命ぞと
思いて今日の　勤めをはせよ

明日をも知れない命。今日限りの命と思って、後悔することがないよう今日という日の勤めを励むことです。今日やるべきことは今日やっておく。簡単なようでも難しい。今日一日の積み重ね、これが自分の人生を作る。充実した人生、それは日々精一杯よく生きる事しか、ないのではないだろうか。

幹事報告　石山桂子幹事



○　第8回那須塩原ハーフマラソン実行委員会よりお礼状が届いております。

○　ガバナー事務所より、インターアクト・クラブ海外研修参加のお願いが届いております。髙木慶一新世代奉仕委員長にお渡し致しました。

○　2014年RI国際大会が2014年6月1日(日)～4日(水)の間､オーストラリアのシドニー･オリンピックパークで開催されます。申込用紙を回覧致します。

○　黒羽ロータリークラブより、現況報告書及び週報が届いております。回覧中です。

○　会員推薦の件ですが、会員より異議はございませんでしたので、勧誘を宜しくお願いいたします。

委員会報告　和気勝利副会長

○　旅行愛好会大森貞男会長

来年の札幌雪まつりの企画が出来ましたので、各自にお渡しをいたします。12月から申込み金を受け付けます。

○　ゴルフ愛好会大森貞男会長

11月27日（水）は昼間は那須ＲＣと黒磯ＲＣのゴルフコンペです。夜は合同の例会ですので、宜しくお願いいたします。

卓話　広報IT委員会

○　福島泰雄委員長

当委員会の編成は、委員長に福島が、副委員長に植竹一裕さん､委員に藤村　聡さん､秋葉秀樹さんの4名で構成されております｡年度計画の進捗状況について､クラブ現況報告書に掲載されている「本年度計画」の内容順で話します。

1．Facebookへの取り組みについて

地区SM委員会は鈴木修司委員長のもと､年度当初に地区内各クラブに呼びかけFacebook活用についての勉強会を開き、新しくページ管理者を増強するなど地区Facebookページの有効活用を図っておられます｡黒磯クラブからも植竹一裕さんに新しく「地区Facebookページ管理者」となって頂きました。

昨年11月21日付けで「Facebookアカウント作成から投稿までの手順書」を皆様に配布して取り組み方をお願い致しております。9月25日に現状を知るためにアンケートを取らせて頂きました。その結果は、40名中14名（35%）の方が取り組んでおられ、26名（65%）の方が未だ取り組んでおられませんでした。この結果にもとずき当委員会としては、改めて会員皆様のご意向をお聞きした上で、Facebookに対するクラブとしての取り組み方法を考えたいと思っています。

2．黒磯ホームページへの取り組みについて

先ず､9月25日のアンケートの結果を申し上げると､閲覧されている人数は31名(77.5%)で大多数の方がご覧頂いており大変嬉しく思っています。9名(22.5%)の方はそれぞれの事情があってご覧頂いていないようですが、ご相談のうえ問題解決を図りたいと考えており

ます。

現時点でHPの内容は11項目に分けて掲載しておりますが、機会あるごとに新陳代謝を図りたいと思っています。11項目の内で、会員のページのみは黒磯ロータリーの方のみがパスワードを入力して閲覧できるようになっていますのでご承知おき下さい。パスワードは既に口頭にて皆様にお伝え済みでありますので必要な時は思い出してご入力下さい。一つ例をあげますと、

亡くなられた新井聖一先生の通夜の席で、陽子奥様の先生への想いが語られましたが、そのお言葉を一昨日ホームページの中の「会員のページ」に載せてありますのでパスワードで開きご覧ください。

3．下野新聞那須塩原支局とのコンタクト強化について

下野新聞社とは、昨年秋の交通安全週間パレードやドリームバスツアーなどの行事を機会に、飯塚　博支局長、関根　梢記者への取材依頼を行っており、今後益々親交を深めたいと思っています。

4．「ロータリーの友」「ガバナー月信」への投稿について

今年度は未だ投稿の機会に恵まれませんが、皆様方よりも投稿に適した情報の提供をお待ちしております。「友」9月号53頁に「ご投稿をお待ちしています」として種々の投稿方法が掲載されていますのでお目通し下さい。

5．地区第1グループ各クラブの広報担当委員会との情報交換について

種々の問題があり、未だ機会なく実現していませんが今後努力いたします。

6．デジタルフォトコンテストお題「感動」について

11月5日付けにて「第13回デジタルフォトコンテスト応募作品募集」を全会員あてメール送信しました。募集内容に沿って多数の皆様が応募下さるのをお待ちしております。賞品については、ユニークな物を目下物色中です。以上。

○　植竹一裕副委員長



副委員長の植竹です。福島委員長の補足をさせていただきます。

Facebookに付きましては、第2550地区のFacebookを閲覧しても内容的には、黒磯ロータリーのホームページとさほど変わりません。実際にFacebookの有効な活用方法を理解しているところまで第2550地区も進んでいると思われませんので中途半端に押し進めるより、実際に何が有効活用になるのか理解をする事に時間を掛けたいと思います。黒磯ロータリーでも65%の皆さんが実際にFacebookを利用しておりません。そこでその方々を対象に12月4日にアンケートをお配りしますので、協力をお願い致します。そこから何かを掴めればありがたいです。

次にホームページですが、以前よりは改善出来たかな？と思っております。実際にイベントや夜間例会などの活動内容の記載をされているのは福島委員長がお一人で行なっております。日々の努力に敬服致します。委員会のメンバーは当初ホームページの運用すら苦しんでいましたが、やっとここまで来ました。ホームページというのは、様々な方が見る事ができるのですが、あまり更新されないと誰も見なくなってしまいます。皆さんからの投稿や提案を頂いて、更新の回数を増やしたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。ご意見・ご提案をお待ちしております。

ニコニコボックス　小野安正君

小野　安正君　四国を一周してきました。
鈴木　久雄君　欠席多くてすみません。
大森　貞男君　会員が1人減りました。新井聖一さんのご冥福をお祈りします。

誕生月３分間スピーチ
「3・11 その時私は何をしていたか」

鈴木久雄君（1947年11月14日 生）

私は、那須町の守子、古民家で打合せ中の地震でした。

打合せもそこそこに那須街道を下って来ると、多くの人が道路や家の前で呆然とした姿で立ちすくんでいた事を覚えています。

今年も11月、東北震災の視察に行って来ました。昨年の11月は、仙台空港周辺から気仙沼・南三陸町・陸前高田でしたが、今回は、名取市　閖上地区と石巻市大川小学校・門脇小学校に行って来ました。

※　名取市閖上地区：人口　約5,500人、昼間の人口約2,500人中約800人の方が命を落されました。なぜ、閖上地区に集中しているのか、多くの人が犠牲になった主因は、まさかここまで津波は来ないとの思い込みによる避難の遅れと、車での避難者が大渋滞に巻き込まれて身動きが取れないまま、多くの人命が失われた事が挙げられています。

昭和8年、三陸沖。昭和35年チリ沖。平成15年十勝



沖の地震でさえも、さほどの被害がなかった事で、安心が多くの命を落す結果となってしまったそうです。

※　石巻市大川小学校、北上川河口より4キロ上流。ここも今までに津波などの被害がなかった所ですが、残念にも、小学生108人中74人死亡、教職員13人中10人死亡と言う結果になってしまいました。

一方、門脇小学校、教職員・生徒約300人全員が学校の誘導で高台に避難し、無事だったそうです。年一回の避難訓練が生かされた結果ではないかと思います。

残念にも校舎は、津波に襲われ火災が起き全焼しましたが、全国各地から、震災遺構の保存と言う声が寄せられる一方で、地元の意見は割れているそうです。現在は、シートに覆われて廃墟のまま残っています。

※　リスクーこれから起きるかもしれない危険に対して、事前に対応しておこうという行動。

危機管理ー大地震などの自然災害や不測の事態に、迅速・的確に対処できるよう、事前に準備しておく諸対策。

最後に災害は、いつ来るかもわかりません、地域々々にあった防災対策が必要かと思います。

“ 災害は忘れた頃にやってくる。”

第13回デジタルフォトコンテスト応募作品募集

2013年11月5日
広報IT委員会委員長
福島泰雄

黒磯ロータリークラブ恒例のデジタルフォトコンテストも平山年度で第13回目を迎えることとなりました。今年度の当委員会の年度計画にも掲げていますように、お題は**「感動」**であります。過去2年以内に皆様が感動をもって撮影された貴重な作品を選びだし、下記要領にてコンテストに応募して頂きたくお願い申し上げます。

記

・今年度のお題は「感動」です。
・応募資格：クラブ会員及び奥様(2年以内に撮影された写真)。
・応募方法:福島広報IT委員長アドレス(fyasuo@cocoa.ocn.ne.jp)にメールにて添付送信して下さい。写真のサイズは800×600ピクセル以内にてお願い致します。プリント写真で応募される場合のサイズは6ッ切り以内と致します。お一人3作品までと致します。各作品には必ず作品名をお付け下さい。
・応募受付期間：2013年12月1日(日)～12月15日(日)の2週間。
・投票期間：2013年12月22日(日)～12月29日(日)の1週間皆様に投票して頂くための作品一覧は、黒磯RCホームページの「会員のページ」に前日までに掲載いたします。投票は1人5票以内でお願いします。尚、自作品への投票は無効と致します。
・開票審査：2014年1月3日(金)立会人のもと厳正に開票を行います。
・開票結果発表：2014年1月8日(水)新年会席上にて入賞者発表と表彰を行います。

以上

● 11月20日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・遠藤清和・吉光寺政雄・髙木慶一
半田久一・深町彰・藤村聡・須藤舜生

○ 前回11月13日分メークアップ(敬称略)
鈴木久雄・秋葉秀樹・小野安正・植竹一裕
澤田吉夫・月江寛智

次回例会　平成25年11月27日　担当　黒磯・那須合同例会（夜間）

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2611回　平山年度　第20回　会報　2013-11-27　司会　鳥居輝一君

お客様

○　RI 第2550地区ガバナーエレクト長嶋一郎様
（大田原ロータリークラブ）

○　大田原信用金庫理事長　村田稔様
（大田原ロータリークラブ）

ガバナーエレクト長嶋一郎様ご挨拶



皆様、今晩は、大田原ロータリークラブの長嶋一郎です。多くの先輩方を前にして、ガバナーエレクトとして紹介されますと、非常に恐縮です。私は現在61歳で、2001年にロータリークラブに入会しました。まだまだ経験不足で先輩方にご指導をうけているところです。

ガバナーの役割はRI会長の方針に基づいて、地区委員の皆様とともに各クラブを支援する事です。2014年の1月12日から19日までアメリカの国際協議会に行ってRI会長の方針を聞き、それを皆様に伝えていきます。ロータリーは各クラブが一番上位にある逆ピラミッド型の組織です。クラブの下に地区があり、その下にガバナー、一番下がRIなのです。ガバナーは決して偉い人ではなく、クラブを支援するためのRIの役員です。3月に会長エレクト研修セミナー、4月に地区研修・協議会を開きしっかりと皆様のお手伝いをいたしますので、クラブの皆様、元気に頑張ってください。

会長挨拶　平山博会長

皆さま今晩は。今宵は恒例となっております那須ロータリークラブと、黒磯ロータリークラブとの合同例会です。

多くの那須ロータリークラブの皆様にご出席いただき、誠に有難うございます。まずは心よりご歓迎申し上げます。そして、今日の合同ゴルフコンペ少し寒い日でしたが、まずまず天気にも恵まれました。大変お疲れさまでした。

私は、本年度黒磯ロータリークラブ、第54代会長を務めさせていただいております、平山博でございます。宜しくお願い申し上げます。



私の先祖は、那須町でございます。祖父は那須町山梨子から祖母が北条、母は那須町追田原、そして家内は那須町狸久保です。ご存知のとおり那須町町長とは義理の兄弟になっております。渡辺美智雄代議士も那須町の出で、遠縁にあたり、当時は必死で選挙応援も致しました。と言う訳で、那須町とは縁が深く、足を向けては、寝れないほど大事な隣町であります。そんな訳ですので、那須ロータリークラブの皆様、今後共宜しくお願い致します。

先ほど、ご挨拶いただきました長嶋一郎ガバナーエレクトより、過日黒磯ロータリークラブを来訪したいと言うお話を頂きました。11月27日は那須ロータリークラブとの合同例会、しかも夜の例会で、懇親を深めるにはこの日が最適であると、ご招待申しあげました。

長嶋ガバナーエレクトは、次年度の準備で、これから益々お忙しくなるという事で、早めのクラブ訪問となりました。第一グループからは、3人目のガバナーで、半田パストガバナー以来、13年ぶりと言う快挙であり、期待が高まっております。黒磯ロータリークラブは、次年度ガバナーに対しまして最大限のご支援をしたいと思っております。

そして、本日卓話をお願いいたしました、大田原信用金庫、村田稔理事長様には業務多忙のところ、お越しいただき有難うございました。村田理事長は、すで

に皆さまご存知の方が多いので、大田原信用金庫が取り組んでおります、地域貢献活動について、ご紹介をさせていただきます。

それは、地域の子供たちが読む本の充実を図る事を目的に、平成20年の創立80周年記念行事の一環として、大田原、那須塩原、矢板、那須の4市町の図書館に総額1000万円の寄付を行われました。この寄付を機に、各図書館には、「だいしん文庫」と名づけた専用ブースが設けられております。それ以降、4市町へ地域貢献として、昨年度まで5回、合計1,600万円の寄付を行われました。今年度も、昨年度と同様に「だいしん文庫」へ寄付する予定と伺っております。児童図書などの充実が図られた事に対し、大変素晴らしい事であり、改めて敬意を表すものであります。

この後の、卓話を楽しみにすると共に、那須ロータリークラブとの合同例会が、有意義な例会になります事を願いまして、会長挨拶と致します。

今日の道歌はお休みします。

幹事報告　石山桂子幹事

本日の幹事報告は、ございません。

委員会報告　和気勝利副会長

○　ゴルフ愛好会大森貞男委員長

本日は那須カントリークラブに於いて黒磯ロータリークラブと那須ロータリークラブとの合同ゴルフコンペを開催いたしましたところ10名の参加がありました。優勝は黒磯ロータリークラブ高木慶一氏でした。成績は、夜の懇親会にて発表をいたします。同時に行われた黒磯ロータリークラブの第2回コンペの優勝は深町先生でした。有意義な一日でした。

外来卓話

○　大田原信用金庫理事長　村田稔様



皆様今晩は。只今ご紹介いただきました大田原ロータリークラブの村田でございます。本年度は社会奉仕委員長を務めさせていただいております。社会奉仕活動の一環として、明日、11時から「なかがわ水遊園」で地元の佐良土小学校の児童たちと共に、植樹作業を行う予定でございます。その前は震災の後、大田原の龍城公園や新しい那須日赤に、桜とか琉球ツツジを植樹いたしました。今回は2回目の植樹活動になるかと思います。

さて、本日は、黒磯と那須ロータリークラブの合同例会に卓話の機会をいただきまして、誠に有難うございます。黒磯クラブの平山会長には、私ども大田原信用金庫の監事をお願いしております。任意団体の監事と申しますと、1年に1回総会で監査報告をいただくのが通常でございますが、信用金庫の監事の役割は、少しちがいまして、その辺のところを皆様にご披露したいと思います。毎月1回開催される理事会への出席義務がございます。そして、意見陳述の義務もございます。そして、業務監査権の中核を占める最も重要な職務を担っていただいているということでございます。これ以外にも、我々理事の不正行為や法令、定款違反行為を防ぐためのチェック機能も担っていただいております。特に、私理事長の業務執行等については、間違った方向に舵を取らぬよう、監視をしていただいておるというような仕事をしていただいております。そんな関係で、平山会長から本日の合同例会で30分くらいの卓話をご依頼いただいた次第でございます。そういうことで、これから30分くらい、私が金融機関に勤めている関係で、景況感についてお手元の資料と、私なりに感じていることについて申し上げたいと存じます。皆様の参考になれば幸いでございます。

別添の資料でございますが、一番上に株価、金利、為替の推移表ということで、1987年から2013年5月半ば頃、バーナンキショックがあった時の株価の推移等、長期金利等いろんなことが書いてございます。そしてもう1枚は、2008年のリーマンショックがあった時から、株価、為替、金利、失業率の推移を、通常は毎月のデータを入れておりますが、今回は四半期ごとのデータを入力して、折れ線グラフで表示したものを皆様にお届けしました。

そしてもう一つでございますが、3枚目と4枚目が私ども信金中金経済研究所が作成しました、内外金利と為替見通しまたは経済見通しについて記載してございます。このような資料からお話ししたいと思います。

今からちょうど5年前の9月15日に何があったかといいますと、「100年に一度」と言われたいわゆるリーマンショックが起きた日でございます。1枚目の資料をご覧になっていただけますか。その資料の右側の一番上に08年という数字が入っております。そしてその下に文字が入っております。「ニューヨーク証券会社リーマンが経営破綻した」。その当時の日本の内閣は、麻生内閣でございます。そのような状況でございました。

皆様、先程私の隣におられた那須クラブの堀江さんですかね、「こんないい時もあったんだね」とおっしゃられていましたが、それが平成元年です。その時1989年の日経平均株価は、38,915円をつけた。これが今までのピークでございました。そしてこの線が、日本の日経平均株価の月足でございますが、黒い折れ線グラ

フになっております。そして、反対側に日本が下がった時上がっているのが、アメリカのニューヨークダウでございます。青い折れ線グラフになっております。そしてその下が円ドルの相場。これは月末の値を表示しております。そして、下の方に張り付いているのが、10年物国債の流通利回りです。私が金融機関に入った頃は、定期預金の金利が5.5%以上であって、そして、貸出しの利息が、皆さん、日歩2銭6厘という、年配の方は覚えておられると思いますが、そういう時代だったんです。そのころ電卓などは無くて、算盤で計算しておりましたが、年率に換算しますと9.49%です。今、その金利で企業の方にお借りしていただけますかね？誰も借りていただけないですよね。そんな時代に金融機関に私も入ったということでございます。

そして、いろんな変遷がございまして、日経平均の黒とニューヨークダウを見ていただければ解ると思いますが、やはり、リーマンの9.15と翌年の3月10日一番下になっていると思いますが、日経平均株価は7,054円を付けた。その当時のニューヨークダウは、円とドルの違いはございますが、6,547ドルでございます。そして、その頃の為替はどのくらいかというのは、その下に書いてございます。小さい字で恐縮ですが、89円55銭。これが当時の円相場でした。そして、日本はその間にいろんなことがございました。東日本大震災が3月11日に発生しました。その当時10,857円の日経平均株価でございましたが、震災後8,160円の下値を付けました。一方、ニューヨークはどうであったかといいますと、山あり谷ありの相場でございますから、6,547ドルの相場から右肩上がりに上がってきた。そして、2013年3月を見ますと14,537ドルになり、昨日を見ますと16,000ドル台になっている。円とドルが間違っているのかなと思うくらい違ってきています。日本はどうかといいますと、15,627円が5月23日の相場でございます。それが先ほど申し上げましたバーナンキショックといって、バーナンキFRB議長が、アメリカの金融緩和の出口戦略が、そろそろ始まるのではないかということを示唆した。それによって1日で1,000円の日経平均株価が落ちたというのが、この当時のものでございます。第二次安倍内閣が発足したのが昨年の12月26日でございます。そして、3つの大きな経済対策を打ち出して、その効果で円安・株高となり、先ほど申しました5月23日の終値で、リーマンショック後の最高値を更新し、15、627円を付けました。そして、バーナンキ議長が量的緩和QE3の縮小示唆発言をした5月23日には、1,143円の下落をし、その時で上昇相場の幕はいったん閉じたということになりました。それ以降は、株価も円相場も一進一退を繰り返すといった状況が続きました。そしてその後、アメリカと日本、ヨーロッパの経済指標、GDPとか失業率とか色々ございますが、やはり、回復をしてきた。そして、再び円安株高となりました。そして日経平均株価は15,000円台に回復して、昨日現在では15,515円になっています。ドル円は90円台からやはり、101円台になっております。今日あたりは高値警戒感ということで、65円ほど平均株価は落ちておりますが、円ドルはほぼ横ばいできております。

何といっても、日銀のいわゆる異次元の量的・質的金融緩和により、10年物国債の金利が1%を切っているという時代でございます。今では0.6%前後でございます。2年前くらいの過去4～5年間の10年物の長期金利は、1.4%くらいの利回りだったんですね。最低このくらいないと、国民の皆様、我々金融機関が運用するのには厳しい金利なのかなと思います。それで、なぜ日本の株がこんなに上がっているのかといいますと、ほとんどが外国人買いでございます。特に、ヘッジファンドでございます。そしてちょうど今、11月末がヘッジファンドの締切日になる。年間の精算をする時期がアメリカでは11月末ということです。そのころまた何かあるのかなと思っています。そして、最終的にどうなのかなといいますと、アメリカの雇用が改善している。そして株もあがっている。また、日銀が金利が上昇した場合は、今以上の緩和策を講じてくるのではないか。そのようなことから、円は下落加速するのではないかというのが、一般的な見方になっております。

1年前を振り返りますと、結果として野田内閣が解散を宣言した13日の翌日から日経平均株価がどのくらい上がったかといいますと、68%上昇しました。このころアメリカのヘッジファンドの大物は、自民党が勝つだろう。そして安倍内閣が誕生するだろうとの予想を立てて、投資しました。そしてなんと、安倍内閣が誕生して、円安に振れて102,103円の時に売却して、800億円くらい儲けたそうです。ですから私は、今の相場が果たして実態の相場かといえば、なかなか難しい。やはり、世界のそういう投資家が市場を動かしている部分もあるのかなと思います。ですから皆さん、我々もそうですが、投資する場合はよく勉強して、注意しながら行う必要があるのかなと思います。

そして、今後はどうなるかといいますと、やはり東京オリンピックでしょうね。これに伴う経済効果と、来年4月からの消費税増税等いろんなものがございますが、日本政府がしっかりと対応していただいて、デフレ脱却と日本再興計画が実現してほしいなと願望する次第でございます。

以上、いろいろとお話ししてまいりましたが、第一

生命経済研究所でエコノミストをやられている新家さんという方がおられますが、この方は景気予測で５年連続トップ10入りを果たされていますが、この方が「今後の日本経済は成長を続けると見るが、アメリカや新興国には不確定要素が多い。今の日本経済は、円安や株高が支えている面が大きい。ここが崩れたら危ない」と警鐘を鳴らしております。

私の個人的な考えでございますが、いろんなイベントがございます。GDP、円安株高、東京オリンピックもございます。やはり、そのことを上手く活用してデフレを脱却しなければ、私が健康の内の、これが最後のチャンスではないかと思っております。このようなことから、我々地域金融機関としてアベノミクスが成功するように、金融面でしっかりと対応しているところでございます。この結果、地域の経済状況は、少しずつではございますが回復しており、設備投資等には資金需要も発生しております。

また、お手元の２枚目の資料をご覧になっていただけますか。これが株価、為替、金利、失業率等の推移でございます。08年９月がリーマンショックでございましたから、８月からどのようになっているかということを、私が毎月のものを四半期ごとにまとめたものです。やはり世界を動かしているのは、アメリカ、ユーロであるということで、ユーロの為替相場等も書かしていただいております。そこで、2008年の９月をご覧になっていただけますか。日経平均株価は、11,260円です。一方、ニューヨークでは10､851ドルで日本の方がよかった訳です。円ドル相場は、106円台。円ユーロは、149円台。そして日本国債の金利は、1,47%。アメリカはなんと、3.69%。日本の失業率は、4%。アメリカが6.1%。ユーロが7.5%。これがリーマンの前でございました。そして2013年の９月、リーマンショックから丸５年経った日経平均株価とニューヨークがここに書いております。14,456円。ニューヨークが15,130ﾄﾞﾙということで、円とドルで単位は違いますが、逆転されてきております。

為替は98円台、ユーロは132円台でございます。

日本国債は、2010年９月に0.94%と1%を切りました。その後1%台を回復しましたが、2011年12月にまた1%を切りました。その後はずっと続いておりまして、エコノミストの中には0.8%台になるのではと予測されましたが、今や、0.6%台になってしまいました。これは日銀の異次元緩和によるものであります。そして、アメリカでございますが、3%台でございましたが、やはり金融緩和により最近では2%台後半になっております。この日本とアメリカの金利差が円安を生んでいるということを記憶していただいて、これからアメリカの景気がよくなれば、金利が上がります。日本は異次元緩和でこのまま推移するとすれば、今後も円安の傾向は続くのではないかと思われます。

失業率については、日本は4%台ですが、アメリカは7%台に落ちてきた。いま、バーナンキがFRBの議長をやっていますが、来年にはイエレンさんという今の副議長が議長に就任されます。イエレンさんは、失業率とかいろんな部分の権威者であるということで、失業率が低下しない限り、量的緩和の出口は見えてこないという考え方のようであります。

ユーロは相変わらず12%台が続いております。この中でもスペインの失業率が25%を超えております。そして、若者の失業率が50%以上です。これでは経済の活性化はあり得ません。

次に、信金中金が出しております「内外金利、為替の見通し」でございます。また、もう一枚は、「経済見通し」についてでありますが、後ほど資料をご覧いただければと存じます。

終わりになりますが、私ども信用金庫業界は、今後も厳しい経営環境が続くと思われますが、我々信用金庫の理念であります「相互扶助、共存共栄､」という信用金庫の特性を発揮いたしまして、当金庫の使命でもございます、地域社会への持続的発展に一層貢献してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。何かございましたら、私ども黒磯支店長の津久井までお申し付けください。本当に、いつも津久井がお世話に有難うございます。本日はご静聴有難うございました。

☺　ニコニコボックス　君

平山　　博君　ガバナーエレクト長嶋一郎様、那須ロータリークラブの皆様、大田原信用金庫村田稔様を歓迎して。

石山　桂子君　同文

第２回ゴルフ愛好会コンペ



優勝：深町　彰君

黒磯・那須ロータリークラブ合同例会懇親会



黒磯クラブ平山会長よりご挨拶を頂きました。



那須クラブ国分会長よりご挨拶を頂きました。



那須クラブ赤松様の乾杯にて懇親会がスタート！



アトラクションを独り占め薄井様おめでとうございます。



村田大田原信金理事長様、半田PG、那須クラブ赤松様。



ゴルフ優勝。黒磯クラブ髙木慶一君おめでとうございます。



黒磯クラブの面々、楽しそうですね。



黒磯クラブ半田久一PGの中締めにてめでたく終了。

次回例会　　平成２５年１２月４日　　担当：会長　年次総会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６１２回　平山年度　第２１回　会報　２０１３-１２-４　司会　植竹一裕君

会長挨拶　平山博会長



皆様、年末ジャンボ宝くじは買ったでしょうか。

今日は、宝くじや、競馬についてお話し致します。

ギャンブルに興味がないという方も、一度ぐらいは宝くじを買ったり、競馬中継を見たりした事があるのではないでしょうか。しかし、日本の競馬や宝くじで儲けようなどとは考えてはいけませんよ。なぜならあれほど割の合わない、投資はないからです。

競馬は胴元（つまりJRA）が、売り上げの25%を無条件で持っていく仕組みになっています。つまり馬券を購入した人たちは、残りの75%を分け合うわけですね。宝くじはもっとひどくて52%が胴元である地方自治体に無条件に流れます。宝くじの当選金は残りの48%をくじが当たった人みんなで分けたお金です。

ちなみにパチンコは大体10% が胴元の取り分ですね。競争がはげしいからたとえば、宝くじで100億円の売り上げがあったとします。そのうち当選金として、当選者に還元されるのはたったの48億円。残りの52億円は胴元である地方自治体のものになる。まあ、それを地方事業に使うわけですから、税金を払っていると思えばそれはそれでいいのですが、これで儲けようとするのはナンセンスです。

宝くじをすべて買い占めても半分も回収できないので、合理的に考えれば極めて割に合わない投資先です。

結局、宝くじは純粋な投資ではありませんね。みんな3億円が手に入るかもしれないという「夢」を見るために、お金を払っているわけです。毎年暮れに年末ジャンボ宝くじを何枚か買って、ドキドキしながら、当選番号を見る。そのドキドキを楽しむところまで含めての一枚300円です。10枚買ったとしても3000円。それで二週間ぐらい夢を見ることが出来ると言うなら、高いか安いかは人それぞれでしょう。競馬にしても、「お金を儲ける」というより、どの馬が勝つのか予想すること自体が、楽しいわけであります。

来年は午年、そこで一句

「馬年の・様子見に行く・競馬場」

私は、競馬、競輪、パチンコ、宝くじに投資じゃなくて奉仕をしてきましたが、結局博徒の才能はありませんでした。いい歳して、もっとやる事あるのではもっと、時間とお金を大切に使いなさいと言われております。

時間の大切さを教える道歌　その3 今を大切に

今今と　今と言う間に　今ぞなく
今と言う間に　今ぞ過ぎ行く

訳―「今だ今だ」と言っている間に、今と言う時は

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日12月 4日	38(2)	34(1)人	4(1)人	91.9%	*	
前　回11月27日	38(2)	30(0)人	8(2)人	83.3%	2人	88.9%
前々回11月20日	38(2)	30(1)人	8(1)人	81.1%	3人	91.9%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

なくなって、「今」と言う間に、その今は過ぎ去って行っているのです。

この歌で、どれだけ自分が「今」と言う時を、見過ごしているのか気づくのではないだろうか。

今年も12月、師走に入りました、「師走」の由来には諸説ありますが、一般には、12月は年末で皆忙しく、普段は走らない師匠さえも趨走（すうそう）することから「師趨(しすう)」と呼び、これらが「師走（しはす)」になったとされている。師は法師（お坊さん）であるとし、法師が各家で経を読むために馳せ走る「師馳月（しはせつき)」であるとする説も一般的である。

そんなわけで，皆さんも師走で大変忙しいでしょうが、元気に頑張りましょう。

幹事報告　石山桂子幹事

去る11月27日(水)に開催されました臨時理事会の審議事項から申し上げます。

○　ガバナー事務所より、フィリピンレイテ島災害義援金の依頼があり、当クラブでは会員１人千円を口座から引き落とす事で承認されました。

○　第１グループガバナー補佐・片柳洋様から高橋智純様（西那須野ロータリークラブ）に交代になりました。

○　第９回那須塩原市小学校駅伝大会役員の委嘱状が届いております。平山会長にお渡し致しました。

○　アジア学院より第41回卒業式の御案内が届いております。平山会長にお渡し致しました。

○　ガバナー事務所より、第4回日本・台湾ロータリー親善会議の御案内が届いております。回覧中です。

本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので引き続きお願い申し上げます。

委員会報告　和気勝利副会長

○　広報ＩＴ委員会福島泰雄委員長

1．11月27日の合同例会の記事をホームページの中の「地区大会・例会・炉辺会議風景」項目に**「年に一度のクラブ合同例会」**として新しい記事を掲載いたしました。　その中に21枚の小さな写真（サムネイル画像）が載っていますが、ご覧になる時に選択した写真にカーソルを合わせクリックして頂くと、写真が画面一杯に拡大され大変見易くなります。また、他の写真に移る時は現在見ている拡大画面の右側に出る＞印か、左側に出る＜印をクリックして頂くと前後の写真に進むことができます。

2．ホームページの中の**「会員のページ」**を開いてご覧になるためにはパスワードが必要となります。今までに３回パスワードを口頭で皆様にお知らせしていますが、忘れたので教えて欲しいと数人の方から依頼されました。忘れた方が他にもおられるようなので、メモ用紙に印刷して本日お渡しいたしました。パスワードを印刷して配布すると言うのは邪道ですので、取り扱いに気を付けて頂くようお願い致します。

3．先日の広報IT委員会の卓話で皆様に、**Facebook**に未だ取り組んでいないお方が26名（65%）おられるとお伝えしましたが、今日はその26名の方を対象にして再度アンケートを取らせて頂きます。来週の例会までにご記入の上、私または植竹副委員長の手許にお戻し下さい。その結果を今後の取り組み方に反映させたいと思っています。

4．今年の**デジタルフォトコンテスト**の応募期間が12月1日に始まりました。15日が締切日となっておりますので、この方も忘れずにご応募くださるようお願い申し上げます。お一人３点までで，それぞれの写真にファイル名を付けて下さい。

○　旅行愛好会大森貞男会長

来年２月の北海道札幌雪祭りの説明会を12月11日の例会終了後に行います。JTBのスタッフより説明がありますので、参加者はお残り下さい。

○　会計　田中徹

12月20日(金)栃木銀行より引落を致しますのでご準備願います。

・　旅行愛好会積立金(10月～12月)　\12,000 愛好会会員のみ。
・　11/27合同例会懇親会費　\5,000 参加者のみ。
・　フィリピン災害義援金　　\1,000 全会員。

○　和気勝利副会長

次週のクラブ奉仕委員会の卓話準備のため、各委員長の中間報告、後半の展望等発表していただきますようお願い致します。

ニコニコボックス　小野安正君

澤田　吉夫君　次年度お世話になります。
秋間　　忍君　次年度体制発足を祝して。
深町　　彰君　古希でのゴルフ優勝有難うございました。
室井　次男君　師走となりました。大森様から毎月の言葉と写真に実感を感じてます

年次総会

○　石山桂子幹事

ただいまから、黒磯ロータリークラブ年次総会を行います。規定により、議長は会長が務める事になっております。平山会長お願い致します。

○　平山会長

年次総会に入らせていただきます。黒磯ロータリー細則の、第５条会合に次のように記載されています。
第１節　年次総会
本クラブの年次総会は毎年12月第1例会に開催されるものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員及び理事の選挙が行われなければならない
第３節
会員総数の３分の１をもって本クラブの年次総会の定足数とする。
本日は、38名中35名が出席しておりますので、定足数を満たしておりますので年次総会は成立致します。
また、本日の年次総会議事録作成にあたり、議事録署名人に大森貞男君、福島泰雄君、お二人にお願い致しました。
それでは、議事に入らせていただきます。
さて、本日の議題は、次年度の理事役員の賛同を得ることです。
≪第１号議案　次年度理事役員賛同の件≫
本年度理事役員選考委員会規約により選考委員は、半田久一、福田逸男、黒澤洋一、高木慶一、檜山達朗、秋間忍、澤田吉夫(敬称略)、以上７名が承認されております。
11月20日、第1回次年度理事役員選考委員会が開催されました。 選考にあたっては、公平無私ロータリー精神に則り、クラブ会員の誰もが理事役員を経験する事が望ましいのでその理念を基本に選考に当たりました。次の方々が次年度の理事役員候補者として推薦されました。順不動ですが、発表します。　＜敬称略＞
澤田吉夫、瀬尾紀夫、和気勝利、村山茂、田中徹、鈴木隆子、佐藤博、時庭稔、植竹一裕、秋葉秀樹、荒井昌一、そして平山博です。
以上、12名が候補者として選出されましたので、ご審議をお願い致します。尚、これらの候補者は11月27日臨時役員会においても、承認されておりますので、ここにご報告致します。ご賛同いただけますでしょうか。
拍手多数とみなして、ご承認頂けたものとします。承認された理事・役員の方々は別室で次年度の担当職務を決めて頂きたいと思います。その間、暫時休息と致します。

********** 休憩 ********

○　平山博会長

それでは再開致します。次年度の理事役員の職務担当を次年度会長澤田吉夫会長より発表します。

○　澤田吉夫次年度会長

只今、次年度弟１回理事会を開催しました。それでは理事役員の職務分担を発表致します。　会長澤田吉夫、直前会長平山博、会長エレクト和気勝利、副会長クラブ奉仕村山茂、幹事瀬尾紀夫、会計田中徹、SAA鈴木隆子、職業奉仕佐藤博、社会奉仕時庭稔、国際奉仕植竹一裕、新世代奉仕秋葉秀樹、ロータリー財団、荒井昌一以上です。

○　平山博会長

有難うございました。最後になりましたが、その他何かありますか。無いようですので審議事項はすべて終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

○　石山桂子幹事

以上をもちまして、黒磯ロータリークラブ年次総会を終了致します。

次年度４役挨拶

○　澤田吉夫次年度会長



ただいまの年次総会におきまして、ご承認いただきまして、次年度会長ということになりました、澤田吉夫でございます。
ロータリーもスピーチ台にたたずに、一般の席で、皆様のお話を、お聞きしているのは、楽しいロータリーライフを味わえますが、スピーチ台に立つと緊張し、あまりすきではなく、大変さが先にたつ次第です。
今から２年前秋間さんに、副会長をおおせつかってから、まだまだ期間はあると思っておりましたら、あっと言う間にその時は来てしまいました。
理事、役員さんのご協力はもちろんですが、会員皆様のご協力を得て、進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○　和気勝利次年度会長エレクト



次年度の脇役として次年度会長に協力して、さらに次の年度がよりよき年度となるよう一年間勉強させていただきたいと考えております。会員皆様のご協力・ご指導よろしくお願い致します。

○　村山茂次年度副会長・会長ノミニー



この度、2014-15 澤田年度の副会長そしてクラブ奉仕委員会委員長に選任されました村山でございます。性格が、どちらかと言えば内気でございまして、人様に対してあれこれ指示を出すのは苦手で、会報委員会のようなどちらかと言えば、目立たない作業が性に合ってるような気がします。何れにしましても、澤田会長の指示に基づきまして、精一杯頑張る所存ですので、皆様のご協力を心からお願い申し上げご挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

○　瀬尾紀夫次年度幹事



澤田年度幹事を仰せつかりました瀬尾紀夫です。
メール、インターネット等々大変不得手な人間ですが、メンバーの助けがあるから大丈夫だとのことでお引き受けすることを決意しました。会員の皆様どうぞよろしくお願い致します。

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

深町 彰君（1946 年 11 月 6 日生）



平成 23 年（2011 年）3 月 11 日午後 2 時 46 分は、那須脳神経外科病院で唯一往診をしている患者の家にいました。その患者は、頚部脊髄疾患の症例です。当時 55 歳ですが、来院時にはすでに四肢麻痺も強く寝たきりでしたが、頭脳は明晰で、呼吸も出来ており、会話は可能な状態でした。本人の希望も強く、私の月 1 度の訪問診、日赤からの訪問看護、市からのヘルパーによる介助等を 20 年ほど続けています。

同日午後 2 時 15 分に家に到着し、通常の診察を行っている最中、大きな横揺れがありました。同時にヘルパーもおり、すぐに火を消すよう言ったことは覚えていましたが、揺れも強く、歩くことも出来ず、横になっていた患者のベッドに、両手でしがみつき、頭を下げました。その格好で、時の過ぎるのを待ちましたが、「それにしても長いね」と話したことは記憶しております。その間、築30年の木造の家でもあり、TV、オーディオ装置などが倒れたらどうしよう、天井が落ちたらどうしよう、患者をどうしようなどと、取留めもないことを考えていました。幸い、そういうこともなく、本人および88歳のお母さんたちも無事でした。家具の転倒もありませんでした。カルテでの記録では、「2時45分頃、地震を経験。当地での震度は5弱。」と記載されていました。

地震がおさまった後すぐに、特養さちの森、および病院に戻りましたが、職員たちが適切な対応をとっており、入所者や、患者、職員に特に異変がなく、安堵したことを覚えています。建物では、旧病棟と新病棟をつなぐ部位に破損がありました。これは、建築構造が異なるため揺れ方に違いがあったものと思われまし

た。日常の診療は、通常通り行うことが出来ました。

その後も訪問診を行っています。翌４月６日のカルテには、「3月11日の地震は、2時46分、宮城県沖、M9.0。当地は、震度６強であった。地震とともに、大津波で太平洋側は被害甚大。福島の第１原子力発電所も破壊され, いまだに放射能の解決がつかず、避難民多数。死者、行方不明１－２万人。」また、６月 10 日には、「大地震より３カ月。原発問題も解決せず、当地小、中学校の庭の土をどうするかが、問題となっている。そういえば、生徒の運動の姿を見なくなった。震災地への義援金を含め、復旧、復興はどうなるか。全然進んでいない。」さらに、平成 24 年３月９日には、「大地震より１年経過。復興は遅々としてすすまず。」私なりの3.11を言わせていただきましたが、仙台在住の息子からの、地震発生１週ほどのメールに、「何でもいいから、食い物を送ってくれ。風呂には1週間、入っていない。」との一言を添えて、私の話を終わります。尚、本日が大震災より1,000日目とのことを、朝刊で知りました。

誕生祝い



福田逸男君

● 12 月４日欠席(敬称略)
遠藤清和・吉光寺政雄・鳥居輝一・須藤舜生

● 11 月 27 日欠席
植竹一裕・遠藤清和・吉光寺政雄・相馬征志
橋本佳明・藤村聡・須藤舜生

○ 前回 11 月 27 日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・相馬征志

○ 前々回 11 月 20 日分メークアップ
秋葉秀樹・髙木慶一・半田久一

次回例会　　平成２５年１２月１１日　　担当クラブ奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2613回　平山年度　第22回　会報　2013-12-11　司会　植竹一裕君

お客様 一年交換学生　李　宜蓁さん



皆さん今日は。先週は黒磯高校の修学旅行でした。私も２年生の生徒達と一緒に沖縄に行って、いろいろなところへ行きました。水族館、首里城とアメリカンヴィレッジはとても人気がある場所です。私は一番好きな活動はマリン体験でした。友達と一緒にバナナボートに乗って楽しい時間を過ごしました。

ホストファミリーが一ヶ月前に変わりました。今、時庭さんの家に住んでいます。時庭さんの奥さんはとても料理が上手なので、私に料理作り方を教えてくれました。この前も、たこ焼きパーティをやりました。私はたこ焼きが大好きです。自分でたこ焼きを作って嬉しかったです。

二週間前は、黒磯高校の期末テストでした。ホストファミリーの皆様と一緒に日光の江戸村に行きました。沢山の江戸期の物を見ました。日本の文化を体験して本当に良かったです。有り難うございました。

会長挨拶　平山博会長



12月第一例会の年次総会で、澤田年度の理事・役委員が無事決まりました。誠におめでとうございます。

1年前を思いだしますと、ずっしりとのしかかった肩の荷が一つおりました。まだまだ気は抜けませんが、少し嬉しさを感じた年次総会でした。

12月7日（土）第9回那須塩原市小学校対抗駅伝競走大会が、くろいそ運動場で行われました。63チーム630名が参加し、各小学校生・先生・父兄の応援団で大変混雑する中で、盛大に開催されました。昨年は大雪で順延となりましたが、今年は寒い日ではありましたが、天候にも恵まれ、駅伝日和となりました。勝敗も大切ですが、チームのために走り、友との信頼関係を築く事が大切であると言う事と、黒磯ロータリークラブは健全な心と、体をもつ立派な人間に成長するよう、これからも全力で応援すると挨拶を致しました。

黒磯ロータリークラブは、唯一の後援者と言う事で、来賓祝辞の後、混合の部のスターターを仰せつかり、

出席報告　出席委員会　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日12月11日	38(2)	30(1)人	8(1)人	81%	*	
前　回 1月 4日	38(2)	34(1)人	4(1)人	91.9%	1人	94.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

無事こなし、初の経験でしたので感激を致しました。

7年後の2020年オリンピック東京大会で、この子供さんの中から、オリンピック選手として、出場することも夢ではなく、又、大学や実業団で活躍しているのではないかと思うと、期待が膨らみます。この大会は、2004-2005年度福島泰雄会長の時、スポーツ振興会を通じて後援者となられたと、聞いておりますが、私以下、知らない人も多く残念に思っております。

ロータリーと地域の関係を深めるためにも情報を提供し、もっと会員に知らせるべきだと反省しております。来年は第10回の記念大会、黒磯ロータリークラブとしても、財団地区資金を使って盛大に祝ってやりたいと思っております。後援・黒磯ロータリークラブの名が入ったカップが小さすぎるので、次年度の澤田会長、村山財団委員長宜しくお願い致します。

所で、ここ数日寒い日が続いております。暖房器具も大活躍、ところが修理が多く、原因は古い灯油を使用した為で、点火しない消火しないと言う、危険事例を紹介致します。前のシーズンに残った灯油、もったいないからと使っていませんか？国民生活センターは本格的な冬到来を前に、古い灯油を使って暖房器具が故障したり、消火できなくなったりするトラブルが相次いでいるとして、注意を呼び掛けています。同センターによると、2012年11月～今年4月、全国の消費生活センターなどに寄せられた、灯油による危険事例の相談は123件。「煙が出た」などのほか、臭いや煙による喉の痛みや頭痛の訴えもありました。灯油は紫外線や高温によって酸化が進み、変質すると黄色っぽくなる。

国民生活センターが実験したところ。変質灯油を石油ストーブに使うと芯にタールが付着し、緊急消火ボタンを押しても火が消えない事があった。結露などで水の混ざった灯油だと、芯が水を吸って火力の調整が出来なくなった。などあります。とにかく、古い灯油の使用はやめましょう。古い灯油の使用で、お客様とのトラブルがあります、何回説明しても理解してもらえず商品が悪い、配達した灯油が悪い等々、悲しい限りです。

今日の道歌　気持ちの置きどころを教える道歌

堪忍の　なる堪忍は　誰もする
ならぬ堪忍　するが堪忍

訳―堪忍（怒りを耐える）できる程度の堪忍は、誰もがしている。しがたい堪忍をすればこそ、それが本当の堪忍というものだ。

お詫びと訂正

小学校対抗駅伝競走大会は2004～2005年の福島泰雄会長の時から後援したとお話を致しましたが、間違いでした。正確には1988～1989年、月江寛智青少年委員長の時、旧黒磯市小学校駅伝大会の時から後援が始まり、那須塩原市小学校駅伝大会になって第9回目で通算26回目の大会でした。

幹事報告　石山桂子幹事

去る12月4日(水)に開催されました理事会の審議事項から申し上げます。

○ 1月プログラムの件、承認されました。尚、1月8日は新年会となります。

○ 平成25年度「ふれあいの集い」開催に伴う後援名義使用の件承認されました。

○ 昨日、第1グループ会長幹事会の会議が開催されました。議事の内容は、2013-14年度第1グループIM開催についての件でした。

日　　時：2014年2月2日(日)
会　　場：西那須野「割烹いとう」
登録受付：12：30　開　　会　13：00
懇 親 会：16：10　終了予定　18：00

詳細・出欠につきましては、1月に入ってからお知らせ致します。

○ 大田原ロータリークラブから、会報が届いております。回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

本日報告事項無し

卓話　クラブ奉仕委員会

○ 和気勝利クラブ奉仕委員長



ロータリークラブのクラブ奉仕委員会は、ロータリーの内外にむけて広く活動するロータリーの根幹をなす大切な委員会となっております、そこで本日はクラブ奉仕委員会の11ある委員会より平山年度前半の事業活動報告と、後半に向けての展望等発表していただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、瀬尾親睦委員長からお願いします。

○ 瀬尾親睦委員長

12月18日にりんどう湖ロイヤルホテルにて予定して

いるクリスマス家族会の参加者は、会員・奥様・ご家族総数で80名です。バルーンアート、イントロクイズ、サンタさんからのプレゼントなどを予定しております。

また、明年1月8日に石山で予定している新年会の会員の出欠状況は、現在欠席1名、未確認2名、奥様のご参加が18名です。

アトラクションとして例年通りお琴の演奏を予定しております。お楽しみにしてください。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

親睦委員会も一年間で一番忙しい時期になりますので、ご協力のうえよろしくお願いいたします。

○　秋葉秀樹出席委員会委員長

皆様、出席率の向上をよろしくお願します。よろしくおねがいします。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

最近、修正出席率が以前と比較して100%にならない週が時々あるようですので、さらなる出席率向上を会員の皆様にお願い申し上げます。

○　鈴木隆子プログラム委員会委員長

現在まで特に問題はなく経過しております。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

プログラム委員会は、前年度中にプログラムを作成しておりますので、年度中は毎週卓話の会員への案内かと思います。前半を見る限り案内がよく出来ているようですので、後半も引き続きお願いいたします。

○　福島泰雄広報 / IT 委員会委員長

デジタルフォトコンテストの応募締切日が12月15日に迫っています。まだ応募されていない方はお早めにお願いします。

結果発表は1月8日の新年会の席上で行います。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

例年よりデジタルフォトコンテストへの投稿が今のところ少ないようですので、会員の皆様にはもう一度確認いただき、さらなる追加提供をお願いいたします。

○　大森貞男スマイルボックス委員会委員長

スマイルBOXの中間報告を致します。平山博年度半年が経過をいたしますが、今の所は目標までの経過は26%です。すでに年間目標を達成した方もおりますので、少し頑張りたいと思います。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

スマイルボックスは奉仕活動の資金のための重要な委員会ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

次に会報委員会は如何でしょうか。最大の関心事は原稿の締切だと思いますがが、木曜夜までの締め切りでよろしかったでしょうか?

○　齋藤武久会報委員会委員長

原則として木曜午前中にお願いします。出来れば、水曜日に送っていただけば最高なのですが。それまでに原稿が揃うと土曜日配信も夢ではなくなります。

今までの所、土曜日配信が出来たのは数回です。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

クラブ史料委員会は如何ですか？

○　秋間忍クラブ史料委員会委員長

現在、特にお伝えすることはありません。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

それでは、雑誌委員会お願いします。

○　鈴木久雄雑誌委員会委員長

今年も、市内の公共施設にロータリークラブの活動を理解して頂くために。ロータリーの友を配布しております。配布先は黒磯高校、黒磯南高校、黒磯図書館、いきいきふれあいセンター、などです。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

引き続き後半もよろしくお願いいたします。次に情報委員会ですが、最近炉辺会議を行っていないようですが。

○　福田逸男ロータリー情報委員会委員長

ここしばらく、新入会員の家庭集会を実行していませんので、速やかに開きます。2013年規定審議会の決定報告書を受けての「手続き要覧」改訂を待ってからと考えていました。遅れて申し訳ございません。

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

次は会員増強の檜山委員長ですが、今日はお休みです。前もってメッセージをいただいておりましたので発表します。

今年度の増強委員会は、先日承認をいただきました継承会員の荒牧明二さん(深谷建設社長)が、1月より入会されます。また数名の候補の方を当たっておりますので、引き続き入会に向けて活動してまいります。

最後に会員選考 / 職業分類委員会ですが遠藤委員長がお休みです。丁度、時間となりましたので、この辺で終わりとさせて頂きます。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

村山　　茂君　次年度副会長に選任されました。よろしくお願いします。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

齋藤武久君（1936 年 11 月 28 日 生）



3月11日(金)、午後2時から診療を始めしばらくたって、その時はやってきました。不気味な地鳴りに先導されて、大きな地震がやってきました。それまで経験していた、新潟地震、仙台沖地震も大きいと感じていたのですが、それをはるかに上回っていました。15人ほどの患者さんが居ましたが、職員が気を利かせて建物の外に移動させました。私はと言えば、一番後に出るつもりで周りを見回すと、棚からもどこからも何も落ちてこないので思ったより小さいのかなと感じたりしました。診療器械のアーム、幅が5cmくらいですが、その上にアンパンマンやバイキンマンの指人形を飾っていますが、そんな不安定な場所からも落下しませんでした。一人の老婆がいすから立ち上がれないで居ました。落下物があると大変と考えたかスタッフの一人が、覆い被さる様に必死で守っている姿を見て感心し、ありがたいと思いました。すべての人が外に出て、地震が収まるのを待つ時間はとても長いものでした。

揺れが一応収まって、診療を通常通りに再開しました。停電も無く何も転落していないので、文字通り通常の診療を行ったのです。でも、さすがに新たに訪れてくる患者さんは居ませんでした。隣の診療所はカルテ棚が倒れて診療不可能になったので帰ることにしたと言う情報が入ってきました。そこで、診るべき人はみんな診終わってから、早めに診療を切り上げ、スタッフを家に帰し私も家に帰ったのですが、途中の石塀がかなり崩れていました。

家はと言うと、据わりの悪かった花瓶が3個ほど落ちて壊れていましたが、被害という被害はありませんでした。誕生祝いにクラブからもらった“ガリレオ温度計”は、ケーズデンキで売っていた「転倒防止シート」の上に乗っていたので文字通り転倒が防止されていました。計画停電が始まるまでは、生活にも診療にも何の不自由は感じませんでした。



ガリレオ温度計下に敷いてあるのが転倒防止シート

話は変わりますが、旧黒磯の町内（まちうち）と言われた地区は、自然災害に対し非常に安全な地区だなと改めて感じました。那珂川が遙か低いところを流れて洪水とは無縁です。3.11の場合もこの地区では地盤が安定しているために他の地区と比べ建物の被害が少なかったのは皆様御存知の通りです。台風も中心がこの地区を通る時には、神奈川から東海に上陸後しばらく内陸を通るので勢力が衰えて余り被害が出ない。この前の26号、27号の大風被害は例外中の例外だった気が致します。安全な土地に家を持った幸運に感謝です。

● 12月11日欠席(敬称略)
遠藤清和・小野安正・吉光寺政雄・髙木慶一
檜山達郎・深町彰・藤村聡

○ 前回12月4日分メークアップ(敬称略)
鳥居輝一

次回例会　　平成25年12月18日　　X’mas家族会　(親睦委員会)

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2614回　平山年度　第23回　会報　2013-12-18　司会　植竹一裕君

会長挨拶　平山博会長



皆様今晩は。楽しいクリスマス会前の例会、ご家族お待たせしておりますので、今日は早めに終わらせたいと思っております。今日は一点だけご報告をさせていただきます。

国際ロータリークラブ第2550地区15番目のインターアクトクラブとして、栃木県立宇都宮南高等学校に南風インターアクトクラブが、2013年10月23日創立されました。そして今月12月14日（土）認証状伝達式が行われました。高木慶一新世代委員長と共に出席させていただきました。

県知事、市長、飯村ガバナー初め、第2550地区役員、各インターアクトクラブ学校の生徒、地区内ロータリークラブ250名が式典に参加、祝賀会も盛大に行われました。栃木テレビでも18日の夕方6時と9時に放映される予定です。

ちなみに、黒磯ロータリークラブでは、平成16年4月27日月江寛智インターアクトクラブ結成準備委員長が中心となり、栃木県立黒磯高等学校にインターアクトクラブが誕生しました。部員22名、そして、同年6月6日（日）第2550地区佐野正行ガバナー初め地区内ロータリークラブ役員が見守る中、認証状伝達式が行われました。

陰の立役者は、その年の新世代委員長瀬尾紀夫さん、副委員長田村吉興さん、委員の平山でした。昔を懐かしく思いだしました。あれから約10年、黒磯高校から多くの、インターアクトクラブの生徒が巣立って行きました。

幹事報告　石山桂子幹事

報告事項なし。

委員会報告　和気勝利副会長

報告事項なし。　出席報告は次週回し。

クリスマス家族会特集総合司会藤村聡君

○　開会の挨拶　瀬尾紀夫親睦委員長



総合司会の藤村聡りんどう湖ロイヤルホテル支配人と担当の瀬尾紀夫親睦委員会委員長

皆様こんばんは。本日は黒磯ロータリークラブのクリスマス家族会へようこそお越し下さいました。ご参加頂きましてありがとうございます。この会は親睦委員会の5名、大森さん、黒澤さん、時庭さん、藤村さんと私、瀬尾で計画してまいりました。本日の参加者はメンバー会員33名、ご家族48名、総勢81名です。皆様にお渡し致しましたプログラムの内容で進めさせて頂きます。

また、良い子の皆様へサンタさんからのプレゼントは7時頃になりますので、どうぞお楽しみにしていて下さい。また、受付にて一家族2枚の年末ジャンボ宝くじをお渡しさせて頂きました。こちらもどうぞお楽しみにしていて下さい。

【プログラム】

18:20	開宴　　総合司会　藤村委員
18:50	サンタ登場
19:10～19:40	バルーンアート
19:50	お子様イントロクイズ
20:00～20:30	大人イントロクイズ
20:30	中締め　(澤田次年度会長)
20:35	手に手つないで
20:40	終宴

○　会長挨拶　平山博会長

皆様今晩は。そしてメリークリスマス。今年度、黒磯ロータリークラブ会長を務めさせていただいております平山　博です。

今宵は平山年度、クリスマス家族会に会員の皆様始め、ご家族の皆様、多くの皆様に参加いただき有難うございます。一年は早いものです。「来年又ここでお会いしましょう。楽しい企画を用意しお待ちしております」とお約束致しましたのは、ついこの間だった気がいたします。ご家族の皆様約束を守っていただき有難うございました。

今日は、皆様を心より歓迎申し上げます。高根沢邦夫さんの家族の皆様初め、秋間さん、澤田さん，福田さん、佐藤さん、相馬さん、そして多くの家族のお孫さん達がこんなに大きく成長され大変うれしく思っております。それにしても、私達は一年たつとこんなにも老けてしまうのかと考えさせられてしまいました。

今宵は、皆で楽しく遊んで頂けるように、又、美味しいお料理を沢山用意致しました。ロータリークラブ親睦委員の皆様、りんどう湖ロイヤルホテルの皆様準備をしていただき有難うございました。

今月は、ロータリー家族月間であります。今日参加いただいております、家族全員が、正にロータリーの家族（ファミリー）であります。

ロータリー家族の皆様がいつまでもお元気であります様、そしてお孫さんが健やかに成長なされます事をお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。



平山博会長の音頭により、乾杯！！！



本日の会場りんどう湖ロイヤルホテル受付にて、一家族２枚の「年末ジャンボ宝くじ」のプレゼント。平山会長抽選会を楽しみにしてください。



瀬尾紀夫親睦委員長から、お世話係の親睦委員の紹介。左から大森貞男君・黒澤洋一君・時庭稔君・藤村聡君。



本日のアトラクション第一弾、バルーンアート。何を作ってもらえるか、興味津々ですね！



ニッキーからのプレゼント。バルーンの帽子をかぶりご機嫌な子ども達。



トナカイさんのソリに乗って大森サンタクロースが、良い子のみんなにプレゼントを持ってきてくれました！！！

○　澤田吉夫会長エレクト中締めの挨拶



大変楽しいひと時をありがとうございました。瀬尾委員長始め親睦委員の皆様、藤村支配人ありがとうございました。

楽しかった人、又明日もやりたい人、来年も是非おじいちゃん､おばあちゃんと一緒に参加してください。まもなくお正月です、風邪など引かぬよう、気をつけて良いお正月をお迎えください。



小野安正君ご一家と瀬尾親睦委員長の奥様、メリークリスマス！手に手つないで有難うございます。



秋葉秀樹君、植竹一裕君、鳥居輝一君、高根沢邦夫君とお孫さんご満足いただいた様子で何よりです。特に、秋葉君大きな歌声有難うございます。



福島さんの奥様、澤田次年度会長の奥様とお孫さま、秋間直前会長の奥様､楽しいお時間有難うございました｡秋間直前会長､お名残り惜しそうなごようすです。



美味しいご馳走と楽しいアトラクションで、あっという間に時間となってしまいました。交換学生のニコルさん（左から二人目）とホストファミリーの時庭稔さんご一家

次回例会　　平成２５年１２月２５日　　担当　会計

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2615回　平山年度　第24回　会報　2013-12-25　司会　植竹一裕君

会長挨拶　平山博会長



先週のクリスマス家族会に、会員の皆様初め、多くのご家族様に参加いただき誠に有難うございました。楽しいクリスマス家族会を過ごすことが出来ました。改めてお礼申し上げます。親睦委員会の皆様、大変ご苦労様でした。

12月はロータリー家族月間であります。家族のように、互いに深い絆を感じている組織では、人は離れていく事はありません。これからもこのような環境づくりが必要と心に強く感じました。

所で、12月22日が冬至で、日の出が6時49分、日の入りが16時29分。一年で最も昼が短い訳ですが、実は、冬至10日前の方が昼間の時間は、より短いと言われています。朝も暗く、すぐに暗くなり、朝晩は早く電気をつけなくてはなりません。朝は寒く、夕方も一段と寒くなり暖房器具がかかせなくなり、電気のありがたさを感じるのはこの時期からです。その電気の事ですが1887年（明治20）年に、日本初の電力会社である東京電灯(株)が、東京の日本橋茅場町から電気の送電を開始しました。

1893(明治26)年には、浅草に新しい発電所の建設を始め、三年後に完成します。浅草発電所では、ドイツ製の交流50ヘルツ供給発電機を導入しましたが、ほぼ同時期、大阪電燈（株）は、アメリカ製の交流60ヘルツ供給発電機を採用致しました。以降、東日本・西日本の各地に続々と生まれた電力会社は、さきがけの東西両社に倣ったヘルツ数の発電機を、導入して行きます。

今でも電気の周波数が、東日本は50ヘルツ、西日本は60ヘルツと異なっているのは、明治時代、東西の二大電力会社が採用した、発電機の形の違いが、あつた訳で、最近は50Hz・60Hz共用製品が多く、ヘルツにこだわる心配はありません。かくして日本中に広まった電気ですが、その電気代を節約するには、三つの秘訣があります。

1．省エネ型の機器を選ぶこと(エアコンは家庭の電気消費ナンバーワン機器だそうです)
2．無駄遣い防止(待機電力オフが効果的)
3．家を丸ごと省エネ化する(高気密・高断熱)、この三点です。節約は地球への環境対策にもなります。

このように、家庭で電気を上手に使ってもらう事に対し、発電所側では、発電時に、二酸化炭素の排出量を減らすことに取り組んでいます。

現在、経済性を配慮しつつも、限りある地球のエネルギー資源をバランス良く組み合わせ、電力発電は行

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数2名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日12月25日	38(2)	30(0)人	8(2)人	83.3%	*	
前　回12月18日	38(2)	32(1)人	6(1)人	86.2%	3人	94.6%
前々回12月11日	38(2)	30(1)人	8(1)人	81.0%	2人	86.4%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

われています。

発電会社によって、発電電力量の電源別比率は異なりますが、今では、液化天然ガス、(LNG)、石炭、原子力、水力、石油、太陽光、風力、地熱など新エネルギーを対象として発電しています。

今日の導歌。気持ちの置きどころを教える導歌

気持ちをば　安く大きく　角もなく
油断をせずに　抜け目なく持て

訳 - 気持ちの持ち方における大事なポイントは、心穏やかに、大きな心を持って円満に、油断することなく、そして落ち度がないように心していくことです。小さい事にこだわると、どうしても人と衝突しやすくなる。多少のことは大目に見て、周囲の人と協力し合うほうが、何事もスムーズにいくものであります。

平成25年も残す所後6日となりました。平山年度例会も無事24回迎える事が出来ました。多くの皆様にご支援ご協力いただき、心より厚く御礼申し上げます。来年は1月8日の新年会から始まります。後半も何とぞよろしくお願い致します。皆さま方が、良い年を迎えられます事を、お祈り申し上げ会長挨拶と致します。

幹事報告　石山桂子幹事

○ 那須塩原市教育委員会・スポーツ振興課より、第9回那須塩原市小学校対抗駅伝競走大会の御礼状が届いております。

○ ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま165号が届いております。回覧中です。

○ 事後報告になりますが、歴代会長をされた薄葉久仁様の葬儀に際しまして、黒磯ロータリークラブとして花輪を贈りました。

委員会報告　和気勝利副会長

○ 会報委員会斉藤武久委員長

クリスマス家族会の特集号の配信が遅れています。申し訳ありません。もう少々時間を下さい。委員長の発熱の二日間がすっぽり記憶から抜け落ち、 作業が2日後にずれております。

○ 広報 / IT 委員会福島泰雄委員長

第13回デジタルフォトコンテストの投票について18日のクリスマス家族会の席上、フォトコンテストの応募作品の投票を戴きましたが、未だ投票をされていない方はこの例会でも画像を回覧いたしますので、投票くださるよう御願いいたします。尚、投票作品を大きな画面でご覧になりたい方はホームページでご覧いただき、投票作品名を29日までに福島までメールをご送信下さるよう御願いいたします。

卓話　会計　田中　徹



本日は会計担当の卓話という事です。この部署に配属されて１年半になりますが、会計処理の知識は全くといってよい程ありません。私は会社を引き継いで30年を過ぎましたが、会計処理は全て丸投げで、担当者と会計事務所さんには「・・・いいから結論だけ言いなよ・・・」でございます。そんな訳で皆さんにお話出来る事はありません。

この部署は規約には無いと思いますが、３年在籍が当クラブの常となっておりますので、後一年半は解雇されることなく座る席があるという事は嬉しいのか、寂しいのか微妙なところですが、とりあえず前会長のご指導を頂きながら、残された１年半に処理方法をマスターして次次年度に引継たいと思っております。

で、会計部門に対して何かご希望などを含めてご意見はありませんか？この場で返答は出来ませんが出来る限りご希望に添えたいと考えております。さて、残された時間を埋めるには例によって誰かに押し付けるのが最良の方法なのですが、今回目が合ってニヤリとする相手が見つかりませんでしたので自分で何とかしなければなりません。

となると本業の何かを話す以外に無いわけでして、変わり映えのしない話でお許し頂きます。以前から何度か話させて頂いたかと思いますが「電気料」、会計上製造原価には入れませんが、現実の問題として製造原価と認識しています。ある金属がイオンとして含まれる溶液を電気分解してメッキをするわけですから。

例の3.11電気料金が公称14%の値上げとなっておりますが、実は燃料調整費なるものを加えると合わせて20%は上昇致します。加えて金属地金や薬品等も製造するにあたってかなりの工程で電力を必要としていますので、こちらも軒並み値上げの嵐。単に電気料の値上げ分だけでも製造コストを3～5%押し上げてしまいます。そんな中、我々の取引先であるセットメーカーさんも価格競争の真っ最中、僅か数%でも値上げの話なんぞ持ち出したら明日はない。それが我々表面処理

アトラクションは、例年のごとくBGMに永渕智子さんと君島順子さんの琴の演奏、デジタルフォトコンテストの結果発表、年男による餅つき、お花のプレゼント抽選会等盛りだくさんだった。

デジタルフォトコンテストの結果

最優秀賞	丘燃ゆる	齋藤武久君
優 秀 賞	童心に返って	相馬征志君
佳　　作	眼下に世界文化遺産	福島泰雄君



西山荘で撮ったモミジの写真で入賞。会長より表彰状を受け取る齋藤武久君



恒例の年男の餅つき。今年は村山茂君と鳥居輝一君、なぜか高根沢邦夫君の応援



綺麗な花にご満悦の荒井昌一君



締めはいつも半田久一PG。今年は337拍子で行くと宣言



本日のお客様　奥様方も手に手



一年交換学生ニコルも秋間しげ子ホストファミリーお母さんと手に手

最後は、皆で輪になり手に手つないでの大合唱。お名残惜しくも盛会のうちに幕を閉じた。親睦委員の皆様、準備進行とお疲れ様でした。お陰様で今年も良い年を迎えられました。

次回例会　　平成26年1月15日　　担当ロータリー情報委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

業界の現状です。つい３か月前、また仲間が一社消えて行きました。給与を上げて景気を刺激し・・・なんて言えるのは大企業だけでしょう。我々零細企業は価格を上げない努力と給与を下げないための努力しかないのです。などと云うと「一緒にするな、それはお前の会社だけだわ」と云われてしまうんでしょうね？

先日、新聞で年末年始の旅行客はかなり増加、加えて９連休も可能で、例年３泊４日程度が多かったのに今年は５泊６日が増加していると。何ともうらやましい限りです。一昨日の23日毎年恒例の集まりで上京致しましたが、３連休に加えX'mas直前との事もありデパートなどは人・人・人。やはりアベノミクスの追い風が吹いてこないのは我々零細企業だけかもしれません。来年は少しでも追い風が吹いてくるように全社員を連れて神様にお願いするつもりです。

☺　にこにこボックス　小野安正君

小野　安正君　クリスマスパーティ有り難うございました。

大森　貞男君　平山博年度半分経過しました。残り半分を頑張りましょう。

秋間　　忍君　高ハンディによる優勝を戴き有り難うございました。

植竹　一裕君　クリスマスイヴをおいしい湯豆腐で福島ご夫妻と秋間さんと過ごしました。楽しい一時でした。
　しかし、家に帰ると１人で寂しくなりました。

髙木　慶一君　ゴルフ打ち納め、同伴競技者のお陰で準優勝できました。

鈴木　隆子君　あっという間にお正月が迫ってきています。来年もどうぞよろしく御願いします。

誕生月３分間スピーチ



「3・11 その時私は何をしていたか」

吉光寺政雄君（1978年11月29日　生）

3.11は当クラブの瀧田仁会員のお通夜の日でした。6時からお通夜だったので、地震のあった2；46には祭壇やお花を並べ終えて名札や順番を確認している時でした。最初揺れ始めた時は、お花が倒れると大変ということで、私やスタッフみんなでお花を押さえていたのですが、あまりに揺れが強くなってきたので全員で外に避難しました。避難してすぐに会館の瓦が落ちてきて、窓ガラスが大きく軋んでいました。瓦が頭に直撃していたら・・・私のお葬式をだすところでした。地震が収まって会場に入ったらお花も祭壇も全部倒れていてお通夜までに必死で復旧作業を行いました。翌日の夜には福島第一原発が爆発するシーンがTVで流されていて、日本はどうなるのかな？？と不安になった記憶があります。忘れられない一日となりました。

● 12月25日欠席(敬称略)
遠藤清和・相馬征志・橋本佳明・福田逸男
深町彰・藤村聡

● 12月18日欠席(敬称略)
遠藤清和・齋藤武久・髙木茂・津久井誠二
橋本佳明

○ 前回12月18日分メークアップ(敬称略)
齋藤武久・髙木茂・津久井誠二

○ 前々回12月11日分メークアップ(敬称略)
小野安正・髙木慶一

次回例会　　平成26年1月8日　　新年家族会　担当親睦委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６１６回　平山年度　第２５回　会報　２０１４-１-８　司会　高木　茂君

お客様

一年交換学生　　李　宜蓁様

新入会員紹介平山博会長

深谷建設株式会社　代表取締役　荒牧明二様

会長挨拶　平山博会長

皆さま、新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平成二十六年の、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。正月とは「ただすつき」と言うように、今までの思いを振り返り、反省し新しい願いを起こすのが正月です。新しい年を迎えるに当たり、人はそれぞれ何らかの希望の光を求め新鮮な気持ちを持ちます。

正に「一年の計は元旦にあり」と言う事です。しかし、それもわずかな間で、三日もすれば元の木阿弥、昨年同様の生活や仕事に戻る、そんな気がするのは私だけでしょうか。このままではいけない、そうとは分かっていても、一度身についた習慣を変えるのは難しく、流されるままに同じことを繰り返す。お互い良くあることです。それは誰のせいでもない。結局、自分自身がそうしているのであります。だから、自分の気持ち一つで生活や習慣を改善することは、やろうと思えば今すぐにでも出来るはずなのです。長い人生を歩む中で、何回か節目を迎えます。新年を迎えるのも節目の一つです。その節目があるからこそ今まで歩んできた人生を振り返り、やり残したことに心を馳せ、心と身の回りの整理をし新たな想いと希望を持って再出発できます。お釈迦様の言葉に四句の偈(げ)文(もん)があり、最初の「諸行無情」は時の流れは留まることがないということです。その時の流れを無駄にしないよう日々心がけることは大切です。時間の流れは同じでも、今の世相の流れは速く、特に科学文明の進展は急速に日々変化を遂げています。私たちはその変化に順応して行かなければなりませんが、自分が志した想いを貫き通す心構えも必要です。個人の生活に限らない。国の政治においても同じであります、今多くの人々はわが国が抱える問題を認識し、改革しなければならないと感じながら、自分一人の力ではどうなるものでもないと、惰性の中で日々を過ごしております。だが、まず一人がその気にならなければ何も始まらない。一人の目覚めが周囲の人々の目覚めを呼び、それが政治や行政を動かし，一滴一滴の集まりが大河の流れを形づくるように、変革への大きな力となっていくのであります。変革を求め信念を貫く一年にしたいと思っております。

どうぞ今年も宜しくお願い申しあげますと共に、皆様に取りまして希望に満ちた素晴らしい一年でありますようにお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

幹事報告　石山桂子幹事

皆様、明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。

○　ガバナー事務所より、2014‐15年度地区委員の委嘱状が届いております。

地区諮問委員、地区運営委員、財団監査委員
半田久一様
地区ソーシャルメディア委員　田中　徹様
職業奉仕委員　時庭　稔様
インターアクト委員　髙木慶一様

委嘱状の伝達は、新年会の席にて行います。 鳥居輝一様は、今年で退任となります。 大変お世話になり有難うございました

○　２月２日に開催されますIM出欠の確認表を回覧致しますので多くの皆様の御出席をお願い致します。

○　１月のロータリーレートは１ドル＝102円です。

委員会報告　和気勝利副会長

本日、報告事項無し
ニコニコボックス無し
出席報告次週回し

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

新　年　家　族　会　　司会　大森貞男君

瀬尾紀夫　親睦委員長挨拶



明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりましてありがとうございます。昨年のクリスマス家族会のお楽しみ年末ジャンボ宝くじはいかがでしたか。まだ当選番号を見ていない方は有効期限前にご確認ください。期限を過ぎますと、たとえ３億円の当たり券でもただの紙切れになってしまいますので十分ご注意ください。本日の新年会も、旨い酒と美味しいお料理をたくさんご用意させていただきました。お時間までどうぞご歓談ください。結びになりますが、本年も１年間皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう御祈願申し上げます。

会長挨拶　　平山　博会長

新年のご挨拶を申し上げます

心静かに年が明け、
心静かに新年の計を立てる
まずはめでたい新春の朝である

皆さまあらためまして、新年明けましておめでとうございます。



皆さまにはご家族お揃いでお健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。恒例となっております、黒磯ロータリークラブ新年会に会員の皆様初め多くの奥様方にも、ご臨席を頂き誠に有難うございます。一年交換学生、「ニコル」にも出席いただいております。本日、ロータリークラブに取りましてめでたい事、うれしい事があります。２，３ご紹介いたします。まず、今ここに澤田年度の理事役員の方々を紹介できることです。私にとりましてもひと安心し、大変喜びにたえません。それに、新会員に荒牧明二君が入会したことです。昨年７月には小野安正君が入会し２名の会員が増員となり39名となりました。今回の新年会で全会員が出席し、出席率100%達成が何と何と、出来ませんでした。長期にわたり病気療養中の須藤舜生会員が元気に出席を頂ける訳でしたが、今日急遽欠席となりなした。でも元気に回復している事はうれしいことです。そして、平山年度、皆様に支えられ無事に折り返し点を迎える事が出来ました事は，一重に皆様方のご支援の賜ものとお礼申し上げます。これに安心する事なく、残り半分も心引き締め一つ一つ大事に進めて参りたいと考えております。結びとなりましたが、今年一年が、皆様に取りまして素晴らしい年であります事を、心よりお祈り申し上げますと共に最後までごゆっくりと、お過ごし戴きます様お願い致しましてご挨拶と致します。

新入会員紹介及びロータリー記章の授与



深谷建設株式会社　代表取締役　荒牧明二君

誕生祝



石山桂子君

結婚祝



瀬尾紀夫君・月江寛智君・大森貞男君
平山博君・小野安正君・秋葉秀樹君



瀬尾親睦委員長より親睦委員の紹介：藤村聡君・時庭稔君・黒澤洋一君・瀬尾委員長・司会大森貞男君。いろいろお世話になります。

次年度役員紹介　澤田吉夫会長エレクト



友達より、いよいよ近づいて来たねといわれ、平山会長の安堵した顔と、私の緊張した顔が、対照的では無いでしょうか！　私も干支の午の関係の仕事をしている関係上、今まではそれとなく、走ってきたものの、昨年の暮れ頃から、重馬場であまり走れなくなってきております。理事、役員の方は皆経験豊富な優秀な方々ですので、ご協力を得ながら、皆様とともに、次年度進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。



理事

クラブ奉仕委員長　（副会長兼務）	*村山　　茂*
職業奉仕委員長	*佐藤　　博*
社会奉仕委員長	*時庭　　稔*
国際奉仕委員長	*植竹　一裕*
新世代委員長	*秋葉　秀樹*
ロータリー財団委員長	*荒井　昌一*

役員

会長	*澤田　吉夫*
幹事	*瀬尾　紀夫*
会長ノミニー（副会長兼務）	*和気　勝利*
副会長　（クラブ奉仕委員長）	*村山　　茂*
直前会長	*平山　　博*
会計	*田中　　徹*
SAA	*鈴木　隆子*

澤田会長エレクトの次期理事役員紹介に引き続き、澤田会長エレクトの音頭で乾杯。奥様方は新春の装いで華やか。



時庭順子さん　　齋藤静子さん
田中正江さん　　和気文子さん　　平山ヒロ子さん



相馬郁代さん　　黒澤恵子さん
檜山桂子さん　　鈴木芳江さん　　佐藤喜代さん



村山ハルノさん　　瀬尾栄子さん
高根沢秀子さん　礒裕子さん　　遠藤就子さん



鈴木隆子さん　　福島法子さん
澤田セイ子さん　　李宜蓁さん　　秋間しげ子さん

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６１７回　平山年度　第２６回　会報　２０１４-１-１５　司会　髙木茂君

お客様

○　那須塩原市市長　阿久津憲二様

会長挨拶　平山博会長



先週の新年会、 会員の皆様そして多くの奥様方にもご出席を頂き誠に有難うございました。お琴の演奏が流れる中、新春にふさわしい穏やかな雰囲気の中で、楽しい時間を過ごすことが出来した。瀬尾委員長初め親睦委員の皆様に感謝申し上げます。

１月 13 日は成人の日でした。「大人になった事を自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日」で、「自他ともに一人前の大人としの義務という責任が伴う事」が、本来の意味するところです。昔は元服式を行って、その自覚を深めました。成人したというと、大っぴらに煙草を吸って、お酒が飲めると言う方にばかり話題が向いてしまいますが、それだけではありません。それらは、後からついてくるものに過ぎないのです。また、様々な権利を手にできますが、権利を主張するならば、それと同等の義務が生じます。

大人になるとは、人に甘えたり依存してばかりでは、いられないという事です。常に責任ある行動が求められるのです。多くの人々に支えられて、今日があることに感謝し、進んで自ら成すべきことに打ち込んでいただきたいと、成人者に願うものであります。

昔は１月 15 日が成人式で、駅前の花市には成人式帰りの華やかな女性が必ず来てくれました。2000 年のハッピーマンデー法により、現在の成人式になり、寂しくなってしまいました、残念です。

所で平成26年に20歳となった新成人は前年度より1万人少ない121万人で、総人口の0.95%であることが、総務省が発表した26年1月1日時点の人口推計で分かりました。午年生まれの年男と年女は合わせて 958 万人で、丙午の影響から、十二支別で最も少ない。新成人は男性が 62 万人で、女性が 59 万人。総人口に占める割合が 1%を割り込んだのは、４年連続となりました。厚生労働省は平成25年の人口統計の、年間推計を発表致しました。出生数は 103 万１千人（前年比６千人減）で、3年連続で過去最少になっており、死亡数は127万5千人（同1万9千人増）で、死亡数から出生数をひいた人口の自然数減は過去最多の24万4千人に達しました。日本の人口は19年以降から、自然減少が続いております。人口１億人を切るのは間近です。少子高齢化や人口減少は、ゆゆしき問題である事を自覚しなくてはなりません。

今日の道歌　人格の磨き方を教える道歌

色黒く　顔の悪しきは生まれつき
直せば直る 心直せよ

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 1月15日	39(2)	30(1)人	9(1)人	79.0%	*	
前　回 1月 8日	39(2)	38(1)人	1(1)人	100.0%	*人	100.0%
前々回12月25日	38(2)	30(0)人	8(2)	83.3%	2人	88.9%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

「訳」色が黒く、容貌が悪いのは生まれつきで、直すことは難しい。だが、心は直そうと思えば、いつでも直るから悪い心は直すことだ。今は美容整形やエステが盛んになって、顔の色や形が変えられるようになった。しかしそれでも、もって生まれた、姿、形を生かしていくのが基本である。容姿はともかく、簡単に変えられるのが心。他人を思いやる気持ち、豊かな心、そしてヤル気と確固たる生き方が、心の土台となる。こんな心をもって取り組めば、多くの事が成就できるのではないだろうか。

幹事報告　石山桂子幹事



○　ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま166号が届いております。回覧中です。
○　宇都宮南ロータリークラブが、「南風インターアクト倶楽部」を設立致しました。当クラブから平山博会長・髙木慶一新世代奉仕委員長が出席されました。設立に対しましてお礼状が届いております。
○　本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので引き続きお願い致します。

委員会報告　和気勝利副会長

○　田中徹会計

1月20日(月)栃木銀行より年会費/後期分 \100,000を引落致しますので宜しくお願い致します。

○　和気勝利旅行愛好会会計

いつもお世話になります。サッポロ雪まつりの参加費を次回の例会1月22日(水)にご持参いただきますよう、ご案内申し上げます。

参加費は、各人変わりますので下記を参考にしていただき、「和気」までお願いいたします。

・　旅行愛好会会員の方で
　1. ツイン部屋の方　￥110.000-
　2. シングル部屋の方　￥113.000-
・非旅行愛好会会員の方で
　1. ツイン部屋の方　￥115.000-
　2. シングル部屋の方　￥118.000-

尚、領収書ご希望の方は、宛先を告げて参加費を渡される時にお申し付けください。(黒磯ロータリークラブ旅行愛好会発行の領収書となります)

以上、宜しくお願いいたします。

卓話　ロータリー情報委員会

○　福田逸男ロータリー情報委員長

本日は、公私とも大変お忙しい中、阿久津憲二那須塩原市長にお越しいただきまして、「新年のご挨拶と本年の抱負」ということでお話しいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○　那須塩原市長　阿久津憲二　様



明けましておめでとうございます。いつも個人的にも大変お世話になっており、本当に感謝に堪えません。

副市長がこの頃言うんですけれど、「阿久津市長はとても優しいんだけれども、反骨精神が旺盛ですね。」と。これには思い当たるところがあって、自分は、明治35年生まれのお祖父ちゃんに、亡くなるまで可愛がられました。この話を今までしたことはありません。私の親父はとても生意気な、剛毅な人で「お前は、こんな優しい人間では世の中の役にはたたない。」と、子供の時から怒られてきました。それを黙って聞いていたお祖父ちゃんが「何で優しいのが駄目なんだ。ただ、一つだけ条件がある。社会の役に立つには、野垂れ死にをしない。生き抜いて貢献することを考えろ。」と。これには深い意味があったんです。阿久津家は熊本の出です。大人になってから聞いたんですが、19代前の祖先が熊本から加藤清正と関ヶ原に赴き、その戦で腕を切り落とされました。同じような負傷をした者の殆どは死にました。だけどその腕を持って熊本に帰って、しばらく生きてて亡くなったんで、家族の納得が得られたという訳です。死に方というのは、死に様は、家族の納得する形にしなさいということなんです。そうすれば、35で死んでも50で死んでも関係ない。「仕事に命を懸けてみろ」と言った訳ですね。そうすると私の親父も黙ったんです。私は、それほど立派に生きて

きたわけではありません。ただ、もうとっくの昔に亡くなっている人の話しを繋ぎあわせると、なるほどそうだな。優しくても仕事に命を懸けて頑張れる人になれれば、幾らか人の役に立つか、というようなことが、私の根底にあるんだと思います。この頃気が付いたんです。今までは気も付かなかった。

このような中で、お蔭様で市長に就任しまして、まだ2年経過しておりませんが、この間に、数多くのことを改革してまいりました。一般的には改革というのかもしれませんが、私にすれば当然のことを行ってまいりました。特に去年の7月から、東日本大震災に対処するために国の給料削減に準じて地方も7.8%の削減するよう、国から要請がありました。国に準じると、特別職についても、市長が3割、副市長は2割、教育長は1割落とすんですよ。ところが、この率で特別職の減額を実施したのは、県内では多分、那須塩原市だけ。私は就任時から3割削減してましたし、副市長・教育長も独自に減額していましたから直ぐに対応しました。このように、新たなものに取り組む決意というのは、口だけでは全く駄目。職員もついてきません。これは経営者として、皆さんも、思い当たるところだと思います。

去年特に目立ったのは、除染でした。1月から始まった住宅除染も、間もなく9,000戸になります。その他、公園は約60ヶ所、小中学校は校舎周り等の一部を除き校庭の表土除去は全部終わっております。保育園の除染も終了しています。非常にスピーディーに行いました。一番多い時は、450人の現場作業員がおりましたが、ただ、なかなか作業員が集められないんです。どんなに捜しても、せいぜい150名。九州、四国、中国、北海道、全部集めたんですよ。現在でも進んでおりますが、これは他と比べると50～100倍のスピードです。このスピードは、福島を含めても全国で有数の速さです。これも決意なんです。できないと思って諦めれば、2～300軒やってお茶を濁せる。でも、やると言ったんだからやる。

話題になったもう一つは、中国人観光客の誘客のため上海に事務所を開設したことですが、これは大きな反響があり、ある新聞には第一面に掲載されました。私は県議時代に何度も中国を訪問しており、中国に事務所を開設するということの難しさを知っています。木下審議監が就任していただいてから1か月足らずでこの話をまとめてきて、去年9月には上海事務所の開設をしました。それ以来、数多くのお客様がこの那須塩原に来て宿泊をしており、人材の有効な登用によって大きな効果がでてきています。日本の多くの自治体が香港、台湾にセールスに行っていますが、これは価格競争にもつながりかねないということから、長期的に腹を据えて取り組むとすればやはり上海であると考えます。

それから、一番みんなで喜んだのが、ユーチューブの動画配信で話題になったAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」ではないでしょうか。私知りませんでした。職員が入ってきて、「踊ってください」。「何を？盆踊り？」。「いや、音楽をかけますから、最初は手をこう、そして、だんだんに手を回してください」。それを職員が動画として編集したんです。全国の自治体でこの企画の公認を受けていたのは、当時、佐賀県、神奈川県、国立市など6団体でした。那須塩原市は、自治体としては7番目に公認を受け、2週間で10万件のアクセスを突破しました。こんなのは何の感謝状もきませんが、「殿堂入り」を果たしたというような印象でございます。全く知らないうちに職員がやったんです。製作費はただ。物凄い反響があって、年賀状もマスコミを中心に、北海道あるいは大阪の知り合いの新聞記者などから、「元気でいいですね」といった便りが寄せられました。凄いPR効果があったと思っております。このように、職員が様々な提案をし、それを実際に行った訳です。提案制度が去年から物凄く充実しております。災害時に、パンと飲料水が出てくる仕組みも職員が考えました。これも全国初の試みでした。

それから近日中に、西那須野の出身でさいたま市の副市長の木下さんに、特別顧問に1年間お願いすることになっています。さいたま市は125万人の大都市です。木下さんは、アセットマネジメント（資産の運用管理）の第一人者なんですね。公共施設を有効に活用し、計画的な維持管理や長寿命化をどうやるかということを、今月中に課長以上を集めて、勉強会を行います。それを手始めに1年間お世話になります。いずれにしても、人口減少の時代ですから、なるべく減らさないように、仕事をやったらそこに人が集うというイメージの中で、最大限の努力を重ねたいと思っています。今後とも、ロータリークラブの会員が年ごとに増加できるようなまちとなるよう心掛けて行きますので、ご理解とご協力をお願いいたしまして、本日の卓話といたします。本日は、大変有難うございました。

○　福田逸男委員長

阿久津市長様にはご多用の所お出でいただき有り難う御座いました。これからの市政のため「人口の減らない町作り」、「人口から選ばれる町作り」の実現に向かって頑張って下さることをお願い致し、本日の謝辞と致します。

☺　ニコニコボックス　君

村山　　茂君　瀬尾委員長始め親睦委員会の皆様、楽しい新年会を有難うございました。
秋間　　忍君　7番目の孫が産まれました。
鳥居　輝一君　あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。
平山　　博君　結婚祝い有り難うございました。
瀬尾　紀夫君　結婚祝い有り難うございました。
秋葉　秀樹君　結婚祝い有り難うございました。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていた」

福田逸男君（1939年12月11日　生）



2011年3月11日午後2時44分の時、丁度2階で小休止していました。突然の地震で柱と敷居に大の字で体で押さえておりました。

私が大変心配したのは、店舗は昭和6年の駅前大火後の木造建築で、裏の住居は鉄筋鉄骨ですが、大量の土、石、植木が置いてあるので大変心配しました。しかし、地層が砂利、石などで頑丈な土地でしたので、無事でした。ただ、台所の食器棚が観音開きでしたので、多くの陶磁器が壊れました。

また、早速親戚お客様への安否確認をしました。寺子のお客様などは、建物の被害に加え有名な陶磁器が多く壊れ大被害でした。那須南が丘牧場の近くのお客様は、地震のショックで病に伏し後日お亡くなりになりました。私の所は、地層の良いところで先祖に感謝しています。

● 1月15日欠席(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・小野安正・鈴木隆子
月江寛智・橋本佳明・檜山達郎・深町彰・須藤舜生

● 1月10日欠席(敬称略)
須藤舜生

○ 前々回12月25日分メークアップ(敬称略)
相馬征志・福田逸男

次回例会　　平成26年1月22日　　担当クラブ史料委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６１８回　平山年度　第２７回　会報　２０１４-１-２２　司会　髙木茂君

お客様

稲垣　政一様　（有）稲垣商事代表取締役



会長挨拶　平山博会長

受験シーズンとなりました。毎年、一月から二月にかけては、合格を祈願する受験生の「にわか参り」が盛んです。最寄りのお寺にお参りして、ご本尊に、どうか志望校合格できますように、とお願いするわけです。

合格祈願だけではなく、多くの目的にかかわる願い事を、お参りする人がそれぞれに絵馬に書き込み、これを奉納する事の出来るお寺や神社もあります。絵馬のならわしは、戦国時代から始まりました。

武将たちが戦勝を祈願して、寺社に馬を奉納することがあったのですが、生きている立派な馬を差し出すことは、そう簡単ではありません。そこで、木彫りの馬や土を材料とする焼き物の馬、さらに簡単な折り紙の馬などが、「代用馬」として奉納されるようになり、十六世紀あたりから、馬小屋をかたどった、現在用いられているような絵馬に代わってきた、と言う事です。

絵馬に表現する絵や文章、願い事の内容なども年々自由になり、



馬の絵だけでなく、十二支のそれぞれの生き物の絵や、富士山や桜、宝物などの絵も描かれ、願いごとは、家内安全、夫婦円満、商売繁盛、病気全快、安産祈願、等々多種多様に分かれてきました。

合格祈願や絵馬の奉納に格別の作法や定めはありません。しかし行き当たりばったりの、その場限りの虫のいい願い事は、まず仏様には通じないもの、と心得ていて欲しいものです。ご本尊が何という仏様かまったく知らないのに、そこにお寺があったから、ぜひ合格させて、と合掌しパンパンとかしわ手を打ったりする十代の男女が後を絶たないそうです。

複数のお寺や神社を、勢いで参拝し、これだけお参りしたのだから合格疑いなしだ、といい気になっている中学生など、むしろあわれに見えます。

受験を目前にひかえたお子さんやお孫さんをお持ちの方は、一日限りの信心のむなしさ、愚かさをよく教えてあげてください。

＜人格の磨き方を教える道歌＞

美しき　花によき実は　なきものぞ
花を思わず　実の人となれ

訳：美しい花を咲かせる木には、美味しい果実はならない。美しい花を咲かせようと外見や栄光にこだわ

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 1月22日	39(2)	33(1)人	6(1)人	86.8%	*	
前　回 1月15日	39(2)	30(1)人	9(1)人	79.0%	4人	89.4%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

らず、心豊かな立派な人となるよう心がける事だ。
　地味でもいい。自分を磨き、豊かな心で良き人間に囲まれて温かく生きる日々。実のある人生には意義がある。

幹事報告　石山桂子幹事

　去る1月15日(水)に開催されました理事会の審議事項から申し上げます。

【理事役員会報告】

○　2月のプログラムの件、承認されました。尚、2月5日国際奉仕委員会の卓話ですが、国際交流協会会長・高根沢武一様の外来卓話となります。
○　2014年度米山奨学生の世話クラブ並びにカウンセラーの件ですが、引き受ける事で承認されました。
○　埼玉ソフトボールクラブが、広島県福山市で開催されます全日本大会に出場いたします。協賛金として1万円承認されました。

【幹事報告】

○　2013年手続要覧を購入される会員は、注文用紙を回覧致しますのでご記入をお願い致します。
○　平山年度の旅行愛好会は北海道方面に決定しております。ニコルも出席しますが、旅費に関しましては新世代奉仕委員会より、支出する事で承認を頂きました。
○　大田原ロータリークラブより、会報が届いております。回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　会報員会　齋藤武久委員長

　2617号の配信が事情があって遅れています。ご迷惑をおかけします。その事に付ご相談があります。会報委員と三役の方で時間がある方は、例会後ここにお残りください。

卓話　クラブ史料委員会

○　秋間忍委員長



　今日はクラブ史料委員会の卓話ということでお話しさせていただきます。
　委員会のメンバーは申し上げるまでもなく吉光寺政雄さんと私秋間忍でございます。そして平山年度の事業計画は、これまでお預かりしてきた史料を正しく保管すること、電子データにできるものから電子データ化し磁気媒体で保存すること、電子データ化した史料をクラウド上にも保管し、会員の閲覧に供すること、史料の保管に役立つ情報を収集すること、その他委員会に求められることをやること等を挙げております。さきほどもクラウド上に情報を保管してその情報を共有化するやり方ついて質問を受けましたが、このような手法ついて皆が抵抗なく利用できるような環境を整え、史料の効率的な運用ができるよう心掛けていきたいと考えております。
　結局のところ史料とは過去の情報を整理して将来に役立てようとするもの 、情報の取り扱いがいかに一国の運命をも変えてしまったかという事例として太平洋戦争中の海軍甲事件、海軍乙事件を紹介させていただきます。
　海軍甲事件(昭和18年4月18日)
　山本五十六長官搭乗する一式陸上攻撃機(2機、11人、12人)と護衛の零戦(6機)がニューブリテン島（パプアニューギニア)のラバウルからブーゲンビル島のブインへ向かう途中、ミッチェル少佐率いる双胴の戦闘機ロッキードP38ライトニング(16機)に遭遇し、生存者もおりましたが山本五十六長官ら多数が戦死した。山本五十六の国葬が昭和18年5月21日に行われた。
　海軍乙事件(昭和19年3月31日)
　古賀海軍大将、福留中将が分乗する飛行艇2機がフィリピンセブ島付近で低気圧に遭遇、古賀海軍大将殉職、福留中将不時着、原住民ゲリラに拘束されるが、日本側のセブ島の守備隊長はゲリラのリーダーに対して、「解放しなければ報復を加える」と、取引に応じるようゲリラ側を脅した結果、福留らは生還した。このとき日本軍の機密情報がアメリカに流出した。昭和19年5月5日、古賀海軍大将の殉死が発表され元帥の称号が与えられる。福留中将が捕虜になったかどうかの議論はあったが処罰はなかった。
　これらの事件の後、日本国海軍内で論議が交わされた。甲事件**について**は、山本長官機の飛来を知っての待ち伏せ攻撃だった！暗号の解読は事実上不可能、従って敵の哨戒機団に偶然遭遇した！乙事件については、福留中将がゲリラに捕らえられたことが敵の捕虜になっていたと見なされるか？ かなどなど ....。しかしこれらが「事件」として記録されている通り、英雄殉職を記録にとどめる意義があったとしても、情報そのものの取り扱いが国の存亡に関わる問題として取り上げらるようなことはなかった。
　一方、国立公文書館の記録を辿ってみても、情報に関するアメリカ側の取り扱いは日本側とは全く異なっていたことが理解できます。アメリカは山本五十六長官の前線慰問の5日前、4月13日に打たれた長文の暗

号通信に着目しており、4月1日に日本軍が乱数表を変更したにもかかわらず、1時間後にはその通信の概要を把握し、1日後には当時の太平洋艦隊司令長官ニミッツのもとに、ほぼ正確な情報が届けられています。ニミッツはハルゼー提督に、さらに驚くことには、時のルーズベル ト大統領にもその後の対応を諮問しています。そこでアメリカが決めた方針は、山本五十六搭乗機の撃墜、これが偵察中に偶然遭遇した戦闘であったと見せかけるための工作、そしてアメリカが日本軍の暗号解読に成功していることが悟られないように努力することであった。究極の戦略は味方が知っているということを敵に悟られないようにすることでした。現にイギリスのチャーチル首相はアメリカのルーズベルト大統領に対して、山本五十六への一時的な攻撃で機密情報が漏れることに懸念の抗議を入れた言われています。もちろん山本長官機を襲撃したミッチェル少佐自身も自分たちの出撃が暗号解読の成果によるものであった事は終戦まで知り得ませんでした。

このような状況を夢にも理解できない日本軍は、山本五十六の死を隠して、しばらくアメリカの発表を待っておりましたが、やがて暗号解読は事実上不可能、山本長官の殉職は偶発的戦闘によるものと報じています。その後の戦況は史実の通りです。

これがお正月休みに NHK オンデマンドで見た「山本五十六の最後」という番組の概要です。情報の怖さ、それを受け止める者の捉え方の違い、さらに情報に対する認識の違いによって国の将来まで変わってしまうという教訓として、何かのお役に立てば誠に幸いです。ご清聴ありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

植竹　一裕君　宝くじ当たりました。瀬尾さん有難うございました。あたり分300円ニコニコに入れます。

橋本　佳明君　今年で足かけ3年目になります。これからも宜しく御願いします。

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

石山桂子君（1952年1月3日生）



3･11その時、私は県の商工会女性部の会合で宇都宮の二荒会館で会議をしておりました。休憩に入りました時、地震があり悲鳴を上げながら机の下にもぐり込みました。

天窓のガラスが、私の１メートル先に落ちまして命拾いを致しました。

県の関係者の方が避難口から二荒山の境内に誘導をして下さいましたが、境内の灯篭は崩れているのも有り、恐怖でした。「皆さん注意して帰るように」と解散をし、二荒山を後に車を走らせましたが、すべての信号が動きません。

１車線は何とか走れますが、２車線は大変でした。夕方は本当に大変な思いで運転をしました。忙しい時など、いらいらして信号待ちしますけど、こんなに信号の有り難さを感じたことはありませんでした。

帰りの途中、やっと従業員の伊藤と連絡がとれ、家族・従業員が無事でいる事、お客様はもちろんキャンセルになった事、お店も大きな被害が無い事を知り、宇都宮を3時に出発し家に着いたのは夜の７時半でした。

● 1月22日欠席(敬称略)
吉光寺政雄・瀬尾紀夫・髙木慶一・深町彰・藤村聡
須藤舜生

○ 前回1月15日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・小野安正・鈴木隆子・月江寛智

次回例会　　平成２６年１月２９日　　担当田中徹地区委員

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６１９回　平山年度　第２８回　会報　２０１４-１-２９　司会　髙木茂君

新入会員

㈲稲垣商事　代表取締役　稲垣政一君



ただ今紹介のありました稲垣です。

ロータリーの奉仕の精神を学び、皆様の協力を得ながら、社会の一助になればと思いまなすので、今後とも宜しくお願いいたします。

ロータリーに関しては分からないことばかりなので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

会長挨拶　平山博会長

去る１月 25 日、第８回那須塩原市社会福祉大会が行われました。黒磯ロータリークラブが高額寄付者として、那須塩原市社会福祉協議会　会長感謝状を頂きました。秋間年度に特別寄付を行った事や、「あったかハート号」や、８月の「ふれあい広場」など、社会福祉協議会には長年に渡り、支援をいたしました事が評価されたのではないかと思われます。

１月はロータリー理解推進月間です。「古きを温ね新しきを知る」おりしも平山年度で３人の会員が入会して頂きました。国際ロータリー 109 年の歩みと、日本のロータリー 94 年歩み、これだけは是非覚えといて欲しい、また我々も確認の意味でお話をさせていただきます。



1905 年　ポール・ハリスほか３人によって、シカゴロータリークラブ創立。
1920年　10月、日本で最初の東京ロータリークラブ創立。
1921 年　４月、国際ロータリークラブ加盟が承認。
1928 年　日本に第 70 地区が設定され(満州を含む)、初代ガバナーに米山梅吉氏が選ばれました。
1935 年　ロータリーの創始者ポール・ハリス来日。地区大会で日本のロータリーソング(4 編)入選発表。
1940 年　国際ロータリー脱退が決議される。
1949 年　日本の７つのロータリークラブが国際ロータリーから復帰を承認され、第 60 地区に指定される。
1951 年　海外からのロータリー財団奨学生第１号

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日1月29日	40(2)	31(0)人	9(2)人	81.60％	*	**%
前　回1月22日	39(2)	33(1)人	6(1)人	86.80％	2人	92.1％

欠席の場合は当日９時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

ビュート君が来日。日本からは緒方貞子氏がアメリカに。

1953年　『ロータリーの友』創刊。東京ロータリークラブが「米山基金」を発案し、実施する。

1960年　9月17日黒磯ロータリークラブ創立・植竹虎太会長に就任。

1961年　日本で初めて5月東京国際大会開催。参加74ヶ国2万3366人を数え新記録をつくる。

1963年　6月に仙台にインターアクトクラブ誕生。

1968年　6月川越にロータリーアクトクラブ誕生。
7月東ケ崎潔氏、国際ロータリー会長に就任。

1978年　5月第69回東京国際大会。参加国95か国、3万9834人が参加。

1982年　7月向笠廣次氏が国際ロータリー会長に就任。日本から2 人目。

1986年　日本の会員数が10 万人を超える。

1989年　7月女性会員の入会が承認される。日本でも女性会員が誕生。

1995年　阪神・淡路大震災が起こり、国内外のロータリークラブから多くの救助物資が届く。

1998年　米山梅吉記念館の新館が落成。平成14年に黒磯RC旅行愛好会で訪問。

2000年　半田久一地区ガバナー輩出。

2004年　大阪（関西）国際大会開催。登録者数4 万5381人、黒磯RC15名参加。

2005年　ロータリー創立100周年を記念して、日本国内でも様々な社会奉仕プロジェクトを実施。

2010年　東京ロータリークラブ創立90周年。黒磯ロータリークラブ創立50 周年。

これがロータリークラブの歴史の一部です。私達もこの素晴らしい先人たちの期待に応え、その志を受け継ぎこの強調月間に当たり、ロータリーを学びよく良く理解する良い機会にしたいと思っております。

人格の磨きかたを教える道歌

智慧のある　人ほどものに　自慢せず
能ある鷹は　爪を隠すぞ

訳 - 知恵のある人ほど、何につけても自慢はしない。実力のある人は自慢したりひけらかしたりはしないものだ。自分がいかに素晴らしいか、いかに活躍しているか。こうした事をトクトクと語る人がいる。周囲の人が「すごいですね」と反応すると、得意になってさらに吹聴する。それが見苦しいと言う事にも気づかないで・・・・・・

まさに「能なし犬は吠える」（私の事です）である。本当に力のある人は、その力を発揮すべき時に発揮している。それが実力であり、周囲も実力を認めている。

幹事報告　石山桂子幹事

【第28回幹事報告】

○ 第12回高校生RYLAセミナーが2月22日(土)作新高等学校で開催されます。髙木慶一・新世代奉仕委員長にお渡し致しました。

○ ロータリーの友事務所より、電子版の御案内が届いております。電子版の閲覧方法を、メールで配信致しましたのでご覧ください。

○ 那須塩原市社会福祉協議会より、平成25年度「ふれあいの集い」開催の報告が届いております。回覧中です。

○ ロータリーの友事務所より、ロータリーの友2月号が届いております。
鈴木久雄・雑誌委員長にお渡し致しました。

○ 2月2日(日)は、第1グループIM開催となっております。
会　　場：西那須野　割烹いとう
登録受付：12時30分
点　　鐘：13時00分
尚、バスの用意はありませんので、各自会場にお越しください。 詳細につきましては、回覧致しますのでご覧ください。

委員会報告　和気勝利副会長

本日報告事項無し

卓話　田中徹地区委員



本日の卓話の時間は地区委員に割り当てられております。昨年に引き続き地区のソーシャルメディア委員会に配属されておりますが、残念ながら確かな知識を持ち合わせておりません。結果、鈴木委員長任せで何時解雇されても不思議ではない状況にあります。とは言っても何も知らないでは所属クラブに迷惑がかかる事もありますので、それなりに学ばなくてはと思っておりますが、インターネットを活用して情報をやり取りする手段である事は理解出来ても、ツイッター・

フェイスブック・ライン・クラウド・・・とりあえず今日は寝よう・・、となってしまいます。

まず、2550地区に何故ソーシャルメディア委員会が出来たかというと、RIにおいて積極的にソーシャルメディアを利用することで、若い世代の人たちへロータリーの精神や活動を知ってもらい、近い将来ロータリーへの入会につなげていくようにとの考えがあるようです。　今の若い世代の中には、既存メディア(新聞・テレビ)離れが少なくありません。そんな彼らはインターネットを利用して情報を取り入れている事は事実ですから、我々ロータリーもこの情報網にロータリーの精神や活動をのせて、理解を深めていこうとの事ではないかと思います。

当2550地区内では約15のクラブがHPを開設し、クラブ会員を含めて活動を発信しております。言い換えれば、30以上のクラブがインターネットを利用した情報の発信手段をもっていないという事になります。HPは新しい情報を次々とアップしていくにはそれなりの知識が必要ですが、現在、地区にて推奨しておりますフェイスブックは手軽に記事でも写真でもアップする事が出来ます。パソコン、スマホ、タブレットなど何か一つ持っていれば良いのですから。

2550地区にも非公開のページがありますが、絶対に情報がもれない確約は無いとの理解も必要です。従ってソーシャルメディアを利用する上で重要な事が一つ、どのような情報でも発信する時には責任が伴うという事、これがきちんと守られれば素晴らしく便利な手段と思われます。こんな理解で正しいのか自信がありませんので、次年度は鈴木委員長をお招きしてじっくりとご説明を頂くつもりでおりますので、本日はこの辺でお許しを。

ニコニコボックス　小野安正君

福田　逸男君　息子の結婚式が無事終わりました。
田中　　徹君　実は私も宝くじが当たっていたんです。

誕生月３分間スピーチ

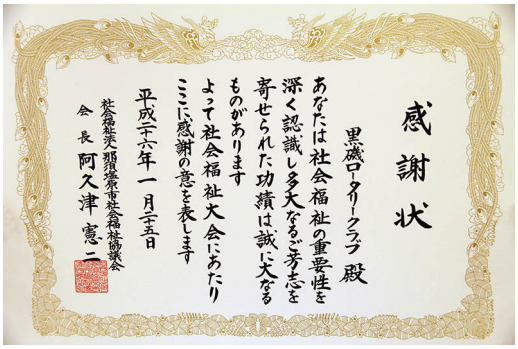
「3 ・11 その時私は何をしていた」

和気勝利君（1957 年2 月2 日生）



その日はお客様3名と一緒に那須黒羽ゴルフクラブでプレー終了後、浴室に入っておりました。ちょうど浴槽を出たところで地震にあい、バスタオルで拭く暇もなく急いで下着を着ました。建物が倒壊した場合を考えてすぐ様着た憶えがあります。後で考えますと、黒羽地区は黒磯から比べると震度が少し小さかったように感じられ、その後黒磯へ帰宅途中の建物の倒壊が徐々に大きくなっていくのを驚きながら帰ってきた記憶があります。

1月25日第8回那須塩原市社会福祉大会に於いて、阿久津憲二会長より感謝状を戴きました。


感謝状

黒磯ロータリークラブ 殿

あなたは社会福祉の重要性を深く認識し多大なるご芳志を寄せられた功績は誠に大なるものがあります
よって社会福祉大会にあたりここに感謝の意を表します

平成二六年一月二五日

那須塩原市社会福祉協議会
会長 阿久津 憲二

那須塩原市社会福祉協議会より感謝状を戴きました

○　今回1月22日欠席(敬称略)
深町彰・植竹一裕・大森貞男・秋葉秀樹・遠藤清和・吉光寺政雄・福島泰雄

●　前回1月15日分メークアップ(敬称略)
瀬尾紀夫・髙木慶一

次回例会　　平成２６ 年２ 月５ 日　　担当国際奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２０回　平山年度　第２９回　会報　２０１４-２-５　司会　植竹一裕君

お客様

○　那須塩原市国際交流協会理事長
高根沢武一様

会長挨拶　平山博会長



恒例になっております第24 回IMが、西那須野いとう家で行われました。黒磯ロータリークラブからも多くの皆様に参加いただき有難うございました。内容等につきましては会報にてご報告いたします。

今年の立春は２月４日、節分の次の日が立春なのです。二十四節気の始まりの節とされています。旧暦では立春から新しい年が始まるとされていて、少しずれはありますが、正月と重なる時期のため、現在でも挨拶に「新春」、「迎春」など、春を表す表現が使われております。暦の上では、この日から春が始まり、立夏の前日までが「春」とされています。現在の暦の春は3 月から5 月までになります。

立春の前日の「節分」は冬と春の境目（節目）であるとされ、立春を基準に数える茶摘み「八十八夜」台風の多い「二百十日」などが良く知られています。このように農作業で大切な節目となる日も、全てこの立春から数えられているのです。今年も２月３日黒磯神社の節分祭が行われ、厄年に当たる年男、年女の裃行列、そして豆まきが行われました。多くの人で、にぎわっておりました。

誰の人生にも厄年というのがあります。男性の42歳、女性の33 歳がすぐ浮かびますが、その年１ 回ではありません。該当者には身の上に悪い事が起こるとされるので、多くの人が厄除けをします。関東の三大厄除け大師は、佐野市の佐野厄除け大師、川崎大師、西新井大師が有名です。

「厄」とは何か。人によってはイメージは様々ですが「体調を崩す」「大病を患う」の二つで８割を超え、大半が病気を心配していることが分かりました。又、年齢別発症率を調べ発症リスクが急上昇する時期を「新厄年」としました。それによると、満年齢で男性は24、37、50、63 歳、女性は25、39、52、63 歳でした。

又、未病にもかかりやすい年回りでもあると言われております。「男女とも 63 歳は主要疾患の発症リスクが最も急上昇する年齢で、『新厄年』と呼んでいい」と、注意を促しています。『新厄年』を無事乗り切る有効策は、日頃の健康管理に尽きると言う事です。

人の接し方を説く道歌

馴れ慣れて　いかに親しき　仲なりと
心にふだん　礼を忘れるな

訳―いかに慣れ親しんだ仲だと言っても、心にいつも礼儀を忘れてはいけない。どんな間柄でも一線を引くことが必要である。言っていい事と、悪い事があり、礼儀は重んじなければならない。物をもらったらお礼

出席報告　出席委員会　　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 2月5日	40(2)	32(1)人	8(1)人	84.6%	*	
前　回 1月29日	40(2)	31(0)人	9(2)人	81.60%	3人	97.4%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

を言う、私生活をむやみに邪魔しない。告げ口はしない。こんな当たり前なことも守れなければ、関係は崩れる。

幹事報告　石山桂子幹事

○　那須塩原市社会福祉協議会より、ボランティア情報誌が届いております。

○　ロータリー米山記念奨学会より、米山３大ニュースと確定申告用領収書が届いております。黒澤洋一米山記念奨学会委員長にお渡し致しました。

○　ガバナー事務所より、宇都宮ロータリークラブの動画がユーチューブでご覧頂けるとご案内がありました。インターネットを立ち上げ「フォーチュンクッキー宇都宮ロータリークラブ」と入力しますとご覧になれます。

○　本日、例会終了後理事役委員会を開催いたしますので引き続き宜しくお願いいたします。

委員会報告　和気勝利副会長

○　秋間忍君

委員会報告ではありませんが、一年交換学生「ニコル」の第三ホストファミリーからちょっと残念なお知らせがあります。

昨日の午後２時半頃、黒磯高校の小林和久先生から「ニコル」が 38.1 度の熱で保健室に寝ているので迎えにきてほしいという電話がありました。

急いで迎えにゆき、その足で「ニコル」を那須高原クリニックに連れていって診察してもらいました。インフルエンザの疑いがあるが、発熱直後だと判定が難しいので明日の朝もう一度来てほしいとのことでした。

言われた通り今朝一番に再度診察していただいた結果、インフルエンザＡ型に感染しているとのことが判明しました。しばらくは出席停止。いただいてきた薬を飲んで自宅で安静にしていることになりました。

本人が今一番楽しみにしていた札幌雪まつりへの旅行についても、悲観的な状態であることをお知らせいたします。

卓話　国際奉仕委員会

○　時庭稔国際奉仕委員長

本日は外来卓話として、先程会長からご紹介がありました、那須塩原市国際交流協会理事長高根沢武一様にお願いいたしましたところ、ご快諾いただき誠に有難うございます。卓話に先立ちまして、高根沢様のご紹介をいたします。



・㈱栃木プロジェクトプロ　プロデューサー代表取締役
・プロロードレースチーム那須ブラーゼンNASPO㈱取締役
・那須高原ロングライド実行委員会会長
・黒磯カヌークラブ代表幹事

その他、色々な役職そして事業を展開されております。本日は時間の都合上、詳細につきましては割愛させていただきます。それでは、高根沢武一様宜しくお願いいたします。

○　国際交流協会理事長　高根沢武一様

国際交流は世界標準



日々配信されるニュースは、政治、経済、文化や歴史、福祉や生活、環境問題、娯楽やスポーツに至るまで、その情報というものは「国際化」に関連した内容であることが多い。情報は国境を越えどこに住んでいようが、まちが大きいとか小さいとかにかかわらず、毎日ダイレクトに飛び込んでくる。その情報で、まちが、人が、団体が、企業が、個々に評価され、注目もされる。また、それら情報に対して、こちらサイドの意見や感想などを情報として返すことも簡単である。国境を越えてヒト、モノ、情報が日常的に動き、感覚的にも世界はいっそう小さくなり続けている。今や国際的な行動、情報に国境は無い国際化時代であり、今後「国境なき国際化」は更なる変化や進化をし続けるはずである。

異文化との共生

しかしながら、このような社会環境の中、刻々と変わる国際社会の問題や課題に対して一々、一喜一憂しても現状でできることは限られるので、私たちはもっと手元を見つめること、「課題は常に私たちの住む現場にある」ということを基本に物事を考えたい。

ここで大切なことは、グローバルな観点に立って、異文化との多様な価値観の違いを前提に物事を捉える、「どのように共生できるか？」という課題にはミクロ的に考える現場主義であること、それが私たちの「国際交流のコンセプト」でありたい。

私たちのミッションは、国際交流ボランティア活動を通じて、外国人居住者や訪問者にとっても、日本人

と同じように活動しやすく、親しみやすく、暮らしやすいまちづくりを進めていくこと、同時に国際感覚を育み、新たな視点や角度から地域の文化や産業の振興にも努めることだと考えている。

百聞は一見にしかず。

A picture is worth a thousand words.

以前、那須塩原市国際交流協会で開催した『国際交流セミナー』の卓話で、アメリカ人のクリス・ギムリンさんとフィリピン人の室井レニーさんが以下のような話をされたことがとても印象に残った。

当時、３ヶ月前に初来日して市内の小中学校でＡＬＴとして勤務し始めたクリスさんは、アメリカで学んだ「日本」と来日して知った「日本」との違いを面白おかしく紹介をした。アメリカで学びイメージした日本は《芸者さんが街を歩き、武士の精神で刀を持ち歩き、着物を着ている》が日本人の日常茶飯な生活風景・・・・。

一方、当協会の「こうりゅうひろば・サロン」で日本語を学んでいるレニーさんは、宇都宮で行われた〔日本語スピーチコンテスト〕で優勝し、そのお話の内容を披露してくださったが、その内容は、異国の地日本での生活の中で、ときとして偏見や差別を感じることがあったが、それを笑顔で乗り越え、「同じ市民として家族と共に生きる」を自分に誓うことで、家族との生活に生きがいと目標が持てたということだった。

お話を聴き感動したのはもちろん、地域に根ざした国際交流の大切さをあらためて実感し、机上論の交流、「国際交流」という言葉の独り歩きなど、その難しさをあらためて認識できた。同時に「ひとつひとつ生活の中での交流を大切にしたい」、そんな想いと今後の課題が垣間見られた。

母国を離れこの地で生活をしているのだから、生活習慣やモノの考え方が違うのは当たり前である。大切なのはお互いを知り、理解し合い、励ましあい、小さな楽しみを分かち合えるような、あの日本の文化「ご縁」を大事にしてお互いが共有していくことだと思う。

まちづくり・ひとづくり of 国際交流

身近に住む外国人が増加し続ける社会環境、企業や団体などによる外国との経済活動の拡大、インバウンド観光立県を目指すことなども勘案すると、栃木県にとって「国際化」の推進は必須アイテムと言っても過言ではないと思う。それら、やり方の成功要因は、「国際化時代にマッチングした魅力ある地域づくり・ひとづくり」に他ならず、送り手・受け手側の信頼関係を構築し続けることが不可欠であると考える。

明日からの５年、その先の10年といった中・長期的な視野に立ち、その変化やニーズを捉え、明日のために今日を考える・・・市民協働の国際交流で育まれる「まちづくり・ひとづくり」が、～For the next stage～として創造されていくことを望み、楽しみにもしていきたい。

私たち、那須塩原市国際交流協会の事業紹介
別紙にて年間事業の紹介

☺　ニコニコボックス　君

平山　　博君　IM無事終了いたしました。ご協力に感謝いたします。

齋藤　武久君　結婚祝い有り難うございました。

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

福島泰雄君（1928 年 2 月 8 日　生）



私は皆さんのように経営者ではなく年金生活者ですので、家内と二人きりの生活をしています。地震が起きた時刻には、自宅の工房と称している建物の灯油ストーブの傍でパソコンに向かって腰掛けていました。揺れ始めた時は、いつもの様にすぐ収まると思っていました。ところが収まるどころか、ますますひどくなり危険を感じて、先ずストーブの火を消そうと考え、ストーブの電源ボタンを押そうとしましたが体がゆれ上手く押せませんでした。また、湿度をとるためストーブの上に載せている直径30㎝ほどの生け花用花器の水がポチャンポチャンと飛び散り、周りを水浸しにしてしまい後始末が大変でした。家具類については、2～3の置物が落ちて壊れた程度で被害は無かったと言えそうです。家内はその時、鍋掛のスーパーダイユーで買い物をするため到着し、車から降りようとしていたそうです。駐車場周りの電柱、電線が大きく揺れ怖かったと言っています。ダイユーは停電になりレジも使えない状態なので買い物をせずに帰ったそうですが、途中の信号機も消えており用心しながら運転をしたようです。以上。

誕生祝



左から、秋間忍君、福島泰雄君、月江寛智君、和気勝利君
村山茂君、田中徹君　お誕生おめでとうございます！

結婚祝



左から、齋藤武久君、礒勝彦君

IM報告　平山博会長



IM報告を致します。第24回第2550地区第一グループINTERCITY MEETING(IM)が2月2日(日)「いとう家」で開催されました。第一グループの各クラブから多数の参加者があり盛会で有りました。

高橋智純ガバナー補佐の点鐘で始まり、ホストクラブ会長　青山吉博西那須野RC会長の歓迎の言葉がありました。飯村慎一ガバナー、長島一郎ガバナーエレクトの挨拶に続き、第一グループ、7クラブの会長が、前期事業の報告を行いました。

休憩後、記念講演　中谷研一様、第2550地区ガバナーノミニー（足利東RC）子育て支援（いじめ・不登校・ひきこもり）についての講演がありました。



半田久一第2550 地区パストガバナーによるカンセラー総括があり、懇親会に入りました。

アトラクションで、田中明美様の「ソプラノの歌声でつづる四季の歌」を楽しく聞かせて頂きました。

当クラブからも20 名が参加して、他のロータリークラブとの親交も深めることが出来、思い出に残るIMでした。本当にありがとうございました。



半田パストガバナー、飯村ガバナー、長嶋ガバナーエレクト

● 2月5日欠席(敬称略)
稲垣政一・吉光寺政雄・黒澤洋一・鈴木隆子
津久井誠二・深町彰・遠藤清和・須藤舜生

○ 前回1月29日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・大森貞男・秋葉秀樹

次回例会　　平成26年2月12日　　担当米山記念奨学会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2621回　平山年度　第30回　会報　2014-2-12　司会　植竹一裕君

会長挨拶　平山博会長



２月８～９日にかけて 20 年ぶりの大雪でした。皆様被害はなかったでしょか。

日陰には残雪があり、氷っている所があります。車の運転、歩行には十分注意してください。そんな中、黒磯ロータリークラブ旅行愛好会 21 名が「迫力の雪像」札幌雪まつりに、2月８～９の日程で行ってまいりました。札幌の都心を東西に横切る大通り公園において展開する、1.5㎞の雪と氷のドラマ。真っ白い雪と，透き通る氷だけによって、創りだされた芸術作品です。

最初の雪祭りは、市民の雪捨て場となっていた、大通り公園７丁目で、市内中学校・高校の生徒が、美術の教師の指導の下に、6基の雪像を創りだしたのが、初めての祭りともいわれております。今では、大きな雪像から市民雪像、そして国際色豊かな雪像など、バラエティーに富んだ雪像やイベントが、盛んに行われております。夜は、ライトアップされ昼間とは違った迫力のある雪像を見る事が出来ました。雪まつりは、すすきの会場「すすきの氷の祭典」真駒内会場など７会場でも行われております。

何といっても、一年交換学生ニコールの為に、この雪まつりを計画しましたが、本人「インフルエンザ」のため欠席で、主役のいない旅行となってしまいました。本人が一番残念がっているのではないかと思います。でも、幸いな事に、地元も大雪で、雪まつりに行けなくても、雪は十二分に見る事が出来たと、慰めたいと思っております。道中、雪の影響で、いろいろとハプニングもありましたが、比較的スムーズに、思い出に残る楽しい旅行が出来ました。企画を立てていただいた、役員皆様に感謝申し上げたいと思います。

所で、昨日は２月 11 日は建国記念日でした。ソチ五輪４日目とあって注目されず、産経新聞５面にも建国記念日の趣旨を広く国民に伝えるため、「日本の繁栄を希求する」と言う安倍首相のメッセージが小さく発表されておりました。「建国記念日の日を祝う国民式典」も平成17年以降式典は開かれていないと言うことです。

それでは余りにも寂しすぎるので、記念日について再認識したいと思います。「建国をしのび、国を愛する心を養う日」とされ、全国各地の神社などで様々な祭事が執り行われました。日本の起源を祝日にしようという動きは、明治時代、初代天皇である神武天皇が奈良県橿原宮で即位した日を、日本の紀元としたことから始まりました。戦後、この祭日は廃止されましたが、多くの国民が建国を記念する日を望んでいることから、1996 年に復活し、翌年より実施されました。

自分や会社、国には各々の歴史があります。由来を知ることは、存在理由を確立するのに必要な要素であ

出席報告　出席委員会　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 2月12日	40(2)	31(0)人	9(2)人	81.6%	*	
前　回 2月 5日	40(2)	32(1)人	8(1)人	84.6%	4人	92.3%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

ると言われています。厳しい状況に直面した時、安易に過去を否定しがちですが、国家の安定や先人の営みがあって、今の私たちの生活があります。よりよい生活を創造するために､元を忘れずに改めるべきを改め､未来を切り拓いていきたいものです。

人生も国家も、やり直しは出来てもリセットは出来ません。温故知新という言葉をヒントに、建国記念日のこの日､日本や親祖先の歩みを再確認したいものです。

今日の道歌―人との交わりを　和する

空渡る　雁の一行　見るにつけ
　　世にうれしきは　友にぞありける

訳 - 空に群れて列をなして雁が飛んでいる。風の抵抗を考えて、強い雁が先頭に立つ、疲れると最後尾を飛ぶ、これを繰り返してシベリアへ飛ぶ。この姿を見るにつけ、この世で生きていて、とてもうれしいのは仲間の存在なのだ。良き仲間の存在、友の存在は人生を充実させてくれる。今般の愛好会旅行も、誠に面倒見がよく元気な和気さん、鳥居さんが我々を引っ張っていただいて、楽しい旅が出来ました。そんな仲間の存在に感謝いたします。

幹事報告　石山桂子幹事

去る２月６に開催されました理事会の審議事項から申し上げます。

【理事役員会報告】

○　3月プログラムの件、承認されました。尚、3月19日はインターアクト地区委員長の外来卓話となります。

○　黒磯駅前通りで開催されます「第３回３・11復興イベントくろいそ青空市」に協賛金として２万円承認されました。

○　インターアクト・クラブ海外研修が平成26年3月23日～26日まで開催されます。参加費用として黒高教諭（引率者）に7万円。生徒1人につき2万円。2人参加ですので４万円。合計11万円補助金として承認されました。

【幹事報告】

○　2014年度当クラブ受入れの米山記念奨学生が決まりました。
国　籍：ベトナム　氏　名　レ・アン・ハイ（女性）
学　校：宇都宮大学地球デザイン専攻、修士2年。
期　間：2014年4月1日～2015年3月31日

○　第37回ライラセミナーの報告書が届いております。

○　大田原ロータリークラブ及び西那須野ロータリークラブより、週報が届いております。併せて回覧中です。

○　抜粋のつづりが届いております。レターボックスに投函しました。

委員会報告　和気勝利副会長

○　黒磯ロータリークラブ旅行愛好会報告

会長　大森貞男君

２月８日(土)～９日（日）の黒磯ロータリークラブ旅行愛好会「さっぽろ雪まつり」、朝９時30分JAL509便にて羽田空港を出発するわけでありますが、朝からこの冬一番の寒さがきておりまして、黒磯を出た時にはそんなに雪が降るとは思いませんでしたが、東京都内に入るころ路面が白くなってきました。羽田空港に着いたころ飛行機が離陸をしないのではないかと心配でした。どうやら１時間遅れで一路札幌に着きました。

北海道は普通の雪ですよと言われましたが、札幌公園ではすでに第65回目の雪祭りが行われておりまして、大変なにぎわいです。一回りをしてから夕食にはカニ､地元の名物等が出ました。食後は自由解散で､夜のライトアップも又綺麗です。氷の彫刻等が並んでお



ホテルロイトン札幌ロビー



巨大雪像今年は５の作品が作られました



台湾の故宮博物院

りました。又「すすきの繁華街」散策等も行われまして、夜も更けるのを忘れているようでした。

次の朝はロイトン札幌ホテルを９時に出発して魚市場を散策、沢山の買い物をしておりました。次に大倉山ジャンプ競技場の頂上までケーブルカーで行きました。只今ソチオリンピックが開催されていますので、この地でも日本のオリンピックが開催されました場所なので、思い出に残る場所でした。次に白い恋人パークでは､お客様が一杯入っていて買い物もいたしました。

中食は小樽寿司屋通り（日本橋寿司店）にて食べましたがやはり美味しいお寿司でした。食後はガラス工房や運河沿いを自由に散策をして、新千歳空港に早めに入りましたが、雪の為に東京羽田からの便が到着が遅れて、約３時間の遅れで帰れました。欠航便も出ておりまして､大変な事でした｡羽田空港に到着したら､東京も凄い雪の為、交通網も混乱をしておりました。

黒磯石山駐車場に到着したところ、黒磯も大雪でした。留守の間にこのように雪が降りまして、大変な事でしたでしょう｡何事もなく時間が遅れた事ぐらいで､帰る事が出来ました、皆様のご協力により楽しい旅が出来ました。

卓話　ロータリー米山記念奨学会委員会

○　黒澤洋一委員長



1）　委員会の事業経過報告

ア）寄付目標１人18,000円は昨年７月に送金済みです。

イ）米山功労者、準米山功労者の増員は今回19名の方が功労者の表彰を受けました。

ウ）事業理解のために週報へ、奨学会の情報は週報委員会の皆様にお世話になり、昨年９月10月に掲載して頂きました。

エ）米山事業の豆辞典を８月に配布しました。

オ）卓話例会担当は10月２日米山月間に地区委員長恩田様にお願いしてDVDにて米山情報の卓話を頂きました。

2)　米山功労者マルチプル表彰を平山会長に19名の方に伝達して頂きます。

・第７回米山功労者（マルチプル）高根沢邦夫君



高根沢邦夫君に第7回米山功労者（マルチプル）が伝達された。

・第４回米山功労者（マルチプル）福田逸男君・相馬征志君・半田久一君・平山博君・鈴木久雄君・大森貞男君・黒澤洋一君・齋藤武久君・佐藤博君・須藤舜生君・福島泰雄君・田中徹君・時庭稔君・髙木慶一君・髙木茂君

・第３回米山功労者（マルチプル）石山桂子君・澤田吉夫君・和気勝利君

3)　報告事項として2014年度米山奨学生の受入れが決定しました。

氏　名　レ・アン・ハイ(女性)
国　籍　ベトナム
学　校　宇都宮大学２年生
専　攻　地球環境デザイン
期　間　2014年４月１日～2015年３月31日

4)　最後にDVDにて「広がれ人つくりの輪」と「ロータリー米山記念奨学事業のいま」を上映し、活動の理解をお願いしたいと思っています｡(ビデオ上映)

☺　ニコニコボックス　小野安正君

福島　泰雄君　札幌雪祭り同行させていただき、ありがとう御座いました。丁度86歳の誕生日でした。

大森　貞男君　黒磯ロータリークラブの旅行愛好会の行事が無事終了致しました。ご協力ありがとうございました

礒　勝彦君　札幌雪祭りお世話になりました。和気コンダクターに感謝。

月江　寛智君　誕生祝いありがとう御座いました。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

月江寛智君（1941 年 2 月 12 日生）



平成23年3月11日午後2時46分に地震が発生し、本県でも震度6強を観測しました。振動はすぐ治まるだろうと思っていましたが大きな揺れがいつまでも続きましたので、震源が何処なのかと思いました。

今回の地震は仙台の東方70㎞、深さ24㎞で海溝型、逆断層型のプレート境界の破壊が100秒間にわたり広範囲で起こり、継続して3分以上の強い揺れが続き、マグニチュードは8.8、最大震度Ⅶで観測史上最大とされています。

マグニチュードは地震の規模を数値的に表す方法としてカリフォルニア工科大学のリヒターによって考案されたもので、記録倍率2,800倍の地震計が震源から100キロの地点で観測したミクロン単位の振幅を対数計算を基本に表したものです。現在は改良が加えられた気象庁マグニチュード、モーメントマグニチュードなどがあります。

リヒターマグニチュードによると、M6.9は震源から150キロで約1㎝の地動振幅、M7.9ならほぼ10㎝の振幅となります。

神社は石造物が多いので、まず境内に出て被害を確認しました。石塀や鳥居の倒壊はありませんでしたが、鳥居の柱の一本に横に切断する割れが入っていました。

北那須地区には226社の神社がありますが、この地震で被害を受けた神社は140社被災率62%で、内訳は本殿の全壊3件、鳥居の倒壊38基、灯籠の倒壊285基など548件にのぼりました。栃木県全体では1,904社の内727社が被害を受け、被災率38%、本殿全壊16社、鳥居の倒壊110基、灯籠の倒壊859基などの被害となりました。これらの被災神社に対し、神社本庁並びに栃木県神社庁の義援金ならびに各神社の氏子の寄付により、県北においては現在ほぼ復旧しました。

結婚祝い 荒牧明二君



● 2月12日欠席(敬称略)
秋間忍・吉光寺政雄・鈴木隆子・相馬征志・時庭稔
橋本佳明・深町彰・須藤舜生・室井次男

○ 前回2月5日分メークアップ(敬称略)
稲垣政一・黒澤洋一・鈴木隆子・津久井誠二

次回例会　平成26年2月19日　担当　ロータリー財団委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２２回　平山年度　第３１回　会報　２０１４-２-１９　司会　植竹一裕君

お客様

○　一年交換学生　李　宜蓁(ニコル)さん



一月の時、秋間さんと幼稚園の先生たちと一緒に金沢に行きました。おいしい海鮮料理たくさん食べました、大満足です。その以外、色々な所に行って、一番好きのは忍者寺でした。仕掛けがいっぱいあって、面白かったです。私もそういう家がほしいです。

最近初めて学校の友達と一緒にカラオケで歌いました。日本のカラオケは、評点がありますので、とても怖かったです（私は歌うのは下手です。点数が出たとき、超低かったです）。もうカラオケ行きたくないです。もし本当に誘われたなら、友達の声を聞いてればいいです。

先週のバレンタイン、初めて手作りチョコを作って、友達に渡しました。皆“おいしい～”と言ってくれて、嬉しかったです。私自身もチョコをもらいました。全部食べたなら太るかもしれないけど、友達の気持ちを受けるために全部食べました。甘いけど美味しかったです。

二週間前インフルエンザを引いて、北海道の旅行は行けなかったです。寂しく一人で部屋の中で過ごしました。テレビで北海道の雪祭りを見ました。"本物を見たなら良かったですね。"と思いました。今回は本当に残念でした。

会長挨拶　平山博会長



2週続けての大雪になりました。

那須町千振では、84㎝の記録的な大雪でした。寒さ厳しい折、皆様お体を大切にしてください。日差しは確実に暖かくなっております。

昨年、一昨年の今頃は、四国八十八か所巡りをしておりました。今日は、その時のお話をさせていただきます。四国八十八か所霊場は、2014年、開創1200年を迎えます。これらを巡礼する「お遍路」は、時代を超え今でも人々を惹きつけ、発展し続けています。高福寺、檀徒30名と共に四国八十八か所霊場を、2012年2月、2013年2月、2回に分け巡礼することが出来ました。大森貞男さん、黒澤洋一さん、髙木慶一さん、そして平山、同行4人も元気に巡りました。

まず、四国八十八か所の開祖であり、「お大師さん」として親しまれる弘法大師・空海は、774年に香川県多度郡屏風ケ浦・善通寺（現在の第75番札所）でお生まれになりました。姓は「佐伯」、幼名は「真魚」と言いました。31歳の時遣唐使船にのり、当時密教の第一人者であった恵果阿闍梨と出会いインド伝来の密教を授かりました。二年ほどで帰国した空海は、しばらく九

出席報告　出席委員会　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 2月19日	40(2)	27(0)人	13(2)人	71.0%	*	
前　回 2月12日	40(2)	31(0)人	9(2)人	81.6%	4人	92.1

州に滞在し、42歳の時に「四国八十八か所霊場」を開創しました。四国遍路の起源は、平安末期にさかのぼります。当時は修行僧や山伏といった宗教関係者が中心でした。海辺や険しい参道などの難所を一人で歩き、大自然宇宙、仏など聖なるものと向き合うことで心身を清め、不思議な、偉大な力を得たいと考えていました。空海も四国でそのような修行に励んでいた一人です。やがて修行者たちがそれらを巡るようになり、線としてつながれ、四国全体に巡礼の道が出来ていったのです。空海は815年（弘仁六年）自身の故郷である四国をはじめ、積極的な布教活動を開始し、のちに八十八か所と呼ばれる霊場を開創しました。八十八の数の由来については、例えば、怒りやむさぼりなどの煩悩の数であるという説や、男性・女性・子供の厄年の数字を足した（四十二＋三十三＋十三）とする説などのようです。「八十八か所」という用語が確立されたのは、江戸時代初期のことでした。

四つの国を歩いていく巡礼は、仏の道をひたすら歩む四つのプロセス（発心・修行・菩提・涅槃）に重ねて解釈されることもあります。

発心の道場

1番札所 霊山寺～23番札所 薬王寺　　23寺
発心して阿波（徳島)をスタートする

修行の道場

24番札所 最御崎寺～39番札所 延光寺　16寺
高知県土佐を歩み修行を続ける

菩提の道場

40番札所 観自在寺～65番札所 三角寺　26寺
愛媛県伊予であらゆる煩悩を断ち切る

涅槃の道場

66番札所 雲辺寺～88番札所 大窪寺　　23寺
香川県、最後の讃岐で解脱の境地である涅槃に達するというものです

平安時代後期以降になると、修行僧に加え、空海への追慕のために八十八か所霊場を巡る人も増えてきました。この地で修行を積んだ、歴史上の偉人として空海ではなく、法身(ほとけ)としての弘法大師を慕って、その聖なる空間を巡礼するという考えが広まったのです。遍路の装束や持ち物に記される、同行者の数を示す程度の意味であった「同行〇人」という言葉も、いつしか「弘法大師と二人連れ」という意味を込めて「同行二人」と記されるようになります。いつも弘法大師が付いてくださっているという安心感を与えるものです。遍路は、当初は一人で行うものでしたが、平安時代の末には複数人が一緒でも受け入れられるようになります。さらに、室町時代の初めには、庶民の男女、子供に開かれた遍路となり、多くの人が弘法大師に帰依し、霊場を訪れました。

現代では様々な目的をもって遍路に臨むようになりました。主な目的のひとつとして挙げられるのが、近しい人や先祖の供養です。大切な家族や友人を失った人が、はじめて遍路に訪れるケースが多く有ります。又、願い事をかなえたい、今抱えている困難を振り払いたいと言う人や、本当の自分を見つけたい、これからすべき事を見つけたいという自分探しの人も多くいます。これは最近の遍路の大きな特徴です。さらに遍路を通して日本文化の奥深さに触れたいという外国人も増加しています。このような様々な目的をもった人々を、すべて受け入れる懐の深さは、四国遍路ならではの魅力です。バス、自家用車などの乗り物を使って、札所から札所へ複数人で訪れるレクリエーション的なものも一時期は増加しましたが、最近では札所から札所をつなぐ線（道）を努力して巡る従来の歩き遍路、一人遍路に回帰する現象も顕著になってきています。自分の脚で聖なる空間、時間にたどりつき、精神を解放させる非日常の経験は、人生の何かを教えてくれるに違いありません。

今日の道歌

よき人を　見ればわが身も　磨かれて
鏡に向かう　心地こそすれ

「訳」－良い人を見れば、自分の心も磨かれて、まるで鏡に向かったように、同じになっていくものだ（だから、よい人をお手本にすることだ)。

幹事報告　石山桂子幹事

○ ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま167号が届いております。回覧中です。
○ 青少年交換委員会より、交換学生・オリエンテーション開催のお知らせが届いております。髙木慶一・新世代奉仕委員長にお渡し致しました。
○ 那須塩原ハーフマラソン実行委員会より、第8回那須塩原ハーフマラソン実行委員会開催のお知らせが届いております。荒井昌一・社会奉仕委員長にお渡し致しました。

委員会報告　和気勝利副会長

本日報告事項無し

卓話　ロータリー財団委員会

○　村山　茂委員長

2013 - 14平山年度ロータリー財団員会委員長の村山でございます。副委員長に半田久一さん、委員に月江寛智さんの3名で行っております。ロータリー財団委

員会の本年度実績につきましては、昨年11月6日の例会にてご報告しました通り；

○　年次寄付（1人当り）100ドル（全会員）＋50ドル（クラブ）＝150ドル

○　恒久基金（ベネファクター）1名　石山桂子幹事
1,000ドル

となっております。改めまして皆様のご協力に感謝申し上げます。

ところで、今のお話しは我々が活動資金を出したということですが、一方、資金をいただくことも出来る訳です。地域社会での奉仕活動資金としては「地区資金」、海外で行う場合は「グローバル資金」という名称で呼ばれております。グローバル資金については、現在のところ検討を行っておりません。この資金を活用するためには、海外のクラブとの共同作業ということになっておりまして、個人的に3.11東日本大震災の時に少し考えたことがございましたが、具体的な行動には至りませんでした。地区資金につきましても、新地区資金となった今年度は、昨年度中に活動計画書の提出が出来ませんでしたので、残念ながら活用することができませんでした。この活動計画書の提出は、前年度3月～5月に行う必要があります。次年度においては、是非ともこの資金を活用し地域社会への奉仕活動を行っていただきたいと思っております。具体的には、小学校対抗駅伝大会の充実を図ること。硬式テニスの普及活動に対する支援活動などを考えております。その他、皆様からご提案いただければ、少し時間がありますので、検討させていただきます。以上が、現在までの活動報告でございます。

まだ、時間もございますので、本日は私の職業であります「タクシー業」に関連する事柄ついてお話しさせていただきます。公共交通機関と言えば鉄道、バス、航空機、船舶などが思い浮かびますが、実はタクシーも法的にそのひとつに位置付けられています。ただ、生い立ちが、最初から民間資本で行われましたので、行政が策定する交通網には加えられず独自の営業活動を行ってきたため、一般的には公共交通とは認識されておりません。メディアで報道されるときも、交通事故やタクシー強盗などの事件事故が殆どで、地域交通機関の一部を担っているという趣旨での報道はなかなかされません。また、タクシーの機動性も、冒頭の交通機関は、定時定路線で時刻表等に沿って運行されますが、タクシーはお客様の都合で随時、しかも、24時間体制でどこにでも行きます。さらに、収益性があり行政等からの補助金なども皆無で、自立性があります。ですから、皆さんもそうですが、最近まで我々自身もそうした認識に乏しかったというのも事実です。大きい声では言えませんが、かつての国鉄、現在でも路線バスなどは補助金漬けです。それが無くては成り立ちません。交通機関の役割は、生活、経済活動といった社会活動を円滑に行うための移動手段を担う訳ですが、技術の進歩やエネルギー問題、環境保持、安全安心といった様々な要件を満たしながら遂行することが求められています。その上で、この地域の特性に見合った地域公共交通網を構築し、さらなる利便性、安全性を確保しなければなりません。これを行うために、各種法令等による行政指導により市町村ごとに「公共交通会議」が設置されております。このメンバーは、国、県、市町村の各交通・労働関連担当者、各交通事業者、地域住民、労働組合です。この会議で、地域公共交通の運営方針が定められ、予算付けがなされ、議会の承認を得て実施される訳です。ですから、非常に重要な会議で、地域の交通行政の最高意思決定諮問会議と呼んで差し支えありません。ご承知の方もおられることと思いますが、平成25年10月1日より那須塩原市では「予約ワゴンバス」が、那須町では「乗合タクシー」が運行されました。何れも従来の定期路線バスの乗車率が悪い路線等を廃止して、需要に見合った運行に改め、その結果として経費の節約、利便性の向上を狙った新規事業です。その中で、那須塩原市の予約ワゴンバス事業については、平成24年10月頃から検討が開始され、当初から私がタクシー事業者の代表として参画いたしました。なぜタクシー事業者かと言いますと、「デマンドタクシー」という言葉をお聞きになった方もおられるかと思いますが、国土交通省の行政指導により、全国的に路線バスを合理化してタクシーによるその代替運送を行うことが推奨されたことによる訳です。しかも、国からの補助金が付きます。それで、那須塩原市の場合、なぜ、デマンドタクシーではなく、予約ワゴンバスという名称になったのかと言いますと、デマンド＝需要ですから、デマンドタクシー＝需要タクシー？意味不明です。ですから、その運行形態のとおり「予約が必要なバス」で、経費節減のため「予約がなければ運行しません」という意味の通りの名称にした訳です。そのような訳で、この事業には県北タクシー事業者6社が参画し、8路線の運行を行っております。昨年10月から12月の利用実績は3,641人、1,213/月、151人/1路線・月となってお



ります。乗車料金は、1回200円で1日乗り放題400円、定期券もあります。また、ゆ～バスにも乗車できます。そして市民、外来者の区別なく乗車可能です。ただし、事前の利用者登録が必要ですので、予約の申し込みと同時に登録をしていただきます。予約は現在は前日午後6時までですが、4月1日からは当日利用される便の2時間前までに改められる予定です。

まとめになりますが、この事業への参画により地域の公共交通を考える場合、従来はバスを中心に考えられてきましたが、タクシーや一般家庭の自家用車の普及率も考慮にいれる必要があると思います。タクシーは、地域の交通手段として様々なお客様にご利用いただいておりますが、平成2年以降右肩下がりで利用数が減少しております。その主な要因は、景気の低迷もありますが、一番は奥様ドライバーが普通になってきたことだと考えています。商売敵は同業者ではなく、奥様方です。これは非常に難敵です。一方、企業、団体のご利用も景気の低迷、デフレなどで節約志向が定着し、真っ先にタクシーの利用がカットされたと感じております。それでも、何とかやってこれたのは、自然環境に恵まれ多くの観光客が訪れること。そして、まだまだ多くの市内の皆様にご利用いただいていることに尽きると考えております。以上、貴重なお時間をお付き合いいただきまして有難うございました。これをもちまして本日の卓話といたします。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

田中　　徹君　本日幸か不幸か64歳の誕生日。あと一年頑張らねば。
秋間　　忍君　誕生祝い有り難うございました。
髙木　慶一君　駅前活性化委員会「3・11復興イベント」に協賛有り難うございました。
半田　久一君　国際ロータリー創立109周年を記念して。1905年2月23日～2014年2月23日。
鈴木　隆子君　申し訳ありません。先週は計らずも無断欠勤してしまいました。

誕生月３分間スピーチ
「3・11 その時私は何をしていたか」

○　田中徹君（1950年2月19日生）

平成23年3月11日　そろそろ午後4時からの会議の為出かけようかと思った矢先、ミシッ！という音とともに揺れだした。何時もなら10～15秒程度で収まるのがだんだん揺れが大きくなり、廊下の左右に掛けてあった取引先より頂いた表彰状やら感謝状50～60枚が全て落下し廊下全体がガラスの破片で埋まった。少し揺れが落ち着いたところで、全ての電源を落とし水のコックを閉め、再度揺れたら工場から出るように指示をする。揺れが治まったところで、浴槽からこぼれた薬液の飛散状況を調べると共に排水処理装置を完全停止。

揺れては収まり、また揺れては収まる状況の中でやらねばならない事が沢山ありましたが、夕刻までには全ての確認が終了。設備・機器の被害は最小限であったが、一番心配していた飛散した薬液の混入が一部に見つかり、このままでは排水処理装置の自動運転が出来ない状況。　混入場所での分解処理に4時間を要して完了。　この時点で午後7時、自宅の状況も心配なので早々に帰宅させる。翌日は設備の点検調整と液調整を行い稼働可能な状態に戻せた。　栃木県内の同業はほぼ同様の状況で壊滅的な被害は免れた。

誕生祝



稲垣政一君・荒牧明二君・平山会長

● 本日2月19日欠席(敬称略)
遠藤清和・小野安正・澤田吉夫・瀬尾紀夫・髙木茂津久井誠二・時庭稔・橋本佳明・檜山達郎・深町彰藤村聡・須藤舜生・室井次男

○ 前回2月12日分メークアップ(敬称略)
秋間忍・鈴木隆子・相馬征志・時庭稔

次回例会　　平成26年2月26日　　担当　会長(クラブフォーラム)

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２３回　平山年度　第３２回　会報　２０１４-２-２６　司会　植竹一裕君

会長挨拶　平山博会長



今日東京で14.2度、ここ黒磯でもあたたかな日和でした。各地で梅の開花が発表されています。

先週に引き続き四国八十八か所のお話をさせていただきます。四国八十八か所逆打ち遍路の元祖、衛門三郎の話であります。

天長元年（824年）伊予の国（現松山市恵原）の村に強欲非道な、河野衛門三郎という長者が住んでいました。ある日、弘法大師は、強欲非道の衛門三郎の前に現れ、彼を方便強化して、真の道に入れようとしたが効き目なく、かえって大師を、もっていた鍬で打ち据えようとしたのだ。大師はそれを鉄鉢で受け止めたから、鉄鉢は八つに破れ飛び散ってしまいました。

翌日から三郎の子供たちに異変が起こり、わずか８日間で８人の子供全員が亡くなったのです。さすがの三郎も、世の無常を知り「あの時の托鉢僧は弘法大師であった」と気づき、許しを請うため、八十八か所を巡拝している弘法大師の後を追って、お遍路を始めました。ところが、20回巡っても一向に大師に出会うことが出来ず、21回目に「逆に巡れば会えるのでは」と思い八十八か所を逆から巡り始めます。そして、永年の苦労もあり、第12番焼山寺下の山中で倒れて意識が遠のく中、ついに弘法大師が現れ、全てを許された三郎は心安らかに成仏しました。

衛門三郎が八十八か所を逆に巡りはじめたのが、うるう年と言われている事から、お遍路さんの間では、うるう年に八十八か所を逆から巡る事を「逆打ち」と呼んでいます。また、「逆打ち」を行うことで、八十八か所を順に巡っている弘法大師に出会うとも言われています。衛門三郎まだ続きがあります。

逆打ちを行った事で、衛門三郎は焼山寺下の山中で息も絶え絶え、弘法大師に出会うことが出来たわけですが、弘法大師は「汝の働いた罪障の数々、四国修行の功徳により消滅した。あとは何か望みはないか」と問われたという。この時、三郎は自分が伊予一国の領主河野氏の一族だったことを語り、また生まれてくる時は、河野氏の世継ぎに生まれたい、と懇願した。これを聞き届けられた大師は、小石に「鉢塚右衛門三郎」と書いてその手に握らせたというのだ。衛門三郎はねんごろに葬られ，持っていた金剛杖は墓標として立てられた。

ところで三郎の死んだ翌年七月、伊予の豪族河野家に男子が誕生しました。その若君は左手を固く握ったまま開かない。そこで安養寺の住職に読経供養の祈願をしてもらうと、掌が開いて「鉢塚右衛門三郎」の小石が出てきたのだ。人々は因縁の不思議さに驚いた。そして霊験あらたかな証をとどめるために、安養寺を熊野山石手寺と改称したのだという。

これは長く語り伝えられてきた衛門三郎の話です。これに加えて石手寺に行くと、例の「鉢塚右衛門三郎」の石が宝殿に納められております。鶉の卵より少し大きい水晶のような、石であると言われています。第51番札所石手寺は、愛媛県松山市道後温泉のちかくにあるお寺です。

かくして同行４人組と、高福寺檀家26名は２年に渡り16日間かけて、第一番札所霊山寺を打ち出しに八十八番大窪寺にて満願成就し、深い大師の御恩徳に活か

されている自分にきずき、ただただ感激に涙する時でありました。そして私たちは徳島港よりフェリーで和歌山県は紀州高野山奥の院へ満願成就の報告を行いました。

高野山　奥の院　御詠歌

ありがたや　高野の山の　岩かげに
大師は　いまだ　おわしまする

御四国の遍路の場合、八十八か所満願成就のあかつきには「生まれ変わる」とされてきました。老いや、病気による死への不安、様々な悩みや心の痛みを抱えた人々が、満願成就によって生まれ変わり苦しみから解放される。白の死装束に身を固め、いったん死んだ身となって遍路に出発した人々が新たな人間として復活する。これが遍路さんにとってどんなに大きな心の支えとなっているか計り知れないものがあります。

幹事報告　石山桂子幹事

○　ロータリーの友事務所より、ロータリーの友3月号が届いております。鈴木久雄雑誌委員長にお渡し致しました。

○　黒羽ロータリークラブより週報が届いております。回覧中です。

○　日本事務局より、2013年手続き要覧の贈呈がありました。又、皆様から注文頂いた手続き要覧は25日以降配送になると連絡がありました。

○　新入会員の荒牧明二会員と稲垣政一会員の会員名簿をレターボックスに投函致しました。

本日は、以上です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　新世代奉仕委員長　高木慶一

2月22日第12回高校生RYLAセミナーが作新学院高等学校で開催されました。一年交換学生ニコルと黒磯高校インターアクター3人と眞渕千香顧問と私、6名で参加してまいりました。23日の下野新聞に載りましたように、模擬国連を体験してきました。ロシア大使になったニコル達は戦略賞を戴きました。

☺　にこにこボックス　小野安正君

荒牧　明二君　結婚祝い有り難う御座いました。

佐藤　　博君　比嘉豆腐店でおもてなしを受けて参りました。大森さんの言うとおり、有り難う御座いました。

○　**出席報告は次回に行います。**

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

秋間忍君(1946年2月19日生)



3・11の体験についてお話しを・・・ということなので少しお時間をいただきます。あれからもう3年になりますが、忘れもしない当の3月11日は黒磯幼稚園の卒園式でした。卒園式には礼服で出席しておりました。謝恩会の後、最後の卒園児と保護者を見送ってから服を着替えようとして自宅に戻りました。門扉を通ってまさに今玄関の扉を開けようとしたときに大きな揺れが来ました。庭の真ん中で仁王立ち、倒れないように立ってるが精一杯でした。鈴木工業さんのおかげで建物にはほとんど被害がないことが分かりましたが、それからちょっとだけ迷いました。一度は黒磯幼稚園に戻ろうかとも考えましたが、まだ園児のいるひばりヶ丘保育園に行こうと決め、そのまま車でひばりヶ丘保育園に向かいました。余震が続く中、園長の指示で「全員屋外退避」小雪降る園庭の真ん中で園児と保育士たちが毛布などにくるまっておりました。私にできたのは0歳、1歳の園児を優先的に車に移し、体温を確保させるくらいのことでした。それでもまだ電気が来ておりましたので保護者に「全員無事！」のメールを配信し、その日のうちに全員の園児をお迎えに来ていただくことができました。

夜　間　例　会　ス　ナ　ッ　プ



平山博会長のご挨拶。手短にお願いします！



澤田吉夫次年度会長は、お酒を飲ますのが上手ですから気を付けて下さい。



澤田吉夫次年度会長の乾杯によりスタート！



半田久一PGの中締めにてお開きとなりました。



このテーブルは相当お腹が減っているいるようですね！！！



もう少し飲んでください！

次回例会　　平成26年3月5日　　担当　会員選考・分類委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２４回　平山年度　第３３回　会報　２０１４-３-５　司会　鳥居輝一君

お客様

一年交換学生　李宜蓁さん　ニコル



２週間前、高校生RYLA セミナーに参加しました。その時の「模擬国連」というものを、最初全く分かりませんでした。「模擬国連」とは、参加者が各国の大使となり、国連の会議をシミュレートすることにより安全保障、軍縮、開発、人権、平和維持などの国際問題を多角的な視点から学ぼうという学習活動の一環です。

実は約２ケ月前に台湾の友達が、台湾で「模擬国連」の活動に参加しているのをネットで見る機会がありました。それは「Fiji」という国を想定して代表を演じているものでした。その時初めて「模擬国連」のことを知って「なんと国際的な活動だ」と思いました。そして予想外のことがおこりました。私もこの日本で「模擬国連」に参加することになったからです。私は宇都宮女子高の中村さんと一緒にロシアの大使を代表して、国連会議のスピーチを考えました。会議中は、交渉とか質問とか、全部日本語を使いました。分かりづらいですけど、ちゃんと努力しました。そして最後に戦略賞をとりましたけど、私はあまり手伝ってなかったです。しかし模擬国連は本当にいい活動でした。

先日台湾のおかあさんからの小包が届きました。その中に紅茶とタピオカがありました。さて皆さん何故おかあさんは、わざわざ台湾の紅茶を送ってくれたと思いますか？その理由は、台湾のタピオカミルクティーを作ってもらいたいからです。タピオカミルクティーを作るのはとてもめんどくさいのです。多くの台湾人たちはタピオカミルクティーをお店で買います。しかし日本では売っていませんので、私はホストファミリーの皆さんに「本当のタピオカミルクティー」をあげたいのです。台湾と日本の紅茶はどこが違うと思いますか？台湾の紅茶は濃くて色は黒です。失礼ですけど、私は台湾の紅茶の方が好きです。タピオカミル



３月４日から秋間忍ホストファミリーから和気勝利ホストファミリーに移りました。秋間ファミリーのみなさんお世話になりありがとうございました。和気ファミリーの皆さんよろしくお願いします。

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 3月 5日	40(2)	32(1)人	8(1)人	82.1%	*	
前　回 2月26日	40(2)	32(0)人	8(2)人	84.2%	3人	92.1%
前々回 2月19日	40(2)	27(0)人	13(2)人	71.0%	6人	86.8%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

クティーを作るのは1 時間もかかりますし、その甘さの調整も難しいのです。初めての挑戦は成功しました。皆さんおいしいといってくれて嬉しかったです。今度はまた作りたいと思います。

会長挨拶　平山博会長



3月は、識字率向上月間です。すべての人たちに識字能力をと言う事で「基本的教育と識字率向上」は「平和と紛争予防 / 紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「経済と地域社会の発展」とともに、ロータリーの6つの重点分野の一つに指定されています。

世界を驚かせた日本人の識字率の高さについて、お話させていただきます。日本は数百年にわたって世界的に高い識字率を誇っています。江戸時代の幕末期においては、武士はほぼ100%読み書きができたといいます。庶民層でも、男子で約40～50%は読み書きができました。1850年頃の江戸の就学率は70～80%で、長屋に住む子供でさえも手習いへ行かない子供は、男女ともほとんどいなかつたと言われています。

もちろん、寺子屋は義務教育ではありません。寺子屋制度は、庶民自身の主体的な熱意で自然発性した世界的にも稀有なものでした。同時代のイギリスでは、就学率はわずか20～25%でした。下層庶民の場合、ロンドンでも字が読める子供は10% もいませんでした。

1853 年に黒船を率いてアメリカからやってきたペリー監督は、日記に日本について「読み書きが普及していて、見聞を得ることに熱心である」と記しています。ペリーは日本の田舎にまでも本屋がある事や、日本人の本好きと識字率の高さに驚いた、と言う事です。

次に、日本語の存続を守った圧倒的な識字率の高さについてお話させていただきます。1945年大東亜戦争に破れた日本は、母国語を失いかねない危機に見舞われました。戦争中、玉砕するまで戦い抜いた日本人を見たアメリカ人は「日本人は間違った情報を伝えられて、正しい情報を得ていないに違いない。なぜなら、新聞などがあのように難しい漢字を使って書いてある。あれが民衆に読めるはずはない。事実を知らないから、あんな死にもの狂いの戦い方をするのだ。だから、日本に民主主義を行き渡らせるには、情報をきちんと与えなければいけない。そのためには漢字と言う悪魔の文字を使わせておいてはいけない」と考えた。日本語の改革を初めに提起した連合軍総司令官（GHQ）の民間情報教育局（CIE）のキング・ホール少佐は「漢字はエリートと大衆の調整弁であり、漢字のもつ特異性によって情報はコントロールされ、民主主義は広がらない」と考えていました。さらに、大手新聞社なども「漢字を廃止してローマ字に」と唱えました。1946年3月GHQ の最高司令官ダグラス・マッカーサーの要請でアメリカ教育使節団が来日しました。25日ほどで日本を視察し、報告書で「日本語は漢字や仮名を使わず、ローマ字にせよ」と勧告しました。

「ローマ字による表記は識字率を高めるため、民主主義を増進できる」というのが彼らの考えでした。1948年8月CIE は「日本語のローマ字化」を実行するためにあたり、日本人がどれくらい漢字の読み書きができるか調査を行いました。調査地点は270ヶ所の全国の市町村で15歳～64歳の1万7千人が調査対象になりました。調査の結果、日本人は97.9%という高い識字率を誇っている事が判明しました。CIA はこの結果に驚き、日本の教育水準の高さに感嘆し、「日本の識字率の高さが証明された」ことで、ローマ字化推進論者のホール少佐の意見を抑え、日本語のローマ字化の企みはついえました。圧倒的な識字率の高さが母国語の存在を守った、と言う事です。

今日の道歌、言葉の重みを説く道歌

よきことは　大いに広め
　悪しきこと　見ざる聞かざる　言わざるぞよき

他人について良い事、は大いに広めるが、欠点や過ちなどの悪い事があったら、見ない聞かないふりをし、他人に告げ口をしないことだ。

「見ざる、言わざる、聞かざる」は三猿の戒めとして知られる。「ざる」は「猿」に掛けた言葉。中国伝来の信仰（庚申）で、金剛神像の下に三匹の使い猿を描き、この三つの行為を慎み、人生を安泰に暮らすという、教えになりました。

幹事報告　石山桂子幹事

【第 33 回幹事報告】

○ 第2550地区青少年交換委員会より、短期（夏季）交換学生募集のご案内が届いております。髙木慶一・新世代奉仕委員長にお渡し致しました。

○ 手続き要覧が届いております。購入されました会員のレターボクッスに投函致しましたのでご確認ください。

○ 「2014-15年度地区ロータリー財団研究会」開催のご案内が届いております。次年度会長・幹事・財団委員長にお渡し致しました。
○ ガバナー事務所より、ロータリー世界平和フェロー募集要項が届いております。村山茂・財団委員長にお渡し致しました。
○ 日本事務局より、財団室ニュース3月号がとどいております。回覧中です。
○ 次週例会の卓話は社会奉仕委員会が担当となっておりますが、株式会社パン・アキモト　代表取締役　秋元義彦様の外来卓話となります。
○ 本日例会終了後、理事役委員会を開催いたしますので引き続きお願い致します。

委員会報告　和気勝利副会長

○ **齋藤武久君**

サクラ追っかけミステリーツアーのお知らせです。今年のツアーは4月13日(日曜日）に開催します。行き先は分かりません。その日に咲いているところに御案内します。スケジュール表にチェックを入れて置いて下さい。

卓話　会員選考 / 職業分類委員会

○ **礒　勝彦副委員長**



遠藤清和委員長は、本日急用の為、急遽、欠席という事で連絡がありましたので、副委員長が代わりに卓話をいたします。

平山年度、今迄に、荒牧明二さんと稲垣政一さんのお二人の方が入会いたしました。選考にあたりましては、何ら問題の無かった事を報告してくれと、委員長より言われております。職業分類は、荒牧さんが「分類内入会順1の建築」。稲垣さんが「分類内入会順1の不動産賃貸・管理」となっています。以上、委員長に代わりまして報告させていただきます。

先日、IMに於きまして、中谷ガバナーノミニーが記念講演しましたが、その中でWCSの活動の写真の中で黒磯クラブの会員が何人か紹介されました。気が付けば黒磯クラブの対外的活動を知る会員が少なくなってしまいました。小野さんがブラジルのクラブを訪問した時に、その社会活動の熱心さに感銘したそうです。「なんで黒磯ではそういった活動をしないの？」と問われましたので、今回はこれまで私が関わってきた活動を紹介してみようと思います。



フィリピンでの歯科医療活動

以前のパスポートで確認すると1993年の11月7日に私は初めて、地区としては第2回目となるWCS活動に参加し、1999年まで連続して続けました。以後、2000年にはGSEのリーダーを務めさせていただき、スコットランドに1ヶ月間滞在しました。私の滞在先のミケルソンさんは夫人と共に来日して1カ月私の家に滞在し、黒磯クラブの例会にも出席しています。この時の派遣メンバーとは今でも年に1回は必ず全員で集まっています。



イギリスに派遣されたGSEメンバー。礒先生若かったですね

2001年にはインドネシア / バリ島に相馬征志国際奉仕地区委員長をリーダーにした、血液保存パックの寄贈に同行し、2006年にはベトナム訪問。2007年は秋間忍国際委奉仕委員長をリーダーに、2008年は荒井昌一国際委奉仕委員長をリーダーに、ネパール / ポカラロータリークラブの協力のもと、現地の小学校に机と椅子の寄贈を行って来ました。

GSEのメンバー受け入れにつきましては、1991年に地区で受け入れた内の1名（マイク・ジャンセンさん）を担当しました。彼はこの後2度再来して、黒磯クラブの例会に夫人と共に出席していますので、ご記憶の

方もいるかと思います。1998年には5名のメンバーの統括を国際奉仕委員長として担当しました。月江さんのところにはリーダーを滞在せて頂き、荒井さん、滝田先生、刈屋さんと私のところにステイしてもらいました。お世話になりました。これがきっかけで滝田先生の娘さんがアメリカ留学することになったようです。

2004年は齋藤先生が委員長で、福島さん、澤田さん、相馬さん、と私でホームステイを引受けています。

夏季交換学生については、今迄多分ほとんど私が担当していると思います。1991年は、大田原クラブと合同で5名の学生を受け入れました。この時は私のところにポール君、2名の男子学生を佐藤さんのところにお願いして引受けてもらいました。そして2010年の5名も記憶に新しいところですが、これも私の担当でした。1年交換学生につきましては、全員が女性の為私のところでは引受けてはいません。この10年間に入会された会員の方々にすると、黒磯クラブの対外的活動が今一つと思われていると思いますが、土壌には十分な足跡がありますので、どうか一つこれからも活動を活発化させて頂ければと思っています。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

室井　次男君　先月は欠席ばかりして、今月も例会日に沢山用事が出来てしまいました。
礒　　勝彦君　突然の卓話担当です。
津久井誠二君　3月は欠席の無いよう頑張ります。
荒井　昌一君　明日3月6日は43回目の結婚記念日になります。

結婚祝



荒井昌一君　澤田吉夫君

● 3月5日欠席(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・小野安正・時庭稔・檜山達郎
深町彰・村山茂・須藤舜生

● 2月26日欠席（敬称略）
遠藤清和・黒澤洋一・高木茂・橋本佳明・藤村聡
村山茂・須藤舜生・室井次男

○ 前回2月26日分メークアップ(敬称略)
黒澤洋一・高木茂・村山茂

○ 前々回2月19日分メークアップ（敬称略）
小野安正・澤田吉夫・瀬尾紀夫・高木茂
津久井誠二・時庭稔

次回例会　　平成26年3月12日　　担当社会奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２５回　平山年度　第３４回　会報　２０１４-３-１２　司会　鳥居輝一君

お客様

○　ミツヤ送風機代表取締役社長　　小宮英明　様
（東京西ロータリークラブ）



○　パン・アキモト代表取締役　　秋元義彦　様

○　りんどう湖ロイヤルホテル支配人　豊田哲司　様

会長挨拶　平山博会長

東日本大震災の発生から昨日３月11日で３年が経過いたしました。道路や鉄道などの復興整備は少しずつ進んでいますが、被災地は今もまだ復興の途上にあります。心も、生活も安定して過ごせるようになるにはまだまだ多くの支援と時間が必要です。黒磯RCでも各会員に「3.11その時、私は何をしていたか」と題して、スピーチを行っております。怖い話もありました、家族を思いやる話題が多くありました。正直笑える話も有りましたが、幸いにして会員の皆様には大した被害もなかったとの事では、感謝しなくてはならないと思っております。黒磯RCは震災後、早急に塩釜RCへトラックで援助物資を運んだのは、つい、この間のような気がします。



被災された地域の方々が、平穏な日常を一日もはやく取り戻すことができますよう、お祈りするばかりでなく、何ができるのか行動で示したいと考えております。又、東京電力福島第一発電事故の影響は大変厳しい状況が続いています。１～４号機に続き5,6号機の廃炉も決まりました。30年～40年かかる廃炉工程は、高い放射線量などの困難な作業が予想され今も、福島県の約14 万人が避難生活を送る中、いつ終息するのか見とおしさえついておりません。

所で、福島第一発電所事故以来、常に事故の隠蔽工作が行われては暴露されておりました。他の企業でも常にあることです。食材偽装もその一つです。人間は正直には、生きて行く事は出来ないのでしょうか。

今日の世の中では、正直を貫くことは難しく、また、正直者が損をするように思われている向きさえあります。しかし、ウソや偽りは、いつか露呈するのが世の習い。このくらいならわからないだろうと高をくくっていても、思わぬところから発覚し、ついには取り返しのつかない事態に追い込まれてしまうことも少なくありません。確かに、真実を言うことが相手を傷つける場合もあって、本当のことを伝えるのが常に正しいとは限らない事もあります。だが、いかに人の目をごまかして、うまく得をするかといった事に終始していたのでは、人に知られはしないかという、恐れや後ろ

出席報告　出席委員会　秋葉秀樹君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 3月12日	40(2)	31(1)人	9(1)人	79.5％	*	
前　回 3月 5日	40(2)	32(0)人	8(1)人	82.1％	3人	89.7％

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

めたさに、心の安らぎを得る事は出来ません。やはり、「顧みて疾しいところなし、仰いで天に恥じず」、という心境であってこそ、明るく堂々と力強く生きていけるのでは、ないでしょうか。

この春、間もなく多くの人が学窓を巣立ちます。社会人として、この世の中を生きていく道は、正直をおいて、ほかにありません。正直が一番。ことさらに言うまでもない事ですが、その最も大切なことが疎かにされつつある今，われとわが身の行き方、処し方を振りかって見たいと思います。

今日の道歌　　言葉の重みを説く道歌

語るなと　人に語れば　その人は
また語るなと　語る世の中

「ここだけの話よ」というのは、興味深い話が多い。しかもほとんどが人のうわさ話の類である。人はうわさ話が好きである。特に暴露話、スキャンダルの類は人の興味をひく。人が自分より不幸だと安心し、うれしくなって、また他人に告げ口する。こんなことをやめられないのが「フツー」の人である。こうした渦に毅然と対応できる人が「品性の人」といえよう。

幹事報告　石山桂子幹事

去る３月５日に開催されました理事会の審議事項から申し上げます。

【理事会報告】

○　４月のプログラムの件、承認されました。
○　当クラブバナーの在庫が無くなった為、100 枚発注の承認を頂きました。

【幹事報告】

○　新世代奉仕委員会・社会奉仕委員会と合同で開催されます足尾の植樹は4月26日(土)に行われます。
○　新入会員推薦の件です。推薦者は月江寛智会員です。異議申し立てのある会員は１週間以内に幹事までお申し出ください。
○　ガバナー事務所より、本日18:40から「NHKニュース640」の中で、先日開催されました「高校生RYLAセミナー（2月22日)」の模様が放映される予定とお知らせがありました。是非ご覧ください。内容等は回覧いたします。
○　那須塩原市国際交流協会より、会報が届いております。回覧中です。
○　2014学年度米山カウンセラー・米山奨学生オリエンテーションのご案内が届いております。黒澤洋一・米山記念奨学会委員長にお渡し致しました。
○　一般社団法人ガールスカウト栃木連盟より、賛助会員に際し御礼状が届いております。

委員会報告　和気勝利副会長

本日報告事項無し

卓話　社会奉仕委員会

○　荒井　昌一　委員長



本日は、社会奉仕委員会担当の卓話ですが、今、社会奉仕活動に大活躍中のパン･アキモト社長秋元義彦様に「小さなパン屋の大きなチャレンジ」と題しての卓話を35分ほどお願いすることになりました。皆様方には既にご存じのことと思いますが、パン・アキモトでは平成７年１月17日の阪神淡路大震災の際には、いち早く被災地へ大量のパンを送りましたが、配給の手段が整っていなかったため､被災者の手に届いたのは僅かな量だけで、大半は廃棄処分になってしまいました。秋元社長はこの苦い経験を何とか克服すべく、日持ちのする製品開発にかかり、その結果出来上がったのが缶詰のパン、カンカンブレットです。

カンカンブレットの開発には幾多の難題がありましたが、秋元社長はじめ従業員全員の努力により、賞味期限３年のおいしい製品が出来上がりました。

2011年３月11日の震災から３年が経ちましたが、当時、パン・アキモトでは被災地への義援物資としてカンカンブレットなどを大量に送り込みましたが、この情報はテレビ局各社にも知られ、特にテレビ東京の「ガイアの夜明け」に取り上げられ、2011年４月14日に放映され、話題になったことは皆様もご承知の通りです。今年に入ってまた、テレビ東京「カンブリア宮殿」に出演が決まり、正月明けから約１か月間ほどかけて制作され、２月16日に放送され、今、話題になっているところです。

それでは、秋元社長よろしくお願いいたします。

○　パン・アキモト代表取締役　秋元義彦　様



弊社は創業66年を迎えたパン屋として地元密着企業を目指しています。と同時に弊社が開発した「パンの缶詰」は市場が全国にあり、東京・大阪にも営業所を持っています。パン･アキモトは創業者の理念で「事業を通じて社会にお返し」を実践しています。本業で収益を上げて納税することは勿論のこと、本業の周辺で見返りを求

めない小さな社会奉仕にも気配りを心がけています。

パンの缶詰は備蓄食と云う性質上、賞味期限が到来すると廃棄される運命にあります。私達パン職人は食べてもらうために作りますので、その時は悔しい思いも感じます。そんな時、海外の飢餓地域や災害被災地では中古食品でも受け取ってくれるところが有ることを見つけました。日本人の持つ備蓄食で賞味期限の切れる前のものを回収して必要とされる地域へ贈るビジネスモデルを考えだし、「救缶鳥プロジェクト」と名付けました。

その活動はお客様やヤマト運輸、そしてNGO日本飢餓対策機構などの協力体制があってスタート出来ました。既に約30万缶以上のパンの缶詰を海外へ送っています。また3.11東日本大震災から3年が経過しますが、弊社では社員を募って毎月のように被災地応援のドーナッツ提供イベントを繰り返しております。ボランティア活動を通じて社員の仕事に対するモチベーションや生きる力を得てきています。弊社はこれからも「自然体で」「無理しないで」CSR活動を微力ながら続けていく所存です。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

藤村　　聡君　4年間お世話になりました。楽しい思い出ありがとうございます。

退会挨拶

りんどう湖ロイヤルホテル支配人　藤村聡君



みなさん、こんにちは。私はこのたび、4月1日付けを持ちまして滋賀県　長浜ロイヤルホテルに異動となりました。

平成21年4月1日より4年間、皆さまと過ごした充実した楽しい時間、本当にありがとうございます。

思えば、平成22年3月11日には、棚卸の説明会を開催している時の地震。お客様誘導や館内の点検などをしている間にあっという間に夜となり、新白河駅近くで非常停止をした新幹線の乗客を、那須の各ホテルで受入をした記憶が残っています。また先日の2月15日の記録的な暴風雪の時には、除雪機械が無く、鈴木工業の鈴木社長にお電話をすると、「県や町からの除雪機の養成があり、お手伝いができない。農家をあたってみたらどうか？」というアドバイスに今牧場さんからローダーをお借りする事ができました。相互扶助という言葉の深さ、助け合う事の大切さを身に染みて感じたのも、この地での大切な思い出です。ありがとうございました。

継承会員挨拶

りんどう湖ロイヤルホテル支配人　豊田　哲司氏



4月1日付で藤村の後任として、りんどう湖ロイヤルホテルの支配人になります豊田哲司と申します。

私は静岡県の浜名湖ロイヤルホテルの副支配人をしておりました。その為ロータリークラブに所属する事がはじめてです。不慣れな為、皆様のご指導をいただきながら、少しでも早く慣れていきたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

● 本日3月12日欠席(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・吉光寺政雄・黒澤洋一・相馬征志・橋本佳明・福田逸男・深町彰・須藤舜生

○ 前回3月5日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・時庭稔・村山茂

次回例会　　平成26年3月19日　　担当　鳥居地区委員(外来卓話)

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２６回　平山年度　第３５回　会報　２０１４-３-１９　司会　植竹一裕君

お客様

○　地区インターアクト委員会委員長　熊本勇治様
（宇都宮ロータリークラブ）

会長挨拶　平山博会長



３月９日、大田原市長選挙がありました。現職津久井富雄氏が大差で再選を果たしました。

そして、３月18日昨日那須町町長選があり、無投票で高久勝氏は２期目を迎える事になりました。私は義理の兄弟と言う事で、何かと那須町はもちろん、那須塩原市からもご支援を頂き感謝申し上げます。平山年度中に、時間があれば卓話をお願いするため、現在交渉中で有ります。今後とも那須町町長を宜しくお願い致します。ところで、那須塩原商工会では栃木県の条例にて、県産酒や、県産の原材料で生産された、酒の普及拡大などを目指す「栃木の地元の酒で乾杯を推進する」条例が、昨年12月18日制定され、本年１月１日に施行されました。

そんなことで那須塩原市商工会では、とちぎの地酒に親しみ、美味しさを知ってもらい、併せて地元の酒の消費拡大につながる事にも期待し、地元の酒販組合・隣接大田原の酒造組合の協力をいただき、今回割烹石山にて、「地元の酒で乾杯!」in「那須塩原」、利き酒会を実施いたします。

大田原有名蔵元５社と、日本酒だけでなくワインなどの地元産酒のお酒も対象といたしました。各蔵元の新酒が出そろった３月に鑑評会を行います。お酒好きの皆様にご案内致します。

地元の酒店・蔵元の売り上げアップ、消費拡大の為の職業奉仕の事業と思っていただき、どうかこの場での説明（PR）お許しいただきたいと思っております。

さて、年度始め総会シーズンの四月・五月となり普段よりもお酒を飲む機会が増える時期となりました。

江戸時代中期に、武士の心得として、佐賀藩主の山本常朝が書き残した『葉隠』には、酒席での心得を示した一文があります。

「酒という物は､打ち上がり綺麗にしてこそ酒にてあれ。気が付かねばいやしく見ゆるなり」

ここでは、だらだらといつまでも飲むのではなく、綺麗に切り上げる事の大切さを述べています。楽しい時間は過ぎるのは早いもの。しかし、時間にはケジメをつける事が社会人としての酒席のマナーでしょう。また、お酒の飲み方で、その人柄がわかるとも記されています。お酒は陽気な気分にさせる一方で、冷静な判断を鈍らせることもあります。酒は飲んでも、酒に飲まれないこと。『葉隠』には「公界物なり」として、酒席も公の場であることを示す文章もあります。マナーをわきまえおいしく楽しく酒を味わい、新年度に向けて頑張りましょう。

今日の道歌　世の中と人生の関係を説く道歌

ぶらぶらと　暮らすようでも　ひょうたんは

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 3月19日	40(2)	34(0)人	6(2)人	89.5%	*	
前　回3月12日	40(2)	31(1)人	8(1)人	79.5%	4人	89.7%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

胸のあたりに　締めくくりあり

「訳」つる枝からぶらぶら下がって実るひょうたんは、ぶらぶら揺れて気ままに見える。でも、その身は胸がくびれて締りがある、人もどこか締りがないといけない。ただブラブラしていたのでは暮らせない。へちまは、ただブラリとして暮らすが、ひょうたんには締めくくりがある。ふだんはダラリと過ごしているようでも、どこかでシャキィとけじめをもつ。この緩急が大事なのである。

幹事報告　石山桂子幹事

【第 35 回幹事報告】

○　地区インターアクト委員会より、台湾研修旅行についての書類及び足尾植樹活動のご案内が届いております。併せて髙木慶一・新世代奉仕委員長にお渡し致しました。

○　NPO法人足尾に緑を育てる会より、「第19回春の植樹デー開催」のお知らせが届いております。回覧中です。

○　ロータリー米山記念奨学会より、カウンセラー委嘱状及び奨学生の世話依頼について関係書類が届いております。平山博会長・黒澤洋一米山記念奨学会委員長にお渡し致しました。

○　ガバナー事務所より、2014 - 15 年度「地区研修・協議会」開催のご案内が届いております。次年度会長・幹事にお渡し致しました。

○　ロータリーの友事務所より、次年度「ロータリーの友」の申込書が届いております。次年度幹事にお渡し致しました。

○　ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま 168 号」大田原ロータリークラブ・西那須野ロータリークラブより会報が届いております。併せて回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　新世代奉仕委員会　髙木慶一委員長

毎年社会奉仕委員会と新世代奉仕委員会の合同事業となっています、足尾銅山の植樹活動を今年も実施いたします。帰って来てから「どう頓堀」でインターアクトとの親睦会を開催します。

日　時　　平成 26 年 4 月 26 日（土）
出　発　 7：30　道とん堀
帰　着　15：00
親睦会　15：00　道とん堀
参加者　黒磯クラブロータリアン、黒磯高校インターアクトクラブ・インターアクター、一年交換学生ニコル

本日出欠の回覧を回してますので記入お願いします。

○　会報委員会　齋藤武久委員長

会報委員会からお詫びです。月曜日に送ったはずの会報がどこかに消えてしまったようです。まだ配信できないと連絡が入りました。申し訳ありませんでした。

帰宅したら手配致します。

卓話　地区情報

○　鳥居輝一地区インターアクト委員



本日の卓話は地区情報で私の担当になっております。そこで、会員の皆様に少しでも新世代奉仕部門のインターアクト委員会の活動などを知って頂くために、これから地区インターアクト委員会の委員長熊本勇治様にお願いをしてございます。ここで経歴をお話しいたします。熊本勇治様は1971（昭和 46 年）12 月 22 日生まれで熊本株式会社代表取締役社長の職についております。ロータリー歴は平成17年1月に宇都宮ロータリークラブに入会し副幹事、インターアクト委員会委員長、新世代奉仕委員会委員長を歴任後平成25年7月国際ロータリー第2550地区インターアクト委員会委員長に就任致しました。では、熊本委員長お願いいたします。

○　熊本勇治地区インターアクト委員長

インターアクトを作ろう

インターアクトとは



インターアクトクラブとはInternational Action（国際的活動）を意味し、年齢12 歳から 18 歳までの青少年または高校生のために、ロータリークラブが提唱する奉仕クラブで、楽しく意義のある奉仕プロジェクトに参加をする機会を青少年に与えるものです。現在、世界で 162 以上の国と地域に18,000以上のクラブがあり、当地区では14クラブ 425 名程のインターアクターが積極的に活動を

しております。

インターアクトクラブとは

インターアクト・クラブは、独自の定款細則を持ち、高校を基盤に結成される場合は、学校の課外活動規則に従い、学校当局の協力の基に提唱ロータリー・クラブが指揮監督をすることとなっております。各クラブに独自の活発的な活動をサポートし、各個人の個性を伸ばすことが展開されます。また、ロータリアンの予備として結成されている18歳～30歳までのローターアクトクラブに繋がっていければと思っております。

RID2550 インターアクトクラブ概要

RID2550インターアクトクラブ14校を紹介します。

第１グループ　黒磯高等学校
(提唱)黒磯RC　2004．4.30
第２グループ　矢板高等学校
(提唱)矢板RC　2013．5.19
第３グループA　文星芸大付属高校
(提唱)宇都宮RC　1968．7.19
第３グループA　宇都宮女子高等学校
(提唱)宇都宮RC　2012.10.30
第３グループA　宇都宮短大付属高校
(提唱)宇都宮西RC　1974．6.29
第３グループA　宇都宮文星女子高校
(提唱)宇都宮北RC　2006．6．8
第３グループA　作新学院高等学校
(提唱)宇都宮90RC　2008．5.17
第６グループ　国学院大学栃木高校
(提唱)栃木RC　1994．6．3
第６グループ　栃木工業高等学校
(提唱)栃木西RC　1998．2.24
第８グループ　白鴎大学足利高校
(提唱)足利東RC　1966．１.29
第８グループ　足利短期大学付属高校
(提唱)足利RC　1993.10．１
第８グループ　足利高等学校
(提唱)足利RC　1996．4．1
第８グループ　足利工業大学付属高校
(提唱)足利東RC　2003．7．2
第９グループ　青藍泰斗高等学校
(提唱)葛生RC　2003．2．5

RID2550 各プログラム概要

インターアクトクラブでの活動は、RID2550からのプログラム･各インターアクトクラブでのプログラム･提唱クラブとの合同でのプログラムの３つに分けられます。

RID2550 プログラム

・インターアクト年次大会
・ロータリー地区大会
・海外研修旅行
・足尾植樹事業

各学校独自プログラム

・文化祭・バザーにて出店
・近所の幼稚園との交流
・老人ホーム等訪問
・その他

提唱クラブとの合同

・ロータリー地区大会
・各種慈善事業
・震災復興に関するお手伝い等

RID2550 インターアクト年次大会

毎年8月上旬に行われます、RID2550インターアクト年次大会も今年で17回目を迎えました。各学校とも毎年趣向を凝らした大会プログラムにて盛り上がります。各インターアクトクラブの１年間の活動報告を発表したり、体験学習や記念講演を行ったりします。毎年各学校の工夫を凝らした大会運営に驚くばかりです。来年のホスト校は宇都宮短期大学付属高等学校、提唱クラブは宇都宮西ロータリークラブです。

国際ロータリー第2550地区大会

毎年開かれます、第2550地区大会に参加します。

壇上にあがり､年次大会の報告並びに一年間の報告･各高校の紹介をさせていただきます。

ロータリアンと交流を図ったり、意見の交換を図る良い機会です。

RID2550　海外研修旅行

毎年３月下旬、３泊４日にて台湾の台北・台南に生徒数約40名で海外研修旅行を行っております。初めて海外に行く生徒もいれば､何度も海外を経験している生徒も多く、助け合いながらの研修旅行となっております。

台湾到着後、１日目・２日目は台南にて地元の高等学校に招かれ､学校の見学､体験学習としてパイナップルケーキを作ったり､晩餐会に招かれ､生徒同士の交流を図り､食後に台湾特有の夜市にインターアクター同士で出かけたりと、楽しい３泊４日の研修旅行になります。

３日目は台北市内に戻り､故宮博物院を見学し､台湾料理に舌鼓し、台北101を見学、台北最大の士林夜市（シーリンヨイチ）にて楽しみ、４日目に帰国するプログラムとなっております。

RID2550　足尾植樹プログラム

この活動はNPO法人「足尾に緑を育てる会」が主催する、「春の植樹デー」に協力するもので、インターアクトクラブの参加は今年で8回目を迎えました。

足尾の緑少ない山々に、木々を植えていくことは大変な作業です。一人一人の毎年の努力にて20年後、30年後に緑一杯の山が広がっていることを願いつつ、整備されていない山道をスコップ、苗を持って登ります。

植樹をした後の達成感、感動を皆様にも味わっていただきたいです。

各インターアクトクラブ独自プログラムの１例

文星芸術大学付属高校の活動

10月の学園祭（雄飛祭り）にてインターアクトクラブとしてPTAの方や、ロータリークラブより頂いた商品をもとにバザーを行います。バザーでの売上金は、赤十字基金やあしながおじさん基金に寄付します。

6月近隣の老後施設等に訪問し、施設の所長から認知症のレクチャーを受けたり、触れ合いながら介護の手伝い、施設職員のサポートなどを体験します。なかなか言うことを聞いてくれないお年寄りや話し相手を探す老人など様々な問題を抱えていることを体験しております。

提唱クラブとの合同にて行うプログラムの１例

2011年3月11日　東日本大震災にて被災されました気仙沼に、宇都宮ロータリークラブよりトラックを二台寄贈しました。そのお礼に11月、気仙沼から約2万匹の新鮮なさんまが届きました。宇都宮ロータリークラブの皆さんと共に頂いたさんまを炭火で焼き、市民の皆様に提供をさせていただきました。その時に市民の皆様より義援金をいただき、その義援金を気仙沼に届けました。気仙沼の皆様とはこれからも交流は続きます。気仙沼の学生とも交流を図りたいです。今年も気仙沼からさんまが届き、市民の皆様にご提供出来ることを楽しみにしております。

インターアクトクラブ運営

インターアクトクラブは生徒が主役です。時には間違いがあったり、失敗をしたりと色々な場面が想定されます。提唱クラブのロータリアンは常に相談の出来る状況にしておいてください。クラブの方針で例会の時間等が決まると思われます。例会に極力参加をして頂き、ご指導をよろしくお願いします。

ここでお願いですが、あくまで指導です。これをやりなさいとか強要はしてはいけません。インターアクターの自主的な行動を見守ってあげましょう。

新世代奉仕委員会のつながり

インターアクト委員会は新世代奉仕委員会のひとつです。

新世代奉仕委員会には、青少年交換プログラム委員会、LAYRA委員会、ローターアクト委員会があります。

青少年交換プログラムには短期交換、一年交換があり、インターアクターが積極的に海外体験ができる体制となっております。

また、青少年のスキルアップの為にRYLA(ライラ）委員会があり、発言力を養ったり、リーダーシップの育成も行っております。今年度から高校生RYLA（ライラ）も復活し、高校生のリーダーシップ育成も始まります。

ローターアクトでは、インターアクトで行ったプログラム等を生かして、大学生・社会人が独自のプログラムを作成し、自らのスキルアップのために活動してます。ローターアクトはロータリアンになる為の育成所です。インターアクト卒業生は是非、ローターアクトに入会されることを切に願います。

最後に

インターアクターとの付き合いは、子・孫の子供たちとお付き合いをする感覚です。なかなか体力のいる事業です。しかし彼ら彼女らは、大人になる為のステップを踏む段階で悩んだり、大きく見せたりと自己主張を見せる重要な時期です。

気楽に楽しく指導をしてロータリーライフの一環を作りましょう！ご清聴ありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

熊本　勇治様　日頃より黒磯ロータリーの皆様にはインターアクトの活動にご支援を頂き有り難う御座います。これからもよろしくお願いします。

鳥居　輝一君　熊本地区インターアクト委員長を歓迎して。

植竹　一裕君　黒磯に暮らして初めて花粉症になりました。

髙木　　茂君　いよいよ春本番になります。

月江　寛智君　未達成の通知が来ましたので。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

荒牧明二君（1952年11月10日 生）

この日は、金曜日でした。現場回りをして、事務所に戻る最中、ラジオで国会の予算委員会中継を聞いておりました。もうすぐ事務所という所で、ラジオから緊急放送が鳴り響きました。すると車を走らせること



が出来ない位、今まで経験した事のない、大きな揺れでした、安全のため車を左側に駐車して、車から降りた瞬間、会社の近くにある農家の屋根瓦が、滝のように屋根から落ちるのを目撃しました。初めて見る光景でした。これは大きな地震だと直感しました。

暫くして揺れが収まり、事務所に戻りますと、事務所にいたスタッフも、庭に避難していました。

その後も、二つの大きな余震が起き私もすかさず、庭に逃げました。すごい揺れと恐ろしい経験をしました。

地震が、おちついてからは、事務所の片付け、整理を行い、私を含め早めに帰宅しました。私の会社近辺は、当日電気がついておりましたが、私の住んでいる地域は、電気がつかず、寒い夜を過ごしました。時間が有りましたので、市内の状況を見に出かけましたが、電気の付いている所と付いていない所がありました。

コンビニなどでは、暗い中懐中電気をつけて営業している店もありました。バイパスの信号は、全てが付いておらず、車の渋滞もひどく、警察官が誘導しておりました。程なくして自宅へ戻りましたが、帰り道町中は真っ暗闇でした。家に入りたくても余震と停電でしたので、やむなく車の中で夜中の2時頃まで車載テレビを見て過ごしました。朝がた近くに電気がつきホットしました。

人は電気なしでは、生きて行けない、弱い生き者なんだと痛切に感じました。最近では、電気がないと、風呂にも入れず、ご飯も炊けず、トイレも使用出来ない(ウォシュレット付トイレのみ)、ましてテレビ、コタツ、エアコン、ATMも使用出来ません。・・・

翌日、テレビを見てあの光景に愕然としました、皆様も同様と思います。実は、地震の8日前私達は、南三陸町にいたのであります。もしもあの地震がそのときにおきていたらと、思い出しますと、身の毛がよだつ思いがしました。

テレビ等で、南三陸町の話が出ますと、思いだします。その当時のメンバーで、ボランティアにも行ってまいりました。被災者の姿を見て世界が絶賛しておりました、日本人のマナーの良さ、辛抱強さを、日本人に生まれて本当によかったと実感しました。

話は変わりますが、日本人は素晴らしい国民です。自分が被災していても、人を助ける素晴らしさ、美しい心を持っています。

2月の大雪のとき、国道18号草津温泉付近や、国道4号郡山市付近で、雪で閉じ込められた車のドライバーに炊き出しをして助けたと言うニュース、郡山の人達は、飯舘村から被災して仮設住宅に住んでいた人達が、おにぎりの炊き出をしていました。助けられた人の中に、薬が切れて意識が朦朧になった人がいたそうですが、死の寸前に助けられたそうです。自分が被災者なのに人の為に行動が起こせるなんて頭が下がります。

米山奨学生カウンセラー委嘱状伝達



米山奨学会委員会黒澤洋一委員長

● 3月19日欠席(敬称略)
遠藤清和・福田逸男・深町彰・藤村聡・須藤舜生
室井次男

○ 前回3月12日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・黒澤洋一・相馬征志・福田逸男

次回例会　平成26年3月26日　担当　会報委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２７回　平山年度　第３６回　会報　２０１４-３-２６　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長



今日は歌人、鴨長明についてですが、皆様ご存じのとおり、あの、「行く川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮ぶ、うたかたはかつ消えかつ結びて、久しくとどまることなし。世の中にある、人とすみかとまたかくの如し。」の文章があります。動乱の時代の1212年（建歴２年）に書いたとされる「方丈記」の古文の内容を、現代用語に訳（意訳）して、お話しを致します。川の流れは絶えることがなく、しかも一度流れた川の水というのは、決して元の同じ水ではない。流れていない川のよどみに浮かんでいる水の泡（うたかた）も、瞬間で泡が消えたり、瞬間に泡が出来たりするが、長く同じ場所に泡が留まっている例などはない。世の中にある人間と住まいというものも、川の流れや泡の動きとまた同じようなもの、これは時の流れは早く、絶えず移り変わっていく、無常なものであると言うことです。将来の予測は立場や見方によってさまざまでありますが、その中でいくつか明確になっている指標（見通し）もあります。例えば、円安下で貿易収支は一昨年夏以来、赤字の更新を続けている。かつての貿易立国・日本はもはや夢か幻になりつつあります。

人口の推移も激変している。内閣府によれば2060年には8600万人になると推計され、2100年には6千万人前後に減少すると予想される。これはとりもなおさず国内市場が半減することを意味する。「景気はどうなる？」と誰もが，関心を持っているが、日本企業に限れば、国内市場のみに依存している企業は明らかに衰退一途の心配があります。その中で競争に勝ち抜き延命を図るか、新たに市場を創造するか、海外に打って出るしかないと思う。というのは有力企業の海外売上比率を見ると、その多くが日本市場をあきらめ海外市場に活路を求めている事がわかる。

各業界別にベスト10を見ると、多くは海外売上比率5割、中にはすでに9割を超えている企業も少なくない。これらの企業にとって国内景気はほとんど意味をなさない。そういう流れの中で情報は世界中から集めないと、企業経営が出来ない。このため必死で国際情報を集めている。英語はもとより外国語が必須であります。情報だけではない。人材も世界中から集めています。3月は入社シーズンだと日本のメディアは、決まり切った形式に報じ、大学や専門学校、高校は就職率で一喜一憂しているが、それも意味がなくなりつつあるように見える。日本川川の流れは速く、もはや同じところに留まることができないと言う認識が非常に大切であります。今の話は大企業に当てはめた話ですが、商工業も農業・金融・医療・政治までもが、同じ事が言える、時代が大きく変わろうとしている、そんな気がします。

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 3月26日	40(2)	32(1)人	8(1)人	82.1%	*	
前　回 3月19日	40(2)	34(0)人	6(2)人	89.5%	1人	92.1%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

今日の道歌

世の中を　やすやす渡れ　古びとの
聖のふみを　道のしおりに

「訳」 人生をうまく過ごしていくには、古の聖（物事をよく知る人）が残した、ふみ（書物）を道しるべにすることだ。本には、その道の達人の知識が詰まっている。そこから、自分が経験できないことや、生きるノウハウを自分の知識にすることができる。又、いかなる時代にもタイムスリップでき、世界中のことをも空想できる。こんなに身近に本があふれているのに、本を読まないのはもったいない。いい本、自分に合う本を選んで読もう。

幹事報告　石山桂子幹事

【第 36 回幹事報告】

○　宇都宮ロータリークラブより「第18回インターアクト年次大会」開催のお知らせが届いております。瀬尾紀夫次年度幹事にお渡し致しました。

○　黒羽ロータリークラブより週報が届いております。回覧中です。

○　会員推薦の件ですが、大島三千三様の異議申し立ては有りませんでしたので、推薦者の会員は入会を勧めて下さい。

委員会報告　和気勝利副会長

○　情報委員会福田逸男委員長

暑さ寒さも彼岸までと申しますが如何ですか。日頃はロータリー活動にご理解いただき感謝申し上げます。早速ですが、新入会員様への炉辺会を予定しましたので、ご出席のほどよろしくお願いします。

日　時：4月5日(土)午後7時より
場　所：石山
会　費：3,000円

クラブ現況報告書、手続要覧をご持参下さい。

○　齋藤武久君

桜追っかけミステリー旅行のご案内。第9回桜追っかけミステリー旅行の出欠表を回します。参加の方は“○”を、不参加の方は“×”を名簿の所にご記入下さい。4月13日(日)に行いますがまだ行き先は決まっておりません。第一目標が早く咲きすぎて変更になりそうです。

○　半田久一クラブ定款細則委員会委員長

本日夜6時30分より、当石山にて開催致しますのでよろしくお願いします。現況報告書と手続要覧をご持参下さい。

卓話　会報委員会

○　齋藤武久委員長



会報委員会は副委員長に田中徹さん、委員に村山茂さんと髙木慶一さん、それと委員長の私で構成されています。会報編集のルーティンは、原稿を木曜日昼までに送っていただいたのを、レイアウトソフトのページメーカーでレイアウトを行います。私を除いた3人で大まかなレイアウトを行い、委員全体にメールで「叩き台」として配信します。これを委員と協力メンバーの隠れ委員が見て修正を加えて行きます。最後に私がレイアウトを完成させてpdf化します。これをゲラ刷りとして委員と隠れ委員にメールで配布し校正をしてもらいます。原稿が木曜日昼までに入れば、金曜夕刻にはここまで出来て、土曜配信が可能です。ですが、そうは行かないのが編集と人生でありまして、時々原稿を忘れて旅に出て仕舞う人が現れます。委員長は催促の電話を掛けまくると言う事になります。水曜日朝に配信と言うときはそのパターンとお考え下さい。どうぞ原稿の提出は期日を守っていただきますようお願いします。

いよいよ桜のシーズンです。13日には桜追っかけミステリー旅行が催行されます。桜の開花情報がこちらの目論見とずれてきているようで気が気でありません。残りの時間を桜のお話をしようと思います。

桜を訪ねて

三春の滝桜

30年ほど前、患者さんから三春の滝桜を見に行って凄く感動したという話しを聞いた。早速、天皇誕生日(昭和の日)の休みを利用して家族でドライブに出かけた。当時は今のように各地の名桜を訪ねて歩くという習慣がなかったから、案内板も殆ど無く道はがらがらであった。



桜は小高い

丘の中腹にあり、丘の上には掘っ立て小屋作りの茶店があった。茶店の脇に車が3台ほど止まれるスペースがあって、そこから丘を降りて桜を観賞するようになっていた。きわめてのんびりとした時代で、ゆっくりと鑑賞が出来た。それに引き替え昨今の混雑振りにビックリしている。

幹周り9.5m。まだまだ勢いがある。長く伸びた枝から滝のようにしだれる優美な姿は、トキのような優美な鳥の舞い降りる姿に似ている。幾度見ても見飽きることはない。

昭和61年新潮社から「これだけは見ておきたい桜」という小冊子が刊行された。昨今の桜特集号のムックに比べたら貧弱な本なのだが、私にとっては願ってもないバイブルとなった。また、その記事を見てショックを受けた。桜の名所が道路拡張や排気ガスのせいで年々減ってきている。「まして名木と言われるような桜には、樹齢数百年、中には千年を超える物もある。今まで数百年生きてきたから、これからもそのまま生き続けていくかといえば、そんなことは決してなく、あと10年くらいしかもたないと言われるものもある。」というのだ。実際に、会津にある「米沢の千歳桜」などはその頃に訪ねたときは、堂々とした桜だったが、2011年に見たときは主幹が欠け落ちて、何ともかわいそうな姿に変わり果てていた。

山高神代桜

その中でも山梨の山高神代桜と岐阜根尾谷の薄墨桜は私の関心を最も引いたものだった。平成の初め頃、娘が八王子に住んでいたので、そこを基地に1泊2日の旅程で行った。当時は、木が朽ちるのを防ごうとして、不細工なとたんの覆いが木の中心に鎮座していた。





遠くから見えるので、何とセンスがないのだろうと、半分は見に来たことを後悔しながら木に近づいた。主幹は既に朽ち果て、世間の桜の主幹よりも太い一の枝が地を這うようにうねり、満開の花を付けていた。株元を見ると、幹周り11.8mという想像を絶する太さに圧倒された。屋根の下にはぽっかりと大きな洞(うろ)が開いていた。おそらく巨大な主幹が天高く聳え立っていたのだろう在りし日の勇姿を想像し、現実との差を見ると悲しみがわいてきた。一部は朽ちても瘤状に盛り上がった身を皮が覆い、病害と闘いながら生きているけなげな姿に感激の涙が浮かんだ。

根尾谷の薄墨桜



岐阜県は日帰りする距離にはない。そこでまず数年間こちらの都合と開花予想を見比べてチャンスを待っていたところ、平成14年の4月4日(木)が最高の条件となった。水曜日の午後新幹線で岐阜に行き、翌朝樽見鉄道の1番列車で行くという手配を旅行社に頼んだ。所が4月3日の水曜日に炉辺会議があるので出席の依頼が来た。仕方がないので旅行社に断りの電話をし、鬱々と2日ほど過ごした。3日になり、そうだ11時台の夜行列車があったはずと調べて見たところ、那須塩原を8時台に出て間に合うことが分かった。炉辺会議を済ませ、喜び勇んで列車に乗り込んだ。岐阜には5時前頃着いたと思う。1時間ほどして樽見行きの1番列車に乗車した。

この桜は蕾の時は薄いピンク、開花するに従って白みを帯び、散り際になって薄墨色に変化するところから、薄墨桜と言われている。

昭和23年文部省の調査により3年以内に枯れ死するという診断を受けたのを、岐阜市の前田利行医師により山桜の根を接ぎ木して復活させた事でも有名である。

桜は理想的な開花状況であった。整理係のおじさんによると、桜の開花は山側と谷側では数日のづれが有ると言う事だった。所がその年は一斉に咲いたので格別見事だと言うことだった。いったん枯れ死を宣言されたとは思えない勢いがあり、まだまだ楽しめる状態です。

この桜を訪ねるときは、岐阜駅前に宿を取り、樽見鉄道の1番列車に乗ることをおすすめします。それに乗り遅れると観光客で鈴なりの列車に立って行く羽目になりそうです。駐車場は少なく列車が一番のおすすめ。終点から15分くらいぶらぶら歩いて行けます。

岡山の醍醐桜

現在の所、最も迫力のある樹は岡山県の醍醐桜だと



思います。小高い丘の上に堂々と立っている姿は圧倒的な迫力があります。霧がわくときには、谷から湧き上がる霧の上に悠然と立つ桜が幻想的だろうと想像します。私の写真にも左下に霧が出ているのが写っています。滝桜・神代桜・薄墨桜の三大桜を制覇したら、次はこれでしょう。樹齢は700年(千年とも※)で幹周りは7m強。前記の三大桜に比べると若いので樹に勢いがあります。後醍醐天皇が隠岐の島に配流になった際に、この樹の場所を通り賞賛されたという伝説が残っています。

行き方は岡山に宿を取り、タクシーを前夜に予約し、当日はできるだけ早く出発する。食事は高速自動車道SAでおむすびを買い車の中ですます。朝日が昇る頃には現地に着きたい。岡山から落合ICまで1時間強それから現地まで30分強でゆける。これが遅くなるとシーズン中の那須街道状態になる。自分で運転するのは無理。

長井市伊佐沢の久保桜



昭和61年に「これだけは見ておきたい桜」を購入してまもなく、この桜を見に行った。滝桜は優美な曲線が見事だが、この桜はのびのびと天をつくような太い幹に魅せられた。写真は第2回桜追っかけの時の記念撮影です。この時家内と話したのだが、なんか昔に比べ元気がないねと一致した見解だった。なんか行くたびに元気がなくなる。写真を見ると両脇の幹は堂々としているのだが、中心となる主幹が見当たらない。ネットで記録を見たら、幕末の頃、乞食が桜の根元のほこらで炊事をしたところ、朽ちた部分に火が燃え移り、大枝2本と他の枝が枯れ落ちてしまったとの事であった。

2006年から復活作業に取りかかっているという。ピートモスと木炭を混ぜた物を施し、地面より離れた所から不定根を地面まで誘導して復活させようとのプロジェクトだそうだ。その甲斐あってか、3cmくらいの根が地面に降りているそうだ。

回数	年　　度	桜の名木・名所
第1回	03-04　齋藤	会津から米沢へ
	04-05　福島	無し
第2回	05-06　金澤	伊佐沢の久保桜・烏帽子山公園
第3回	06-07　鈴木	隅田川・三渓園
第4回	07-08　鳥居	神代桜・わに塚の桜
第5回	08-09　田中	秩父青雲寺の桜
第6回	09-10　時庭	船岡城趾公園・一目千本桜 合戦場の紅しだれ桜
	10-11　髙木	大震災で中止
第7回	11-12　檜山	長野県高山村5大桜
第8回	12-13　秋間	北上展勝地・平泉
第9回	13-14　平山	ミステリー

ここで「桜追っかけミステリー旅行」について

今年で9回目となる桜追っかけですが、その発端はデジタルフォトコンテストと関係があります。私の年度(2003-2004年度)の時ですが、インターネット愛好会の炉辺会議の席上、次年度のデジタルフォトコンテストのお題が「桜」と決まりました。1月か2月の時点でした。その時の広報/HP委員長の秋間さんが撮影旅行を提案したので計画することになりました。。

所が、四月初めは秋間さんの日程が合わず、4月29日に予定していた所、その年の桜の開花がものすごく早く、バスで行く範囲には咲いていないという事態になってしまいました。ネットで散々探し回り、白布高湯にまだ咲いているという情報で会津から白布高湯までの小旅行をしました。桜は少し残って居たという結果でした。桜は思うような収穫はなかったのですが、その時の楽しさが忘れられず、もう一度やりませんかと言う機運が盛り上がって来ました。桜についは詳しい私に世話人の役が回ってきました。鳥居さんと2人で計画し、金澤年度に第2回を開催しました。伊佐沢の久保桜・烏帽子山公園に行きました。これは素晴らしい桜で、一同満足したことは言うまでもありません。

その後3.11の年を除き毎年開催され今年は第9回目となります。行き先は腹づもりだけはあるのですが、桜が遅いという予想を立てて計画したところが、4月第1週に咲いてしまいそうで気が気ではありません。そこが駄目ならどうしましょ。お楽しみにしていて下さい。残りの時間を早足で代表的な桜のスライドをお見せします。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

黒澤　洋一君　目標達成のため。

村山　　茂君　バラの芽が動いてきました。早く咲いてね。

相馬　征志君　最近良いことがありません。良いことないかなー

秋間　　忍君　お陰様で幸せです。
佐藤　　博君　秋間さん優勝おめでとう。“絆”ごちそうさまでした。ますます“絆”が深まりますように。

誕生月３分間スピーチ
「3・11 その時私は何をしていたか」

瀬尾紀夫君（1949 年 8 月 16 日生）



3.11、その時私は自分の会社の事務所におりました。大きな揺れで、その年の１月に生まれた男孫を抱えるようにして、弱まるのを待ちました。揺れが収まった頃、事務所の電話が鳴りっ放しとなりました。

事務所に戻った社員は電話の対応に夕方までかかりました。その電話の内容はガスのコンロの火が着かない等でした。地震でマイコンメーターが作動したのが原因でした。電気で言えばブレーカーが落ちた状態です。マイコンメーターの復旧方法を電話で説明し、大方は対応できましたが、どうしても来てほしいというお客様へはお伺いしました。社員は夜中まで頑張ってくれました。また、私のお店ではJR関係の仕事もしております。地震直後、JR から私の携帯への電話は鳴りっ放し、那須塩原駅の高架水槽・新白河駅の受水槽の漏水等々の対応で、その日は徹夜で翌日まで修繕作業をしておりました。那須塩原駅の高架水槽の鉄のハシゴを登る際、上からの水漏れで鉄のハシゴにかかった水が凍り、必死で安全ベルトを着けて作業しました。あの日の夜はとても寒かったんだなと思い出します。

また、私は(社)栃木県LPガス協会の北那須支部の支部長として、栃木県からの依頼で当地区のLPガスの安定供給安全対策の責任者として任を受けました。内にも外にも大変忙しく、パジャマを着ない生活が２週間ほど続きました。そんなこんなの当時の事を３年たった今でも鮮明に思い出します。

３月は卒業の時期でもあります。ここ地元の黒磯小学校の卒業生はこの春 51 名。累計 12,173 名だそうです。その数よりもはるかに多くの方が東日本大震災で亡くなられております。私の先祖も福島県であることから、毎年ちょっとですけれど支援させていただいており、今後も続けて行きたいと思っております。

今年の３月 11 日の早朝のNHKで、陸前高田高校をこの春卒業する生徒の１人が、仮の校舎での３年間を振り返り、『校舎は仮であったが青春は仮ではない』18歳のこの青年の言葉に私は何か教わるものがありました。

平山年度第３回ゴルフ愛好会コンペ

３月 23 日(日)　鷹彦スリーカントリークラブ
参加者９名
結果　優勝秋間忍選手　グロス 112、ハンデ 36
ネット 76。尚ドラコン2発のおまけ付きでした。



● ３月 26 日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・遠藤清和・時庭稔・橋本佳明・檜山達郎
深町彰・藤村聡・須藤舜一

○ 前回３月 19 日分メークアップ(敬称略)
福田逸男

次回例会　　平成２６年４月２日　　担当雑誌委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２８回　平山年度　第３７回　会報　２０１４-４-２　司会　瀬尾紀夫君

新入会員

○　豊田哲司君

りんどう湖ロイヤルホテル　支配人



平山会長より四つのテストと会員バッジを贈呈

会長挨拶　平山博会長



皆様こんにちは。

４月、春の訪れを実感する季節となりました、そして、新年度が始まりました。１ 日は新入社員の入社式もあり、県や市でも、辞令交付式が行われております。私ども商工会でも厳粛内に、辞令交付式が取り行われました。この時期は、新たな職場への期待と不安が入り交り、誰もが複雑な気持ちになり緊張の連続ではないかと思います。

黒磯ロータリークラブでも、会長のエレクト研修も3月9日に行われ、いよいよ澤田年度も、期待と不安が入り交じりながらも、動き出したようです。出来る限り応援をして参りたいと思っております。平山年度も気を緩めることなく残り３か月余り、精一杯頑張りたいと思います。

4月のRI月間行事は、ロータリー雑誌月間です。ロータリー副会長から、エレクト・そして会長になって初めてガバナー月信、ロータリーの友を読み、目を通すようになりました。『友』は世界各国を結ぶ、ロータリー雑誌の仲間たちと言うことで、その発行地域のロータリークラブの活動を紹介すると共に、各国の『The Rotarian』 から指定される記事を、その地域で使われる言葉に翻訳して掲載しております。

『ロータリーの友』が果たす役割とか、やがて『血となり肉となる』友・『友』を読めば、読むほどに楽しくなります。『ロータリーの友』は、まさに教場であり、広場でもあります。その他、抜萃のつづり、も心に残るものがあり感銘する深い文章が数多く有りました。卓話としても、取り入れる事が出来ました。

（新聞もちょうろくに読まないのに、たいしたものだと、鬼嫁が笑う）。

さて、消費税が昨日1日より8%に引き上げられまし

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日　4月 2日	40(2)	34(1)人	6(1)人	87.2％	*	
前　回　3月26日	40(2)	32(1)人	8(1)人	82.1％	2人	87.2％

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

た。消費増税は、1997年4月に税率が3%から5%に上がって以来、17年ぶりです。増税に合わせて、多くの商品の価格や公共料金などが値上がりしました。消費税を増税するのは、高齢化が進み、年金を受けとったり介護を受けたりする人がふえ、社会保障にかかる費用が毎年一兆円規模で膨らんでいるためで、消費増税分をすべて社会保障の財源とする。私は心が進まないが賛成です。又、増税前の駆け込み需要がテレビや、新聞で報道されていましたが、都会では定期券の購入で長蛇の列、ガソリン関係も東日本大震災の時以来の駆け込み需要で終日混雑致しました。消費増税の反動で景気が落ち込むことが懸念されております。景気が減速しないよう祈りたいものです。

今日の道歌　〈逆境での心構えを説く道歌〉

踏まれても　根強く忍べ　道芝の
やがて花咲く　春に逢うべし

人に踏みつけられても、辛抱強くただ耐えなさい。道端の芝草だって、踏まれても我慢強くしていれば、いずれ美しい花が咲き春が来るのだから。困難は必ずつきまとう。困難がなければ、全ての希望は手に入らない。夜がなければ、朝は来ない。冬がなければ、春は来ない。

幹事報告　石山桂子幹事

○ 大田原ロータリークラブより、4月20日に開催されます地区研修・協議会開催に対する協力依頼が届いております。平山博会長にお渡し致しました。

○ ガバナー事務所より、職業奉仕に関連するアンケートが届いております。髙木茂職業奉仕委員長にお渡し致しました。

○ 宇都宮西・宇都宮北ロータリークラブ合同例会のご案内が届いております。
日　時　4月17日(木)　12：30～14：00
会　場　宇都宮東武ホテルグランデ
内容は三大感染症の世界基金、戦略投資効果局長「國井修氏」の卓話です。
内容等は回覧致しますので、出席の会員は幹事まで御連絡下さい。

○ インターアクト・クラブ海外研修支援の御礼状が届いております。

○ 那須塩原ボランティアセンター情報誌が届いております。レターボックスに投函致しました。

○ 日本事務局より、財団室ニュース4月号
公益社団法人被害者支援センター栃木より、「センターニュース17号」が届いております。併せて回覧中です。

○ 本日例会終了後、理事役委員会を開催いたしますので引き続きお願い致します。

委員会報告　和気勝利副会長

本日委員会報告無し

卓話　雑誌委員会

○　鈴木久雄委員長



平山年度、雑誌委員会委員長の鈴木です。副委員長に半田久一パストガバナーの2名です。

今年もロータリークラブの活動を理解して頂くために、ロータリーの友を黒磯高校、黒磯南高校、　黒磯図書館、いきいきふれあいセンター等に配布しております。また、新入会員の方に少しでも早くロータリーを理解して頂くために、ロータリーの友を前年と今年度1年分をお配りしました。荒牧さん、稲垣さんロータリーの友の感想は、いかがですか。ご説明するまでもありませんが、ロータリーの友は日本におけるロータリーの機関紙・情報誌で、横組み・縦組みで構成され、横組みは、主にRI関係の記事、縦組みは、主にクラブやロータリアンからの投稿で成り立っています。ロータリーの友を読んでいただければ、ロータリーの活動内容などが理解できるかと思います。また、クラブの活性化につながることと思いますので、是非読んでいただきたいと思います。

雑誌委員会、ワーク・シエアリングで役割を分かちあっています。ロータリーの友の配布は私が担当し、これからの卓話の時間は半田パストガバナーにお願いします。

○　半田久一副委員長



クラブの皆様今日は。鈴木久雄委員長より、4月2日の卓話をよろしくと以前より言われましたので、私で良ければと本日になりました。50周年記念誌のためにまとめました「二つの認証状」について、卓話をさせていただきます。

私は、1966年4月6日、黒磯ロータリークラブに鈴

木義邦会員の推薦により入会させていただき、この4月で48年になります。クラブ創立より6年後のことです。私の手元にクラブ創立の会報1号のコピーがあります。それは、2005～06年度史料委員会のメンバーとして、例会場「石山」のクラブ書庫を整理した折、委員長の福島泰雄会員からのプレゼントです。整理の大半は福島委員長により精力的な作業で行われました。周年記念日が近づくにつれ、頂いたコピーが何故か気になり捜しましたところ、書棚の中から見つかりました。内容をよく見ると、創立総会から第6回の例会分はなく、No1として第7回から第10回分を、11月号として会報が発行されています。例会の会場は、黒磯町産業会館とありますので、現在の黒磯保健センターのところで、昔、黒磯町役場があったところです。司会は、植竹虎太会長、辻周夫副会長、秋田三子幹事の三役で交代でされています。会員21名、病欠1名、欠席3名、出席率80%とあります。ビジターに宇都宮ロータリークラブ上野小七君とありますので、上野様は、黒磯町出身で宇都宮市の上野百貨店の社長で、植竹会長のおじさんにあたる方です。尚、当クラブ創立の特別代表としてご指導に当たられ、毎週例会に出席されています。辻副会長の司会で、ビジターのご紹介があり、日光金谷ホテルで行われた第355地区1日講習会の模様とその他の報告があり、続いて、秋田幹事より国際ロータリー加盟申請が承認されましたと、田誠第355地区ガバナーより、お祝いの電報について報告があり、例会は、植竹会長の点鐘をもって終了されています。

会報によれば、卓話をテーブルスピーチ、来訪ロータリアンをビジター、会員名簿の順序はアイウエオ順でなくABC順です。RI加盟申請は、地区ガバナーを通じて、RI理事会に提出します。RI理事会で新しくRIへの加盟が承認されると、RI会長、事務総長及びガバナーの署名のある加盟認証状がRI世界本部からそのクラブへ発行されます。この加盟を許可された日からクラブはRIにおける正式の構成単位クラブとなります。

その日は、1960年10月24日で、日本ロータリー承認順位は394号です。そのときのRI会長J.エド マックロウリン。米国・ラルスRC(1960～61)の署名入りの認証状です。ガバナーは東京RC田誠様です。事務総長は、日本のRI復帰に尽力されたジョージ R. ミーンズ。米国・エバンストンRC(1955～72)です。

その認証状についてのエピソードをお話ししたいと思います。それには、例会場の都合により4度変更しなければならなかったことが深く関係しています。始めに黒磯産業会館より足利銀行黒磯支店の別棟で木造2階の会議室に移りました。しばらくして1970年、銀行改築のため、新築移転された黒磯商工会館に移りました。足利銀行の改築が終わりましたので、3階の会議室を1972年より1990年まで例会場として利用させて頂きました。1990～91年、瀧田仁年度より例会場を足銀黒磯支店より割烹石山の2階に移しました。足銀3階に保管されていた認証状を始め鐘と木槌、旗と書類等を移し創立30周年を迎えてその準備が進められていました。認証状を見ると、汚れがひどく染みがついていましたので、大森貞男会員にお願いしクリーニングをしてもらいましたが、綺麗になりませんでした。そのうちその認証状が見当たらず、手分けして捜しましたが見つかりませんでした。1995年の11月頃、20周年記念誌に掲載した写真を利用して、写真家の桜井利男会員に依頼して額入れにしたものがこの認証状です(左



図)。

2000年7月1日、東京プリンスホテルで開催されたガバナー会の折、RI日本事務局大木光男奉仕室長と話をする機会がありました。クラブ認証状のことを申し上げましたところ、再発行して下さる手続きを知り、早速、月井幸雄会長に相談し理事会に諮っていただき、日本事務局を通して、RI理事会に申請いたしました。クラブ創立40周年記念式典を前に2000～2001年度RI会長フランク J. デブリン、メキシコ アナウアクRCの署名入りの認証状が届きました. これが再発行された認証状です(右図)。これが私たちのクラブに二つの認証状の有るいわれです。

1960年9月17日に黒磯産業会館に集った21名の先輩たち、上野小七特別代表のロータリーに対する熱意を初め、スポンサーの宇都宮ロータリークラブの皆様方のご指導と共に、一業種一人の中より選び抜かれた一人ひとりによる親睦と奉仕の基礎づくりが、今日の黒磯ロータリークラブの礎となっているのだと思います。

ご静聴有難うございました。

☺ ニコニコボックス 小野安正君

黒澤 洋一君 結婚祝い有り難うございました。孫が社会人となりました。

鳥居 輝一君 誕生祝いありがとうございました。

檜山 達郎君 誕生祝いありがとうございました。80歳になります。まだまだ元気で頑張りたいと思っています。明るく楽しく人のた

め、家族のため、そして自分のために！

植竹　一裕君　プロ野球がはじまりました。

佐藤　　博君　ウグイスが鳴き始めました。梅は満開、桜もすぐそこまで来ました。



誕生祝

稲垣政一君　鳥居輝一君　檜山達郎君　津久井誠二君



結婚祝

鈴木久雄君　黒澤洋一君　半田久一君

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

鳥居輝一君（1942年4月5日生）

平成23年3月11日14時46分に地震発生の時、私は事務所で仕事をしていました。揺れが非常に強かったので、その時ふっと頭をよぎったことがあります。それは、昭和53年6月12日の「宮城県沖地震」を思い出しました。事務所内に小さな池があり、強い揺れで池から水が外に飛び出してしまったことがありました。



今回の地震はそれ以上の大地震でした。そのはずです、震度6弱でした。「宮城県沖地震」の時仙台市に親戚がおり、その時の状況を後で聞いたことで次の行動に移りました。親戚の食器棚は観音開きのもので、大揺れで食器棚から瀬戸物の食器などが飛び出してしまい、足の踏み場もなく後片付けが大変だったと聞いていましたので、私のところも観音開きの食器棚ですので、とっさに2階の住居に上がり子供に扉をおさえさせ、私は仏壇をおさえていました。二男が長野県茅野市から春休みで帰省しており家族全員が揃っていた関係で、皆さんのように家族との連絡を取り合う必要がありませんでした。

揺れが収まりじっくりと部屋を見て回りましたが壊れたと箇所もなく、玄関に置いてあったロータリーから頂いた“ガリレオ温度計”のみが壊れただけでした。

事務所ではスチール製の書庫が多少動いただけで、入口の採光をとるブロックガラスや、はめ込みの一枚ガラスも破損することなく無事でした。今回の大地震で那須塩原市の震度が6弱にもかかわらず、家屋も倒壊せずに済んだことは、当地の地盤が堅固であることの証明だと思いました。これを仕事に生かしてはと思いましたが、福島第一原子力発電所の事故により放射能が那須地方にも飛散し風評被害にあい、不動産取引が激減し暫くの間開店休業状態が続きました。

3.11は自然の脅威、防災の考え方、国の在り方、人間関係とエネルギーの問題点などが、改めて考えさせられた災害と事故であったと思います。

● 4月2日欠席(敬称略)

遠藤清和・大森貞男・髙木慶一・月江寛智・深町彰・須藤舜生

○ 前回3月26日分メークアップ(敬称略)

秋葉秀樹・時庭稔

次回例会　　平成26年4月9日　　担当　出席委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６２９回　平山年度　第３８回　会報　２０１４-４-９　司会　瀬尾紀夫君

お客様

○　一年交換留学生　ニコルさん



先日、お世話になった留学生の友達が宇都宮から電車で遊びに来ました。お昼に和気家の皆さんと一緒におそばを食べました。

黒磯神社にもお参りをしてきました、二礼・二拍手・一礼と教えていただき、日本文化にチョッピリふれました。その時に月江宮司様よりお守りをいただきありがとうございました。

夕方は去年一年交換学生で台湾から帰国した黒高生の磯杏子さんと一緒に道とん堀に行きました。杏子は、自分が体験した辛い経験を教えてくれて、今の私と同じ立場ですので、彼女の気持ちにはすごく共感しました。そのあと台湾の友達と一緒に色々な場所に行き、楽しい時間を過ごしました。

先週の水曜日、平山会長の奥さんと和気家のおかあさんとおねえさんと一緒に東京ディズニーランドに行ってきました。朝五時にバスに乗って、黒磯から出発しました。途中の待合所から若者が沢山乗ってきました。私は眠りたかったのにうるさくて眠れませんでした。それから東京ディズニーランド着いたら、人の多さにびっくりしました。アトラクションにもっと乗りたかったのに、人がいっぱい並んでいて時間が経過していくので、諦めた乗り物もありました。昼と夜のパレードを見ました。とても素晴らしくて一生懸命手を振りました。今度は未来の家族と一緒に見に行きたいと思っています。

会長挨拶　平山博会長



今日は、時節柄桜の話をいたします。

気象情報会社ウエザーマック社が発表した桜（ソメイヨシノ）の開花予想では、最も早いのは高知県の3月21日、東京都心は3 月25日で、宇都宮では3月29日、時期は平年より３日早いという。黒磯公園は４月６日に開花しました。

桜の花を愛するのは日本人特有の感性なのだろうと思います。「敷島の大和心を人問えば朝日に匂う山桜」と本居宣長は詠んでいる。満開時は美麗だが、散り際にも風情を感じます。

出席報告　出席委員会　　福田逸男君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日4月9日	40(2)	34(1)人	6(1)人	87.2%	*	
前　回4月2日	40(2)	34(1)人	6(1)人	87.2%	3人	94.8%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

桜の花芽は夏にできて休眠状態に入る。その眠りを覚ますのが一定期間の冬の寒さです。これを「休眠打破」と言って花根は順調に目を覚ましていくらしい。そして、少しずつ、つぼみを膨らませ、開花の準備に入る。(冬が寒いほど早く開花すると言われています)

県内の桜の名所は八幡山公園(宇都宮市)、足利公園(足利市)城山公園(佐野市)早乙女の並木(さくら市)など数多くあります。黒磯地区の桜は4月初旬南部地区より開花が始まり、平地より山岳地区へ徐々に開花しながら北上し、深山の山桜が散るまでの約1ケ月間桜の花が市内各地で楽しめます。寒く厳しい冬が終わり、春の知らせを楽しみに桜の花を市民はもとより、多くの観光客が毎年楽しみにしています。

その中でも黒磯公園は、昭和32年月4月22日に、開園しました。ソメイヨシノをはじめとして、約半世紀の歳月の間に約300本の桜が植えられ、県北地区有数の桜の名所となっており、市民の憩いの広場として永く親しまれております。公園内の300本こえる桜は(ソメイヨシノ・サトザクラ・ヤエザクラ)があり、開花時期には、見事な姿を見せてくれます。

そこで商工会の、さくら祭り実行委員会は、多くの来園客に黒磯公園の桜を鑑賞頂くために、市民と一体となって黒磯さくら祭りを開催いたします。祭りの期間は「4月5日(土)～20日(日)」公園内に設置された、760個のぼんぼりに明かりが入り夜桜を楽しめます。ライトアップされた桜が一段と輝いて見えます。そして、「一雨ごとの暖かさ」と言われる時季になりました。一雨降るごとに、暖かな春が近づくと言う、四季の移ろいの美しい日本ならではの季節です。固い桜の蕾も、春雨の降るごとに、少しずつふくらんでいくようです。

今から約千二百年も前にまとめられた『万葉集』にも、桜と雨を詠んだ歌があります。

春雨に　争いかねて　我が宿の
桜の花は　咲きそめにけり

歌の意味は、「蕾を開かせようとして降ってくる春雨に逆らいきれずに、我が家の庭の桜の花が咲き始めました」というものです。

こうして花を咲かせてくれた春雨ですが、しかし、いったん花が咲いてしまうと、今度は、春雨が花を散らしてしまうのかと心配になります。

春雨は　いたくな降りぞ　桜花
いまだ見なくに散らまく惜しも

ここでは、「春雨よ、激しく降らないでください。私は桜の花をまだ見ていないのに、散ってしまったら惜しいことです」と詠まれています。

こうして、日本人は、はるか昔から、この春の桜と雨を愛おしんできたのです。

今日の道歌

明日ありと　思う心の　仇桜
夜半に　嵐の　吹かぬものかは

桜が美しく咲いている、明日こそ見よう、と思うのはまちがいである。夜中に嵐が吹いて散ってしまうかも知れないのだ(人生も明日はどうなるかわからない)。「明日があるから、明日やればいい」。そういいながら、いかに多くの事をやり遂げずに来たことか。いたずらに日を延ばしたばかりに思わぬ事態に遭ったり、はたまた気持ちが変わったり。三日見ぬ間の桜かな、世の事態は刻々と変わりゆくのである。

幹事報告　石山桂子幹事

去る、4月2日に開催されました理事会の審議事項から申し上げます。

○ 5月プログラムの件、承認されました。尚、5月21日例会プログラムはクラブ協議会。担当は会長ですが、高福寺住職の外来卓話となります。

○ 本日例会プログラム変更の件、職業奉仕委員会から出席委員会に変更になりました。理事会で承認を頂いております。

○ 「チェルノブイリの子供を救おう会」に支援金として1万円承認されました。

○ 4月16日の夜間例会はSAA担当ですが、社会奉仕委員会に変更となります。内容は5団体に支援金の贈呈式を行います。例会後の懇親会にも贈呈した方々には出席をして頂く予定でおります。

○ クラブ定款細則検討委員会議事提案の件、承認されました。5月14日(水)例会に改正した事を幹事が会員にお伝えし、2週間後5月28日(水)例会に改正箇所を平山博会長より発表し承認を頂く予定です。

○ 継承会員入会金の件、退会後1年以内に入会であれば入会金を納入しなくても良いと言う事で承認されました。

○ 栃木いのちの電話より、「チャリティー映画会」のご案内、大田原ロータリークラブより、会報が届いております。併せて、回覧中です。

○ 新入会員りんどう湖ロイヤルホテル支配人・豊田哲司会員の所属委員会は、親睦委員会です。

委員会報告　和気勝利副会長

○ 齋藤武久君

桜追っかけのご案内です。

関東以西の桜の名所が早く咲きすぎて散り始めました。今度の日曜は、もう遅いでしょうね。一番良いの

が黒磯公園という所でしょう。何という皮肉。白河の関を超えるのは普通黒磯に遅れること１週間です。でもどこかに花はあるはずです。

出発時間のご案内をします。市役所駐車場出発７時です。遅れないようにお願いします。

○　瀬尾紀夫次年度幹事

本日午後18：30分より、次年度理事、役員、各委員長の合同会議を、当割烹石山さんにて開催しますので、ご案内いたします。

卓話　出席委員会

○　秋葉秀樹委員長



平山年度、出席委員会委員長を仰せつかっています秋葉秀樹です。副委員長は津久井誠二さん、委員は高根沢さん、福田さん、荒牧さん、稲垣さんの計６名で運営しております。本日は、新入会員の荒牧さんと稲垣さん、３年目の津久井さんに自己紹介をお願いしております。それでは宜しくお願いします。

○　荒牧明二君



皆さんこんにちは荒牧明二と申します。勤務は深谷建設株式会社です。

1952年（昭和27年11月10日）生まれ。辰年さそり座、妻、娘二人です。昭和51年深谷材木店建築部に２年程勤務、昭和53年深谷建設設立と同時に入社現在に至ります。

先代社長とは23歳から36年間の付合いでした、早いもので亡くなりまして3年半が過ぎました。仕事、酒の飲み方、電話の応対等々1から10まで教わりました。唯一教わらなかったのは、女性との付合いかた位です。私にとっては最も尊敬の出来る存在の人でした。

深谷建設の建物づくりは、昔から、職人気質の棟梁が持つ技術、熟練された仕口(しくち)の加工と伝統を守る為、現在(いま)も、手造りにこだわり、木のもつ素材を生かし、温もりを感じ、家族団欒(だんらん)を演出する、家を提供しています。

また、自然の恵みを生かし太陽で床暖房して暮らす、OMソーラーの家造りと、CO_2を削減する太陽光発電で、地球環境にやさしいエコなエネルギーの住まいを提供しています。深谷建設は、本物にこだわり抜いた家造りと地球環境にやさしい家造りをモットーにお客様に提供しています。

OMソーラーの　O＝おもしろい、M＝もったいないが語源です。

地球温暖化に逆行する為に、呼吸する家造りを基本とし、空気で床暖房する家づくりをしています。

これまで、住宅600棟（OMソーラーの住宅は240棟)、別荘300棟、合計900棟、施設建築24棟（この中にはOMソーラを取入れた公共建築も含まれます)。

先に述べましたが、深谷建設の建物は、全て手造りで造っております。最近流行のプレカットと言うのは、使っておりません。OMソーラを取入れた公共建築には、野沢養護学校、湯津上村役場、湯西川統合小中学校、栗山村小学校、いわむらかずお絵本の丘美術館等々。また、一昨年完成した、湯西川公民館、昨年完成した、さくら市喜連川統合小学校、益子小学校もそうです。

別荘建築では、俳優のKTさん宅他多数の著名人の建築をさせて頂きました。

話は変わりますが私は、倫理法人会に入っております。前社長は65歳になったら社長を交代すると宣言し。8年前私が社長になる前に、倫理法人会に入って鍛えてもらうように、とのことで私が人会しました。会長は入ったからにはトコトンやりぬくようにとのことでした。

入会して実践したのが「清掃の実践」と「朝の朝礼」です。「清掃の実践」は、事務員さんに任せていた事務所の清掃を全員で、分担し毎日清掃しています。

「朝の朝礼」は「職場の教養」を読み、１週間の工程を打ち合わせる程度でした。入会後は「職場の教養」を使用し、次に挨拶練習を始めました、「有難う御座います。」「いらっしゃいませ。」「行ってまいります。」「ただ今帰りました。」と、まだ完全とは行きませんが少しずつ効果が出てきております。

倫理の話の中に、夫婦は一対の反射鏡とあります。結婚当初はうまくいくが、次第に離れて、全く反対の方向にさえ行ってしまう事がある。家のことはちぐはぐになって、仕事も商売もうまくいかなくなる。

それがこれまでは、仕事の方ならば夫のせいにし、また子供のことなどは妻の責任にした。これは実は大きな間違いである。全てが、夫婦の心の一致している

かいないか、にかかっているのである。
夫婦が互いに相手を直したいと思うのは逆である。ただ自分を磨けばよい。己を正せばよい。その時、相手は必ず自然に改まる。
夫婦は、いつも向かい合った一組の鏡である。
こういう風に仲のよい夫婦になれば「亭主元気で留守がいい」何ていわれなくなります。
我が家もまだまだこういう夫婦になれませんので、私は妻に内緒で、全国亭主関白協会にも入りました。
関白とは、どういう意味か。天皇を補佐するナンバー2.最高位の人を補佐する役割の人。「亭主」も茶道の世界では、茶を振る舞い、客人をもてなす人。そう考えれば、亭主関白とは妻をもてなし、補佐する役目になります。家に帰ると、「オイ、風呂だ、メシだ」と威張る亭主は、本当の関白ではないそうです。全国亭主関白協会のモットーは、いかに妻を愛するか、手助けするか、幸せにするか、笑顔を引き出し輝いてもらえるか・・・。これが真の関白道だというのです。
家の中でナンバー2に徹し、上手に妻の尻にしかれる夫こそ、私たちの理想です、全国亭主関白協会では、日々会員が「亭主力」を磨いています。今の私にはまだまだ出来ないことです。
この協会の創始者の天野周一さんは、身近に熟年離婚がふえ、何とかそれを回避できないかと、仲間で秘策を練ったのがきっかけで、全国亭主関白協会を発足しました。今では全国に17000人を超す会員がいます。
全亭協の定例会は、「愛の三原則」の唱和から始まります。
ひとつ「ありがとう」をためらわずいおう？
ひとつ「ごめんなさい」を恐れずに言おう？
ひとつ「愛してる」を照れずに言おう？
この三つのは「魔法の言葉」です。
なぜなら妻が最も聞きたい言葉でもあるからで、夫婦間の関係悪化がぴたりと止まります。
ことわざにあるように、夫婦喧嘩は犬も食いません。私たちは「非勝三原則」のルールを心がけています。頭がカッとしたら「勝たない」「勝てない」「勝ちたくない」と、自分を律するんです。争わないことが真の勇者です。勝利者です。夫婦は、どちらか一方が勝つ為に存在しているのでは有りません。一緒に物事を解決する為のパートナーのはずです。たがいにカッカしているときに論争しても、まず耳に入りません。たとえ妻に非があったとしても、矛を収める度量がほしいものです。頭が冷めてからいさめた方が得策です。
近年、注目されている指導者像として「サーバント・リーダシップ」という概念があります。私たちの結婚相手は、妻である前に、まず人間であり、女性であることを忘れてはいけません。これまで仕事を理由に家を顧みないとき、どれ程妻が一家を支えてくれてきたことか。妻をリスペクト（尊敬）し、人間として尊ぶべきだと思います。
妻の誕生日と結婚記念日は大切にしてあげてください。年を重ねるごとにチヤホヤすることが必要です。時にはウォーキングもいいでしょう。何といっても横に並んで歩く位置関係が絶妙です。顔を見ないですみます。目を合わせなければ「今の僕があるのは君のおかげだ」「今までいろいろとゴメンネ」と言った言葉も、案外さらりと言えます。このセリフは、定年後の夫の儀式として奨励しています。
人を変えようと思ってもだめです。自分が変わることでしか、人は変わりません。夫婦円満になれば、きっと子育てにも影響があります。妻から笑顔を引き出す亭主力は、難しい商談や交渉にも役に立つはずです。そんな人が増えていけば、企業力や経済力も高まります。亭主が変われば、妻も子も変わり、世の中も変わっていくと思います。夫婦円満、家内安全、火の用心を心がけ、またロータリアンとして、で多くを学び実践して行きたいと思います。皆さん宜しくお願いします。
有難う御座いました。

○　稲垣政一君



皆様こんにちは。稲垣政一です。大まかになりますが、自己紹介させていただきます。
市内豊浦北町に住んでいます。BSの少し先です。29年4月9日生まれで、今日が60才の誕生日になります。
黒小、黒中、黒高卒業しました。黒中、黒高では軟式テニスクラブに入っていました。村山理事は1年先輩です。大学は日大に入学しました。
卒業後、大田原信用金庫に就職しました。24年勤めましたが家庭等の事情により退社。農業を手伝いながら不動産管理会社、有限会社稲垣商事を設立し現在に至っています。
家族は4人ですが現在は妻と二人で暮らしています。趣味は特別ありませんが最近はよく妻とコンサートに行っています。性格は長男なせいかおっとりしていると言われます。
和気副会長の推薦で、平山会長や村山理事にもすす

められ、ロータリーに入会させていただきました。ロータリの奉仕の精神を学び、皆様のご指導を仰ぎながら、社会の一助となればと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○　津久井誠二君



津久井でございます。私は、入会して3年目になります。自己紹介につきましては、もう何回か行っておりますので、本日は、企業経営者の皆様にとって、従業員教育はとても関心のある事項と存じます。新入社員を迎え入れるこの季節、「電話マナーの再確認」をしてみませんか。その中で、時間を伝える言葉の使い分けについてご案内したいと思います。

○　少々お待ち下さい・・・30秒以内
○　しばらくお待ちください・・・1分以内
○　少しお時間を頂けないでしょうか・・・3分以内
○　すぐに確認いたします・・・5分以内
○　折り返しお電話いたします・・・5分以内
○　後ほどお電話いたします・・・30分以内
○　後日、ご連絡いたします・・・2日以内

以上、ご参考になれば幸いです。

☺　ニコニコボックス　君

秋葉　秀樹君　本日出席委員会の担当です。宜しく御願いします。
時庭　稔君　黒磯公園にて桜祭りが行われます(4月13日～)。
稲垣　政一君　誕生祝いありがとうございました。
髙木　慶一君　本当に春らしい日和になって来ました。
半田　久一君　結婚祝い有り難うございました。49周年となります。

誕生月３分間スピーチ

「3・11 その時私は何をしていたか」

檜山達郎君（1934年4月10日生）



2011年(平成23年)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震いわゆる東日本大震災の時あなたはどうしていましたか？ 私は午後の診療が始まりました。この日の午後の診療は上の歯の前歯の審美治療の真っただ中、第一波の揺れが私が過去経験したこと無いものでした。即、やむものと思いましたら再び第二波の大きな揺れが暫く続きこれは、これは普通ではないなと思いました。私共の建物は称してピロテイー建築ですのでその揺れは相当なものでした。クリニックはそれなりの被害が発生しました。色々な保管しておりましたものの散乱、想像に絶するものでした。

そうこうしていますと、裏の住宅からの第一報、部屋の中の天井から水が溢れ落ちてくるとの連絡、急ぎ住宅に駆け込みました。後に判ったことですが部屋の中の配管の断裂によるものでした。部屋中水浸し、その他食器棚の中のものはガラス製品はメッチャメッチャ、タイルは剥げ落ちる。又、クリニックではピンク電話が棚より落下、諸々の歯科用の機材の損傷、それは計り知れない損失がでました。

しかし、よく考えてみますと、当地は停電はありませんでした。その為に診療には支障ありませんでしたが、そのごの計画停電には苦労いたしました。

東北の復興もまだまだ、心いたみます。明るいニュースも聞かれますが、まだまだ出口の見えないトンネルの中、一日も早い復興をと、思うばかりであります。

第９回桜追っかけミステリー旅行

13日に、第９回桜追っかけミステリー旅行に行って参りました。水曜の例会の日までは、桜の咲いている所を探してやきもきしていましたが、執念で探し、須賀川市の長沼地区と、二本松市の市街地の二ヶ所が咲いていると言う情報をキャッチして行きました。晴天の１日で、絶好のお花見日和でした。合計６本の一本桜を巡る贅沢な旅でした。総勢19名の参加でした。



須賀川市、横田陣屋の御殿桜と護真寺のしだれ桜：中通りで一番先に咲くらしい素晴らしい桜でした。写真は御殿桜の遠景と参加者の一部の記念写真。目通り幹周り3.5m、樹齢約300年。



二本松市本久寺のしだれ桜:昔芭蕉がこの桜を愛で句を詠んだという逸話があります。「陸奥の本より久し寺桜」という句が境内に記されていました。傘を広げたように枝垂れる様は優雅です。目通り幹周り3m、樹齢約400年。

所で、何と言う偶然でしょう、鳥居輝一会員の菩提寺だったのです。知っていれば、線香を持って来たものをと嘆かれてしまいました。前の晩まで必死で咲いている桜を探していたものですから、当日の朝まで行程表は見せていなかったのです。今はなき奥様の墓前に手を合わせてお参りしました。(齋藤記)

スコットランドのNormanからの手紙

○　礒勝彦君

以前、私はWCS（日本2550地区―スコットランド1020地区）のリーダーを務めさせて頂きました。その時のBo'nes RCの会長さんだったNormanさんは6年ほど前に来日し、黒磯RCにもMUに夫人のEdithさんと共に訪れています。その時のキルト姿を記憶されている方もいると思います。先日、そのNormanさんからメールが入りましたので、会報委員会の方々にお願いして掲載させていただく事になりました。

Hi Katsu and Yuko.

Once again my appologies for not writing for some time. We hope you are still keeping well and please pass our greetings to your friends and your rotary members that we met on our visit.

We are both well but getting older (it sure beats the alternative!!!.

Edith has just returned from a cruise in the Mediterranean with her neice Wendy which they both enjoyed. I was erecting a second greenhouse in the garden when they were away. I am also trying to grow a lot more vegetables in the garden.

Also I am now the proud owner of a Jaguar XJ Sovereign car. Not new but a real luxury. Have you still got the Porsche?

More soon

Kind regards,

Norman and Edith and Taz

● 4月9日欠席(敬称略)
髙木茂・深町彰・田中徹・吉光寺政雄・遠藤清和
須藤舜生

○ 前回4月2日分メークアップ(敬称略)
大森貞男・髙木慶一・月江寛智

次回例会　　平成２６年４月１６日　　担当　社会奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３０回　平山年度　第３９回　会報　２０１４-４-１６　司会　瀬尾紀夫君

お客様

那須山岳救助隊隊長	大高　登様
那須地区更生保護師会会長	田代　稔様
ボーイスカウト那須塩原第１団副団長	薄井利夫様
ガールスカウト栃木第３４団団長	長谷川まち子様
あったかハート号の会会長	田村好一様
大島商店会長	大島三千三様

会長挨拶　平山博会長

今宵は夜の花見例会です。お客様を交えて楽しく過ごして行きたいと思います

日本人にとって花と言えば桜。花明り、花の雲、花冷えと言った趣のある言葉は桜を指します。淡い花色の美しさ、咲いて散るまでの短さゆえのはかなさが好まれるのでしょうか、日本人のこの花への愛着はひとしおです。開花を告げる桜前線が動き出すと、全国各地の桜の名所に花見客が押し掛けます。

桜の花を愛で、飲食する風習は平安時代の貴族の行事が起源とされますが、庶民の催しとして広まったのは江戸時代。徳川吉宗の頃、江戸各地に桜が植えられ、花見が奨励されたと言われています。観桜会や夜桜見物も風情がありますが、桜の樹の下に敷物を敷いて座り、お酒を飲んだり、持ち寄った重箱や、折詰の弁当を食べたり、歌を歌ったりして、楽しいひと時を過ごすのも花見の醍醐味でしょう。家族や友人、会社の同僚と、ロータリーの皆様と、春が来た喜びを分かち合う花見、四季の行事を楽しむ事に今年の春もまた感謝したいと思っております。

東日本大震災の被災地福島には、有名な桜が沢山あります。4月13日黒磯ロータリークラブ桜追っかけの会では、須賀川護真寺の桜を始め、横田陣屋御殿桜など、バスで七か所を回り、すべてが見頃でしたとの事、私は参加できなく残念でした。それから福島と言えば三春町の滝桜があります。やつと暖かくなり、平年並みの4月中旬には開花する見通しという。(三春の観光協会より）観光客は震災の年に半減したが、昨年はようやく例年並みの人出でにぎわったようです。三春に限らず、被災者が心から桜を楽しめる日が、早く来る事を願いたい。地元黒磯公園さくら祭りも、素晴らしい天気にも恵まれ、これまでにない人の出で大変にぎやかに、盛況に行われ、地元黒磯高校生徒によるお琴の演奏、野点など協力をしていただき花に花を添えていただきました。



黒磯公園さくら祭り黒磯高校生のお琴 2014.4.13

今日の道歌

散りぬべき　　時知りてこそ
世の中の花も花なれ　　人も人なれ

桜の花は潔く、あっという間にぱっと散る。だからこそ、美しくまた人の心をとらえる。人間も引き際、散り際が大事なのだ。細川護熙氏・小泉純一郎氏、両首相辞任の時の心境をこの歌を引用し披露した。

幹事報告　石山桂子幹事

【第 39 回幹事報告】

○　那須塩原ハーフマラソン実行委員会より、第９回那須塩原ハーフマラソン実行委員会の委嘱及び実行委員会開催のお知らせが届いております。瀬尾紀夫次年度幹事にお渡し致しました。

○　ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま 169 号が届いております。

○　「チェルノブイリの子供を救おう会」の代表・久保田護様より、寄付に対しまして御礼状・資料等が

届いております。併せて回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　田中会計長

4月21日に、栃木銀行より次の引き落としを行いますのでご準備願います。

・　周年記念準備金　　￥10,000
・　旅行愛好会積立金　￥12,000(旅行愛好会会員のみ)

出席報告は次週回しとします。

卓話　社会奉仕委員会

○　荒井昌一委員長



各種ボランティア団体への活動支援金贈呈式

本日は各ボランティア団体の代表の皆様方には、お忙しい中を式に御参加頂きまして有難うございます。

只今から2013-2014年平山年度の活動資金の贈呈を行います。順次ご案内いたしますので、お受け取りいただきたいと思います。

・　那須山岳救助隊　　50,000円
　　大高　登　様
・　那須地区厚生保護司会　　20,000円
　　田代　稔　様
・　ボーイスカウト那須塩原第一団　　50,000円
　　薄井　利男　様
・　ガールスカウト栃木第34団　　50,000円
　　長谷川　まち子　様
・　あったかハート号の会　　80,000円
　　田村　好一　様（25年8月支払済）

それでは各団体の皆様方より活動報告等をお願いしたいと思います。最初に那須岳山岳救助隊の大高様よりお願い致します。

○　那須山岳救助隊長　大高登様

ご支援ありがとうございました。最近では事故も大分少なくなりました。ご年配の方の登山が少なくなりまして3年前位から山ガールと言うのですか、スマートな支度で、そのスタイルで山登れるのと聞くと、大丈夫ですよと言って､山のテッペンに行って震えてる。そう言う状態でございます。



最近は消防のレスキューヘリが飛んで来まして捜索して救助して運んでくれるので、私どもの出動は少なくなりました。昨年26年度消防の出動8回、私どもの出動が3回でした。私たちの出動は殆ど冬です。昨年の4月5日ですか、家族づれでロープウェーで上がって頂上まで行こうとしたら、ガスが厚くて行けないと言うので、牛ケ首と言う裏の方に行って子供が先に行ってしまうので、心配で後から追っかけて行ってたら雪の上にいた。まだ4月ですから山の陰には雪は有りますから、今年は特に多いですから、そしたら出る道が分からなくなってしまった。それで親子で一晩を山でおくりました。翌日天気が良かったもんですから私達が出動いたしました。警察署と私達と16人で捜索に出ましたら、なんとか雪の上を歩いて大丸の所に出てきました。無事救出しました。

先週も群馬県からお出でになった40代の男の方でしたが、三本槍まで行って来るんだと言うことで、ロープウエーを使って三本槍まで行って戻って来て途中で一人が来ないと言うことで、私のところに午後8時ちょっと前に警察から連絡がありまして、さあどうしようと相談しまして、取りあえず連れが一番上の駐車場にいるからそこに行って調書取ってと言うことで、出動準備をしてましたらば、無事降りて来ましたからと連絡がありました。とにかく雪の有るところですから、白いところに入ったらどこも分かりません。

一昨年ですか、お客さんは山に登っても場所が分かりませんので、環境庁から叱られながらナンバープレートを石や案内板があるところに設置し、皆さんに分かるようにしました。そのようなことで山を守って行きたいと思ってやっております。うちの方の隊員も平均年齢66歳若い方が入っていただければいいんですが、なかなか入ってこないので苦労しています。

○　那須地区更生保護司　　田代稔様



毎年黒磯ロータリークラブ様には多額の支援金を戴きまして本当にありがとうございます。更生保護とは罪を犯した人も、裁判を終え処分を受ければ、社会に戻って来ます。罪を償い早く再出発をしようとする人達の立ち直りを導き助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ仕組みです。保護司は法務大臣から委嘱されボランティアで身分は非常勤国家公務員とされてますが、給料は支給されません。那須保護区は那須町那須塩原市で組織され69名の保護司で対応しております。犯罪や非行をした人たちの立ち直りを助けると共に、犯罪や非行防止活動に取り組んで、地域の安全安心な社会つくりに貢献しておる訳でございます。また再犯防止のためには、犯罪者の就労支援が必要なのです。無職者と有職者の再犯の率では有職者は無職者の５分の１で無職者は有職者の5倍再犯率が多いと言うことです。那須保護区では、就労支援をするために協力事業主会が組織されました、当ロータリークラブ会員であります瀬尾紀夫様に会長をやってもらっておる訳でございます。50社以上の協力事業主会で設立されている訳でございます。

７月には犯罪や非行防止の社会を明るくする運動を行っている訳でございます。昨年６月いきいきふれあいセンターの社会福祉協議会の隣にサポートセンターと言うことで､保護司会の事務所として開設しました。月水金の９時から４時まで誰か一人保護司の方が駐在している訳でございます。パソコンなどはこのロータリークラブで元更生保護司の秋間先生に寄贈してもらってやっている訳でございます。これからも罪のない社会を明るく創る運動でやっておりますのでこれかも宜しくお願いします。

○　ボーイスカウト那須塩原１団　薄井利男様

長年ロータリークラブさんからご支援戴き、スカウト活動子供の育成に対してご理解戴きありがとうございます。那須塩原第1団は一昨年35周年を迎えました。昨年は日本ジャンボリーに参加できるように元気でいけるよう指導して来ました。来年は山口県で世界ジャンボリーがあります。これにも参加できるスカウトを育てたいと思っています。当団も長い間やっているのでいろんな器具とか備品が不足してるものですから、只今戴いた支援金等で補充をしながら、地域の子供を大切に育てていきたいと思います、今後とも宜しくお願いします。



○　ガールスカウト栃木３４ 団長谷川まち子様



只今は、皆さま方からの温かいお志を戴きありがとうございました。皆様方からの支援金により私達ガールスカウトも、3.11の被災地には何度も出かけて、さまざまなお手伝いをさせて戴き、また沢山の活動に参加させて戴いております。一昨年20周年と言う節目を迎え、昨年よりスカウトとして育ったガールがリーダーとして、そしてそのリーダーの子供がガールスカウトに入団しております。親子二代のスカウトに嬉しい歴史の重みと責任も感じております。今後も皆様から戴きました支援金を大切に使わせて戴き、私達リーダーも子供達に心を添えて子供達の育成の一助となるように、これからもお手伝いさせて戴きたいと思います。今後共充実した活動ができるように頑張って行きたいと思っています。

○　あったかハート号の会　田村好一様

いつもロータリークラブの皆様にはお世話になりありがとうございます。特に前倒しで支援金を戴きまして、我が儘な使い方をさせて戴きありがとうございます。お蔭様で去年で23回あったかハート号は、身体の



不自由な方、独居老人、お年を召された方、一人でなかなか行動ができない方、その人たちを外に連れ出して、楽しく過ごしてみようと言う会です。なかなか一泊は難しいので日帰り旅行とか交流会などをやっています。去年は栃木の都賀の里の公園でバーベキューをやらせてもらい、ミニリクリエーション、ミニ運動会のようなものをやらせてもらって、その後大平町今は合併して栃木市のぶどう園でぶどう狩りをやって帰ってまいりました。募集は80名だったですが人気があり92名の参加でした。年々増えてきて嬉しいことだなと思っているんです。アンケートを取り嬉しかったと思うことは、アンケートで多かったのは一般の旅行は元気な人中心だが、ハート号は身体の弱い人が中心だから安心して参加ができる。いろんな旅行会社にしてもグループにしても、健常者中心の旅行催しものになってしまうんですね。それであったかハート号には安心して参加してくれるのかなと思っています。この事業に大切な支援金を使わせて戴きます。今後とも努力してまいりますので宜しくお願いします。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

津久井誠二君　結婚祝いありがとう御座います。

小野　安正君　2泊3日で伊良湖～下田を走ってきました。

齋藤　武久君　13日(日)に第9回「サクラ追っかけミステリー旅行」に行って参りました。好天にめくまれ成功でした。須賀川の桜、二本松の桜いずれも満開で満足しました。

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

津久井誠二君（1968年4月15日生）



スピーチに先立ち、先の大震災でお亡くなりなられた方々のご冥福を心よりお祈りしたします。

平成23年3月11日（金)、当時、私は東那須野支店に勤務しておりました。外訪から帰店後に、その瞬間はやってきました。14時46分、恐らくは当地(黒磯)を上回る大きな揺れであったと思います。当時の来客は3名で、店内にいた職員は私を含め8名でした。私は咄嗟に来客を避難誘導し、職員に対しては避難指示をしました。職場のデスク下に避難中は、益々大きくなる揺れに、家族を思い浮かべました。

ひとまず揺れが治まり周囲を見渡すと、ロッカー、デスク、電話等の機器や書類、カルトンが散乱しています。幸い来客と職員に怪我はなく、全員の無事が確認できました。この後が、大変難儀でした。当日は余震と停電が続くなか、勘定合わせと郵便物の手配業務に追われました。翌日以降は計画停電に苦慮しました。金融機関は、３月と12月に仕事が集中する商売です。時は３月中旬、大切な期末を迎える直前です。停電による暗闇の中、大量の懐中電灯を周囲に配置し、貸出稟議の作成に当たったことを思い出します。

パ　ー　テ　ィ　ー

○　平山博会長

ご支援団体の皆様との夜の花見例会です。会食をしながら皆様と情報交換ができれば大変有意義な事と思っております。

支援金は毎年異なりますが、毎年支援して行きたいと考えております。少しでも、会の運営ために役立てばありがたいと思っております。各団体様のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

○　荒井昌一委員長　乾杯の挨拶

社会奉仕委員長の荒井と申します。宜しくお願い致します。本日は那須山岳救助隊隊長の大高登様、那須地区厚生保護司会　田代稔様、ボーイスカウト那須塩原第一団　薄井利男様、ガールスカウト第３４団　長谷川まち子様、あったかハート号の会の田村好一様には御参加頂き有難うございます。

皆様方には既にご存知の通り、我々ロータリークラブは奉仕団体であり皆様方と同じ立場にあります。今般夜の例会での懇親会は初めてかと思います。短い時間ではありますが情報交換をして頂きまして、今後の活動にお役立て頂ければと思います。

本日ご参会の皆様方のご健康を祈念致しまして乾杯とします。



司会の瀬尾紀夫君と挨拶をする平山会長



荒井昌一社会奉仕委員長の音頭で乾杯



支援団体の方々との懇親会、入会予定者大島三千三君



和やかな内にお花見夜間例会終了
半田PGの音頭で一本締め

次回例会　　平成２６年４月２３日　　担当職業奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３１回　平山年度　第４０回　会報　２０１４-４-２３　司会　鳥居輝一君

来訪ロータリアン

東京西ロータリークラブ　小宮英明　様



お客様

那須町町長　高 久　勝 様

新入会員入会式



大島商店会長　大島三千三君

会長挨拶　平山博会長



過日、４月15日に西那須野烏が森公園で行われました、那須塩原開墾記念祭に参加させていただきました。日本三大疎水、那須疎水のお話をさせていただきます。

昔むかし、那須塩原はススキや、シノに覆われた荒野が広がり、背後の険しい山々から水が流れ出る、ごくわずかな土地にほんの少しの人が住むところでした。明治13年こんな土地に開拓の希望に燃える人々が住み、助け合いながら暮らし始めました。当時那須野が原には1万ヘクタールを超える、蛇尾川を挟んで、那須の西原・東原と言った原野が広がっており、そこには一筋の川の流れも有りませんでした。そのため、飲み水を得るのは容易なことではなく、水を求める声は移住者の悲痛な叫びでありました。開拓地に入植した人々は、原野を開墾しながら、水桶を担いだり、荷車に桶を積んだりして、周辺の村々や時には4㎞も離れた川まで水を汲みに行きました。汲んできた水はとても貴重なもので、米をといだ水で顔を洗い、その残っ

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日　4月23日	41(2)	30(2)人	11(2)人	76.9％	*	
前　回　4月16日	40(2)	33(1)人	7(1)人	84.6％	5人	97.4％
前々回　4月 9日	40(2)	34(1)人	6(1)人	87.2％	1人	89.7％

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

た水で洗濯するといったように､何回も使ったのです。水の有難さ、水の尊さといったことは、開拓地の人々は身をもって感じていたことであろうと思います。そういう大変な生活を強いられていた中でいよいよ疎水の開削が正式に決定した。この時の喜びはどれほどだっただろうか。明治18年9月15日、西岩崎から千本松に至る16,3キロメートルの本幹水路がたちまちにして完成し、三島の肇耕社において開通式が挙行されました。疎水の開削に功績のあった印南丈作と矢板武に、銀杯1組を贈られるなど、盛大な式典であったという。その後、4本の分水路が開削され、那須疎水と呼ばれるようになった。かくして、那須野が原開拓事業には、永遠につきることのない生命の水が昼となく夜となくこんこんと流れるようになりました｡時は過ぎ、昭和42年には那須野が原の総合開発が始まり、那須疎水が改修され、深山ダムの建設、赤田調整池、戸田調整池の建設などの大事業が行われた。20数年の歳月を費やし事業は完了し、ここに一貫した那須野が原、水管理システムが確立されたのでした。明治18年4月15日は疎水開削の起工式が執り行われた、上記のような意義深い日でありました。

今日の道歌

われ人に　恵みしことは　忘れても
人の恵みは　永く忘るな

訳　自分が人に恵んだことは忘れても、人からの恵みはずっと忘れないことだ。

幹事報告　石山桂子幹事

○　ガバナー事務所より､インターアクトクラブ足尾植樹活動集合場所についてのご案内が届いております。髙木慶一・新世代委員長にお渡し致しました。

○　那須塩原市国際交流協会より、平成26年総会開催のご案内が届いております。時庭稔・国際奉仕委員長にお渡し致しました。

委員会報告　和気勝利副会長

○　福島泰雄広報ＩＴ委員長

黒磯ロータリークラブのホームページの会員のページに「桜追っかけミステリー旅行」の写真を載せましたのでご覧下さい。

○　荒井昌一社会奉仕委員長

4月26日今週の土曜日、足尾植樹活動に参加申込された方は7時20分に道とん堀にご集合下さい。
黒磯高校インターアクトクラブから生徒12名顧問の先生1名､黒磯ロータリークラブから平山会長初め12名、合計25名になりました。

卓話　職業奉仕会報委員会

○　高木茂委員長



本年度の職業奉仕委員会は、委員長に髙木茂、副委員長に深町彰さん、委員に檜山達郎さんの3名で活動しております。活動内容としては、会員の皆様に会員手帳の配布をしました。会員間の連絡に活用していただければと思っております。10月9日には職場訪問として、カゴメ那須工場を見学いたしました。

本日は、那須町町長高久勝氏をお招きして、卓話をいただきたいと思います｡よろしくお願いいたします。

○　那須町町長　高久勝様

只今ご紹介をいただきました、那須町長の高久でございます｡4月に入りまして、まさに、日本人の誰もが待ち焦がれた桜、この桜も満開の時を過ぎて、いよいよ春爛漫という季節になってまいりました｡そんな中、第2631回となります黒磯ロータリークラブ定例会の卓話の講師ということでお声かけいただきましたことに、先ず、感謝申し上げます。私も今回初めて出席をさせていただきました。拝見いたしますと、本当に黒磯を代表するそうそうたるお歴々の皆様方、諸先輩の皆様方、かつて色々なことでお世話になった皆様方、こういった皆様方を前に、私の拙いお話をさせていただくということで、実は、大変緊張しております。只今資料をお配りしておりますが、それに沿ってお話をしたいと思っております｡3部ほどございますので､後ほど説明がてらお目通しをいただければと思っております。

卓話に先立ちまして一点お詫び、そしてもう一点はお礼を申し上げたいと思っております。お詫びでございますけれども、これまでも何度か卓話のご案内をいただいたのですが、そのような力は無いということでお断りをしてたんですが、今回、改めて機会がございまして卓話をさせていただくことになりました。そして、お礼につきましては、先月行われました那須町の町長選挙におきまして、皆様方の温かいご支援をいただきました。その結果、無投票でまた4年間やらせていただくことになりました。皆様方のご支援に対しま

して、改めまして感謝申し上げます。この結果に驕ることなく4年前の初心に帰りまして、これまで以上に那須町は勿論でございますが、那須塩原を含めた県北の発展のために全力で取組んでまいりたいと思っておりますので、改めてお礼を申し上げます。本当に有難うございました。それともう一点ですが、皆様方に支えていただいております黒磯ロータリークラブの会長平山は、私の兄でございます。義兄が皆様方に色々な面でお世話になっていることに対しまして、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思っております。

本日は、どのようなお話をしたらよいか、色々と考えましたが、初めて来てあまり堅苦しいのはどうかと思いまして、私の身の上話などをお聞きいただいて、そして、皆様方との距離感を縮めたうえで、これからの那須町と那須塩原市の発展のための交流ができればと思っているところでございますので、そんなところでお許しいただきたいと思っております。

【プロフィール】



それでは、先ず、プロフィールでございますが、私は、1955年、昭和30年生まれということですから、現在58歳でございます。お世辞でまだ若いですね、と言われますが、あと2年で還暦でございます。赤いちゃんちゃんこを着ることになる訳です。かつては、60歳ともなれば、かなりの老人というイメージがございましたが、今、男性の平均寿命が79.5歳という中では、まだまだ60歳というのは、はなたれ小僧だと思っております。これからが人生のいい時だと思っております。60歳をひとつの境に、これからも頑張ってまいりたいと思っております。そして、私は実は、5人兄弟の末っ子でございます。上4人が姉ということで、いわゆる、バッチ長男ということでございます。バッチ長男は大した人間には育たないと昔からいわれております。それで、このロータリークラブの会長を務めております平山会長は、私の直ぐ上の姉が嫁いでいるということで、一番年齢の近い義兄となっております。そういったことで、那須町で生まれ那須町でそだった訳でございます。高校は黒磯高校を卒業いたしました。当時は進学も考えましたが、実は、16歳の時に母親を亡くしまして、大学進学を断念せざるを得ないことになりました。それで、高校卒業後は家業である農業に就業したということでございます。農業専業で今日まできたところです。それで、24歳で結婚いたしまして、子供は1男1女の子宝にも恵まれました。長男長女ですが、その長男が34歳を超えますが、未だに独身でふらふらしております。育て方が間違ったのか、大変気に病んでおります。35歳というと、その年には私は小学校のPTA会長をやっておりました。困ったもんだなと思っております。娘は何とか結婚をいたしまして、私も孫一人がいるということでございます。ただ、娘は岡山に住んでるものですから、なかなか孫に会うことができません。大変時間がかかります。

【政治に関心を持つきっかけ】

それから、農業一筋でずっとやってまいりましたが、この間、特に大きな事もなく、地域の色々な役職等を歴任しながらやってきました。もともと政治に興味があった訳ではありませんが、政治に関心を持つきっかけは、二つほどございました。ひとつは、1970年、私が15歳の時、三島由紀夫が市ヶ谷駐屯地に、自衛隊員と結成した「盾の会」で乱入して憲法改正を訴えて割腹自殺をした事件がございました。これは子どもながら、大変衝撃を受けました。当時私は、読書好きで暇さえあれば本を読んでおりました。で、難しかったのですが、三島由紀夫は好きだったんです。プロフィールなどを見ますと、東大を首席で卒業し、次から次へと素晴らしい本を書いていました。それが何時のころからか、自分の体を鍛えるということで、段々だんだん右傾化してあいうことになった訳ですが、そのことで、少し日本の政治、行く末というものに関心を持ちました。それから、1973年に、この地域の政治家もからんでおりますが、「青嵐会」というものが当時発足をいたしました。これは自民党の若手議員が派閥横断的な会を発足させました。衆参併せまして31人で組織しました。その時に代表世話人になったのが、この第3選挙区選出の渡辺美智雄さん、中川一郎さん、藤尾正行さんと福島から選出されていた湊　徹郎さんです。この会は、田中角栄の日中国交回復に伴う、日台、台湾との国交断絶をしようとする国の動きを阻止するため組織されました。その趣意書には血判が押されておりました。それから、当時でいえば過激な発言もしたし、行動もしたというようなことで注目をされました。あの浜田幸一さんとか石原慎太郎さんがおりましたし、森喜朗さんもおりました。そういった頃に書物を読むようになって、政治に関心をもったというようなことでございます。ちなみにこの青嵐会という名は、石原

慎太郎さんが付けたそうです。それで、代表世話人である渡辺美智雄さんがこの選挙区選出ということですから、私は、20代後半の頃から渡辺先生のところに新春懇談会等に通うようになりました。当時、親ほどの年の差のある先輩方に連れられて、そういうところに足を運ぶようになって、政治に少しづつ関心を持つようになりました。ただ、当時は、自分が政治家になろうとか、議員になろうとかは全く考えておりませんでした。選挙の裏方に徹して、ずっと続けておりました。30代後半から40代前半くらいはですね、那須町の選挙の全ての裏方を私がやってました。今でいうと、もうすでに引退されておりますが、国井正幸参議院議員、矢野哲朗参議院議員というところの事務局長をやったり、渡辺美智雄先生、渡辺喜美先生の事務局長それと増渕三津男県会議員もやりました。それはそれで私は充分満足しておりまして、裏方はそれはそれでかなり面白いところがあるもんですから、かなり満足していたんです。ところが、人生何が起こるかわかりません。平成15年に那須町で県会議員の選挙違反がございまして、そのことにより、その県議会議員が失職いたしました。さらに、町会議員が５人も失職する事態となってしまい、その補欠選挙をしなければならないということになりました。その失職をした一人が、私が支援をしていた方で、家も数百メートルしか離れてない、当時、副議長だったのですが、そんなことで急遽白羽の矢が当たって立候補したということでございます。このことが、そもそも私が政治の表舞台に立ったきっかけなった訳です。

【那須町議会議員時代】

当時、年齢は47歳ということでございまして、その当時一番若い議員でした。那須町は、那須塩原と比べますと保守的な町ですので､町会議員になるためには、どうしてもある程度の年齢にならないと、なかなか周りから認められないという時代にあったんですが、たまたま私は47歳で立候補することができました。その際、皆様方のご支援をいただきまして、図らずもトップ当選させていただきました。その後３年半ほど１期目の議員を務めました。その中で、私は当時から、割と過激な議員だったのかなというふうに思っておりまして、初議会の時から先輩と散々やり合いました。このことは、今でも語り草になっているようです。当時は、１期目の議員は、１年間ぐらいは黙っているのが普通の時代でした。１年間ぐらいは雑巾がけをしろということで、殆ど発言しないのが通常でしたが、１期目でしかも初議会の時から散々議論したということで、当時の議員の方から今でも少し皮肉られたりするということでございます。その後19年になりまして、２期目を迎えることになりました。これは通常選挙ということでしたから、普通通りの選挙戦を戦いまして、これもお蔭様で皆様方のご支援をいただきまして、トップ当選で再選することができました。

【町長選挙挑戦の背景】

このようなことで、那須町の議員という立場で、ある程度町政運営というものの、責任の一端を担っているということで考えていた訳ですけれども、当時の那須町の情勢は､実は､少し閉塞感がございました。ちょうど民主党が躍進したりとか、色々と政治の流れが変わりつつある時でもあったんですけれども、どうも閉塞感があって町民と行政、また、行政のトップと議会といったところの関係が上手くいってなかったということがございまして、色んな意見を聞くようになりまして、その時に、当時の同期議員との中で１年間にわたりまして、内密に色々と画策をしたり、議論をしたりして町長選挙に向けて協議を続けておりました。しかし、いたずらに選挙をしたくてやっていた訳ではありません。その当時の那須町の閉塞感を何とかしたい。このままでは、ますます近隣自治体から遅れをとってしまう。そうならないためには、今、変えるしかない。新しい風を起こさなければならない時だ。そういうことで協議を続けて、その結果、私がその候補者ということになった訳です。私も清水の舞台から飛び降りたというような思いで決心をしたところであります。当時、2010年でしたが、急遽、立候補の記者会見をした訳ですけれども、それまでは、敵を欺くには見方からということで、女房にすらそのことを伏せておりました。それで、突如、新聞に出たものですから、町は大変な騒ぎになりました。私はその時54歳でしたので、中には、議員も１期半しか務めてないのに、早過ぎるのではないか。議長も務めてないのに、そういう男では、まだまだ早すぎるなどと言われました。また、農業をやってた男に何が判るというのか。町政というものは、そんな甘いもんではないんだ。百姓に何ができるんだなどと言われました。また、あんな男では県や国にパイプも無いし、このままいくと、とてもじゃないが那須町はとんでもないことになる等々のご批判もいただきました。ただ､先ほども申し上げましたが､その当時、那須町を何とか変えなくてはならないという思い、パワーが選挙に際して投票に繋がり、お蔭様で、現職に4,000票の差をつけて当選することができました。そういうことで、那須町で７人目の町長に、４年前に初当選させていただきました。

【町長就任後の情勢】

当時は、県内の中でも比較的若い首長だった訳です

けれども、現在では、県内の町村は合併により11しかありませんが、その中では、むしろ年寄のほうになってきました。今は、本当に首長も若返りが進んでおります。栃木県の町長の平均年齢は、52～3歳ということだろうと思っております。そのことを考えますと、今から4年前に54歳で決断したということは、決して早くなかったんだろうと思い返しているところでございます。

それから、いよいよ町長に就任をいたしまして、最初の頃は大変でした。選挙を行ったということですから、町内の中に少し亀裂が起きたり、しこりが出来たりですね、そういったものを解消することが急務でございました。ですからその当時の私の座右の銘は、孔子の言葉で「恕」（じょ）という言葉をよく使って、新聞等にも発表してました。この「恕」という言葉は、簡単にいうと、「何もかも許す」というようなことです。孔子の弟子が、孔子が亡くなる前に、生涯伝えたいことは何かと聞いたら、それは「恕」だという答えが返ってきた。ですから、この言葉を使って、那須町を一体感のある町にしようということで努力をしてまいりました。就任当時は、副町長の人事でも反対をされまして、否決をされてしまったというぐらい、議員さんにもなかなか強力な方がおられ、上手くいかなかったんですが、「恕」の心を持って議会対応に努めた結果、今回の選挙の時には、那須町の議員は16名おられますが、共産党1名を除いて全員が役員になっていただきました。そういうことで、今は、執行部と議会が一体となって上手く動いているなと思っているところです。やはり、何と言っても、町の執行者というのは、議会と上手くやる。馴れ合いになる必要はありませんが、やはり、町政をより高いレベルに上げていくためには、議会との関係をより以上に緊密にしなければならない。そういう意味では、今のところ上手くいっているのかなと思っているところであります。

【東日本大震災・放射能対策】

そんな町政運営を行っておりましたが、今、振り返りますと、町長に就任をいたしましてちょうど1年目、あの東日本大震災が発生いたしました。その日は3月議会の初日でありまして、議会は大体20日間くらいあるんですが、毎日が緊張する訳ではないんです。重要な日というのが何日かありまして、その中で最も緊張するのが初日なんですね。議案を、仮に30本くらい上程しますと、約20本くらいは初日で即決するものですから、色々な議論もしますし、提案理由も述べなければならないということで、一番緊張します。その中で、14時47分に発生した訳です。その日の議会は残りわずかとなり、最後の議案の提案理由のあと1行読めば終わるというようなところで、あの東日本大震災が始まりました。それで驚いて議員さんに、「机の下に隠れてください。」と言って、私も机の下に隠れたんですが、揺れが激しかったもんですから、机がみんな倒れちゃって、それこそ無防備のまんま議場の中で晒されてしまいました。それで那須町の議会場は4階にありますが、一番揺れが激しかったようで、壁の一部は剥がれ落ちるし、電気の一部も落ちてくる、天井の一部も落ちてくるということで、正直、あの時には、このまま終わってしまうのではないかとさえ思いました。その後、3分ほど続いた地震が収まってから、下におりていってその被害の甚大さに驚いたということでした。今回の東日本大震災による那須町の被害は、公共事業だけで、20数億円ということになります。これは大変な被害です。ただ、この間の豪雪による被害も、農業で7億円。全体では10億円に上りますから、それからいたしますと思ったほどではなかったということですし、かつて、那須町では「那須水害」ということが平成10年にありまして、この時の被害額は690億円ですから、それから比べますと、さ程ではなかったということであります。一方、東日本大震災の時に一番感心したのは、職員が落ち着いていたことです。那須水害の復旧を行った経験があったものですから、どの職員もそれほど慌ててなかったんですね。それで、震災直後に外に対策本部を設けて会議を始めたんですが、誰も慌てることなく、やるべきことを次から次と出してきて、やり始めました。このときは、那須町の職員というのは大変立派だなと思いました。一例を申し上げますと、住宅の被害を証明する罹災証明というものがございます。県内他市町村ではやっとその調査に入ったころには、那須町では既に500軒分くらいの証明書を発行しておりました。それくらいスピード感がございました。これだけでも那須町の職員の対応の機敏さが窺えるのかなと思っております。震災による被害につきまして、何とか1年ぐらいで対応できましたが、一方で、放射能汚染による被害は大変なものがございました。今でもその尾を引きずっております。その対策といたしまして様々なことをやってまいりました。この放射能対策は、各自治体の評価を分けたと思っております。被災者受け入れがどうだとか、放射能対策をどのように、的確にできたかどうかとか、このことが自治体だったり、首長の評価を左右する結果となったということですから、本当に怖いことだったなと思っているところであります。ただですね、どこの自治体の首長も、初めての経験ですから、本当に真剣にやってきたことは間違いありませんので、ちょっとした匙

加減で色々な評価に分かれてしまったということだろうと思っております。那須町の放射能対策につきましては、国や県の助成に頼らず、独自の対策を次から次に打ち出してまいりました。このことが町民の安心感を生み、町民と行政との一体感が出来ているのかなと思っているとこであります。

【現在の政治方針】

そんな中で、時間も少なくなってきましたので飛ばしますが、先ほど、私が政治に携わるきっかけについてお話をいたしましたが、青嵐会であったり、三島由紀夫であったり、渡辺美智雄先生であったりというお話をさせていただきました。本来ですと、私もそういった方向で自分の政治信念を貫けば良かったんですけれども、現在私は、首長としての責任を果たすことの方が優先すべきであろうと考えております。従いまして現在は、それまでの方針を変えて、政治姿勢というものを軌道修正しつつございます。と申しますのは、私が首長になりましてから、県や国に行って色々な方とお話をします。時の首相であったり、政権与党であったり。また、県で言えば知事であったり、県政与党であったり、こういうところと気脈を通じてるといいますか、近い所でなければ自治体の長として、なかなか仕事が出来ないということになりまして、自分の信念ばかりを掲げて町民に迷惑をかけるよりは、自分の信念を曲げても町民のためにやるべきであろうと考えまして、一部にはこれまでの流れと違うのではないかとのご指摘をいただいておるんですが、私はこれは強い信念を持ってやっているとご理解をいただければと思っております。ただ、お蔭様で知事の厚い信頼もいただいておりますし、県政与党との信頼関係もできました。また、皆様のお世話により誕生いたしました、例えば、高橋参議院議員とかそういった方々ともホットラインで結ばれております。そういった意味でも、新たなステージに那須町を導くことができたのではないかと考えております。このようなことで、方針転換をしたことに対し、今のところ全く後悔をしておりません。皆様のご理解をお願い申し上げたいと思います。

【今後の町づくり】

そういった中で、これからの町づくりでございますが、皆様方にこういった資料を配布いたしました。これは選挙の時の私のマニフェストでございます。裏面を見ていただきますと、私がこれから４年間にやるべきことが書いてございます。九つのジャンルに分けまして四十三の公約を掲げております。こんなに公約を書くと達成率が悪くなるから、もっとぼかして書いたらどうかとプロの方から言われましたが、これからに時代は、解り易い公約を掲げて、それを実践したかどうか。それを町民に知らせることが大事であると思っておりまして、こんな形にさせていただきました。その中で那須町は、久しぶりにこの4年間から数年間は、大型公共投資をやって行く時期を迎えたと考えております。大変厳しい財政の中、緊縮財政といったことも選択肢のひとつではありますが、あまりそれが過ぎますと町民に活力が生まれません。また、昔の建物等が老朽化したり、時代の流れが変わってきたということもありますので、そういう分岐点にきているのではないかと思っておりますので、新しい分岐点、流れを見るためには先行投資をする時期にきていると思っております。例えば、那須街道にございます「那須高原友愛の森」という道の駅がございますが、これを大々的に改修をいたしまして、関東一の道の駅にしようという計画を立てております。道の駅は全国で1050か所ございます。道の駅の過当競争時代が始まったんですね。ですから、今まで売れてたからいいやということで胡坐をかいておりますと、そのうち誰も来なくなる。ですから、いち早くこういったものを改修していく。このことが、次の観光客を呼ぶための一つの布石になると思っておりまして、恐らく、那須町始まって以来の大事業になるだろうと思っておりますし、また、総合運動公園なども整備していこう。人口が減少する中、そんな大きなものが必要なのかというご指摘もありますが、これからの町づくりをするための先行投資であると思っておりますので、そういう流れ、時期をきちんと見極めたうえで、これを実現して参りたいと思っております。

少し時間を超過しましたが、そんなことでこれから町づくりを進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それからもうひとつ、皆様にお配りいたしました資料、那須町と那須塩原市との比較表というのがございます。詳しくご説明したいと思っておりましたが、時間が過ぎておりますので、後ほど皆様方にお目通しいただければと思います。隣町であっても、こういった形で比較をして、自分の住んでいるところがどういった状態にあるかということを、冷静に判断する機会というものはなかなかございません。私も、今回この資料を作りまして、なるほどと思っているぐらいでございます。また、大田原の市政、概要については、つぶさに調べておりませんので掌握しておりませんが、こういったこともご参考にしていただければ何かのお役に立つかもしれません。

本日は、卓話ということでお声をかけていただきました。早口で、単なる私の身の上話程度のお話しでしたので、皆様方にとりましては大変聞きづらい時間

だったかと思っております。これを機にこれからもまた誘っていただければと思っております。何れにしましても、これからの時代は、広域的な繋がりが大事になってくるんであろうと思っております。市町村合併という形ではなくても、今までのような各自治体が独自に運営するのではなくて、その境を越えて連携していく時代であろうと考えております。そのためには、那須町と旧黒磯は、親子とか夫婦のような間柄でございますから、そういった意味でこれからも那須町と那須塩原の発展のために私も努力してまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆様方の貴重なご助言であったり、ご提案をお待ちをしております。本日は、拙いお話しにお付き合いいただきまして本当に有難うございました。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

平山　　博君　平山年度第 40 回例会を記念して。
田中　　徹君　一寸したことがあったので・・・・。

● 4 月 23 日欠席(敬称略)
稲垣政一・植竹一裕・遠藤清和・黒澤洋一・鈴木隆子
瀬尾紀夫・髙木慶一・橋本佳明・深町彰・須藤舜生
室井次男

● 4 月 16 日欠席(敬称略)
欠席植竹一裕・遠藤清和・黒澤洋一・高根沢邦夫
福田逸男・村山茂・須藤舜生

○ 前回 4 月 16 日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・黒澤洋一・高根沢邦夫・福田逸男・村山茂

○ 前々回 4 月 9 日分メークアップ(敬称略)
田中徹

次回例会　　平成 2 6 年 5 月 7 日　　スマイルボックス

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３２回　平山年度　第４１回　会報　２０１４-５-７　司会　植竹一裕君

お客様

○　一年交換留学生　ニコルさん



先日は、ホストファミリーの知り合いの所で振袖を着せてもらい、お茶会をしました。日本で初めて着物を着て、ひもを何本も締めたのでとてもきつかったです...着物を着る時はとても手間や時間がかかりますし、昔の日本の女性は本当に大変だったと思いました。

午後は大田原市の道の駅で市制60周年記念イベントを見に行きました。大田原市のアニメキャラクター与一くんの誕生会に各地のアニメキャラクターが駆けつけてきた中に、私の大好きなフナッシーもいました。ずっと前から本物を見たかったのでとっても嬉しかったです。

先週の土曜日は秋葉原に行きました。そこは電化製品とアニメが有名ですけど、私は電化商品にあまり興味ないですから何も買わなかったです。メイド喫茶で可愛いメイドさんと一緒に写真を撮りました。お嬢様と呼ばれてちょっと恥ずかしかったのですが...アニメ商品を売ってるお店とアニメキャラクターの看板がたくさんありました。さすが秋葉原だと感じました。また平山会長に連れてっていただいて、ボーリングを生まれて初めてやりました。最初は下手なので、ガーターばっかり入っていました、しかし平山会長は、昔取ったきねづかで上手なので、いろいろ私に教えていただき、その後ストライクが二回も出ました！本当に感謝しています。

会長挨拶　平山博会長



４月30日水曜日はロータリークラブ例会は休会でした。久しぶりに大役（会長）から解放されました。おりしも新緑の季節となり、夏の気配が現れてくるこの時期、外で美味しい空気を吸い、新緑を眺めながら、心身共にリフレッシュさせていただきました。又、残り2ヶ月を、どのようにしめくくるか思い悩む日でもありました。

４月後半から５月の初めにかけて、RC事業や、連休中での国の行事がありました。さかのぼって感じた事を日記風にまとめお話させていただきます。

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日5月7日	42(2)	32(1)人	9(1)人	80.0%	*	
前　回4月23日	41(2)	30(0)人	11(2)人	76.9%	6人	92.3%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

4月26日（土）足尾の山に100万本の樹を植えよう！第19回春の植樹デーが黒磯高校インターアクトクラブ、一年交換学生ニコル、ロータリー会員計24名が参加し楽しく行われました。インターアクト生徒達は100段の階段を登って945mの山腹に植樹、私達会員は平地に植樹、恰好と、口だけは達者で、若者たちにはかないませんでした。植樹した木々が、元気に育つことを祈りながら帰って参りました。

4月29日は「昭和の日」、今年で8回目となります。「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み国の将来に思いをいたくす」と祝日法にうたわれています。4月29日は言うまでもなく、昭和時代の天皇誕生日でした。昭和天皇の崩御後は「みどりの日」となりましたが、昭和を振り返り昭和天皇を思い偲ぶ事が大切との国民の強い声を受け「昭和の日」に改められた訳であります。

米国に端を発する世界恐慌、満州事変・・・と不穏な空気の中で始まった昭和時代はやがて、我が国開闢以来の敗戦に至る。が戦後はめざましい復興を遂げ経済大国と言われるまでに発展しました。奇跡の復興を果たせたのも、国民と常に苦楽をともにされた昭和天皇を中心に国民が一つにまとまり多くの国民が伝統的な価値観である、勤勉さや忍耐強さ、助け合いの精神を失わなかったからに違いありません。

5月1日本来ならば、メーデーの日ですが、本年は4月26日に「第85回メーデー中央大会」が東京代々木公園で、行なわれておりました

5月2日は八十八夜です。立秋から数えて、ちょうど八十八日目にあたります。唱歌「茶摘み」の中では「夏も近かずく八十八夜」と歌われています。特に八十八夜の日に摘んだ新茶は栄養価が高いとされ、古くから「不老長寿の縁起物」として、珍重されてきました。カテキン、ビタミン、テアニンなどが含まれ虫歯予防、整腸作用、疲労回復、さらには抗ガン作用や美肌効果、老化防止といった、多くの効用があるとも言われています。

5月3日、本日は憲法記念日です。昭和22年5月3日に日本国憲法が施行されたのを記念し、「国民の祝日に関する法律」によって制定されました。我が国では憲法を含め、民放・商法・刑法・民事訴訟法・刑事訴訟法が主要な六つの法典です。この「六法」をベースに、日本の社会生活は成り立っています。とくに憲法は、国家の統治全般にわたる基本を定めた法典です。世の秩序を守るために、法律や決め事の、存在は欠かせません。企業には「就業規則」があり、お客様や取引先と交わす「契約」があります。信用を築くには時間が必要ですが、それを失うには一度の破約で十分です。ルールをしっかり守って、信用第一の人間、企業をつくることが求められます。

5月4日は、みどりの日「自然に親しむと共に、その恩恵に感謝し豊かな心を育む」ことを趣旨とした祝日です。

5月5日は「こどもの日」です。端午の節句とも呼ばれます。端午の節句は、奈良時代から続く古い行事です。当時は強い香気で厄を払う菖蒲や、「よもぎ」を軒につるし、また湯に入れて菖蒲湯として無病息災を願いました。江戸時代以降は、男子の節句とされ、鎧や兜を飾り、鯉のぼりを立てて男子の成長や立身出世を願う祭りとなりました。初節句には「ちまき」を食べ、二年目からは新しい芽が出るまで古い葉を落とさないことから、家督が途絶えない縁起物として「柏餅」を食べます。

今日5日は二十四節気でいう「立夏」です。いつものように連休は空けましたが、いつもと違った、充実した連休でありました。

5月11日は、母の日です。

今日の道歌は、親子の愛情を知る道歌です。

いつまでも　あると思うな　親と金
ないと思うな　運と災難

ずっとあるものだと思って安心しているだろうが、親はいつまでも、生きてはいないし、お金にもかぎりがある。あるときに大事にすべきは親とお金である。災難には用心しないといけないが、運はいつか巡ってくると希望をもっていれば、心は軽くなる。

幹事報告　石山桂子幹事

○ 第9回那須塩原市ハーフマラソン実行委員会より、資料が届いております。平山博会長にお渡し致しました。
○ RI日本事務局より、財団室ニュース5月号が届いております。回覧中です。
○ クラブ細則の変更を5月21日の例会時に行います。
○ 例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役委員の皆様、引き続きお願い致します。

委員会報告　和気勝利副会長

○　髙木慶一新世代奉仕委員長

4月26日(土)足尾植樹デーに黒磯高校インターアク



トクラブから12名、顧問の先生2名、黒磯ロータリークラブから10名、合計24名で参加して来ました。天候に恵まれ楽しい植樹会でした。黒磯に戻り道とん堀で懇親会を開催、黒磯クラブ会員とインターアクトクラブ会員がお好み焼きの共同作業でおいしいお好み焼きや焼きそばなど作り親睦を深めました。

○　荒井昌一社会奉仕委員長

今年も那珂川の水質調査を行います。今週より出席を受け付けますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日　時　6月7日（土）～8日（日）
場　所　三斗小屋温大黒屋泊
宿泊費　10,000円

○　和気勝利クラブ奉仕委員長

5月14日は、クラブ奉仕委員会のクラブフォーラムとなっております。

本来はクラブフォーラムをするべきですが、平山年度の卓話では、クラブ奉仕委員会の卓話としては最後の時間となってしまいますので、クラブ協議会的要素の各委員会の本年度報告・途中経過等の発表と各委員会での今年度の問題点・引き継ぎ事項等ございましたら、クラブフォーラム的に提起していただき、ディスカッションしていきたいと考えておりますので、各委員会の発表ご準備等よろしくお願いいたします。

発表の順番は、現況報告書の記載順といたします。

卓話　スマイルボックス委員会

○　大森貞男委員長



スマイルボックス委員会は委員長大森貞男、副委員長福島泰雄、委員に深町彰、小野安正の4名で行っています。本年の目標は一人30,000円です。今日現在の達成率は85.1%ですので、残り約2月間ありますので、皆様宜しくお願いいたします。

本日の卓話は、自分の事で恐縮ですが、趣味でやり始めたダイビングのお話をしたいと思いますので、最後まで宜しくお願いいたします。

なぜ　ダイビングを始める気になった理由は・・・・今から11年前にハワイに旅行に行きました。その時海に潜れる事を聞いたので、早速事務所に参りましてポイントまで行きまして、誓約書を読んだところ、サインをほしいとの事でした。目を通して最後に血圧関係の質問に高血圧で入院したことが有りますと答えましたら、早速、高血圧はだめですと答えがかえりました。船はポイントまで行っているのですから、どうしますか、と聞かれましたのでここから元の船着き場で帰るのなら、少し遊んで帰りますと、モーターバイクに乗り、一人で乗っているのは私だけでしたが、それでその日は終わりました。黒磯に帰りかかりつけのお医者さんに相談をいたしました。どうしてもダイビングをしたい、でも血圧が180ミリを超えたら止めますので、許可を下さいとお願いしたのが始まりです。

宇都宮駅ビルの最上階でダイビングの練習が出来ますよと、案内をされ、週2回程度の練習をいたしました。ライセンスは沖縄県前田岬で取得をいたしました。丁度その時台風が来ておりまして、飛行機が降りる事が出来ず1時間ほど旋回をしてその後やっと降りる事が出来ました。早速ショップに連れて行かれまして、インストラクターと海に行きましたが、インストラクターが海の中を見てきますと言って潜ぐりましたが、直ぐに浮上して、こんなにうねりが有ると、潜るのは出来ないといいました。場所を移動して岩の陰で波があまりない所で、取り敢えず潜りました。3日間の予定の1日目でこんな状態では明日はお休みを致しますと言われて、その晩は沖縄産泡盛を飲みすぎました。次の朝起こされまして、やはり、今日はお休みですと言われ、だめでした。一日中つらかったです。これが始まりですね。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

植竹　一裕君　3週連続して休み、申し訳ありませんでした。
大森　貞男君　本日は卓話です。スマイルボックスも残り2ヶ月を切りました。
檜山　達郎君　平山年度も残り2ヶ月となりました。ご苦労様です。
礒　勝彦君　小野さん。バイクの季節ですね。
荒井　昌一君　4月20日、第19回の植樹デー(足尾植樹)に総勢24名で行って参りました。好天に恵まれ、桜が満開でした。

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

高根沢邦夫君（1936 年 5 月 10 日生）



そのとき妻のお供で、鍋掛のマッサージ屋の駐車場の車の中にいました。気がつくと、自分の車が揺れていました。最初は、誰かの悪戯かと思い、周りを見渡しましたが、そうではなく、隣のコンビニから大勢の人が出てきて、立っていられずにしゃがみ込んでいたので、地震だと気がつきました。私の車の揺れは、前後のみで、座席はほとんど揺れていなかったのを不思議と覚えています。帰りに寄ろうと思ったスーパーはすべて閉まっていました。木の俣の橋の両側が陥没しており、通行できず、穴沢経由で帰宅しました。板室はあまり揺れなかったようで、器の被害がなかったのは幸いでした。

誕生祝



半田久一君、高根沢邦夫君

結婚祝



髙木慶一君、田中徹君

● 5 月 7 日欠席(敬称略)

遠藤清和・吉光寺政雄・髙木茂・月江寛智
橋本佳明・深町彰・大島三千三・豊田哲司
須藤舜生

○ 前回 4 月 23 日分メークアップ(敬称略)

稲垣政一・植竹一裕・黒澤洋一・鈴木隆子
瀬尾紀夫・髙木慶一

次回例会　　平成２６ 年５ 月１４ 日　　担当クラブ奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３３回　平山年度　第４２回　会報　２０１４-５-１４　司会　高木茂君

会長挨拶　平山博会長



先週５月11日は「母の日」でした。「おかあさん」から生まれてこないと言う人は、この世に存在しません。

私達の命にとって、「おかあさん」という存在は絶対不可欠です。

一般的に十月十日といわれる妊娠期間中に，胎児と羊水を合わせて数キロの重さがお腹に納まっているそうです。この状態で、日常生活を送るだけでも大変なことです。分娩中の安全も 100%とは言えません。

生まれてくれば昼夜を問わず、目を離すことができません。「おかあさん」は自分のことは後回しして、私たちに命を育んでくれたのです。この偉大なる働きに思いを馳せることは、自分の命を尊ぶ事に繋がります。

私の母親は、大正 10 年生まれの 93 歳です。大森貞男会員の母親は 98 歳です。

また荒井昌一会員の母親も 94 歳 , 石山桂子会員の母親トミさん89歳、時庭稔会員の母親キミさん89歳、みなさんお元気です。

戦前、戦後はほとんどがお産婆さんにお世話になりました。私を取り上げたのは近所の山口産婆さんとの事。逆子で苦労したと、この時期になると母は待ってましたと話し出します。こんにち、私たちがこうして仕事ができるのは、両親をはじめとする周囲の人たちのお蔭です。それに応えるためにも、日々、良い仕事をして行きたいものです。「母の日」は過ぎましたが、日頃忙しくしている私達は、母親とゆっくり接する機会が少ないと思います。あらためて「母親」への思いを深めてみてはいかがでしょうか。５月 11 日は天気が良かったので、母親の布団を干してあげました。まぁ、いい倅でしょう。

今日の道歌　　親子の情愛を知る　その１

這えばたて　立てば歩めの　親心
わが身に積もる　老いを忘れて

親というものは、子供がハイハイすれば立てと願い、立てば歩けるようになれと願う。自分がしだいに年を取っていくのも忘れて、子の成長を願うものだ。

親が子を思う心は強く偉大である。自分がどんなに大変な思いをしても、子供にだけは辛い思いをさせまいと必死に頑張る。こうして長い歴史のなかで親が子に、その子がまた次の子にと幸せを願ってきて、今日の人々がいる。そう思うと、人間のエネルギーのすごさ、そして切なさが感じられる。

親の情愛を知る　その２

うち向かう　鏡に親の　懐かしき
わが影ながら　形見と思えば

鏡にむかった時、親の懐かしい顔がそこにあつた。自分ながらに、そこに亡き親の面影を見る。親の形見の自分であると思うと、親が懐かしい

何気なく覗いた鏡の中に、親とそっくりな自分の姿を見て、はっとした事がないだろうか。これは不思議

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 5月14日	41(2)	25(0)人	16(2)人	69.2%	*	
前　回 5月 7日	41(2)	32(1)人	9(1)人	80.0%	3人	90.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

な感覚であろう。親が亡くなっても、親の多くの思いが自分の肉体や精神に受け継がれている。まさに親の形見である。親を懐かしみ、ありがたさを感じ、形見を大事にしながら生きて行く。

これが親の思いを受け継いでいくという事であろう。

親の情愛を知る　その３

孝行を　したい頃には　親はなし
孝のしどきは　今とこそ知れ

幹事報告　石山桂子幹事

【第 42 回幹事報告】

去る、5月7日に開催されました理事会の審議事項から申し上げます。

○　6月のプログラムの件、承認されました。
尚、米山奨学生のレ・ハイアンさんが5月28日の夜間例会に出席致します。

○　那須野ふるさと花火大会に協賛金として5万円承認されました。

○　那須塩原市国際交流協会に協賛金として1万円承認されました。

○　須藤舜生会員より、退会の提出がありました。

○　新入会員・大島三千三会員の所属委員会は出席委員会です。

○　新世代奉仕委員会主催で6月1日～2日にかけて、ニコルを同伴し奈良・京都に行く予定です。

○　ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま 170 号が届いております。回覧中です。

○　大田原ロータリークラブより、週報が届いております。併せて回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　クラブ定款細則委員会半田久一委員長

21 日の例会において、細則の改訂を行いますので、クラブ現況報告書をご持参下さい。

○　会計　田中　徹会計長

旅行愛好会積立金、４月～６月分を栃木銀行より5月 20 日(火)に引落ますので宜しくお願い致します。

クラブフォーラム　クラブ奉仕委員会

○　和気勝利副会長

クラブフォーラムは手続要覧を見ますと、「奉仕活動について会員に情報を伝達することを目的とする全クラブ会員の公式会合」となっております。そこで今日は、クラブ奉仕委員会の中から会員皆様に伝達したい項目を拾ってディスカッションしたいと考えております。通常ですと会員の中から議題を指摘していただきその後会員の皆様よりご意見をいただく手法が一般的のようでしたが、今年度最後のクラブ奉仕委員会の時間ですので、クラブ協議会的要素もふくめて発表・討論を始めたいと思います。



今日は、元会長の佐治さんの奥様の葬儀のため、出席が少ないですので、委員長に限らず出席されている委員の方も指名しますので、よろしくお願いいたします。それでは先ず出席委員会、高根沢邦夫委員からお願いいたします。

○　高根沢邦夫出席委員会委員

当委員会としては、今年度は問題なく活動が出来ていることを報告します。

○　和気副会長

メークアップについてですが、稲垣さんどうですか？

○　稲垣政一出席委員



入会して間もないので、私自身は欠席することなくロータリーを理解して行こうと思っています。まだ、他クラブにメークアップしに行ったことはありません。

○　福田逸男出席委員



他のクラブへの例会に出席すると勉強になるし、楽しいですよ。推薦した会員はお供して下さい。ロータリーライフをもっと楽しんで下さい。

○　和気副会長

欠席した時の MU のシステムについてはご存知ですか？それでは私から質問させていただきますが、ほかのクラブで MU した事のある方は手を挙げてください。

なるほど半数の10名位の方が経験した事が無いと言うことですね。他クラブでのMUは親交を図るという意味でも良いことですので、大いにして頂きたいと思います。私事ですが、入会したての頃、当時の会長さんに連れられて、那須クラブに真面目にその週のうちに MU に行っていたのを思い出します。

それでは次に会報委員会の齋藤委員長お願いします。

○　齋藤武久会報委員会委員長



会報委員会の事業は年度末になって完成するので、まだ実行途上です。そこでまたまたお願いです。原稿は速やかに提出のほどお願いします。

以前は、次の例会日までに完成しレターボックスに投函する。会員はそれを出席して見ると言うスタイルでした。

デジタル配信になりますと、そこまで待たせる必要がないわけです。委員会報告の中には、その週末の重要な行事の案内が多数含まれています。出席しなかった会員は以前ならその様な情報を得られなかったわけですね。そこで少なくとも土曜の午後に配信したならば、皆さんに大いに役立つと思って努力致しました。しかし実現できたのは数回です。原稿がデジタルで入手出来れば、あっという間に会報のレイアウトが完成するのです。出来るだけ例会日にメールでよこして下さい。

○　和気副会長

ここ数年の会報委員会メンバーは、ある程度パソコン操作が出来る会員が条件となってしまうようですが、いろいろな会員の方に会報委員をやっていただきたいという観点から、今後の人材確保にはどのように考えていらっしゃいますか?

○　齋藤委員長

今使っているレイアウトソフトは非常に特殊なものですから、それを覚えても将来的に覚えた人の役に立つかどうかは、はなはだ疑問なのです。たとえば、ワードとか一太郎とかですと、極めればそれなりに実社会で役に立ちます。

いずれはその方向に行かなければならないと思って密かに研究していますが、現状ではかなり使いにくくいらいらするのです。ワードのグラフィックスが思うような位置には張り付いてくれない、段落末にある「・・・です。」の「す。」が1人寂しくぶら下がっているのを前の行に移すのが一発では出来ない等々ですね。

それでついつい、死んでしまったソフトを甦らせて使ってしまうのです。ですから、ある程度以上にパソコンの操作に詳しい人ならばついて行けるのでしょうが・・・。操作ができる頃には年度末になってしまうと言う事では、本人にも気の毒です。毎年新しい人を1人入れると言うことは現実的ではないと思います。

○　和気副会長

続いて親睦委員会に移ります。時庭委員よろしく。

○　時庭稔親睦委員

瀬尾委員長が急用で出席できなくなりましたので、預かったものを読ませていただきます。

【観月会】



9月25日石山にて。参加者：会員36名、奥様18名、計54名

津軽三味線ユニットによる演奏会。演奏途中、熱演のため糸が切れてしまったが、直ちに張り替え、何事もなかったかのように演奏を続けていましたが、会員奥様方の一部のかたに、それを気付かれた方がいらっしゃいました。

【クリスマス家族会】

12月18日りんどう湖ロイヤルホテルにて。参加者：会員32名、奥様15名、家族34名、合計81名。

年末ジャンボ宝くじを1家族2枚プレゼント。バルーンアート、サンタさんから子どもさん全員にプレゼント。イントロクイズにより参加者全員にプレゼント。

【新年会】

1月8日石山にて。参加者：会員39名、奥様19名、合計58名。

新春の琴の音の中、午年の記念切手、お花のプレゼント。フォトコンテスト発表（最優秀賞齋藤先生)、年男三名(鳥居会員、村山会員、吉光寺会員）による餅つきで盛り上がりました。

【3分間スピーチ】

『3.11　その時私は何をしていたか？』のテーマの下に、会員の誕生月に3分間スピーチをしていただきました。ある会員は車中で、またある会員は仕事場で等々驚くような様々なお話をしていただきました。

黒磯小学校の卒業生はこの春、累計で12,173名だそうです。比較するのも失礼ですが、その数字よりもはるかに多くの方が、この東日本大震災で犠牲になられております。3年が過ぎ、とかく忘れられてきつつあるようですが、私も何らかの形で支援を続けて行きたいと考えている一人です。

○　和気副会長

問題点はありませんでしたか？

○　時庭委員

毎年のことですが多少マンネリしている傾向は感じます。

○　和気副会長

企画がマンネリ化しない様に次年度との引き継会で申し渡しして頂ければと思います。次、雑誌委員会半

田委員長お願いします。

○　半田久一雑誌委員会委員長

予定通りです。何もございません。

○　和気副会長

それでは会員選考/分類委員会礒委員お願いします。

○　礒勝彦会員選考 / 分類委員会委員

新入会員の入会にあたりなんら問題も無く、職業分類もスムーズに決まりました。

○　和気副会長

次は増強委員会お願いいたします。委員全員欠席ですので会長からお願いしたいと思います。

○　平山会長

増強委員会の檜山委員長のご尽力で３名の新入会員の入会がありました。新井会員のご逝去がありましたので、今のところ年度目標予定の純増５名に対して純増２名という事になっています。引き続き増強を図っていただければと思います。

○和気副会長

それではプログラム委員会の鈴木委員長さんお願いいたします。

○　鈴木隆子プログラム委員会委員長

本年度のプログラムは、会長・幹事のご意向をふまえ、ロータリー月間に因んだ委員会の卓話を組み込んで、自然に意識を高められるように配慮し、計画をたて、運営してまいりました。

○　和気副会長

広報・IT 委員会の福島委員長お願いいたします。

○　福島泰雄広報 / IT 委員会委員長



広報ＩＴ委員会は、黒磯クラブのホームページ充実に重点をおいているので、その為のパソコン操作や写真撮影等に堪能人材を配置する必要があると考えています。

広報ＩＴ委員会に所属する委員は、地区内各クラブや地域社会での情報の収集・提供が必要です。その活動のために所属委員全員のロータリアンとしての名刺を支給することが必要不可欠と思います。

○　和気委員長

それでは、ロータリー情報委員会の福田さんお願いいたします。

○　福田逸男ロータリー情報委員長

今年度は久しぶりに新入会員の教育の為の炉辺会議を開き、私が講師を務め新人教育をいたしました。

○　和気副会長

そうですね。新人教育は最近されていませんでしたので、もっと増やすべきだと思います。次はクラブ資料委員会の吉光寺副委員長

○　吉光寺政雄クラブ資料委員会副委員長

昨年は秋間会長ともども皆様にお世話になりました。

石山さんからお借りしているクラブ倉庫を年度末までに整理したいと思います。

○　和気副会長

スマイルボックス小野委員お願いいたします。スマイルの達成率はどの位ですか。

○　小野安正ボックスボックス委員会委員

現在のところ 89%の達成率となっています。

○　和気副会長

まだまだ協議の時間が必要だと思いますが、以上をもちまして本日のクラブフォーラムを終了いたします。今日の協議が意義あるものになる事を期待します。

☺　にこにこボックス　小野安正君

高根沢邦夫君　孫二人高校入学。一人黒磯高校。一人大田原高校。大田原高校85㎞強歩大会５月 15 日～16 日。

豊田　哲司君　前回欠席して申し訳ありません。

澤田　吉夫君　田植えが終わり、まわりが青々となり、気持ちの良い時期となりました。

半田　久一君　誕生祝いありがとう御座いました。

● ５月 14 日欠席(敬称略)

荒井昌一・高木慶一・佐藤博・遠藤清和・荒牧明二
瀬尾紀夫・鳥居輝一・大森貞男・鈴木久雄・深町彰
黒澤洋一・阿久津誠二・月江寛智・秋間忍・須藤舜生
室井次男

○　前回５月７日分メークアップ(敬称略)

高木茂・大島三千三・豊田哲司

次回例会　　平成２６年５月２１日　　担当クラブ協議会

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３４回　平山年度　第４３回　会報　２０１４-５-２１　司会　高木　茂君

お客様

高福寺住職　楠本信良様

お客様ご挨拶

故佐治和子様御子息　佐治伸隆様



先日は、亡き母の葬儀に際し多数のロータリークラブ会員様にご参列を頂き、まことにありがとう御座いました。

本来なら父とともにお礼の挨拶に伺わなければなりませんが、本日父は、健康になるために病院に行っておりまして、参ることが出来ませんでした。くれぐれもよろしく伝えてほしいとのことでした。

母はロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。特に織り姫会の集まりで、会員の奥様方との交流が忘れられない思い出として残っておりました。近くにお越しの際は、是非お寄り戴き、生前の母を偲んでいただけたらと思います。本当に有難うございました。

会長挨拶　平山博会長



永六輔さんのベストセラーで『大往生』という本があります。

私達もいつか来る時には、大往生したいものですが、では一体「大往生」とはどういう事を言うのでしょか。

私はこれには二つの条件があると思います。まず第一には悔いのない生き方をすると言う事です。「生きてて、良かった」と思える事です。そのためには損得などの打算より、自分の真心に従って生きる事です。次には恐れのない死に方をすると言う事です。つまり信仰により死後の世界を信じ、自分の体や残される物・家族などに未練を残さないようにして、安心して死ぬと言う事です。

これをまとめた私の大往生のイメージは、まず天寿を全うし、ボケずに意識がしっかりしており、しかも体の痛みもなく、一人で逝くのではなく縁ある人に見守られ、二三日寝て、その間に言い残すこと事を全部言い残し、未練を残さずに、感謝して、恐がらずに、お

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日　5月21日	41(2)	30(1)人	11(1)人	75.0％	*	
前　回　5月14日	41(2)	25(0)人	16(2)人	69.2　％	11人	92.3　％

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

念仏を称えながら逝くと言う事です。ちょっと欲張り過ぎですかね？

「信じるものをもっている人は、死ぬことを納得出来るが、信じるものをもっていない人は納得できない」と言われます。体の痛みはお医者様にお任せですが、心の恐れは信仰によって解決するしかありません。そしてそれは、最後の瞬間にゆっくり考えられるようなものではなく、元気な時に考えることがらであり、解決を見出していくべきことがらなのです。そうしてこそ最後に「大往生」できる場合もあるということです。まずは信仰をもつことから始めましょう。

今日の道歌

親のまえ　不幸のみにて　神ほとけ
助けたまえと　言うぞおかしき

親不孝ばかりしていて、自分が苦境に立つと「神様、仏様！助けてください」というのは道理にかなっていない（まずは、普段親を拝むのが先だ）。

「どうぞ病気を治してください！」「どうぞ合格しますように！」、多くの人は、苦しいときの神頼みをする。普段から神やほとけを信じていない人も、自分の願いがあると神やほとけも拝み、祈る。

幹事報告　石山桂子幹事

○　氏家ロータリークラブより、創立50周年記念誌が届いております。回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　高木慶一次年度会報委員長

次年度も会報をデジタル配信いたします。会報をプリントしてファイルしておきたい方に、バインダーをお配りします。回覧で希望を取っていますので記入して下さい。

○　澤田吉夫会長エレクト

瀬尾次年度幹事が欠席ですので、私が変わりにご報告もうしあげます。

レターボックスに次年度の委員会編成表を入れておきましたので、ご覧ください。よろしくおねがい致します。

卓話　会長担当のクラブ協議会

○　平山博会長

本日は、第４回クラブ協議会、会長の時間です。会長挨拶も本日43回と残すところわずかとなりました。ロータリーは楽しくなければロータリーではないと同時に、常に教養を高める場でもなくてはなません。と言うことで卓話の充実を計ってまいりました。

今回は、高野山真言宗高福寺　住職　楠本信良様にお越しいただきました。

来年開創1200年、大法会が和歌山県は高野山で行われます。本来ならば、このお話と、地元高福寺の歴史や、楠本先生のプロフィールをご紹介したいのですが、時間が無くなってしまいましたので、これらの事を含めて楠本先生にお話をお願いしておりますので、失礼をお許しいただきまして、さっそくお願い致します。

○　髙福寺住職　楠本信良様



「祈りの心」

ある研究グループがチョット変わった実験をしました。二つのグラスに同じ水を汲み、一つのグラスの水に向かって「ありがとう」と心を込めて語りかけます。もう一方のグラスの水には「バカヤロー」とイヤな言葉を投げかけます。そして、その水を凍らせてその氷の結晶を写真に収めようという実験です。

「ありがとう」の氷には奇麗な結晶体が写っており、「バカヤロウ」の氷にはドロッとしたものしか写っておりませんでした。これはラベルに言葉を書き貼って実験しても、色んな国の言葉で試しても同じ結果なのです。しかし、この結果は、誰がやっても出ることではありません。それを信じない人が同じ実験をしても何も写らなかったそうです。

その研究グループは、信心家が多く、絶対にそうなるという信念を持って臨んでいました。と言うことは、水の方が人の心を読んでいるのです。

仏教語の「南無」という言葉がありますが、「信心の誠を捧げ、心から祈ります」と解釈します。真の「南無」の境地で祈る所には、時として科学や常識では解

き明かせないことが起こるものです。
　日本人の祈りは「見返りを期待した御利益的祈りだ」と言われます。「家内安全・交通安全・商売繁盛・闘病平癒・安産祈願・・・・」と苦しいときの神仏頼みは結構ありますね。
　確かに、お詣りしたら何かが得られる、と思いこむ人は多いのかも知れません。祈りが、願い事の結果だけを求めるお詣りなら、結果が成就したときは、感謝のお礼詣りがあります。しかし、それが叶えられなかったときは、その責任を押しつけてしまうことになるでしょう。
　祈ることそのものが功徳であり、祈った後に功徳があるのではないのです。皆さん、全て「南無」の心で祈りましょう。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

半田　久一君　次女の長男・正也の堅信礼（けんしんれい）の祝いのため、ドイツに行ってきます。
澤田　吉夫君　委員長引き継ぎ、ご苦労様でした。
荒牧　明二君　嬉しいことがありました。
大森　貞男君　お陰様で、スマイルボックス委員会は順調にいっています。

誕生月３分間スピーチ
「3 ・11 その時私は何をしていたか」

半田久一君（1933 年 5 月 25 日生）



　あの日あの時、私は那須町大同集落にある「私の美術館」の近くにある、黒磯キリスト教会那須礼拝堂の周りの落ち葉かきをしておりました。
　突然の地震に、揺れ動く大地に立てず、大木にしがみつく自分の姿に唖然としました。しばらくして揺れが治まり、我にかえる。・・・
　その地震が巨大な津波を起こし、福島第１原子力発電所を破壊し、東日本大震災になろうとはあの時思いませんでした。

●　5 月 21 日欠席(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・小野安正・黒澤洋一・佐藤博
瀬尾紀夫・月江寛智・橋本佳明・福田逸男・深町彰
佐治鐵造

○　前回 5 月 14 日分メークアップ(敬称略)
荒井昌一・髙木慶一・佐藤博・荒牧明二・瀬尾紀夫
鳥居輝一・大森貞男・鈴木久雄・黒澤洋一
津久井誠二・秋間忍

次回例会　　平成２６ 年５ 月２８ 日(夜間)　　担当　ＳＡＡ

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

黒磯ロータリークラブ細則の改正

○　平山博会長

5月17日、平山年度より澤田年度に新旧引継ぎ会が行われました。いよいよ、引継ぎの時期が来たかと、嬉しいやら、寂しいやら、有難いやらと正直複雑です。澤田年度が気持ちよくスタートできますように、皆様のご支援をお願い申し上げます。

さて、まず次年度の為、黒磯ロータリークラブ細則の一部の改正を行います。過日、3月26日クラブ定款細則検討委員会を行いました。委員会メンバーは、半田久一さん、相馬征志さん、佐藤博さん、大森貞男さん、時庭稔さん、秋間忍さん、和気勝利さん、そして私会長と、幹事石山桂子さんが出席致しました。

クラブ細則改定について検討し13項目を改正いたします。

提案者2013～2014年度会長の平山博です。半田久一会員が説明いたします。

○　クラブ定款細則検討委員会　半田久一委員長

2013年改訂手続要覧の内容を我がクラブの細則に反映するため、2014年3月23日、下記のクラブ定款細則検討委員会のメンバーが集まり会議を行いました。その結果表のごとく13項目の改正案を作成いたしました。

クラブ定款細則検討委員会メンバー：半田久一、相馬征志、佐藤博、大森貞男、時庭稔、秋間忍、和気勝利。

ページ	場所	改正前	改正後
118	第5条　会合、第1節　年次総会　2行目	年次大会	年次総会
119	第8条　奉仕部門　3行目	新世代奉仕	青少年奉仕
119	第9条　委員会　28行目	新世代奉仕	青少年奉仕
120	第10条　委員会の任務　40行目	新世代委員会	青少年奉仕委員会
120	第11条　出席義務規定の免除※	すべて削除	定款第9条第3節に記載
120	第12条　財務	第12条	第11条
120	第13条　会員選挙の方法	第13条	第12条
120	第14条　第6節	7行すべて削除し、改めて第6節として「クラブは、理事会により推薦された名誉会員を選ぶことができる。」を入れる。 手続要覧2013版220p	
121	第14条　決議	第14条	第13条
121	第15条　議事の順序	第15条	第14条
121	第16条　改正	第16条	第15条
121	第17条　付則	第17条	第16条
121	第17条　1行目	2011年	2014年

※11条が削除されたためそれ以降の条数が一つずつ繰り上がった。

○　平山博副会長

只今、ご説明がありました通りでございますが、ご質問、ご異議はございませんか。

異議なしと認め承認可決とさせていただきます。有難うございました。

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３５回　平山年度　第４４回　会報　２０１４-５-２８　司会　植竹一裕君

☸　お客様

○　ロータリー米山奨学会　奨学生レ　ハイアンさん



☸　会長挨拶　平山博会長



さて、今日は夜の例会ですので、簡単にご挨拶をさせていただきます。『勝者』と『敗者』その１をお話させていただきます。勝ち組、負け組と表現しても良いかと思われます。

『勝者』と「敗者』その１

勝者は、いつも答えを出そうとする。
敗者は、いつも問題点しか出さない。

勝者は、常に計画がある。
敗者は、常に言い訳がある。

勝者は言う、私にやらせてください。
敗者は言う、私の仕事ではありません。

勝者は、あらゆる問題に対して、解決策を見つけようとする。
敗者は、あらゆる解決策に対して、問題点を見つけようとする。

勝者は、バンカーよりもグリーンが目に入る。
敗者は、グリーン周りのバンカーばかり目に入る。

勝者は言う、難しいかもしれません。でも自分はやります。
敗者は言う、やればできるかもしれません。でも難しすぎます。

結論

勝組みは、悲観的に準備して、楽観的に対処する。
敗組みは、楽観的に準備して、悲観的に対処する。
勝者たれ！

つき合いの心がけを教える今日の道歌

喉元が　過ぎて熱さを　忘れては
恩を恩とも　知らぬ世の中

熱いものを飲み込んでも、喉元を過ぎれば熱さを忘れる（たいへんな苦しみでも、やがてそれを忘れえる）。それと同様に、恩を受けた時は感激しても、次第に忘れてしまう人が多いが、それではいけない。

☸　幹事報告　石山桂子幹事

本日は報告事項は御座いません。

☸　委員会報告　和気勝利副会長

本日は報告事項は御座いません。

☺　ニコニコボックス　君

澤田　吉夫君　残り１ヶ月、いよいよ迫ってきた感じです。
小野　安正君　妹夫婦がブラジルから遊びに来て、昨日帰りました。
深町　　彰君　度々の欠席をお詫びします。

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

鈴木隆子君（1955 年 11 月 15 日生）



あっ！地震？と思った瞬間、足元に寝そべっていた犬が机の下にもぐりこんだのと同時に激しい揺れが起こり、棚の物がバタバタと落ちたり、戸棚が倒れ、自分も立っていられず、夢中で部屋の入り口から 2 階にいた家政婦さんの名前を呼びました。彼女が転がるように降りてきて、とりあえず家族全員でひとかたまりになって、出口に近い部屋の隅で固まっていました。外の様子を見る余裕もありませんでした。

揺れがおさまって家の中を見渡すと、どの部屋も足の踏み場もないほど物が散乱し、何か急に異次元空間に入ってしまったかのような気持ちになりました。

仕事に出でいる社員達に電話をしてみましたら、運良く繋がりまして、それぞれの無事が確認できて、とりあえずほっとしました。

外で人声がするのに気づき、ようやく表に出てみると塀が崩れて風景がまるっきり変わってしまっていました。隣近所でやはりそれぞれの無事を確認しながら、近所の人同士で協力しあって崩れた石をとりあえず空き地に運び、道路の障害物を片付けました。

暫くすると、鈴木久雄さんが来てくださいました。以前に家を見て頂いたことがありましたので、もしや崩れているのではと、専門家として心配してくださってのことでした。掃きだしの窓が地震でずれて持ち上がって閉まらなくなってしまっていたのをすぐに直していただいて本当にありがたかったです。

情け容赦のない恐ろしい大津波や、まだまだ本当の恐ろしさが明らかにされていない原発への被害など、人間の想像をはるかに超えた自然のエネルギーの如何に強大なことか、そして、そんな中で、人と人とのつながりの大切さ、暖かさを身をもってあらためて感じさせられました。

クラブ懇親会：レ・ハイアンさん歓迎会

○　司会　植竹一裕君



○　挨拶　平山博会長

平山年度最終のクラブフォーラムとなりました。

クラブフォーラムとは、本来のクラブの問題点を提起するのだと、和気副会長に言われましたが、何故かクラブホーラム 1 回目から 5 回目まで、楽しい夜の例会になってしまいました。出席率も良かった事だし、皆様に喜んでいただきましたので、良しとしたいと思います。

ところで、本日は米山記念奨学生、レ　ハイアンさんの歓迎会も兼ねております。カウンセラーの米山記念奨学会黒澤洋一委員長、1 年間宜しくお願い致します。一年交換学生、ニコルと同様、大事にお預かりしたいと思います。

○　黒澤洋一ロータリ米山記念奨学会委員長



4 月 13 日に米山カウンセラーと奨学生のオリエンテーションがありました。本年度は21名の奨学生が決定いたしました。出身国はアルメニア、スリランカ、モンゴル、中国、ベトナム、カメルーン、セネガル、台湾です。当クラブには、ベトナム出身のレ　ハイアンさんが配属されました。

ハイアンさんは、宇都宮大学修士 2 年生で地球環境デザイン専攻です。奨学期間は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までです。平山年度から澤田年度にかけお世話することになりました。宜しく御願いします。それではレ ハイアンさんをご紹介いたします。

○　ご挨拶　レ　ハイアンさん



ベトナムのハノイから参りましたレ　ハイアンと申します。

現在、宇都宮大学大学院の都市計画研究室に配属されています。ロータリー米山記念奨学金を頂いて、心から本当に感謝しております。

なぜならば、自分の生活や勉強を支えてくれるのは家族だけだと思っていましたのに、日本人の方々が一所懸命働いて、自分のような留学生にも支援して頂けるからです。そう考えたら、ここにも自分の家族が出来たではないでしょうかと感じています。この支援のおかげで、バイトを休んで、研究と就活を集中して進め、戸田建設株式会社の内定を頂きました。これからの１年間は短いですが、ぜひ色んな交流と地域貢献の活動に参加したいと思っています。本当にどうもありがとうございました。

○　乾杯　澤田吉夫次年度会長



ハイアンさん、黒磯クラブへようこそ！！！



ハイアンさんを囲みお世話係一同



楽しいお酒の豊田さん、津久井さん
稲垣さん、荒巻さんです。



宴もたけなわ、皆様お疲れ様です。



和気勝利副会長の音頭によりめでたく中締めとなりました。

次回例会　　平成 26 年 6 月 4 日　　担当クラブ協議会：次年度会長・幹事

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３６回　平山年度　第４５回　会報　２０１４-６-４　司会　鳥居輝一君

会長挨拶　平山博会長

去る６月１日、２日、一年交換学生ニコルとの日本文化に触れる旅、大阪京都へ、相馬征志カンセラーご夫婦初め、高木慶一青年奉仕委員長ご夫婦会長、幹事、ホストファミリーの皆様のご協力をいただき、楽しく行うことができました。大変有難うございました。

大阪も京都も、記録に残る猛暑でした。一日目大阪編、大阪城見学の後は本場「串カツ」「たこ焼き」を食べ歩き、その後は京都で、豆腐料理を堪能、二日目京都編、ジャンボタクシーで清水寺、金閣寺、京料理、三十三間堂、高台寺など、ニコルも大喜びであり、日本での心に残る思い出の旅ができた事と思っております。実は、ニコルにかこつけ我々の方が正直楽しませていただいたのかもしれません・・・。ニコルも残り一か月となりました。もうすぐお別れです。一杯わがまま、いちゃいましょう。



今日は、前回の『勝者』と『敗者』のその２をお話させていただきます。

『勝者』と『敗者』その２

勝者は、変化を認識して対応する
敗者は、変化に振り回される。

勝者は、慣れを危険とみなす。
敗者は、未知数を危険とみなす。

勝者は、過去から学んだ人生に生きる
敗者は、過去に生きる。

勝者は、小さな勝利を積み重ねる。
敗者は、一発で大きな成果を得ようとする。

勝者は、自由な時間を投資する。
敗者は、自由な時間を浪費する。

勝者は、問題をまっすぐ通りぬける。
敗者は、問題の周りをグルグル回る。

勝者は、約束した事に責任を持つ。
敗者は、約束した事に責任感が乏しい。

勝者は、自らの無知を知る。
敗者は、自らを何でも知っていると思い込む。

勝者は、必要なものを自ら構築する。
敗者は、必要なものを与えてくれるのを待つ。

結論

勝組みは、　自らの職務に誇りを持っている。
敗組みは、　自らの職務をこなしているだけである。

以上、私の人生そのものである。もちろん残念ながら、敗者の方が多いので。

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 6月 4日	41(2)	31(1)人	10(1)人	77.5%	*	
前　回 5月28日	41(2)	30(0)人	11(2)人	76.9%	8人	97.4%
前々回 5月21日	41(2)	30(1)人	11(1)人	75.0%	5人	87.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

今日の道歌

知らぬ道　知ったふりして　迷うより
聞いていくのが　ほんの近道

知らない道なのに、知ったふりをして、いって迷うよりも、初めから聞いていった方が、けっきょくは近道となるものだ。自ら考え調べ、それでもわらなかったら、うやむやにしないで聞く事である。

「聞くはいっときの恥、聞かぬは一生の恥」となるのだから。

幹事報告　石山桂子幹事

【第 45 回幹事報告】

○　6 月のロータリーレートは 1 ドル＝ 102 円です。
○　本日例会終了後、理事役委員会を開催いたしますので引き続きお願い致します。

委員会報告　和気勝利副会長

○　会報委員会齋藤武久委員長

ちょっとした手違いで、2635 号の発行が遅れています。申し訳ありません、出来るだけ早く配信出来るよう努力致します。

卓話　次年度会長幹事の抱負表明

○　澤田吉夫会長エレクト



黒磯 RC 第 55 代会長に就任するに当たり一言ご挨拶申し上げます。

永い歴史と伝統のある黒磯ロータリークラブの第55代会長に就任するに当たり、関係各位様の暖かなご支援に御礼申し上げたいと思います。経験も能力も不十分ですが、理事役員をはじめ、各委員長さん、また委員の皆様のご協力とご指導をいただき、クラブ運営を頑張っていきたいと思っております。ロータリーの目的であります、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあるとあります。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、または事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

以上の目的に出来る限り沿って活動できればと思っております。

本年度 RI 会長のゲイリー C.K. ホアン（台湾台北）氏は「ロータリーに輝きを」を本年度の目標に掲げました。ロータリーの奉仕を分かち合い、地域社会でロータリーの存在感を高め、ロータリーに輝きをもたらしてくださいと、言っておられます。

長嶋一郎ガバナーは「明るく楽しいロータリー」を創っていただきたいと、言われております。各クラブの一人一人が輝いて、クラブ全体が輝いていただくのを目標にしておられます。

地区方針と目標

1　若者を育てましょう。若い会員を入会させ、クラブの若返りを図りましょう！
・目標：青少年交換の充実による、グローバル人材の育成。インターアクト、ローターアクト、ライラの青少年への奉仕機会の提供。米山奨学生による国際理解と世界平和。
・米山記念奨学会寄付目標、会員 1 人当たり 18,000 円

2　ロータリアン一人一人が輝きましょう。
楽しい有意義な例会を創りましょう！
・目標：クラブ奉仕による例会の充実
（卓話の充実、プログラムの見直し。）
親睦活動の充実（花見、クリスマス会等）

3　意義ある奉仕プロジェクトでロータリークラブが輝きましょう。地域ニーズに応えた大小問わずの奉仕プロジェクトの実施。

当クラブも長嶋ガバナーの言われております、明るく楽しいロータリーを創るのに、頑張りたいと思います。会員各位が輝いて活動できるクラブ、黒磯ロータリークラブを皆さんで作りましょう！

各位のお力をお借りして進めていきたいと思いますので、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

黒磯ＲＣの本年度の目標

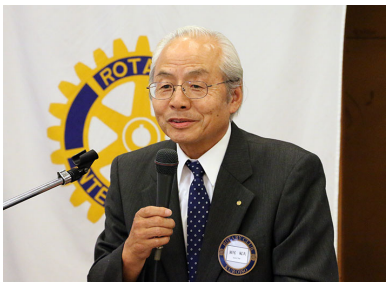
1　底辺の広い奉仕活動を行う。

2　楽しい有意義な例会の運営。
3　親睦活動、夜間例会の充実。
4　会員増強、クラブの若返りを図る。
5　米山記念、財団の寄付目標の達成。
・目標　地区補助金活用又は独自の地域奉仕プロジェクトの実施。グローバル補助金活用の海外奉仕プロジェクトへのチャレンジ。
ポリオ撲滅への理解と支援。
ロータリー財団寄付目標、会員１人当たり 150 ドル。

以上どれだけできるかわかりませんが、がんばってやっていきたいと思っておりますので、会員各位の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

尚次年度55周年を迎えるにあたりまして、ユニホームをそろえる件について、後日皆様におはかりをしたいと思います。以上よろしくお願いいたします。

○瀬尾紀夫次年度幹事



澤田年度から数点御願いがあります。

まず、委員会構成を皆様のレターボックスに入れました。

次に、平山年度の事業報告、澤田年度の計画を５月末までに御願いしてありますが、未だ届いていない方がありますので、お早めに私までメールかファックスで御願いします。

澤田会長の明るく楽しいロータリーを造ってゆきたいという目標に沿うよう会長を補佐してゆきたいと思っております。

それには会員お一人お一人のご協力、ご支援が必要となってきます。どうぞ皆様宜しく御願いします。

☺　ニコニコボックス　小野安正君

福島　泰雄君　澤田年度も広報 / IT 委員会でがんばりますので皆様宜しく御願いします。
秋間　　忍君　７番目の孫の顔を見てきました。
澤田　吉夫君　いよいよ6月。どきどきはらはらです。
鈴木　久雄君　６月になりました。
磯　　勝彦君　田中さん、ゴルフ委員就任お目出度うございます。
田中　　徹君　第４回ゴルフコンペまたまたやってしまいました。
時庭　　稔君　結婚祝い有り難うございました。
佐藤　　博君　結婚祝い有り難うございました。
黒澤　洋一君　無事完了しました。
平山　　博君　平山年度、あと1ヶ月です。よろしくお願いします。

誕生月３分間スピーチ
「3 ・11 その時私は何をしていたか」

室井次男君（1943 年 6 月 16 日生）



私は退職校長会という組織の黒磯地区代表幹事と、退職公務員連盟の高林地区委員をしており、他の幹事さん､委員さん宛ての文書配りをしている途中でした。油井集落内のある家の庭先に車を止め、エンジンをストップした時突然ぐらぐらっとしました。何が起きたのか分かりませんでした。屋根を見ますと瓦が今にも崩れ落ちそうなほど揺れていて、車もゆらゆらしています。一瞬脳血管障害が起きたと思いましたが、地震の揺れと気づき、事の重大さに思い至らず文書配布を続けました｡戸田の交差点の信号は作動していません。なぜだろうかとは思いましたがそのまま市内に向かいました。福島病院の北側、弥生町まで進みブロック塀が倒壊しているのを見て、事の重大さにやっと気づき急いで家路につきました。途中大谷石の蔵が崩れているのを目の当たりにして、家の事が益々心配になりました。

幸いなことに、コップが一つ割れただけで家屋の被害はありませんでした。後で気がついたら墓石がズレて修理に６万なにがしかの出費になりましたが、ほっとした記憶があります。それにしても、あまりにも楽天的な愚かさ加減に自分ながらあきれ果てています。

誕生祝



礒勝彦君・澤田吉夫君・室井次男君・(遠藤清和君)

結婚祝



和気勝利君・津久井誠二君・石山桂子君
福島泰雄君・時庭稔君・佐藤博君

ゴルフ大会表彰

平山年度第4回ゴルフ大会は、5月29日(木)、つつじが満開の那須ゴルフクラブで開催されました。

優勝は田中徹君（グロス101、HDCP20、ネット81)。おめでとうございます。



● 6月4日欠席(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・大森貞男・吉光寺政雄
髙木慶一・半田久一・福田逸夫・深町彰
大島三千三・須藤舜生

● 5月28日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・大森貞男・佐藤博・鈴木久雄・髙木茂
橋本佳明・半田久一・村山茂・大島三千三
須藤舜生・室井次男

○ 前回5月28日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・大森貞男・佐藤博・鈴木久雄・髙木茂
半田久一・村山茂・大島三千三

○ 前々回5月21日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・黒澤洋一・佐藤博・瀬尾紀夫・福田逸夫

次回例会　　平成26年6月11日　　担当親睦委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３７回　平山年度　第４６回　会報　２０１４-６-１１　司会　鳥居輝一君

黙祷

開会に先立ち、故半田久一PGのご冥福を祈り黙祷が献げられた 。

お客様　一年交換学生　ニコル



先週大阪と京都に行きました。平山会長に連れてもらって、大阪城、清水寺、金閣寺など様々な場所を見学しました。関西では、記録的な３６度の猛暑であり、暑くて、死んでしまいそうでした。それでも、ちゃんと日本の伝統文化を体験して、沢山の思い出を作りました。

その中の一つとして、大阪の道頓堀でおいしいたこ焼きを食べました。私は前からずっと本場のたこ焼きを食べたかったのです。熱くて、中がトロっとして、最高でした。“やっぱり本場は違うな！”と思いました。

二日間の中で、一番好きだった場所は清水寺でした。台湾の若ものたちにとって、お寺のイメージはつまらないです。しかし、日本のお寺はおみくじやお守りを売っていますので、若ものたちもお寺の楽しみを体験する事が出来ます。自分の望む事が叶えられるように清水寺で開運のお守りを買いました。

今回の例会の前日に、石山さんで女子会がありました。幹事の桂子さんが串かつを沢山作ってくれました。大阪でも、串かつを食べたのですが、桂子さんの串かつの方がおいしかったです。関西にお店を出したら、すごく繁盛すると思います。

ロータリーの皆さん、ありがとうございました。

会長挨拶　平山博会長

それでは、謹んでご挨拶申し上げます。



ただ今幹事より報告がありました通り、パストガバナー半田久一さんが6月3日未明、心不全のためお亡くなりになりました。改めてご冥福をお祈り申し上げます。思い起こせば、5月21日の例会で「3.11その時私は何をしていたか」のスピーチと黒磯ロータリークラブの細則の改定を、クラブ定款細則検討委員長として、13項目の改正案を元気よく発表していただき、異議なしと認められ、まさかこれが最後となってしまうとは、だれも思っても見なかったでしょう。まだ信じられません。

ドイツの娘さんの所に行くので、細則改定の件を5月28日の例会ではできないので、5月21日行いたいと強く言われ、私は6月に入ってからでも十分間に合うので大丈夫と言いましたが、どうしてもと言われ21日に時間をお取り致しました。

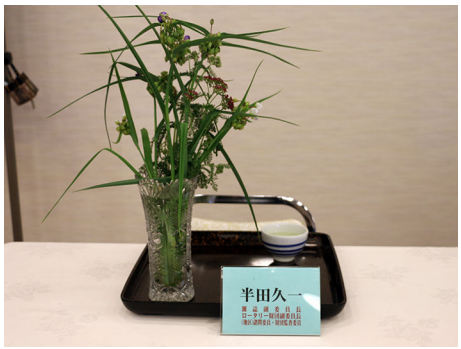
思いもよらずに、会長挨拶で「大往生」のお話をし

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 6月11日	40(2)	27(1)人	13(1)人	69.2％	*	
前　回 6月 4日	41(2)	31(1)人	10(1)人	77.5％	6人	92.5％

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

たり、高福寺の住職による「祈りの心」の卓話となってしまつた事、何とも宿運を感じる事となってしまいました。今日は半田さんがいつもお座りになっておりますお席に、石山桂子幹事さんが、お花をお供えさせていただいておりますが、平山年度始まり当初は、私も、幹事さんも半田さんの家に直接伺ったり、電話等でいろいろとご指導いただきました。クラブ現況報告書も立派に出来上がり、ガバナー公式訪問も、地区大会、ＩＭもすべてスムーズに行われました。



私の会長挨拶の時は、いつも私に注目していて、時折うなずいたりして聞いていただいていた事が、ありがたく強く心に残っております。

地区の会議で、いつも宇都宮に行くときは、半田さんといつも一緒に車で行きました。その時々に、黒磯ロータリークラブの事を沢山教えていただきました。

黒磯ロータリークラブの偉大な人物を失ってしまいました。平山年度も終盤を迎え、誠に残念です。

私も後２回の例会を残すだけです。これ以上会員が欠ける事がないよう願うものです。

思いどおりにいかない世の中を悟る今日の道歌

世のなかは　月に群雲　花に風
思うに別れ　思わぬに添う

月を見ようとすれば雲がかかって見えなくなり、花を見ようとすれば風で散ってしまう。思う人とは別れてしまい、思いもしない人と逢う、よいことには、じゃまが入りやすく、ままならずに皮肉なものだ。思わぬ事態に直面するたびに、思いどおりにならないつらさを味わう。しかし禍を転じて福となす。「きっとうまく行く」、と暗示をかけて心機一転、努力する事です。

話は前後いたしますが、今年度目標の一つ、那珂川水質調査が去る６月７、８日に実施されました。今年も雨の中でした。参加いただいた皆様には大変ご苦労お掛けしました。水質調査班は、二手に別れ、福島県下郷方面より大峠を目指し、水をくみ、三斗小屋で合流。那珂川源流の水を預かり、私達は帰りがけに、那珂川の各所でサンプルの水を採取致しました。

当日の、3時半ごろには全員が三斗小屋に集合でき、風呂に入り早速宴会。9時の消灯過ぎても、まだまだ続き、楽しく一夜を過ごすことができました。

調査結果は後でご報告いたしますが、荒井昌一社会奉仕委員長初め、大森さん、相馬さん、鳥居さんのベテラン組、三斗小屋入口を少し間違えた、私と、時庭さん、稲垣さん、のんびり組に感謝申し上げます。

3年連続雨の為、来年はもっと早く5月連休明けとの事、会員皆様のご参加お待ちしております。強酒と体力ある方、大歓迎。

幹事報告　石山桂子幹事

当クラブ会員、半田久一様が６月３日未明ドイツフランクフルトにお住いがある次女ホルツハウゼン半田知恵子様宅にて心不全の為、お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。日本での葬儀は未定です。詳細については分かり次第ご連絡いたします。

- ○　平山年度最後となりました、理事会の審議事項です。米山奨学生の補助金は食事代・懇親会等に当て澤田年度の引き継ぎ事項として承認を頂きました。
- ○　西那須野ロータリークラブより、週報が届いております回覧中です。
- ○　第 12 回高校生 RYLA セミナーの報告書が届いております。併せて回覧中です。
- ○　「2014 関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会」に１万円協賛致しましたのでご報告申し上げます。

委員会報告　和気勝利副会長

○　高木慶一新世代奉仕委員長

一年交換学生ニコルが７月７日に帰国します。

早いもので昨年８月 25 日に日本に来てから 10 ケ月が過ぎようとしています。帰国まで1ケ月を切りました。

そこで７月２日６時 30 分から石山にて会費 4,000 円でニコルの送別会を開催します。

ただ今出欠を回覧していますので記入して下さい。

卓話　親睦委員会

○　豊田哲司親睦委員

2013 年に社会問題化した、食材偽装問題について

2013 年に複数の大手ホテル・レストランで提供している料理のメニューで実際に用いていた食材と異なる食材を用いているように表示していた、というホテル内のレストランに関わる事件であります「ホテル食品偽装問題」が発覚しました。また、ホテルやレストランに限らずメニューの食材表示に偽装が広がっている実態が明らかになりその問題が指摘さ



れるようになったので「メニュー偽装問題」とも呼ばれました。その後、飲食店の料理だけでなく、スーパー等で販売されている弁当などでも同様の偽装が行われていた事が明らかになったので、それらも含めて食材全般にかかわる偽装として「食材偽装事件」とも呼ばれるようになりました。以前から問題になっておりましたが、大きく社会問題化したのは2013年10月以降であります。

次々に発覚される理由としましては：

1) 偽装が簡単に出来てしまう事。例えば海産物などは海外産のものを国産品として偽装して、焼いたり、煮たりした上で濃いソースがかかると、消費者には簡単には気づかれない点。
2) 産地や種類によって大きく価格が異なり、単純な利益確保の動機になる点。
3) レストラン等で提供される料理には、法的に表示義務がやや甘く、産地表示をしないといけない義務もない点。
4) 一番大きな理由は、消費者側がそのものを良く知らない点ではないかと考えられます。

その様な中で、各企業のトップの謝罪の言葉は、ほぼ誤表示の説明でありました。

●誤表示と偽装の違い

今回の問題で適用が考えられる法令は主に2つあります。景品表示法と不正競争防止法です（この他に、刑法の詐欺罪や民法の詐欺規定の適用も考えられます。）

具体的に、景品表示法の場合、例えば外国産の牛肉であるにも関わらず、国産牛と偽った表示をして牛肉を販売した場合、「消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると誤認させる表示」をしたものとして、景品表示法が禁止する不当表示にあたる可能性があります。

また、この牛肉の例のように、原産地を偽った表示をして商品を販売した場合、その商品の原産地について誤認させるような表示をしたものとして、不正競争防止法で定める「不正競争」に該当する可能性もあります。

このように今回のような表示には、上記2つの法令の適用が考えられるのですが、大きな違いは、それぞれの法令に違反したとされる場合の罰則です。

まず景品表示法違反と認定された場合、不当表示を行った企業に対し、不当表示により消費者に与えた誤認の排除、再発防止策の実施、今後同様の違反行為を行わないことなどを命ずる「措置命令」が消費者庁よりなされます。

1) この措置命令を受けた場合、企業としては、不当表示の排除や再発防止策の実施等を行い、その対応状況を消費者庁に報告すれば、一応対応は完了することになります。
2) いっぽう、不正競争防止法違反になった場合、仮に産地を偽ったことについて、それが「偽装」であることを認識していた場合や、消費者を誤認させ不当な利益を得ようとする目的をもって産地の虚偽表示が行われたと認定された場合には、刑事罰が適用され、5年以下の懲役又は500万円以下の罰金（最悪の場合、その両方）が科される可能性があります。

このような点から、今回のあるホテルの社長が当初「誤表示」だと説明し、その後、「お客様からは偽装と受け止められても致し方ない」とまで言いつつも、会社として「偽装」を認めなかったのは、この2つの法令の罰則の違いを認識していたのではないかと感じとれました。

仮に「会社として偽装の認識があった」と認めてしまった場合、最悪の場合、不正競争防止法違反として刑事罰の対象になってしまい、景品表示法のような行政への報告だけではすまされないからです。

ただ、今回のあるホテルによる料理メニューの表示について、景品表示法の「優良誤認表示」にあたるのか、不正競争防止法に定める「商品の原産地や品質等を誤認させるような表示」にあたるのかは、非常に不透明な状態になっております。

今、述べたようなものはともかく、今回のあるホテルによる一連の対応は、当社も含めて企業コンプライアンスに携わる重要な問題でありました。

新入会員　自己紹介

○　大島三千三（みちぞう）君

昭和34年3月18日生まれ
職業　再生資源卸売業・一般廃棄物処理業



皆さんこんにちは、新入会員の大島です。初めて例会に参加しての第一印象は国旗を横に掲げるんだ、なんかちょっと安心しました。会の活動を詳しく聞かないで入会しましたので何も分かりません、よろしくお願い致します。

自分の性格は適当に物事をする、参加する、顔を出してみるみたいな性格です。皆さんにご迷惑をかける事も多々あると思いますが、面倒みて頂きますようお願い致します。

2011年3月11日、東日本大震災とボランティアの関わりを自己紹介とさせて頂きます。

主なボランティア活動

＊　1995年2月10、11、12日：阪神淡路大震災支援。兵庫県西宮市地区にて緊急支援物資配布援助。
＊　1997年2月24～26日：ナホトカ号重油流出事故。石川県加賀市の海岸にて砂浜重油回収作業。
＊　1998年8月27日未明：那須水害緊急支援。8月27日～9月30日まで　緊急ボランティア活動。
＊　2004年7月18、19日：新潟県燕･三条市水害支援。ユニック車にて廃材処理ボランティア活動。
＊　2004年10月28日：新潟中越地震緊急ボランティア。小千谷市総合体育館前にて炊き出し。巻狩鍋（2,400食）。
＊　2004年11月17日：新潟中越地震第2回ボランティア活動（川口町・東小千谷）。緊急物資運搬仮設住宅清掃その他。
＊　2007年7月21、22日新潟中越沖地震ボランティア活動（柏崎市）。石塀の路上散乱撤去作業。
＊　2011年3月11日：東日本大震災発生翌日(12日)「チーム大島」を結成（賛同者25名）。
＊　2011年3月13日：東日本大震災　緊急支援物資ボランティア。福島県南相馬市へ水1200リットル・毛布・バスタオル・紙おむつ等2tトラック一台分輸送。
＊　2011年3月17日：那須町文化センターにて炊き出し（味噌汁400食）
＊　2011年3月19日～20日：宮城石巻市へ支援物資輸送＆炊き出し（おにぎり600食）。
＊　2011年4月3日　宮城石巻市へ支援物資輸送＆炊き出し(巻狩鍋2,　400食・生野菜サラダ・ラスク)。黒磯那須JCと合同による支援（総勢50名）。
＊　2011年6月：宮城石巻市へ炊き出し(五目ちらし寿司･冷やしトマト)。東那須野婦人会と合同による支援。

海外ボランティア活動（JC　GTS参加による活動）

＊　1996年フィリピン　ドマゲッティ市にて　ぶた小屋作り。
＊　1997年フィリピン　セブ市にて　ババグ小学校のペンキ塗り。
＊　1998年フィリピン　ビラマリア地区　アエタ族再定地家屋修理。
＊　1999年フィリピン　スービック市　カラパンダヤン小学校にて遊びの授業。

○　豊田哲司君

4月2日から前任の藤村から引継ぎ、新会員となりました豊田哲司と申します。

前の勤務地は、浜松にあります浜名湖ロイヤルホテルです。東日本大震災に関しまして、一切影響がない地域でした。またこの2月の関東地区にもたらした大雪に関しまして、一切雪は降りませんでした。非常に温暖で過ごしやすい場所から参りました。引継ぎで滞在しておりました時期は、積雪が残っており非常に寒かった記憶があります。

黒磯ロータリークラブに通うようになり、はや2ヶ月がたちまして、皆さまの顔と名前が一致する様になってきました。また多くの皆さまにも私の顔を覚えていただいたと思います。

ホテルで何度か行われた披露宴等では、ご来館いただいた黒磯ロータリークラブの方々には、ホテル館内で気遣いのお言葉をかけていただき、ありがとうございます。前任の藤村、冨田同様に皆さまのご指導をいただきながら、ロータリアンとしてふさわしい人間に成長していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

髙木　慶一君　ニコルもあと1ヶ月を切りました。元気で頑張れるように。
佐藤　博君　平山年度ゴール間近。心境はいかが？さみしいでしょうね。
津久井誠二君　結婚祝い有り難うございました。

●　6月11日欠席(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・小野安正・吉光寺政雄
鈴木隆子・髙木茂・田中徹・時庭稔・福田逸男
深町彰・檜山達郎・月江寛智・須藤舜生

○　前回6月4日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・髙木慶一・半田久一・福田逸男
大島三千三

次回例会　　平成26年6月18日　　担当　会長・幹事

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３８回　平山年度　第４７回　会報　２０１４-６-１８　司会　植竹一裕君

お客様

○　ロータリー米山記念奨学生　レ　ハイアンさん

こんにちは、レ ハイアンと申します。例会出席の２回目なんですがまだ緊張しています。米山奨学金を授かって本当に嬉しいです。お陰様で、研究に集中出来るようになりました。

この頃の２週間に子供発達センターで、障害児支援施設に関する研究調査を進めています。

これからまた頑張りたいと思います。本当にありがとうございます。宜しくお願い致します。



会長挨拶　平山博会長

いよよ47回、残り１回となりました、嬉しいやら、悲しいやら。挨拶はロータリーで48回その他、商工会関係合わせて100回以上、それにしてはヘタだと言われそうです。人前で話すことが苦手なのに、大勢の前で話をしなければならない事になってしまった一年でした。

憂鬱ながらも自分なりに準備し、練習して臨んだにもかかわらず、案の定、上がってしまい、自分でも何を言っているのかわからなくなった。そうした経験をした人もあると思います。

そんな時、なぜうまく話せないのか。自分はなんてダメなんだろうと自己嫌悪に陥り、情けない気持ちになります。

だが、人前に立って堂々と話せるようになるには、とにかく場数を踏み、練習を重ねるしかありません。最初から。弁舌さわやかに、臆せず話すことのできる人もいるかもしれないが、それはごく一部で、たいていの人はそうではないのであります。何事もやはり失敗を繰り返し、恥をかきながら、次第に上達して行くものであり、さまざまな機会を、自分の弱点を克服する、またとないチャンスが与えられたのだと積極的に受け止め，生かして行く事です。

恥をかくことを恐れず、自ら求めてでも、実践の場をつくって行きたいと思います。そうすれば、克服どころか、苦手がいつの間にか得意に変わっていた、と言うことも現実にあるのであります。

私も、この一年間失敗の連続ではありましたが、苦労の甲斐があり、何とか人前では上がらなくなったような気がいたしております。長い間、へたくそな会長挨拶お聞き頂き有難うございました。この後、退任の挨拶を致しますので、この辺にいたします。

幹事報告　石山桂子幹事

○　大田原ロータリークラブより、会報が届いております。

出席報告　出席委員会　　津久井誠二君　（出席規定の適用免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日6月18日	40(2)	34(1)人	6(1)人	87.2%	*	
前　回6月11日	40(2)	27(1)人	13(1)人	69.2%	6人	84.6%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

○　那須塩原市国際交流協会より、会報が届いております。
○　ハイライト米山 171 号が届いております。併せて回覧中です。

委員会報告　和気勝利副会長

○　瀬尾紀夫次年度幹事

次年度の現況報告書を作成中です。平山年度の各委員長さんの中で事業実績報告書を未提出の方、及び澤田年度の各委員長さんの中で、事業計画書を未提出の方は、至急私までご提出下さるようお願いします。

卓話　退任挨拶

○　石山桂子幹事



優しい平山会長・何も分からない私を何時も補ってくれた和気副会長に支えられて、無事幹事職を務めることが出来ました。本当に感謝申し上げます。

１年を振り返ってみますと、悩んで悩んで幹事を引き受けた途端、お二人の言った言葉は「桂子さんパソコン、パソコン」の一声でした。平山会長はパソコンの手配から始まり、心配そうに私を見守ってくれました。又、和気さんのご指導のお蔭で、パソコンはもちろん「新しい事に前向きに取り組む姿勢の大切さ」も教えて頂きました。

私にとって、パソコンは 61 才の手習いでした。SAA 委員長の鳥居さんには、毎週毎週、式次第をラブレターの様にメールで送り、沢山教えて頂きました。鳥居さんのお蔭で47回の例会がスムーズに運び、残りあと1回のラブレターとなりました。48回で終わりです。

次に現況報告書ですが、ほぼ1年かけて作りました。私１人ではどうにもならないので、アットサポートの原田さんとおっしゃるパソコンの先生にお手伝いを頂きました。半田さんの所には何回足を運んだのか分かりません。最後には私の疲れた様子を見て、ガバナー公式訪問に間に合う様「石山さん、100%はあり得ないからもう印刷しましょう」とおっしゃいました。本当に、優しく丁寧にご指導を頂きました。修正した現況報告書は半田さんの形見となってしまいました。半田さんが、この席にいらっしゃらないのが残念でなりません。

１年間、お店と家庭とロータリーと本当に大変でしたけど、母の一言で締めくくりたいと思います。「桂子、幹事したら大人になったねー。」

皆様のご協力のお蔭で職務を全うする事が出来ました。至らない点は多々あったと思いますが、感謝申し上げます。有難うございました。

○　和気勝利副会長



平山年度では副会長という大役を仰せつかりましたが、何とか来週で無事終了することが出来そうです。会長・幹事をはじめ会員皆さまのご協力を心より感謝申し上げます。

副会長とは会長を補佐する立場ということで、平山会長をどれだけ補佐・ご援助出来たかはなはだ疑問ですが、出来が悪い副会長でしたということでご了承いただきたいと思います。またクラブ奉仕委員長といたしましても、各委員長様にお願いするばかりで、細かく各委員会への協力・援助が出来なかったように感じられ、各委員会には申し訳なく思っております。これを次の副会長に引き継ぎ、次年度も出来る限りの協力をさせていただきたいと思っております。

○　澤田吉夫会長エレクト



一年は早いものであっと言う間に過ぎてしまいました。平山会長のもと、会長になにが協力できたのか、あまり思い当たる節はありませんが、それなりには協力できたのでは無いかとおもっております。

あまりご迷惑を掛けずに、一年間副会長の役職を全うできたのは、平山会長の強いリーダーシップと、石山幹事との見事な連携プレーでのクラブ運営は見事だったからでは無いでしょうか！それと、皆様のご協力があったからでは、無いでしょうか！

特に平山会長は商工会の会長と言う要職にありながら、一度も欠席せずに行動できたのは、かなりの努力があったのでは無いでしょうか！敬意を表する次第です。

又、幹事の石山さんは、お忙しい仕事の合間を見ては、資料の作成や会員の連絡等、テキパキとこなされてきて、さぞかし大変だったろうなと思っております。本当にご苦労様でした。

次年度もなれたところで、あまり息抜きをせずに、ご協力のほど、お願いする次第です。次年度もまもなく、スタートしますが、わからない点など、ご相談することも多々あるかと思いますが、ご協力のほど、よろしくお願いしたいと思います。私も見習って次年度のクラブ運営に、生かせればと思っております。本当に一年間お疲れでした。

○　平山博会長



「始めを合(よ)くし、終わり淑(よ)くするは、君子の人なり」とあります。この言葉は、九割到達しても最後まで気を抜いてはいけない、と言う事です。

この言葉は「始めから終わりまで一貫してよい行いをするのが立派な人である」最後だけはいいところを見せたり、「終わりよければすべてよし」と、最後だけ体よくまとめる事が多いもの。しかし、君子は始まりも終わりも姿勢を変えず行うことが一貫しているというのです。

名君と言われた唐の太宗は、国を治める心がまえを、人の病気を治療するときの心がまえと一緒だと言っています。「病気というのは快方に向かっているときこそ用心することが大事で、つい油断して医師の指示を守らなかったりすると、たちまち命取りになる事がある。政治も同じで、天下が安定に向かっているときこそ、慎重にならなければならない。病気も政治も全快し安定するまでは、決して気を抜くな。」ということです。

これは人生も同じです。「百里を行くものは九十を半ばとす」という諺もあるように、大きな目標に向かうとき、九割達してやっと半分来たと心得るくらいで良いと言うのです。そしてもういちど気を引き締め、最後の詰めを怠らないことです。ということで, 私も、お陰様で九割八分近くに達しつつありますが、最後まで気を抜くことなく、会長役を務めてまいりたいと思っております。

これらの事は私の初期の目標でありました。所が、昨年5月に思ってもみなかった商工会会長に就任し、7月からのロータリー会長に黄色信号がともり始めました。正直昨年6月、7月は非常につらい時期でありました。どちらを優先するか精神的に参ってしまい、口内炎，帯状疱疹や胃痛に悩まされました。

備わっている能力しかないのだからと開き直り、とにかく一つ一つ解らないことは積極的に聞いたり、調べたりして、進めて行く事を決心しましたが、結果的には幹事と、会員の皆様にご迷惑をお掛けする事が多々あったと思います。お詫び申し上げます。

反省をしつつ、当初に掲げました、クラブ会長の方針と計画が達成できたか、振り返ってみました。魅力あるクラブ作りでは、卓話の充実でということで、那須塩原市長、那須町町長，高福寺住職、パンアキモト秋元代表取締役、国際交流協会高根沢理事長、地区インターアクト熊本委員長様にも、来訪していただきました。

会員増強につきましては、檜山委員長のお力添えを頂き、5名入会して頂きましたが、半田会員、新井会員がお亡くなりになり、病気療養、転勤などで4名が退会となりました。誠に残念な結果となりました。新地区補助金は、来年度は市内小学校対抗駅伝に支援を頂きますようお願い致します

黒磯高校インターアクトクラブの育成にも力を入れ、生徒さん達も着実に成長しております。

ロータリー財団（150ﾄﾞﾙ）米山奨学会（18,000円）も達成いたしました。

会員、家族の親睦行事は、瀬尾親睦委員長のお蔭で楽しい思い出が出来ました。

平山年度は特別な事は何一つやっておりませんでしたが、幹事さん、SAA、会計さん初め各奉仕委員会、各委員長、皆様のご協力を頂きました事感謝申し上げます。そんななかで、やはり一年交換学生の、ニコルをお預かりした事は一生忘れがたい事となり、カウンセラー初めホストファミリーのご家族の皆様にお礼申し上げます。思い出を沢山作っていただき、一回りも二回りも大きくなって、7月7日元気に台湾に帰る事が出来る事を願っております。髙木新世代奉仕委員長有難うございました。

付き合いの心がけを教える道歌

へつらわず　奢ることなく　争わず
欲を離れて　義理を案ぜよ

自分の損得ばかり計算していると、義理を忘れがちになる。人に世話になったことも、尽くしてもらったことも、心にしっかり留めておかなければならない。逆に、手を差し伸べる機会が巡ってきたなら、その人に義理を果たす。そんな気持ちで生きることが、人間

関係の基本になるであろうと言う歌です。

私は是と言った、特徴のある会長ではありませんでしたが、坦々と粛々とトラブルを起こさない、親睦飲み会を大切にして、一つ一つ大事に例会やその他の行事を進めてまいりました。お世話になった、石山桂子幹事はすべてに対し優しく気遣いをしていただき完璧な運営をしていただきました。本当にありがとうございました。桂子さんが幹事さんで、実は私が一番助かりました。

比較的近所である、副会長和気さん、大森さん、鳥居さん達には、愚痴を聞いていただいたり、励ましていただいたり何かとご指導を頂き感謝申し上げます。

会員皆様方にも、この道歌の通り尽くしていただいたことは一生忘れることなく、恩返しのできる機会が巡って参りましたら、必ずお返し、義理を果たして参りたいと思っております。長い間、本当に有難うございました。

澤田年度、会長、幹事今が一番大変な時期です。皆様絶大なる、ご支援お願い致します

☺　ニコニコボックス　君

澤田　吉夫君　平山年度、残り1回。お疲れ様でした。
田中　　徹君　この2週間いろいろありました。
村山　　茂君　平山会長、ちょっと早いですが、一年間ご苦労様でした。
遠藤　清和君　平山会長、石山幹事、和気副会長、一年間お疲れ様でした。連続欠席申し訳ありませんでした。
檜山　達郎君　平山会長一年間ご苦労様でした。
髙木　　茂君　今年も残りわずか。ノルマ達成。
福田　逸男君　子供達より沢山の父の日プレゼント戴きました。感謝、感謝。
鈴木　隆子君　一年間早い物ですね。皆様お疲れ様です。また次年度も宜しく御願いします。

誕生月3分間スピーチ
「3・11 その時私は何をしていたか」

儀勝彦君（1951年6月19日生）



「空が動いてる」茫然と校庭のグランドで空を仰いでいた。それまで私が経験した最も大きな地震は、昭和39年の中学生の時の新潟地震だった。今回の東北大震災を経験する迄は。地震発生時、私は医院で治療中だった。いつもなら直ぐに終息に向かうはずが、なかなか収まらない。激しい横揺れの中、患者さんと共に待合室に避難した。床に跪いてTVで情報を確認した。

どうやら東北沖が震源地らしい。画面は定点監視カメラで港の状況を映し出した。津波の襲来がある。海面が上昇し湾岸の道路に押し寄せてきた。逃げ惑う乗用車に何も出来ずTVを傍観する私達がいた。目の前の駐車場では車が激しく動いている。玄関の大きなガラスは音を立て今にも割れそうだった。止みそうにない地震に、「いつまで続くんだろう」私の中では段々と恐怖感が湧いてきていた。私の地域では、停電にもならず、幸いな事にさほど大きな被害は無かった。しかし、広域の停電と通行止めで、宇都宮にいた妻が帰宅したのは夜の10時を過ぎていた。

● 6月18日欠席(敬称略)
遠藤清和・吉光寺政雄・髙木慶一・深町彰
大島三千三・須藤舜生

○ 前回6月25日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・鈴木隆子・髙木茂・田中徹・時庭稔
福田逸男

次回例会　　平成26年6月25日　　担当　役員退任挨拶

近隣クラブ例会日
◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎木曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：齋藤武久・田中徹・村山茂・髙木慶一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ロン D. バートン
第２５５０地区ガバナー：飯村　慎一
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



会　長：平山　博　　幹　事：石山　桂子
事務局：割烹石山内：石山　桂子
〒325-0056 那須塩原市本町５－５
TEL:0287-62-0128・FAX:0287-62-1076
E-mail:qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２６３９回　平山年度　第４８回　会報　２０１４-６-２５　司会　植竹一裕君

会長挨拶　平山博会長



皆様こんばんは。

第48回、最後の例会、会長挨拶となりました。アット言う間の一週間、アット言う間の一年でした。

思い起こせば、私の父亡き後、継承会員と言うことで、大森貞男会員の推薦で入会させていただきました。あれから20年が経ち、伝統のある黒磯ロータリークラブ会長をやらせていただき、しかも親子2代に渡り、このような貴重な経験が出来るとは夢にも思っていませんでした。多くの黒磯ロータリークラブの御先輩方はじめ、全会員の皆様に平山年度を支えていただきました。特に石山幹事さんはじめ、理事役員、各クラブ奉仕委員長の皆様に心より感謝申し上げます。

ところで、前会長の皆様方の挨拶には、それぞれに工夫され、今日の一句とか、花言葉とか、今日は何の日、短歌、サラリーマン川柳など、楽しくためになるお話が付け加えられてありました。私も一年間道歌をご披露させていただきました。

「道歌」は人の生き方を和歌の形にして説いたものです。五・七・五・七・七に合わせると、リズムが良くなり、覚えやすくなるため、江戸時代になって盛に作られ、人々の口から口へと広がって行きました。

「道歌」の中には、次の歌のように、よく知られたものがあります。「いつまでも　あると思うな　親と金　ないと思うな　運と災難」この歌の上の句を知らない人はいないでしょう。次の歌もまた有名で、よく耳にするでしょう。私の大好きな歌です。「世の中は　持ち持たれつ　立つ身なり　人という字を　見るにつけても」、次の歌は、現代でもその言葉の綾に共鳴する人が多いようです。「雑巾も　当て字で書けば　蔵と金　こちらふくふく　あちらふくふく」。

今の時代にも、忘れてはならない教えや心の持ちようなど、「道歌」には先人の知恵が凝縮されているようです。状況が変わっても、いい生き方や、人の心のありようは変わらないと言う事に、お気づきの事と思います。そればかりでなく、昔の人の表現のうまさや感情の豊かさには驚かされました。これで最後の道歌と致します。

今日の道歌

世を渡る　道はと問わば　とにかくに
夫婦睦みて　親子親しめ

世のなかをうまく生きて行く道は何か、と問われれば、とにかく夫婦仲良く親子も仲良く生きることです。いがみあった家族ほどつらいものはない。逆に、助け合う家族ほど、強いものは有りません。一番人間の絆が強いのは、何と言っても仲の良い家族であり、どんな時でも味方になり、力を貸してくれる、いい関係が築けるよう努力して家族を大切にしたいものです。

「家内中　仲の良いのが　宝船　心やすやす　世を渡るなり」道歌は、ガバナー公式訪問や、大事な例会には休みましたが、ほぼ48例ご披露致しました。心に残った歌が、一つでもあれば幸いです。

退任挨拶は先週行いましたが、何度お礼を言つても言い足りません。「何ごとの　おわしますかは　知らねども　かたじけなさに　涙こぼるる」何かに圧倒されて、心が震えほどの感動をあじわう。生きている事の有難さ、この世に存在する事のすごさ。こんな感動を味わえるのは、ロータリーだからこそで、大変すばらしい事で有りました。本当に有難うございました。

7月に入り澤田年度が無事に船出し、大盛況な澤田年度でありますよう心よりお祈り申し上げます。

幹事報告　石山桂子幹事

今日の幹事はございません。

委員会報告　和気勝利副会長

○　次年度 SAA 委員会　鈴木隆子委員長

次年度の SAA からご連絡させていただきます。レターボックスに澤田年度の例会欠席届を入れておきました。無断欠席の無いようにご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

○新世代奉仕委員会　高木慶一委員長

一年交換学生ニコルが 7 月 2 日の最後の例会に出席します、そして 7 月 7 日に台湾に帰国します。7 月 2 日午後 6 時 30 分から石山にて送別会を開催します。

参加に○を付けた方は忘れないようにご参加下さい、ホストファミリーの奥様、京都研修参加の女性の方々にご案内しています。

☺　ニコニコボックス　大森貞男君

石山　桂子君　1年間ご協力ありがとう御座いました。感謝申し上げます。

澤田　吉夫君　平山会長、石山幹事お疲れ様でした。

誕生月３分間スピーチ

「3 ・11 その時私は何をしていたか」

村山茂君（1954 年 2 月 21 日生）



2011 年 3 月 11 日（金）午後 2 時 46 分に発生した東日本大震災、その時私は会社 2 階の事務所におりました。当時、私は黒磯クラブの幹事を務めており、午後 4 時からの瀧田先生のお通夜のお手伝いに向かう予定でした。その時突然、大きな揺れが始まり、事務所内のキャビネットやパソコンなどが全て転倒、落下し、何時までも収まらない揺れにびびり、外へ飛び出しました。すると、ベニマルさんや石山さんの建物が、大きく変形しながら揺れている光景が目に入り、その時、これは何処かで大きな被害が出ているなと感じました。ただ、あのような大津波が発生するなどとは思いもよりませんし、ましてや、原子力発電所が制御不能になり、広範囲に放射能汚染にさらされるなど思いもよりませんでした。

それから 3 年が経過した現在、大地震や津波による被災者及びそのご家族の皆様の心中は、察するに余りあるものがございます。また、崩壊した原子力発電所の処理あるいは、放射能除去作業は一体いつまでかかるのやら、見当もつきません。そしてこのことは、直接の被災者ばかりでなく、日本全体に物心とも大きな傷を残しました。

しかし、災害時から今日に至るまでの日本人の行動は、多少の行き違いはあるものの、極めて冷静沈着に対応しており、着実に復興が進んでいると感じております。また、原子力の危うさが広く認識され、そのことが、再生可能エネルギーの普及を促し、電力などエネルギーの重要さを再確認できた意味は、多くの犠牲を無駄にしないことにも繋がると考えるものです。

日本人として、そしてロータリアンとして、これからも被災者の方々に対しまして、何らかのお手伝いが出来ればとの思いを再認識し、私の３．１１のお話しとさせていただきます。

奉仕部門功労者賞の授与　佐藤博君



三役退任慰労会スナップ

○　司会進行　瀬尾紀夫次年度幹事

○　平山会長挨拶



先ほど最終例会も無事終了いたしました。いよいよここまで来たかと、嬉しい反面、これで終わると言う気がしなくこのメンバーであと一年やっても良いかなーと、勝手ながら思っております。「とんでもない」と皆様に言われそうです。なにはともあれ、多くの貴重な体験をさせて頂きました。

そして、皆様のご協力のお蔭で、無事にこの日を迎える事が出来ました事，あらためて皆様にお礼申し上げます。平山年度を支えてくました、石山桂子幹事さんには、何度でもお礼を申し上げます。有難うございました。笑顔で澤田年度に、引継ぎが出来る事が、一番です。これからは、商工会に専念致します。





澤田次年度から平山会長へ、瀬尾次年度幹事から石山幹事へ、村山次年度クラブ奉仕委員長（副会長）から和気副会長へ花束贈呈。



福田逸男君の発声で乾杯。



何やら次年度会長を囲んでパスト会長。



ピースがお似合い若いお三人。



石山幹事さんお礼のお酌。



副会長の音頭で三本〆。



平山会長最後の二次会乾杯。

次回例会　　平成２６年７月２日　　担当　会長・幹事・副会長